

## アンケート等の調査結果

### <詳細版>

#### 【目次】

1. 市民意向調査（市民アンケート調査）	1
個人属性	1
日常生活の行動	4
MMシャトルについて	15
むらタクについて	21
新型コロナウイルスによる日常の行動への影響について	27
2. 市内循環バス（MMシャトル）利用者意向調査	30
個人属性	31
MMシャトルについて	34
むらタクについて	54
新型コロナウイルスによる日常の行動への影響について	59
3. 市内循環バス（MMシャトル）利用者OD調査	60
3-1. 利用者数	60
3-2. 便別利用者数	65
3-3. バス停別乗降者数	70
3-4. バス停間OD	73
3-5. バス停間断面利用者数	79
4. 市内循環バス（MMシャトル）所要時間調査	85
4-1. 便別遅延時間	85
4-2. バス停別遅延時間	90
5. 乗合タクシー（むらタク）の利用状況の整理	106
6. 乗合タクシー（むらタク）利用者意向調査	108



# 1. 市民意向調査(市民アンケート調査)結果

## ○調査期間

10/9(金)発送(10/26を投函〆切)

## ○調査方法

住民基本台帳から無作為抽出した15歳～85歳の市民を対象に、市内4地域別に各1,250名、計5,000名の市民に無記名式のアンケートを郵送で発送及び回収

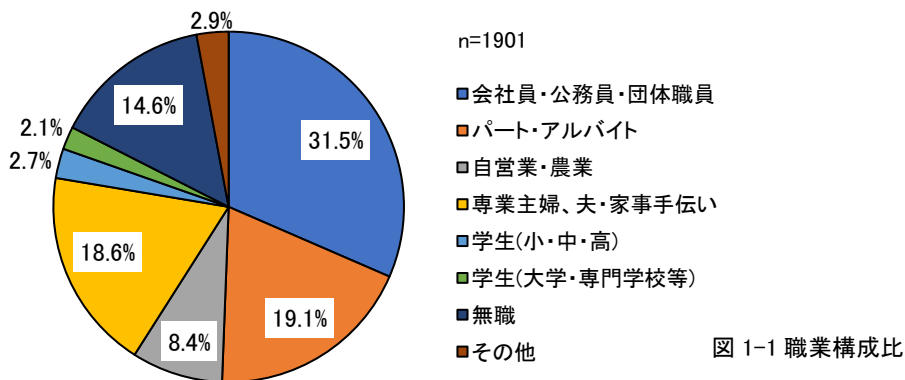
## ○配布・回収状況

配布数	5,000票
回収数	1,934票
回収率	38.7%

## 問1 個人属性

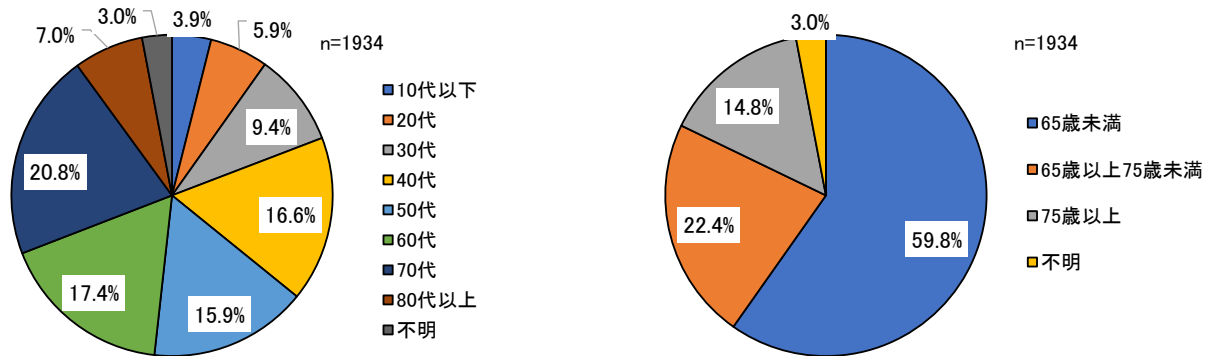
### ・職業

・「会社員・公務員・団体職員」の割合が最も高く、回答者の31.5%を占める。  
 ・「会社員・公務員・団体職員」「自営業・農業」「パート・アルバイト」を合わせて回答者の59.0%、学生は4.8%、「専業主婦・夫・家事手伝い」「無職」「その他」を合わせて36.1%を占める。



### ・年齢

・65歳以上の割合は全体の37.2%を占める。



・居住地

・大南地区の割合が最も高く、全体の 12.6%を占める。

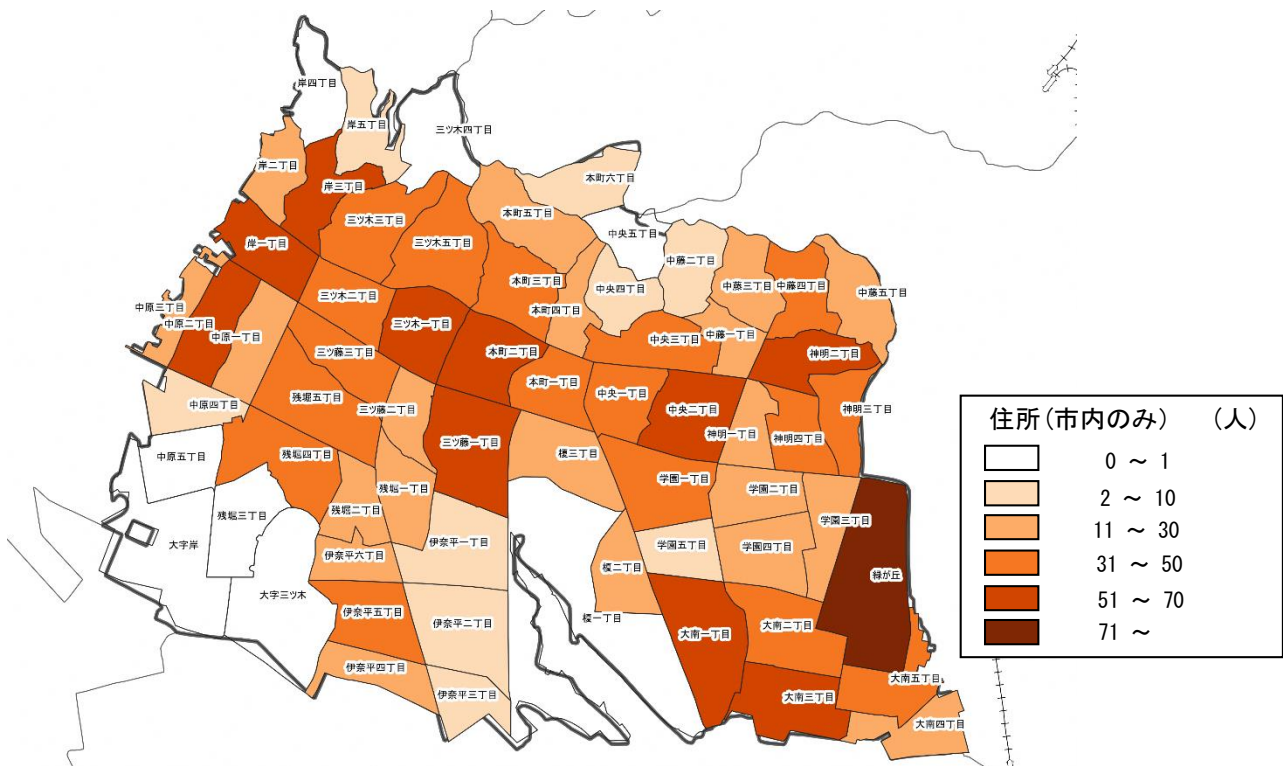
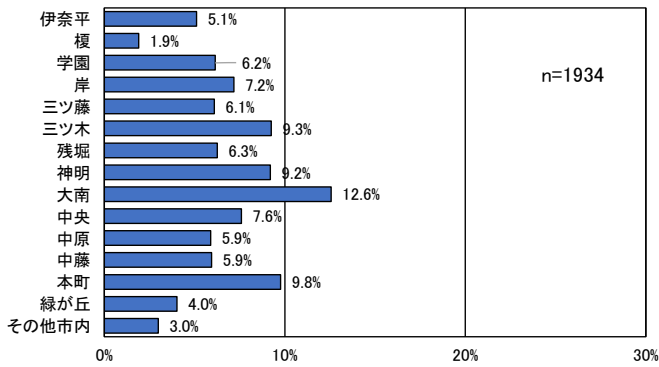


図 1-3 居住地構成比棒グラフ(上図)、居住地分布図(下図)

・運転免許保有状況(複数回答可能)

- ・「運転免許を自主返納」「持っていない」の2項目の割合は年齢階層が高いほど高くなり、75歳以上の場合、2項目の合計割合は回答者の50%以上を占める。
- ・居住地別にみると、緑が丘地区で「運転免許を自主返納」「持っていない」の合計割合が最も高く、回答者の66%を占める。

年代不明含む

表 1-1 年齢階層別、運転免許保有状況

年齢階層	回答者数	自動車運転免許	二輪車運転免許 (原付のみ含む)	運転免許を 自主返納	持っていない	不明
全体	1934	76%	16%	5%	18%	1%
65歳未満	1156	85%	20%	0%	14%	0%
65歳以上75歳未満	433	75%	14%	7%	17%	0%
75歳以上	287	44%	8%	17%	36%	2%

表 1-2 居住地別、運転免許保有状況

地区	回答者数	自動車運転免許	二輪車運転免許 (原付のみ含む)	運転免許を 自主返納	持っていない	不明
全体	1934	76%	16%	5%	18%	1%
伊奈平	99	74%	18%	7%	18%	0%
榎	37	84%	24%	3%	14%	0%
学園	119	82%	23%	3%	14%	0%
岸	139	79%	11%	4%	16%	0%
三ツ藤	118	74%	14%	6%	19%	0%
三ツ木	179	82%	16%	3%	15%	1%
残堀	121	72%	14%	4%	21%	1%
神明	178	78%	12%	4%	19%	0%
大南	243	76%	16%	6%	17%	0.4%
中央	147	78%	19%	3%	17%	1%
中原	114	78%	17%	5%	16%	1%
中藤	115	82%	22%	3%	15%	0%
本町	189	83%	22%	3%	12%	1%
緑が丘	78	32%	8%	12%	54%	0%
その他市内	58	62%	14%	7%	17%	14%

・自動車等保有状況(複数回答可能)

- ・「持っていない」の割合は75歳以上で高くなり、回答者の27%を占める。
- ・居住地別にみると、緑が丘地区で「持っていない」の割合が38%と最も高く、「自転車」の割合が46%と最も低い。

年代不明含む

表 1-3 年齢階層別、自動車等保有状況

年齢階層	回答者数	自動車	バイク、 原付	自転車	持っていない	不明
全体	1934	66%	10%	61%	10%	2%
65歳未満	1156	72%	12%	66%	7%	0%
65歳以上75歳未満	433	69%	8%	61%	9%	2%
75歳以上	287	43%	3%	47%	27%	3%

表 1-4 居住地別、自動車等保有状況

地区	回答者数	自動車	バイク、 原付	自転車	持っていない	不明
全体	1934	66%	10%	61%	10%	2%
伊奈平	99	68%	9%	57%	15%	1%
榎	37	84%	5%	59%	8%	0%
学園	119	70%	6%	66%	9%	0%
岸	139	71%	8%	57%	10%	0%
三ツ藤	118	62%	8%	56%	14%	2%
三ツ木	179	74%	9%	58%	7%	1%
残堀	121	62%	14%	63%	14%	2%
神明	178	70%	7%	63%	8%	1%
大南	243	60%	7%	70%	9%	1%
中央	147	69%	11%	65%	6%	1%
中原	114	71%	12%	54%	10%	2%
中藤	115	74%	17%	59%	10%	0%
本町	189	72%	16%	66%	6%	2%
緑が丘	78	23%	3%	46%	38%	4%
その他市内	58	55%	5%	55%	9%	16%

## 問2 日常生活の行動

### ・日常で、最も多く外出する用件

- ・60代以上から「通勤」の割合が低くなっている。
- ・60代以上から「買い物」「通院」の割合が高くなっている。

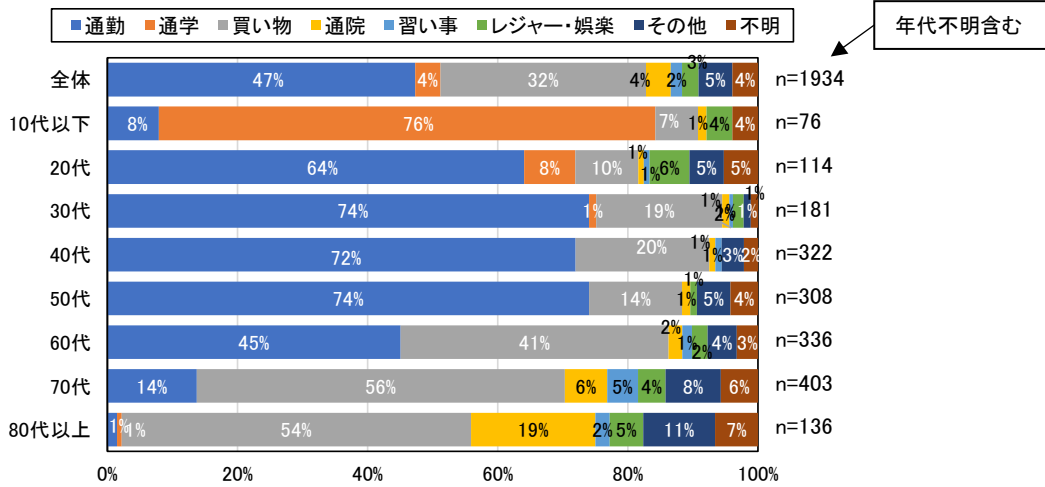


図 1-4 年齢階層別、外出目的構成比

### 問2-1 外出頻度

- ・通勤、通学では「週に4日以上」の割合が最も高く、それぞれ93%、83%である。
- ・買い物では他の項目と比べて「週に2、3日」の割合が高く、51%である。
- ・通院では他の項目と比べて「月に3日以下」の割合が高く、32%である。

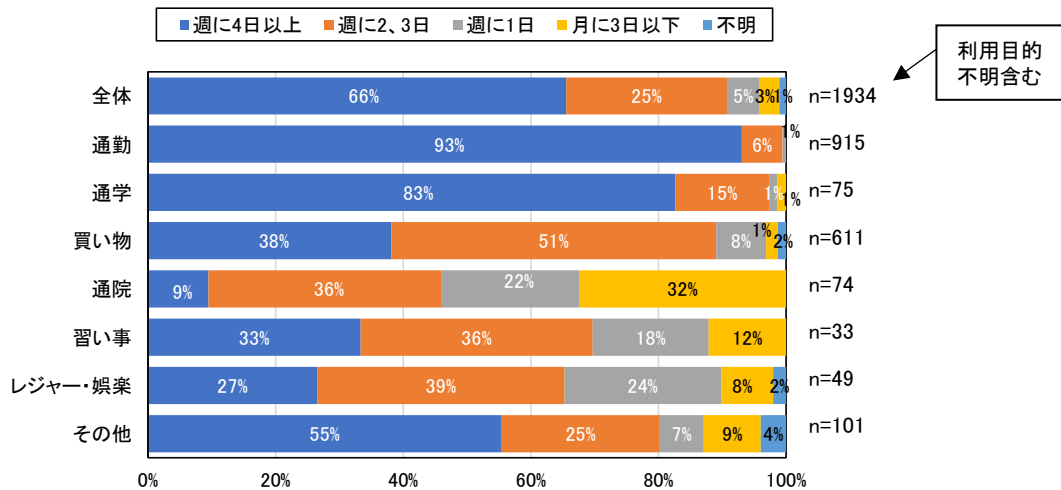


図 1-5 外出目的別、外出頻度構成比

## 問2-2 出発時間と帰宅時間

・通勤、通学目的の出発時間では「早朝～8時台」の割合が最も高く、それぞれ 82%、71%である。帰宅時間では「18～20時台」の割合が最も高く、それぞれ 54%、40%である。他の項目と比べて出発時間は早く、帰宅時間は遅い傾向である。

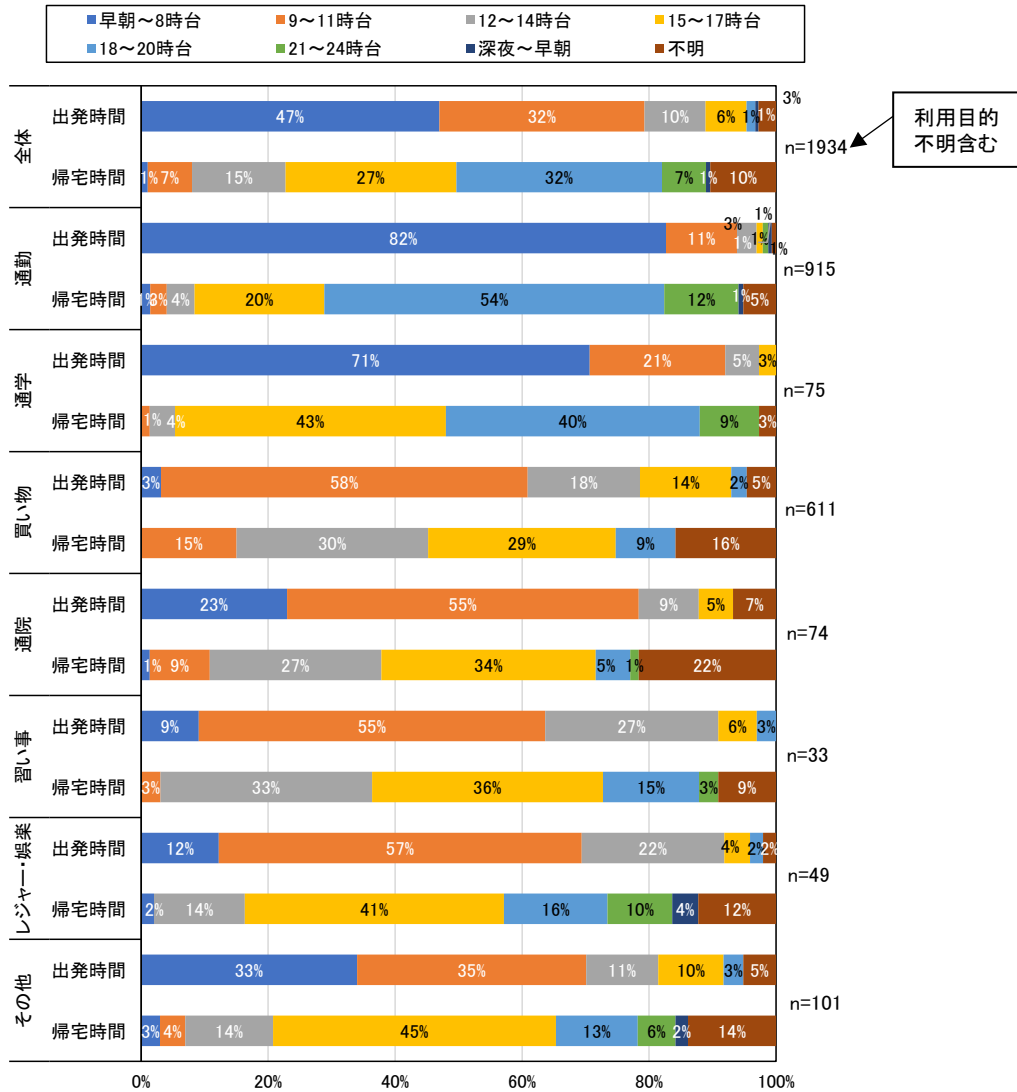


図 1-6 外出目的別、出発(帰宅)時間帯構成比

問2-3 最終目的地の施設名(市外の場合は市町村名)

- ・市内では「イオンモール」が最も多く 384 件である。
- ・市外では「立川市」で 176 件が最も多く、次いで「瑞穂町」148 件、「東大和市」137 件である。

表 1-5 外出先最終目的地

目的地	件数	目的地	件数
イオンモール	384	会社・職場(市内)	9
立川市	175	伊奈平	9
瑞穂町	147	福生市	8
東大和市	138	埼玉県所沢市	8
いなげや	65	武蔵村山市内	8
武蔵村山病院	57	渋谷区	8
昭島市	55	埼玉県狭山市	8
会社・職場	49	港区	8
いなげや残堀店	35	病院	8
青梅市	24	三鷹市	7
新宿区	24	あきる野市	7
府中市	23	多摩市	7
八王子市	22	国分寺市	7
小平市	21	神奈川県川崎市	7
東村山市	19	西東京市	6
たいらや	19	中央区	6
ダイエー武蔵村山店	18	スーパーシモダ	6
いなげやむさし村山店	18	豊島区	5
村山医療センター	17	杉並区	5
羽村市	14	練馬区	5
武蔵村山市役所	13	横田基地	5
日野市	13	町田市	5
ダイエー	13	ヤオコー	5
オザム	13	世田谷区	5
埼玉県入間市	12	江東区	4
市民総合センター	11	武蔵野市	4
イトーヨーカドー	11	中野区	4
オザム村山店	11	埼玉県川越市	4
国立市	10	東京23区	4
玉川上水駅	10	ふれあいセンター	4
総合体育館	10	学校	4
スーパー	10	郵便局	4
千代田区	9	スーパーさえき	4

\*4 件以上を抽出



問2-3 移動目的別、最終目的地の施設名(市外の場合は市町村名)

- ・通勤・通学目的において、「立川市」が最も多く113件、次いで「東大和市」75件、「イオンモール」69件である。
- ・買い物目的において、「イオンモール」が最も多く256件、次いで「瑞穂町」67件、市内外不明の「いなげや」57件である。
- ・通院目的において、「武蔵村山病院」が最も多く21件、次いで「イオンモール」10件である。
- ・その他目的において、「イオンモール」が最も多く49件、次いで「立川市」30件である。

表 1-6 通勤・通学目的移動者の外出先最終目的地

目的地	件数
立川市	113
東大和市	75
イオンモール	69
瑞穂町	64
会社・職場	43
昭島市	42
八王子市	21
府中市	21
新宿区	21
青梅市	19
小平市	16
東村山市	13
日野市	13
羽村市	13
村山医療センター	11
埼玉県入間市	10
伊奈平	9
福生市	8
国立市	8
千代田区	8
会社・職場(市内)	8
市民総合センター	8
いなげや残堀店	8
武蔵村山市役所	7

表 1-7 買い物目的移動者の外出先最終目的地

目的地	件数
イオンモール	256
瑞穂町	67
いなげや	57
東大和市	45
いなげや残堀店	27
立川市	23
いなげやむさし村山店	16
たいらや	16
武蔵村山病院	14
ダイエー	11
オザム	11
ダイエー武蔵村山店	10
オザム村山店	10
イトーヨーカドー	8
昭島市	7
スーパー	6
スーパーシモダ	5
会社・職場	4
病院	4

表 1-8 通院目的移動者の外出先最終目的地

目的地	件数
武蔵村山病院	21
イオンモール	10
立川市	9
東大和市	7
村山医療センター	4
スーパー	4

表 1-9 その他目的移動者の外出先最終目的地

目的地	件数
イオンモール	49
立川市	30
武蔵村山病院	15
瑞穂町	14
東大和市	11
総合体育館	7
昭島市	6
東村山市	6
武蔵村山市役所	5
いなげや	5

\*各表、4件以上を抽出

問2-4 最終目的地までの移動手段 鉄道、モノレールの利用の有無

- ・鉄道、モノレールの利用は「利用する」が全体の 23.8%、「利用しない」が全体の 58.0%の割合を占めており、「利用しない」の方が 34.2 ポイント高い。
- ・移動目的において、「利用する」の割合は通学目的で 63%と最も高く、次いでレジャー・娯楽目的で 50%、通院目的で 44%の割合を占める。
- ・居住地においてその他市内地区を除くと、「利用する」の割合は大南地区で 40%と最も高く、次いで緑が丘地区で 39%の割合を占める。

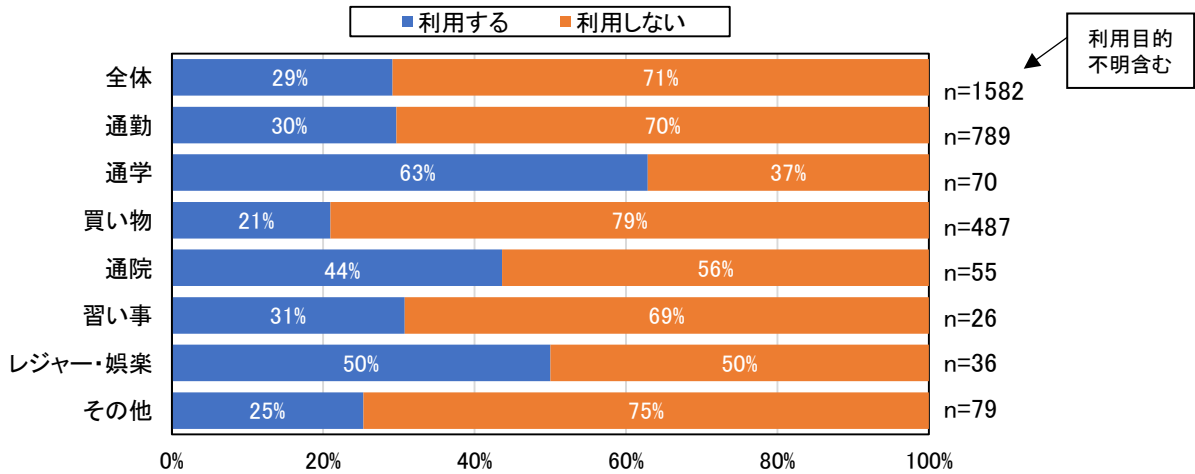


図 1-7 移動目的別、鉄道、モノレールの利用有無構成比

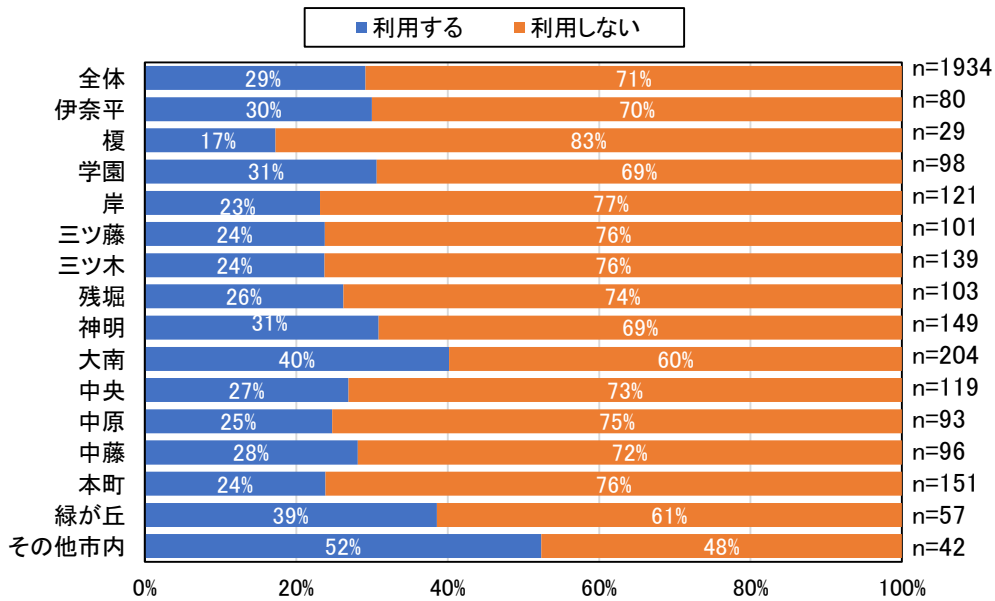


図 1-8 居住地別、鉄道、モノレールの利用有無構成比

問2-4 ア 最終目的地までの主な移動手段 鉄道、モノレールを利用しない場合

- ・移動目的において、通学目的では「自転車」「路線バス」の割合はそれぞれ 65%、15%と他の項目と比べて高い割合を示す。
- ・通院目的では「送迎(家族等による)」「タクシー」「MM シャトルバス」の割合はそれぞれ 42%、13%、13%と他の項目と比べて高い割合を示す。
- ・居住地において、「徒歩」「自転車」の合計割合は緑が丘地区で 49%と最も高く、次いで大南地区で 42%の割合を占める。

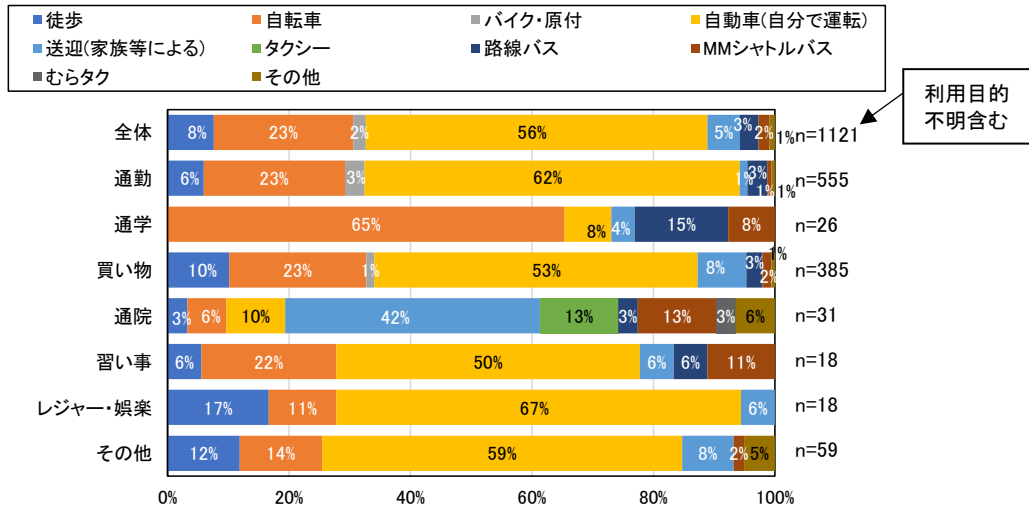


図 1-9 外出目的別、主な移動手段構成比

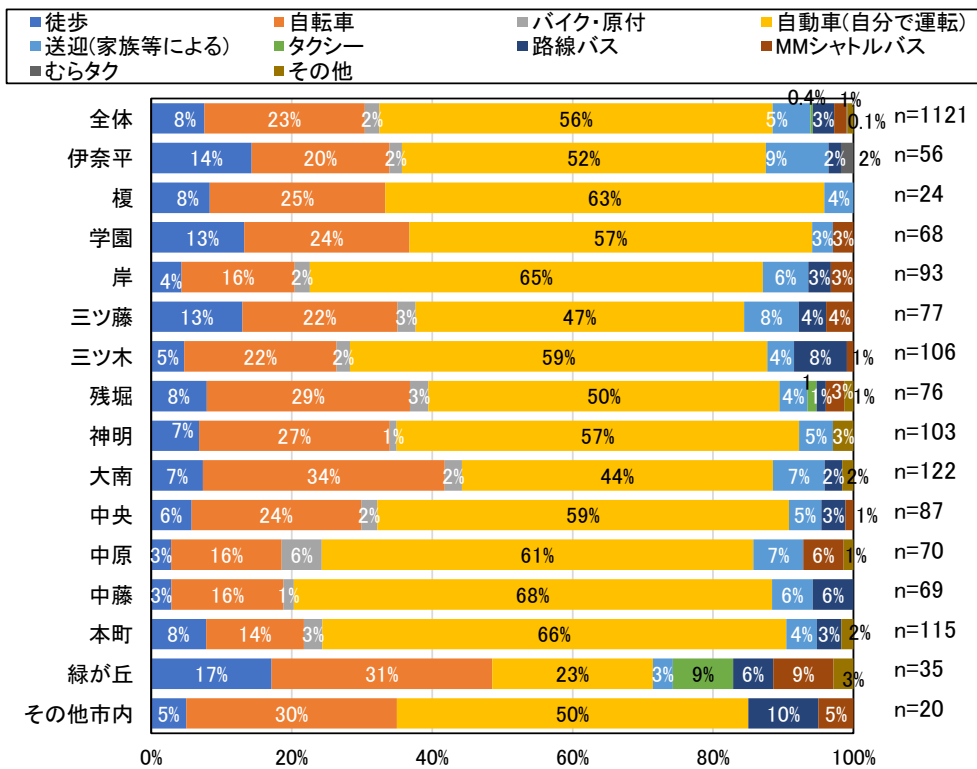


図 1-10 居住地別、主な移動手段構成比

問2-4 イ 最終目的地までの移動手段 鉄道、モノレールを利用する場合 最初に利用する駅

- ・全体として、「上北台駅」の割合が最も高く、回答者の 24.7%を占める。次いで、「玉川上水駅」で 20.2%、「立川駅」で 12.8%、「昭島駅」で 12.1%の割合を占める。
- ・「その他」は甲州街道駅が 2 件、中神駅が 1 件である。
- ・居住地において、「上北台駅」は神明、中藤、中央地区、「桜街道駅」は緑が丘地区、「玉川上水駅」は大南、学園、緑が丘地区、「昭島駅」は伊奈平、残堀、中原地区、「箱根ヶ崎駅」は岸地区、「西武立川駅」は伊奈平、中原、残堀地区、「武蔵砂川駅」は三ツ藤、榎、大南地区で高い割合を占める。
- ・「立川北駅」「立川駅」の合計割合は榎、三ツ木地区で高い。

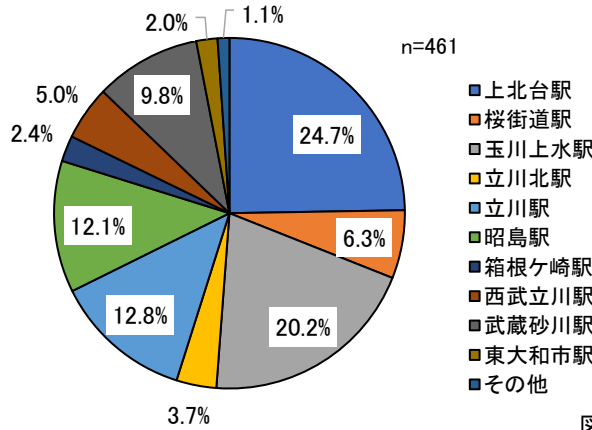


図 1-11 最初に利用する駅構成比

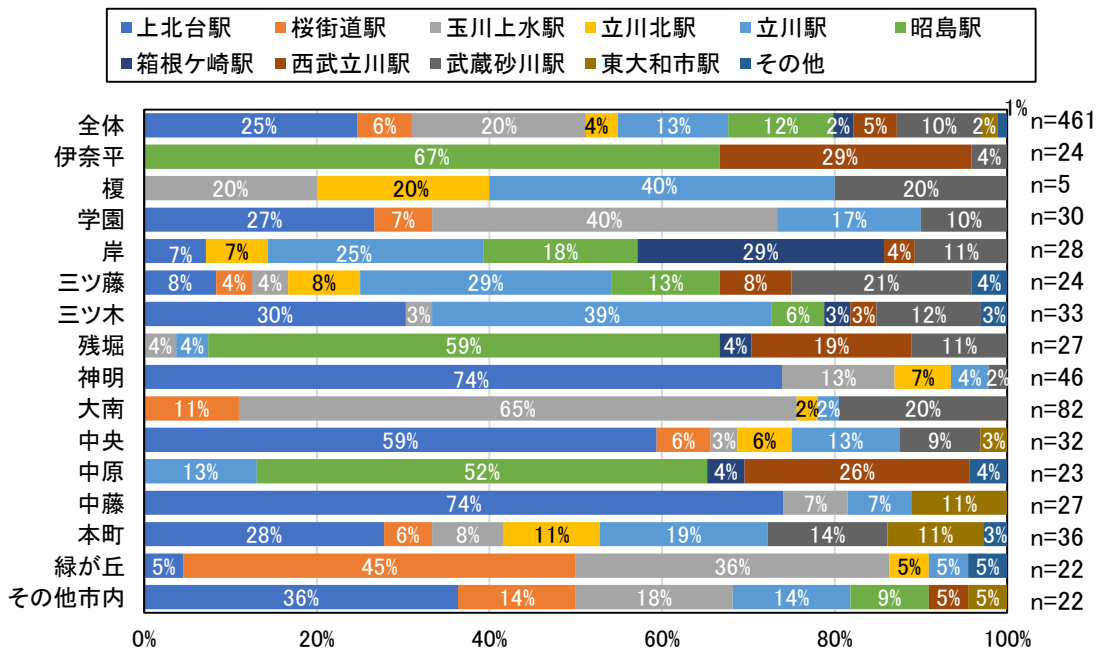


図 1-12 居住地別、最初に利用する駅構成比

問2-4 ウ 最終目的地までの移動手段 鉄道、モノレールを利用する場合 最初に利用する駅までの主な移動手段

・駅へのアクセスにおいて、「徒歩」の割合は桜街道駅で 41%と最も高く、次いで東大和市駅で 38%の割合を占める。

・「自転車」の割合は玉川上水駅で 51%と最も高く、次いで武蔵砂川駅で 48%の割合を占める。

・「路線バス」の割合は立川駅で 72%と最も高く、次いで立川北駅で 54%、昭島駅で 52%の割合を占める。

・「MM シャトルバス」の割合は上北台駅で 23%と最も高い。

・居住地において、「徒歩」は大南、中藤地区、「自転車」は大南、神明、学園、伊奈平地区、「自動車(自分で運転)」は本町、中原地区、「送迎(家族等による)」は榎、三ツ藤、残堀地区、「路線バス」は中原、残堀、岸地区、「MM シャトルバス」は中央、三ツ木地区で高い割合を占める。

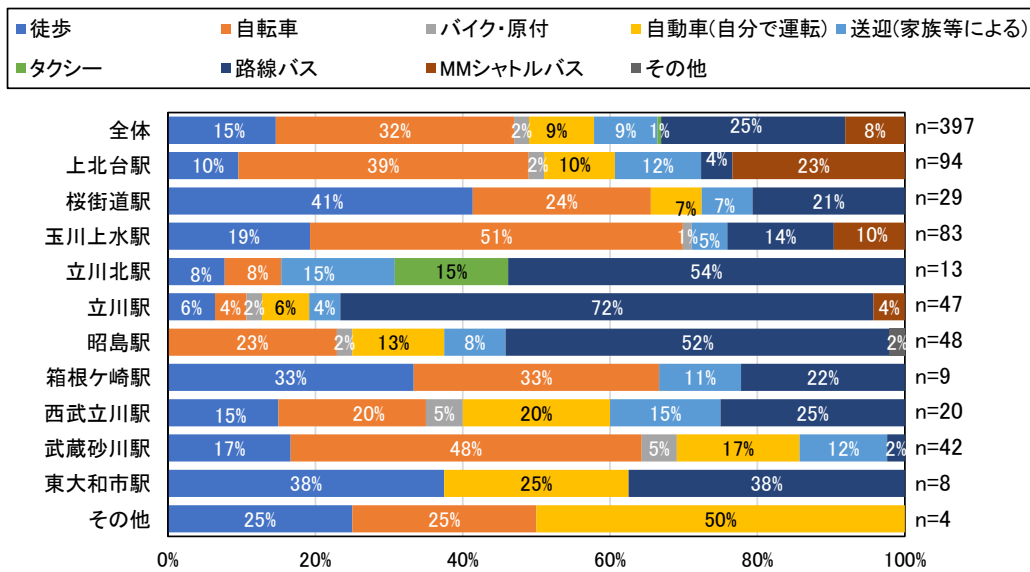


図 1-13 最初に利用する駅別、駅アクセス主要移動手段構成比

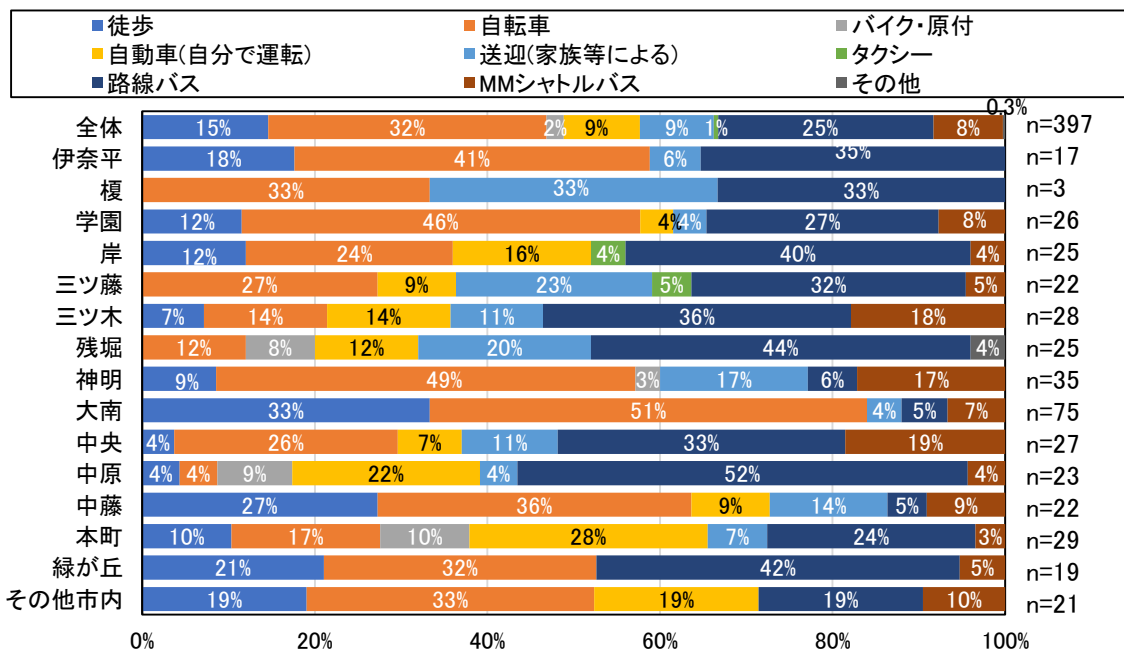


図 1-14 居住地別、駅アクセス主要移動手段構成比

問2-5 MMシャトルを利用しない理由(最大3つ回答可能)

- ・「他の交通手段(路線バス、自動車など)の方が便利」の割合は回答者の43~65%でどの地区においても最も高く占める。
- ・「目的地までバス路線がない」の割合は中原地区で37%と最も高く、次いで三ツ木地区で30%の割合を占める。
- ・「平日の運行本数が少ない」の割合は三ツ藤地区で28%と最も高く、次いで中原地区で26%の割合を占める。
- ・「バス停が家の近くにない、遠い」の割合は中藤地区で50%と最も高く、次いで伊奈平地区で30%の割合を占める。
- ・「迂回が多く所要時間がかかる」の割合は学園地区で28%と最も高く、次いで中央地区で25%の割合を占める。

表 1-10 居住地区別、MM シャトルを利用しない理由

地区	回答者数	始発が遅い	終発が早い	目的地までバス路線がない	平日の運行本数が少ない	休日の運行本数が少ない	バス停が家の近くにない、遠い
全体	1659	6%	3%	23%	17%	4%	15%
伊奈平	94	1%	0%	30%	11%	5%	30%
榎	36	14%	8%	22%	19%	0%	17%
学園	105	10%	8%	15%	15%	1%	10%
岸	119	7%	3%	29%	14%	5%	15%
三ツ藤	101	11%	6%	27%	28%	6%	12%
三ツ木	157	4%	3%	31%	18%	3%	9%
残堀	107	7%	3%	16%	11%	3%	12%
神明	147	9%	5%	24%	18%	5%	10%
大南	210	5%	4%	19%	20%	5%	17%
中央	119	2%	3%	13%	18%	3%	12%
中原	101	4%	3%	37%	26%	2%	6%
中藤	100	2%	1%	19%	13%	4%	50%
本町	165	6%	3%	21%	12%	4%	9%
緑が丘	56	4%	2%	18%	23%	7%	11%
その他市内	42	5%	2%	19%	19%	12%	17%

地区	迂回が多く所要時間がかかる	渋滞などでよく遅れる	目的地が比較的近くバスを利用するまでもない	家族等が自動車などで送迎してくれる	他の交通手段(路線バス、自動車など)の方が便利
全体	20%	3%	18%	10%	56%
伊奈平	10%	1%	18%	15%	44%
榎	22%	3%	22%	8%	53%
学園	28%	2%	20%	10%	56%
岸	13%	3%	17%	10%	57%
三ツ藤	24%	8%	16%	7%	50%
三ツ木	23%	4%	18%	9%	56%
残堀	20%	1%	22%	9%	64%
神明	13%	5%	19%	14%	53%
大南	20%	4%	24%	8%	51%
中央	25%	0%	18%	12%	63%
中原	20%	2%	6%	8%	60%
中藤	21%	0%	12%	9%	60%
本町	22%	2%	14%	13%	65%
緑が丘	21%	7%	27%	9%	43%
その他市内	26%	0%	21%	2%	48%

問2-6 ①② MM シャトルを利用するための条件 希望始発時間と希望終発時間

・始発時間では「～5時台」の割合が回答者の48.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が回答者の23.8%を占める。  
 ・終発時間では「23時台～」の割合が回答者の33.3%と最も高く、次いで「22時台」の割合が回答者の31.1%を占める。

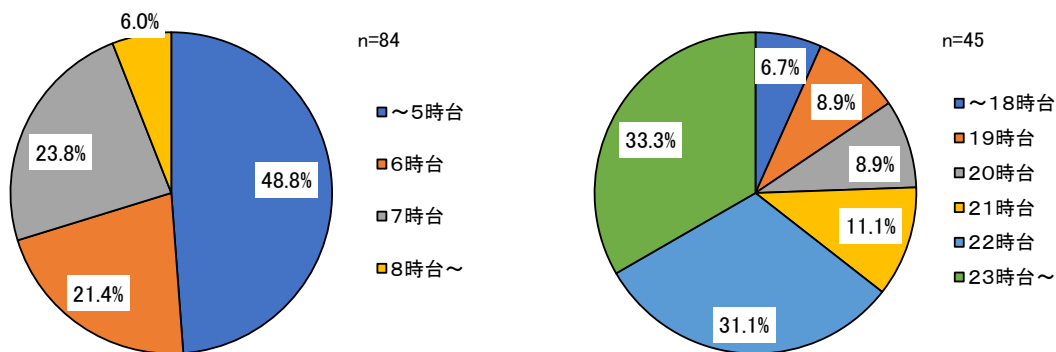


図 1-15 MM シャトル希望始発時間構成比(左図)、希望終発時間構成比(右図)

問2-6 ③ MM シャトルを利用するための条件 行きたい場所・主な施設名

・現行の MM シャトルの路線では行くことのできない場所では、昭島駅で 27 件が最も多く、次いで立川駅 23 件、箱根ヶ崎駅 14 件である。

表 1-11 MM シャトルを利用するための条件 行きたい場所・主な施設

目的地	件数
昭島駅	27
武蔵砂川駅	24
立川駅	23
イオンモール	17
箱根ヶ崎駅	14
西武立川駅	10
玉川上水駅	9
武蔵村山病院	8
武蔵村山市役所	8
昭島市	7
ジョイフル本田	6
東大和市	5
駅	5
会社	4
瑞穂町	4
市民総合センター	3
IHI	3

目的地	件数
小平市	2
上北台駅	2
村山医療センター	2
立川市	2
玉川上水	2
砂川七番駅	2
東大和市駅	2
伊奈平	2
市内全域	2
ダイエー武蔵村山店	2

\*2 件以上を抽出

問2-6 ④⑤ MM シャトルを利用するための条件 平日希望運行間隔と休日希望運行間隔

- ・平日では「11～20 分」の割合が回答者の 49.8%と最も高く、次いで「～10 分」の割合が回答者の 27.6%を占める。
- ・休日では「11～20 分」の割合が回答者の 58.0%と最も高く、次いで「21～30 分」の割合が回答者の 22.0%を占める。
- ・回答者の平均運行間隔は平日で 18.6 分、休日で 19.3 分であり、平日の方が短い。

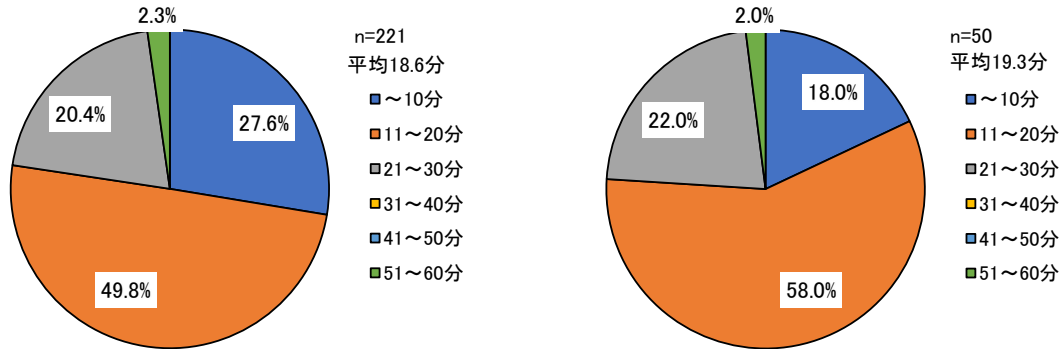


図 1-16 MM シャトル平日希望運行間隔構成比(左図)、休日希望運行間隔構成比(右図)



### 問3 MMシャトルについて

#### ・問3-1 日頃のMMシャトル利用頻度、問3-2 ア MMシャトルで最も利用する路線

- ・利用頻度では、「ほとんど利用しない」の割合が全体の82.3%と最も高く、次いで「月に数回」の割合が全体の7.7%を占める。
- ・居住地で見ると、「週に4日以上」「週に2、3日」「週に1日」の合計割合は三ツ藤地区で10%と最も高く、次いで中原地区で9%を占める。
- ・利用頻度で「週に4日以上」「週に2、3日」「週に1日」と回答した方々の利用路線では、「上北台ルート」の割合が41.1%と最も高く、次いで「玉川上水ルート」で25.3%である。

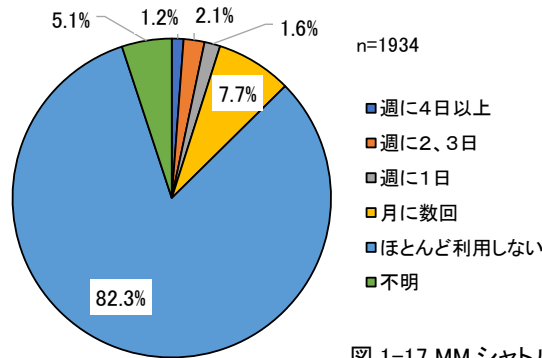


図 1-17 MM シャトル利用頻度構成比

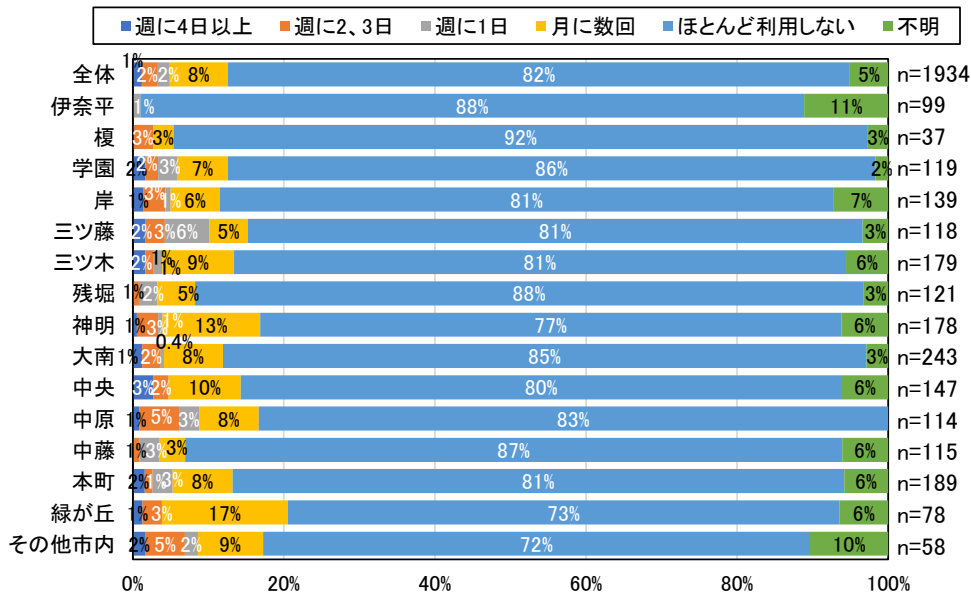


図 1-18 居住地別、MM シャトル利用頻度構成比

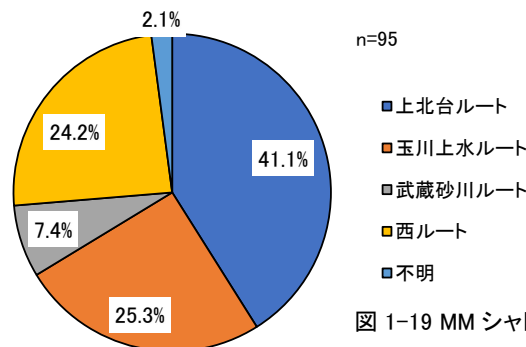


図 1-19 MM シャトル利用路線構成比

### 問3-2 イ MM シャトルの乗降バス停

・上北台駅で乗降件数が 26 件と最も多く、次いでイオンモール 14 件、総合体育館、玉川上水駅で 8 件である。

表 1-12 MM シャトル乗降バス停

MMシャトルバス停	乗車件数	降車件数	乗降件数
上北台駅	0	26	26
イオンモール	1	13	14
総合体育館	2	6	8
玉川上水駅	2	6	8
大南二丁目	4	3	7
武蔵村山市役所前	4	2	6
神明三丁目	5	1	6
武蔵村山高校南	5	1	6
三ツ藤中央通り	6	0	6
武蔵砂川駅	0	5	5
横田	4	1	5
三ツ藤	4	1	5
中原二丁目	4	1	5
公園西	3	1	4
村山医療センター	0	4	4
原山	3	1	4
神明二丁目	3	1	4
総合体育館入口	3	1	4
武蔵村山病院	0	4	4
学南通り	3	1	4
第三中学校	2	1	3
村山団地	2	1	3
峰	3	0	3
いずみ幼稚園	3	0	3
学園	2	0	2
大南三丁目	2	0	2
薬師堂前	2	0	2
村山温泉かたくりの湯	2	0	2
五中南	2	0	2
富士見通り	1	1	2

\*乗降件数 2 件以上を抽出

### 問3-2 ウ MM シャトルの乗車時間帯

・「早朝～8 時台」の割合が回答者の 42.1%と最も高く、次いで「9～11 時台」の割合が回答者の 37.9%を占める。

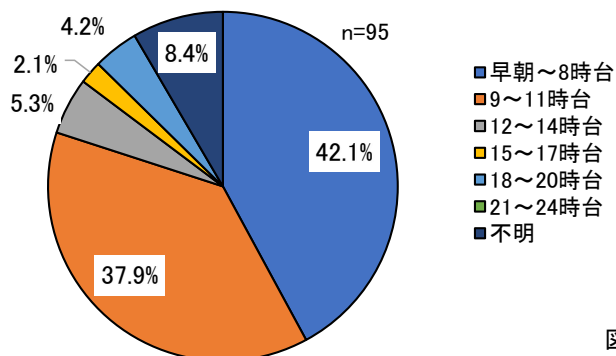


図 1-20 MM シャトル乗車時間帯構成比

### 問3-3 MM シャトルの利用満足度

・次の6項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。  
 「平日の運行本数が少ない」で83%、「休日の運行本数が少ない」で76%、「始発が遅い」で61%、「終発が早い」で61%、「迂回が多く所要時間がかかる」で55%、「渋滞でよく遅れる」で50%の割合を占める。  
 ・「総合的にみたMMシャトルの満足度」では「不満」「やや不満」を合わせて52%の割合を占める。

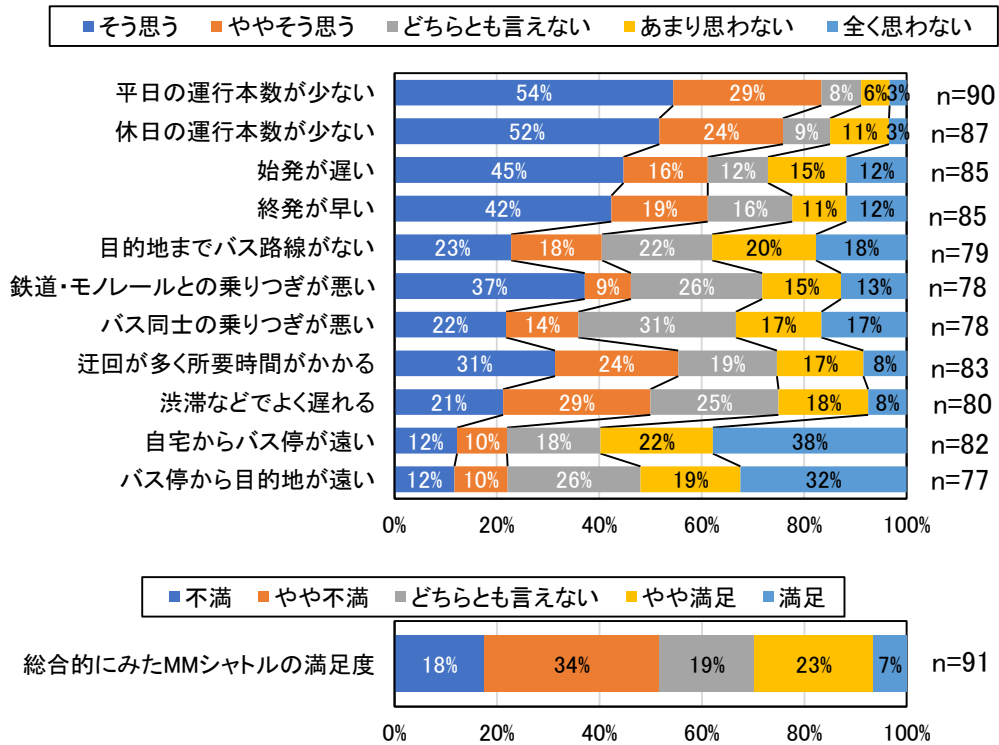


図 1-21 MM シャトル利用満足度構成比

## 問4 MM シャトルの必要性や運営について

### 問4-1 MM シャトルの必要性について、ご自身の考えに最も近いもの

- ・MM シャトルの利用頻度における「ほとんど利用しない」と回答した方々に関して、他の項目と比べて「現在も将来も特に必要性を感じない」と回答した割合が24%と高い。
- ・MM シャトルの利用頻度「月に数回」「ほとんど利用しない」と回答した方々でも、「現在は特に必要性を感じないが、将来高齢になったときなどには必要な移動手段」と回答した割合がそれぞれ48%、65%であり、回答者の半数近く、半数を超える。
- ・年齢階層で見ると、若い年代ほど「現在も将来も特に必要性を感じない」の割合が高い傾向にある。

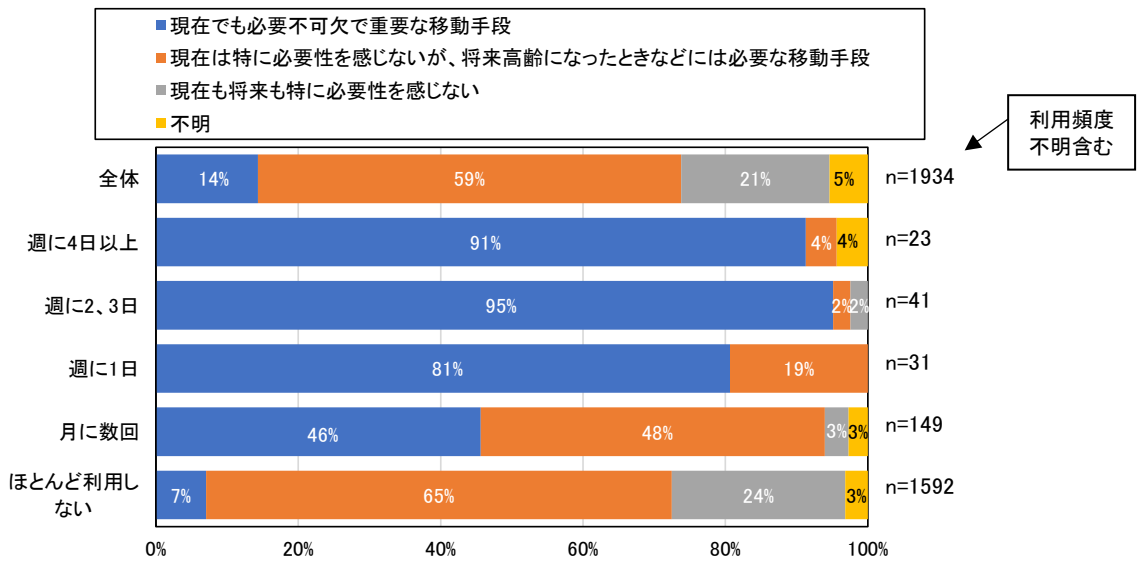


図 1-22 MM シャトル利用頻度別、MM シャトルの必要性についての考えの構成比

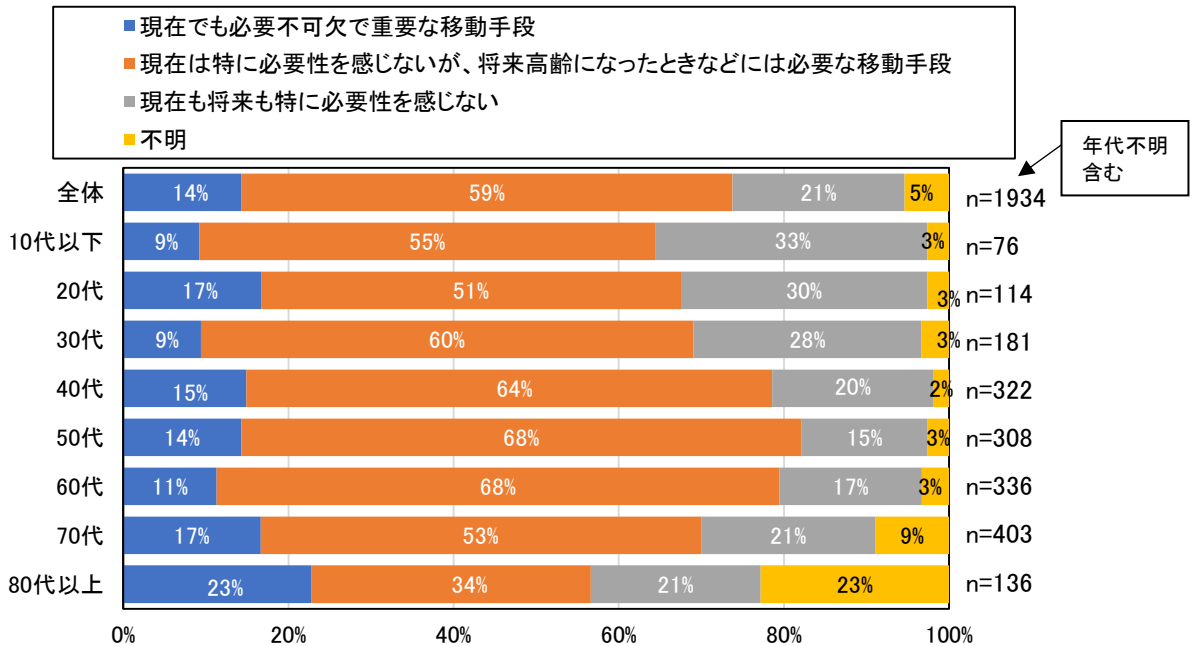


図 1-23 年代別、MM シャトルの必要性についての考えの構成比

#### 問4-2 MM シャトルの運営について、ご自身の考えに最も近いもの

・MM シャトルの利用頻度が低いほど、「運営はMM シャトル利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小・廃止されるのはやむを得ない」の割合が高く、利用頻度「ほとんど利用しない」と回答した方々に関してその割合は34%を占める。

・「運営はMM シャトル利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小・廃止されるのはやむを得ない」の割合は20代で54%と最も高く、次いで10代以下で46%を占める。

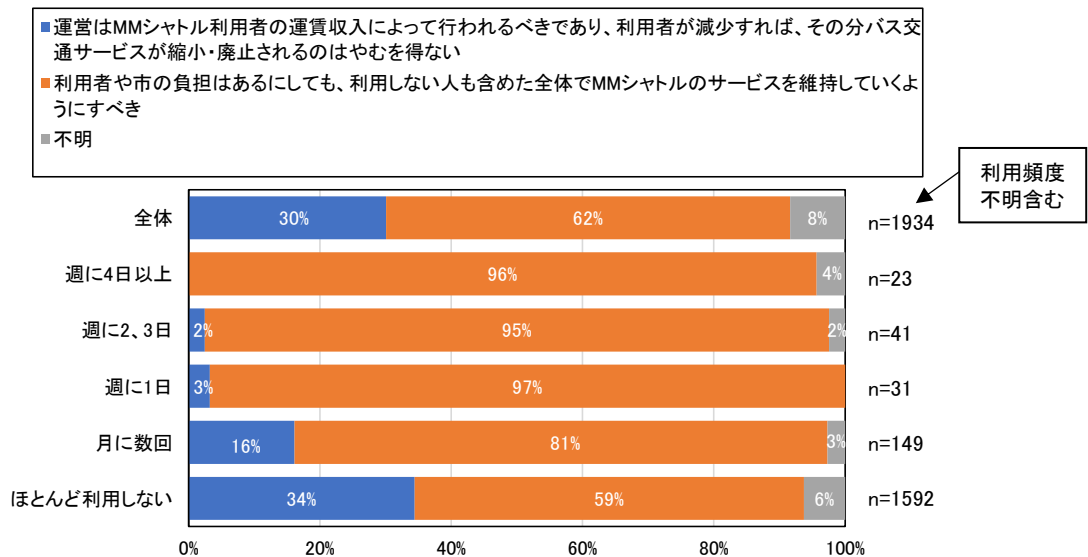


図 1-24 MM シャトル利用頻度別、MM シャトルの運営についての考えの構成比

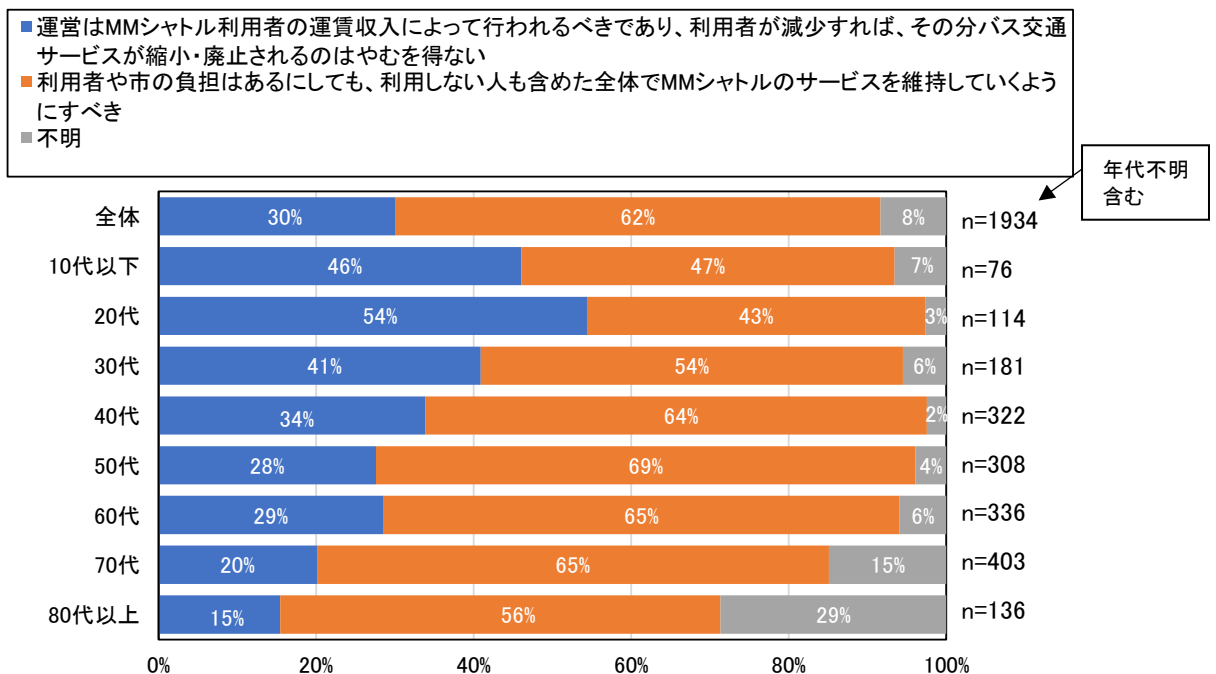


図 1-25 年代別、MM シャトルの運営についての考えの構成比

問4-3 運営が厳しい場合の MM シャトルのサービスの維持のあり方として、ご自身の考えに最も近いもの

・MM シャトルの利用頻度「ほとんど利用しない」と回答した方々に関して、「運賃の値上げなど利用者の負担を基本として、市(税金など)の費用負担はできるだけ抑えて維持していく」の割合が他の利用頻度の項目と比べて低い方で、16%の割合を占める。

・「運賃の値上げなど利用者の負担を基本として、市(税金など)の費用負担はできるだけ抑えて維持していく」の割合は 40代で 20%と最も高く、次いで 20代、30代、70代で 18%を占める。

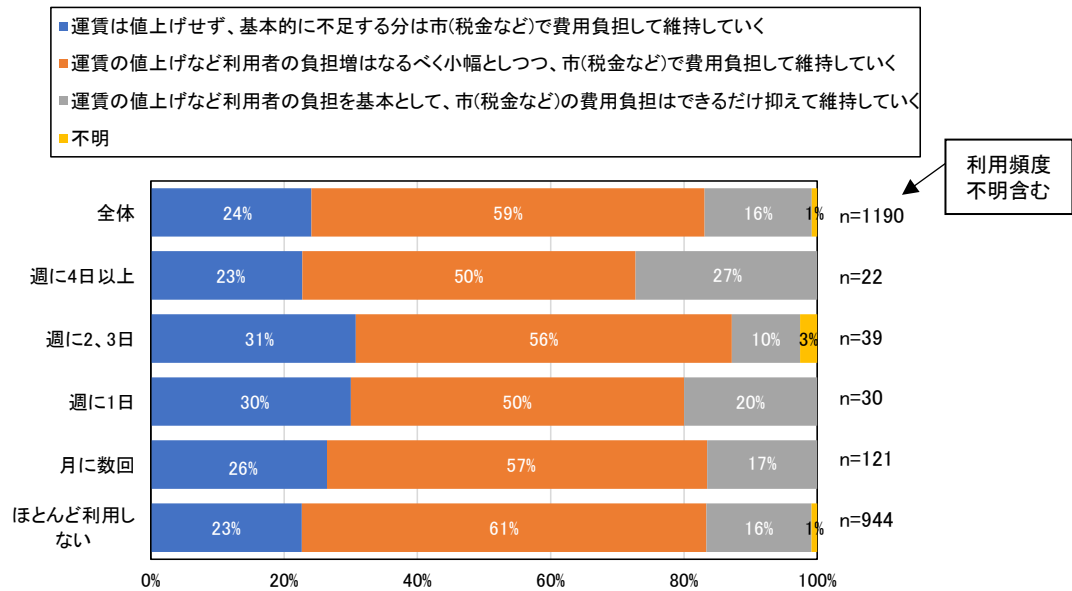


図 1-26 MM シャトル利用頻度別、運営の厳しい場合の MM シャトルの維持のあり方についての考えの構成比

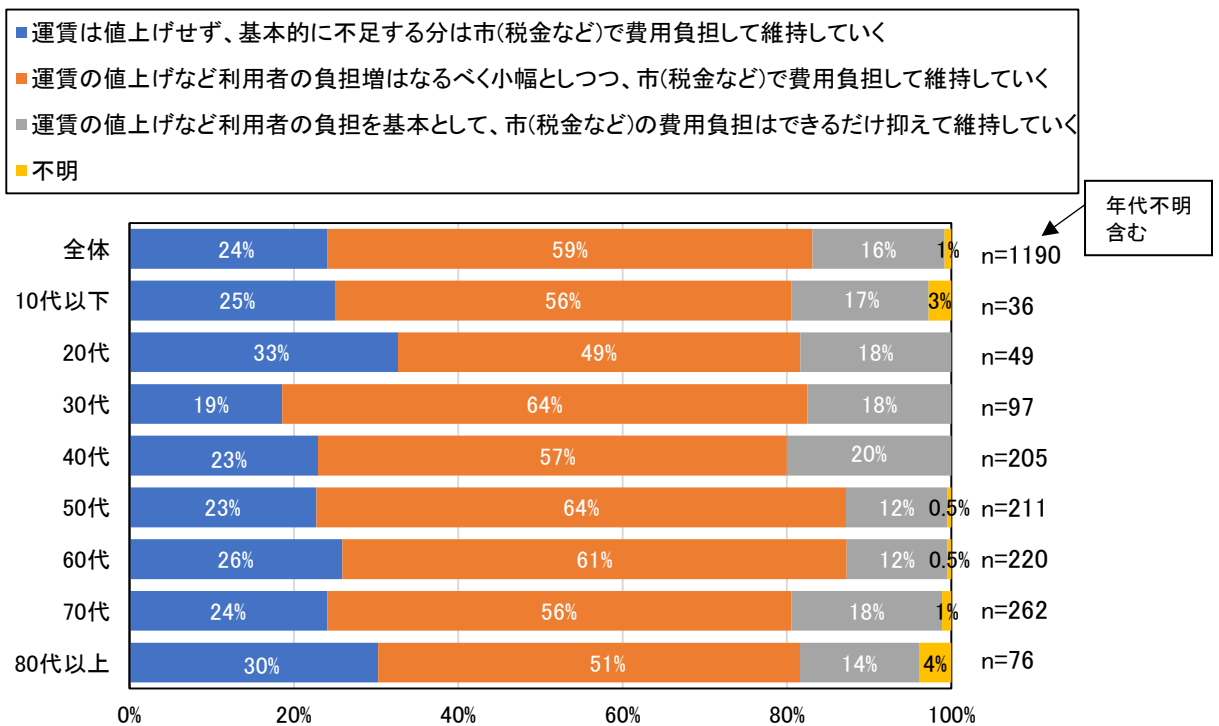


図 1-27 年代別、運営の厳しい場合の MM シャトルの維持のあり方についての考えの構成比

問5 むらタクについて

問5-1 むらタクをご存じですか。

・「名前だけ知っている」「運行内容も知っている」を合わせた割合が全体で 54%であり、過半数を超えてむらタクの存在が知られている。  
 ・「名前だけ知っている」「運行内容も知っている」を合わせた割合が最も高い地区は伊奈平であり、回答者の 57%を占める。

\*□で囲まれた地区はむらタク利用登録可能なエリア

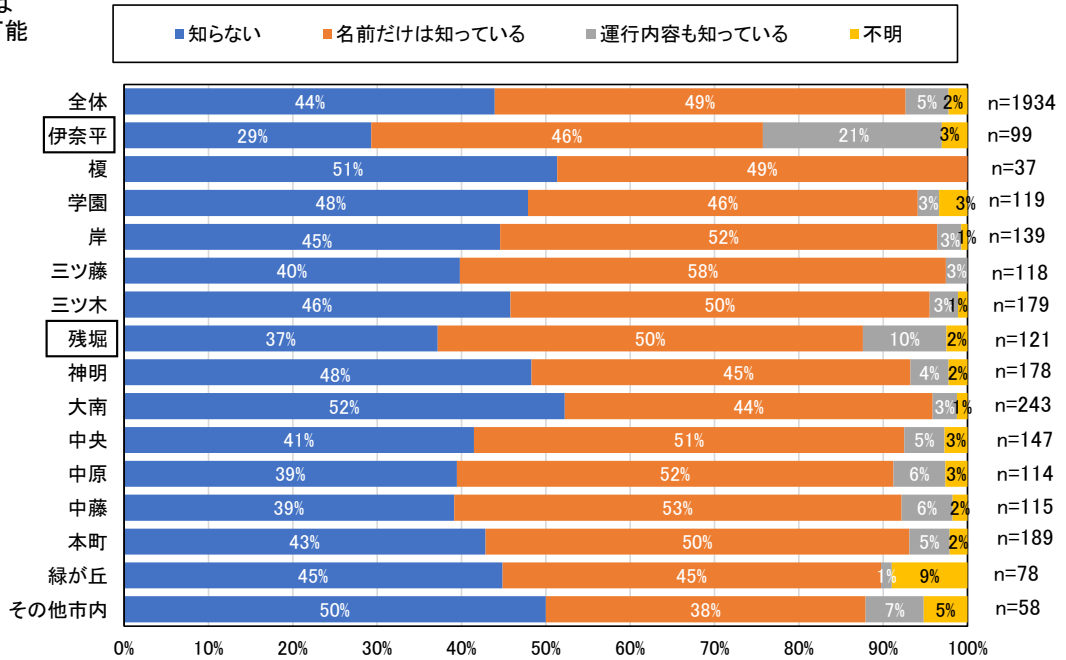


図 1-28 居住地別、むらタクの認知度の構成比

・むらタクの認知度はむらタク利用登録可能なエリアに係る地区(伊奈平、残堀)で他の地区と比べて高い。

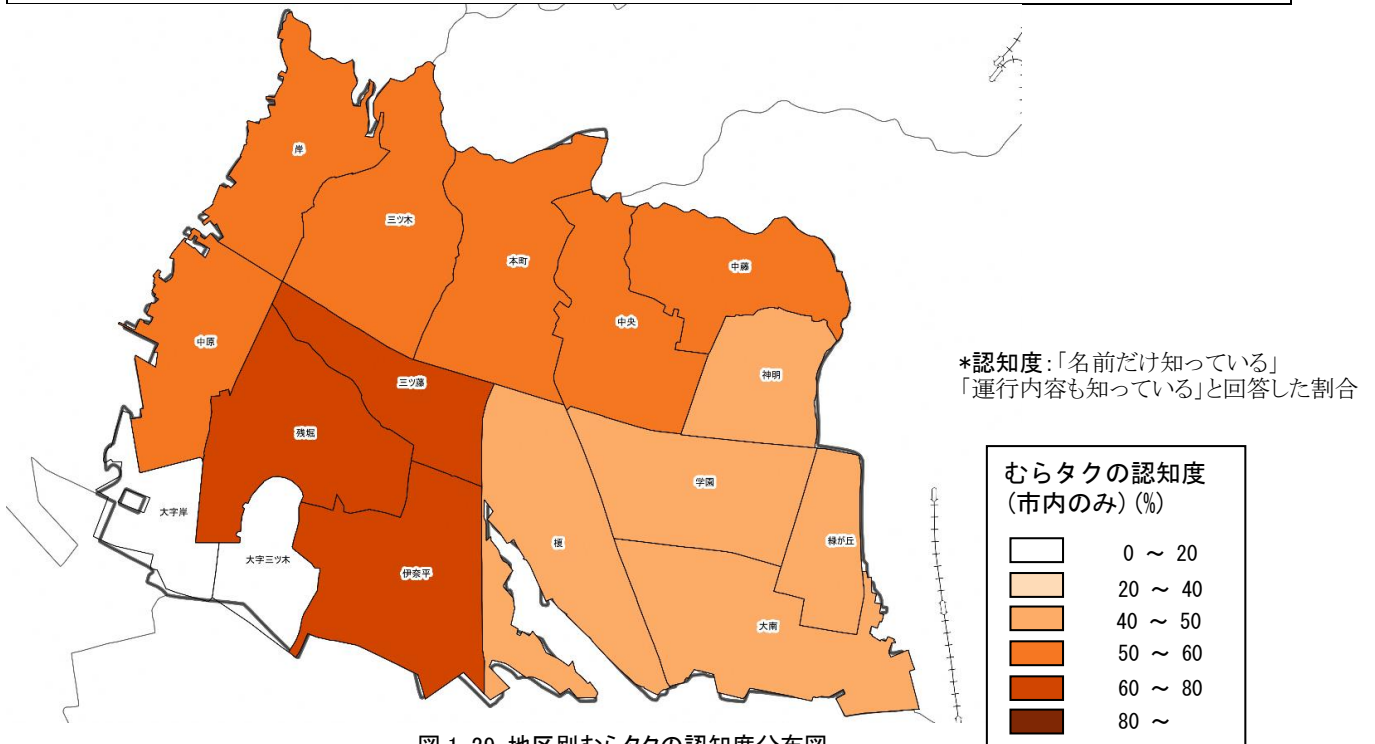


図 1-29 地区別むらタクの認知度分布図

・「名前だけ知っている」「運行内容も知っている」を合わせた割合が最も高い年代は 70 代であり、68%を占める。

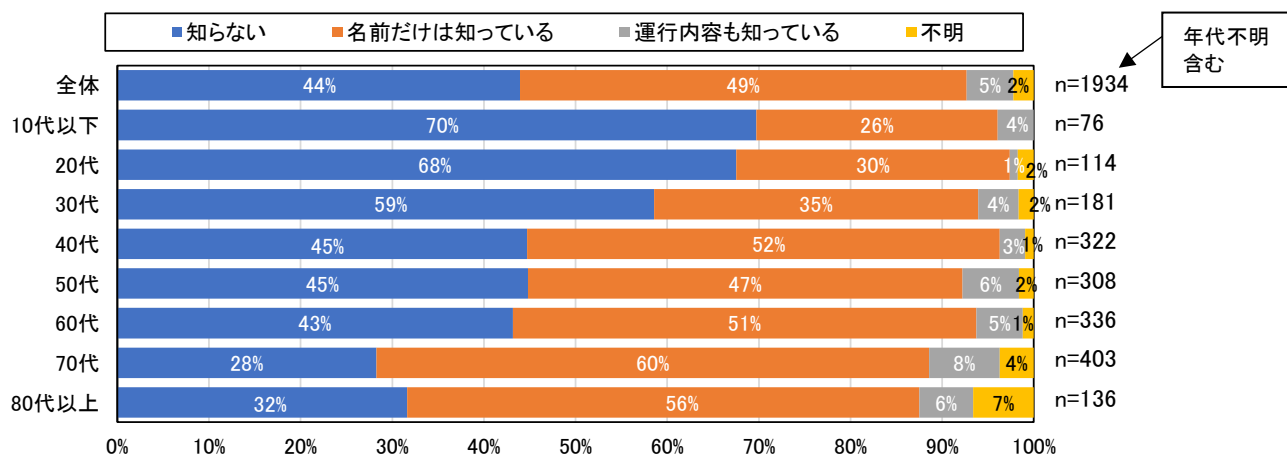


図 1-30 年代別、むらタクの認知度構成比

問5-2 あなたのお住まいの地域にむらタクを導入した場合、利用したいですか。

・「わからない」の回答がどの地区でも最も多い。  
 ・「すでに利用している」「利用すると思う」を合わせた割合が最も高い地区は伊奈平であり、回答者の 28%を占める。  
 次いで、残堀地区で 26%を占める。すでにむらタクを導入している地区で高い割合を示す。

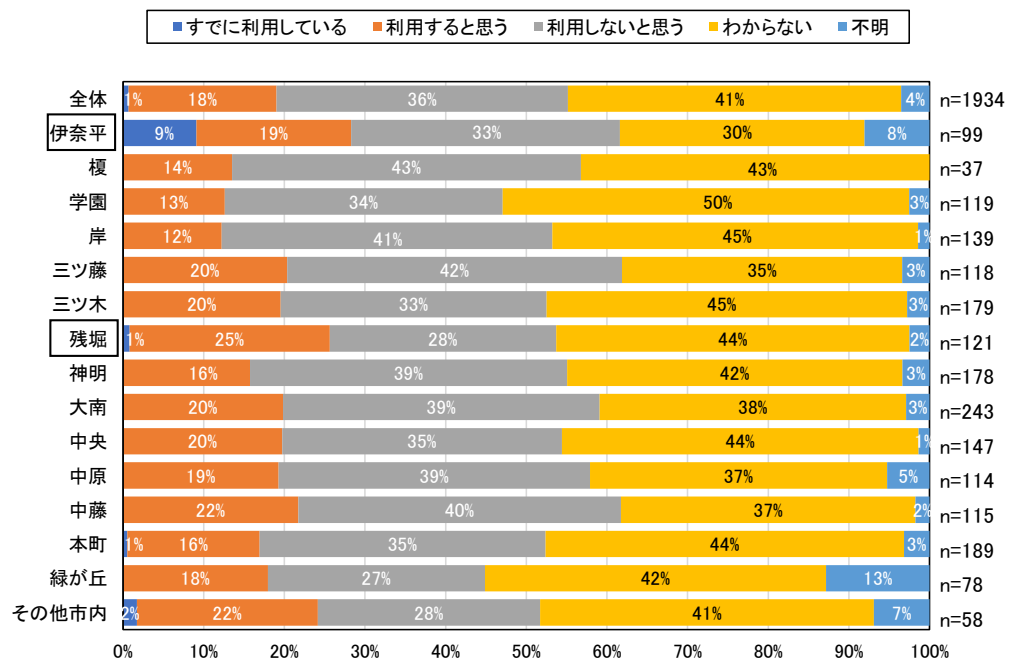


図 1-31 居住地別、むらタクの利用意向構成比  
 \*□で囲まれた地区はむらタク利用登録可能なエリア



・年代が高いほど「利用すると思う」の割合が高い傾向にある。

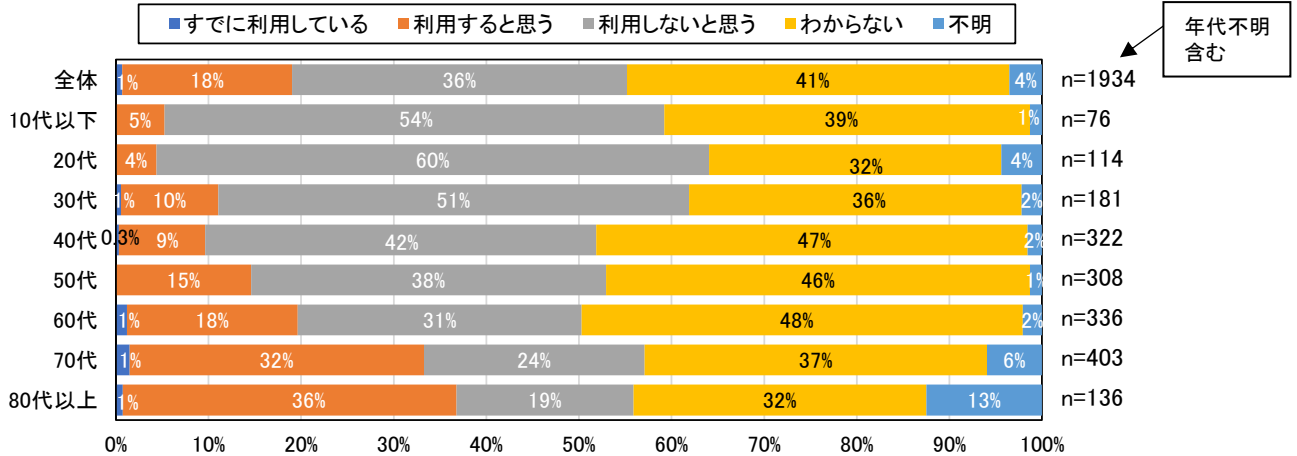


図 1-32 年代別、むらタクの利用意向構成比

問5-3 むらタクを利用する場合、行きたい施設はどこですか。(複数回答可能)

- ・全体で「武蔵村山病院」の割合は 73%と最も高く、次いで「武蔵村山市役所」で 53%、「交通プラザ(イオンモール)」で 42%の割合を占める。これら3か所は地区別においても比較的高い割合を占める。
- ・「村山温泉かたくりの湯」の割合は榎地区で最も高く、80%の割合を占める。
- ・「村山医療センター」の割合は緑が丘地区で 57%と最も高く、次いで本町地区で 42%の割合を占める。

表 1-13 居住地別、むらタク利用の希望行き先地

地区	回答者数	武蔵村山市役所	市民総合センター	福祉会館	村山温泉かたくりの湯	総合体育館	三ツ木地区学習等供用施設	残堀・伊那平地区学習等供用施設
全体	353	53%	23%	7%	25%	18%	3%	5%
伊奈平	19	89%	16%	11%	37%	11%	5%	5%
榎	5	80%	20%	20%	80%	40%	0%	0%
学園	15	47%	13%	0%	27%	20%	0%	0%
岸	17	47%	35%	0%	12%	0%	0%	6%
三ツ藤	23	48%	35%	13%	43%	26%	4%	17%
三ツ木	35	54%	17%	0%	26%	9%	3%	3%
残堀	30	60%	17%	17%	40%	33%	7%	10%
神明	27	48%	4%	0%	15%	15%	0%	0%
大南	48	69%	25%	13%	29%	23%	0%	4%
中央	29	34%	17%	7%	28%	24%	3%	0%
中原	22	64%	45%	9%	14%	14%	5%	14%
中藤	25	64%	52%	8%	12%	28%	0%	0%
本町	31	23%	23%	0%	6%	10%	3%	0%
緑が丘	14	57%	14%	7%	21%	7%	7%	0%
その他市内	13	23%	8%	15%	15%	0%	15%	8%

地区	第二老人福祉館	緑が丘ふれあいセンター	交通プラザ(イオンモール)	武蔵村山病院	村山医療センター	武蔵村山郵便局	その他の施設
全体	1%	5%	42%	73%	29%	22%	16%
伊奈平	5%	5%	26%	79%	26%	42%	5%
榎	0%	20%	0%	0%	0%	40%	0%
学園	0%	7%	33%	67%	7%	7%	0%
岸	0%	0%	41%	65%	29%	18%	24%
三ツ藤	4%	9%	39%	83%	39%	22%	22%
三ツ木	0%	0%	46%	83%	23%	26%	20%
残堀	7%	7%	43%	73%	30%	30%	20%
神明	0%	0%	37%	63%	15%	11%	22%
大南	0%	6%	46%	67%	27%	13%	6%
中央	0%	7%	41%	72%	34%	28%	28%
中原	0%	9%	50%	82%	36%	23%	23%
中藤	4%	8%	52%	80%	36%	48%	12%
本町	0%	6%	55%	90%	42%	10%	10%
緑が丘	0%	0%	36%	57%	57%	14%	14%
その他市内	0%	8%	23%	46%	15%	8%	15%

\*口で囲まれた地区はむらタク利用登録可能なエリア

・どの年代においても、「武蔵村山病院」の割合が最も高い。

表 1-14 年代別、むらタク利用の希望行き先地

年代不明含む		武蔵村山 市役所	市民総合 センター	福祉会館	村山温泉 かたくりの湯	総合体育館	三ツ木地区 学習等供用施設	残堀・伊那平地区 学習等供用施設
年代	回答者数							
全体	353	53%	23%	7%	25%	18%	3%	5%
10代以下	4	50%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
20代	5	0%	0%	0%	20%	20%	0%	0%
30代	19	53%	32%	0%	26%	37%	5%	5%
40代	30	40%	10%	0%	27%	23%	0%	0%
50代	44	61%	32%	2%	25%	14%	2%	5%
60代	62	56%	23%	11%	32%	18%	2%	6%
70代	127	54%	28%	10%	24%	19%	4%	6%
80代以上	49	55%	16%	8%	14%	8%	2%	0%

年代	第二老人 福祉館	緑が丘 ふれあいセンター	交通プラザ (イオンモール)	武蔵村山病院	村山医療 センター	武蔵村山 郵便局	その他の 施設
全体	1%	5%	42%	73%	29%	22%	16%
10代以下	0%	0%	50%	50%	25%	0%	25%
20代	0%	0%	40%	60%	0%	20%	40%
30代	0%	5%	42%	68%	21%	11%	16%
40代	0%	7%	33%	67%	23%	13%	23%
50代	2%	2%	39%	75%	41%	41%	27%
60代	0%	6%	47%	66%	29%	26%	16%
70代	2%	8%	42%	73%	30%	20%	9%
80代以上	2%	2%	45%	88%	31%	20%	10%

問5-3 むらタクを利用する場合、行きたい施設はどこですか。 その他の施設記述内容

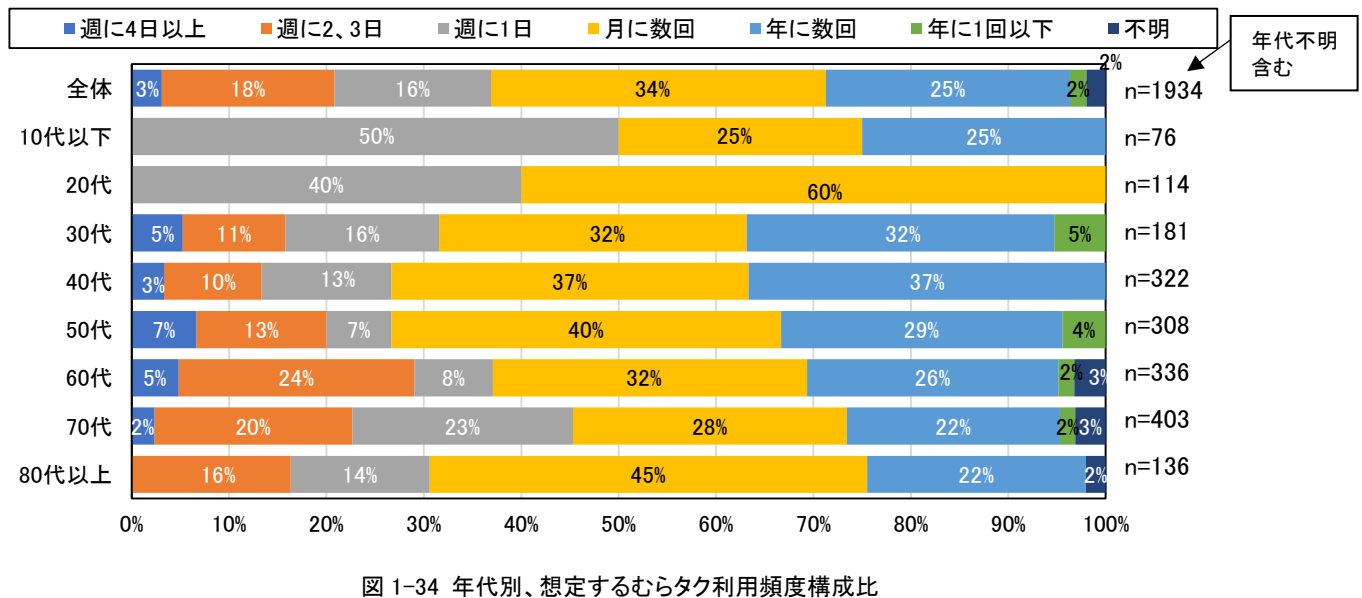
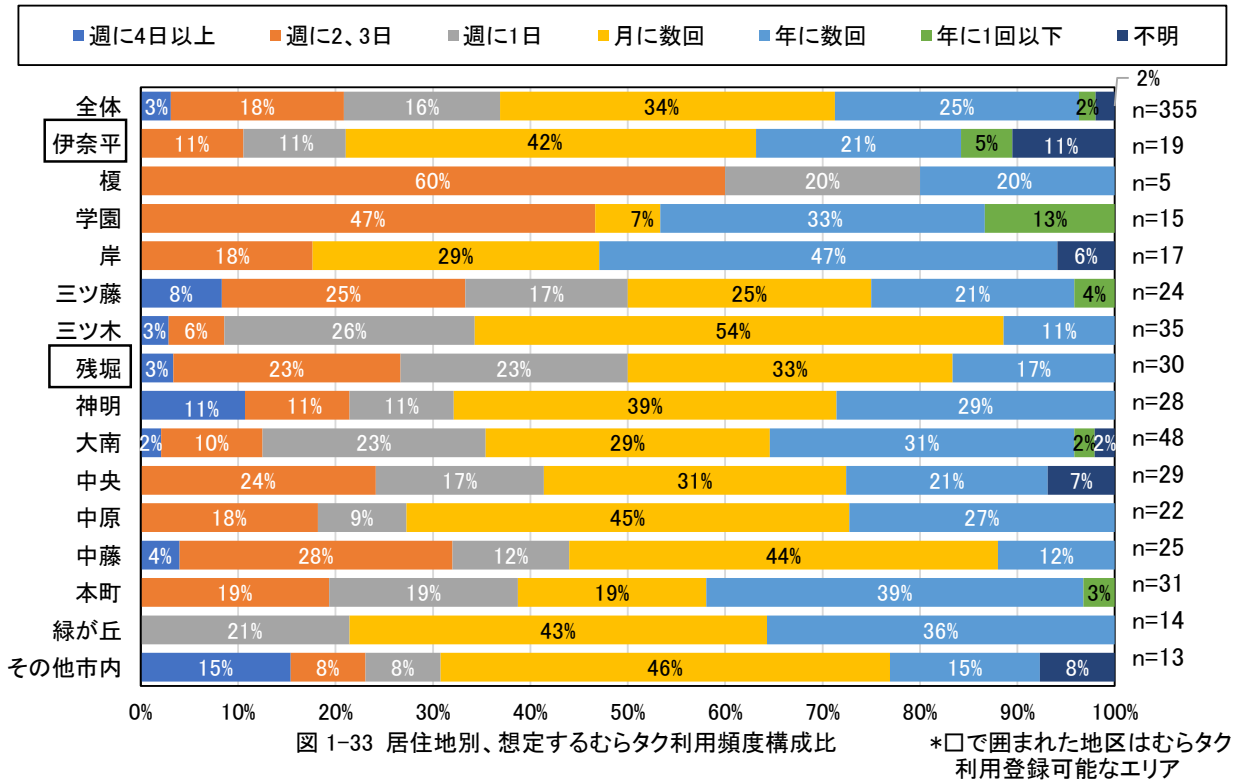
・駅へのアクセスを希望する回答が最も多く23件である。

表 1-15 むらタクを利用する場合、行きたい施設 その他の施設記述内容

駅	23件	医療機関	8件
駅	7件	その他の病院	2件
立川駅	4件	東大和病院	2件
上北台駅	3件	さいとうクリニック	1件
玉川上水駅	2件	市内医院	1件
武蔵砂川駅	2件	伊奈平南クリニック	1件
箱根ヶ崎駅	1件	ヒマラヤ動物病院	1件
西武立川駅	1件	文化・福祉施設	8件
青梅線の駅	1件	図書館	2件
西武拝島線の駅	1件	村山図書館	1件
モノレールの駅	1件	第3福祉会館	1件
スーパーマーケット	7件	雷塚地区会館	1件
イオンモール	2件	武蔵村山市民会館	1件
ダイエー	2件	中藤地区会館	1件
ジョイフル本田	1件	里山民家	1件
イトーヨーカドー	1件	演奏会会場	1件
いなげや	1件	銀行	2件
		どこでも	1件
		市内全域	1件
		隣接市町	1件

問5-4 むらタクを利用する場合、どのくらいの頻度で利用すると思いますか。

- ・全体で「月に数回」の回答割合は34%と最も高く、次いで「年に数回」で25%の割合を占める。
- ・全体で利用頻度を週に1日以上とする回答割合は37%である。
- ・10代、20代で週に2、3日以上とする回答者はいない。



問5-5 むらタクを利用する場合、どの時間帯に利用しますか。

・全体で「9～11時台」の割合は回答者の71%と最も高く、地区別、年代別においても最も高い割合を占める。

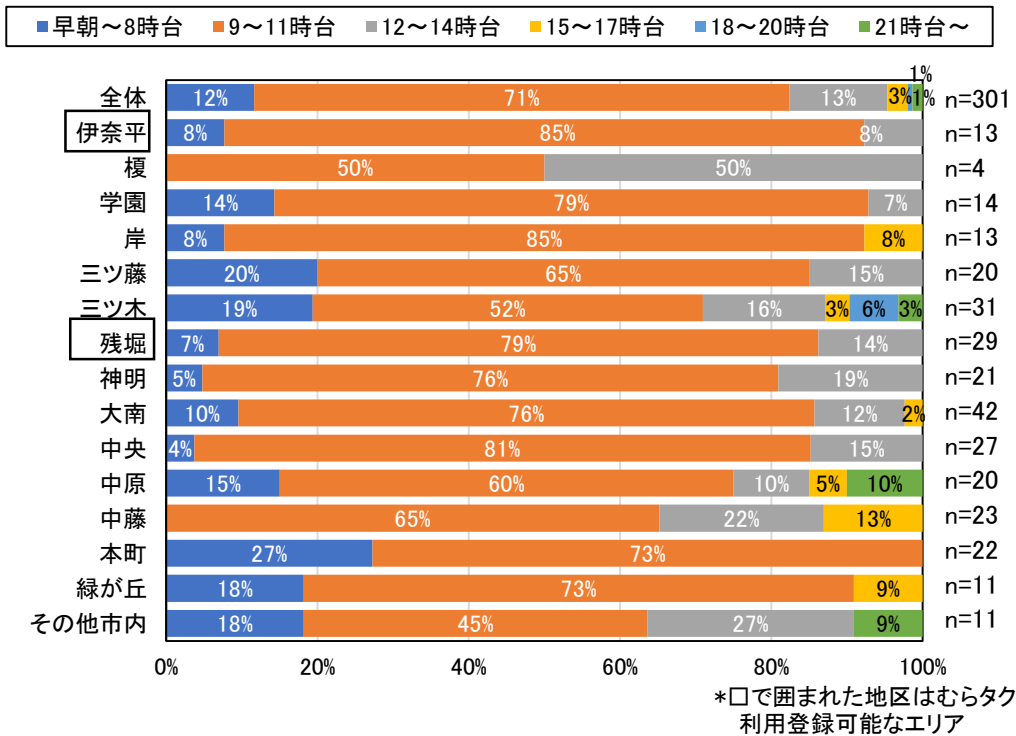


図 1-35 居住地別、想定するむらタク利用時間帯構成比

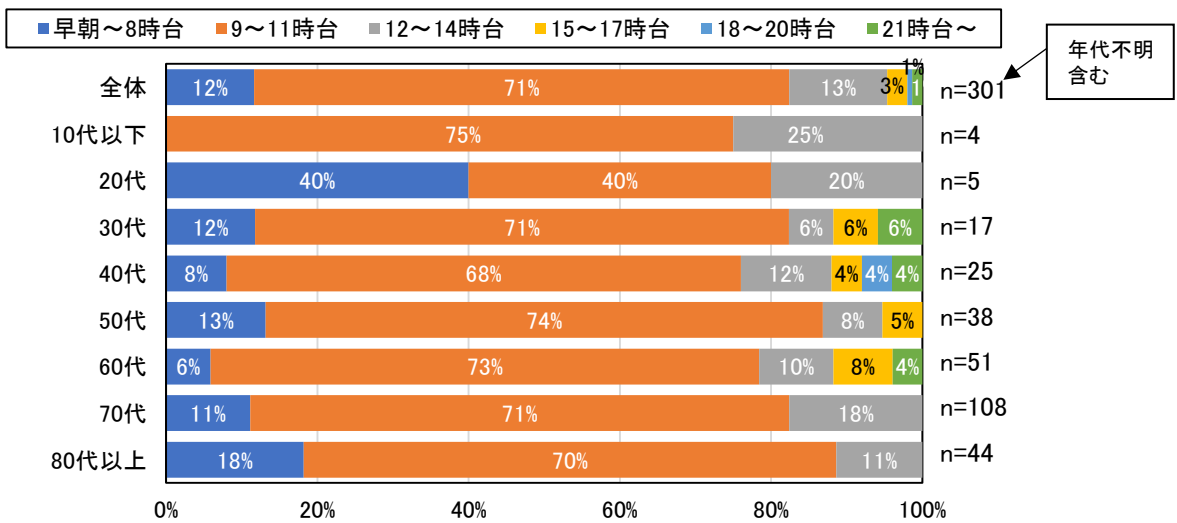


図 1-36 年代別、想定するむらタク利用時間帯構成比

## 問6 新型コロナウイルスによる日常の行動への影響について

### 問6-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。(複数回答可能)

- ・「以前とほとんど変わらない外出行動をしている」は職有りで 39%と最も高い割合を占める。
- ・「通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した」は学生で 43%と最も高い割合を占める。
- ・「鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している」は職無しで 26%と最も高い割合を占める。
- ・「時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている」は学生で 18%と最も高い割合を占める。

表 1-16 職業有無別、外出行動の変化

職業不明含む				
職業有無	回答者数	以前とほとんど変わらない外出行動をしている	通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した	鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している
全体	1834	37%	37%	23%
職有り	1091	42%	37%	20%
職無し	569	28%	36%	30%
学生	92	32%	45%	8%

職業有無	時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている	その他
全体	3%	6%
職有り	3%	5%
職無し	0%	9%
学生	18%	2%

\*問1 職業項目にて、  
①～③を「職有り」  
④、⑦⑧を「職無し」、  
⑤⑥を「学生」と設定

- ・「以前とほとんど変わらない外出行動をしている」は職有りで 39%と最も高い割合を占める。
- ・「通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した」は 20代で 44%と最も高い割合を占める。
- ・「鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している」の割合は 70代で 29%と最も高く、次いで 80代以上で 28%、60代で 27%を占める。
- ・「時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている」は 10代以下で 18%と最も高い割合を占める。

表 1-17 年代別、外出行動の変化

年代不明含む				
年齢階層	回答者数	以前とほとんど変わらない外出行動をしている	通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した	鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している
全体	1834	37%	37%	23%
10代以下	76	41%	33%	9%
20代	113	40%	44%	13%
30代	178	39%	40%	21%
40代	318	39%	40%	21%
50代	295	42%	40%	19%
60代	328	33%	39%	27%
70代	364	32%	34%	29%
80代以上	108	34%	23%	28%

年齢階層	時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている	その他
全体	3%	6%
10代以下	18%	3%
20代	4%	3%
30代	3%	5%
40代	4%	5%
50代	2%	3%
60代	2%	7%
70代	1%	9%
80代以上	1%	17%

- ・「以前とほとんど変わらない外出行動をしている」は通勤で 46%と最も高い割合を占める。
- ・「通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した」の割合は習い事で 45%と最も高く、次いでレジャー・娯楽で 43%を占める。
- ・「鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している」の割合はレジャー・娯楽で 33%と最も高く、次いで買物で 31%を占める。
- ・「時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている」は通学で 24%と最も高い割合を占める。

表 1-18 外出目的別、外出行動の変化

外出目的	回答者数	以前とほとんど変わらない外出行動をしている	通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した	鉄道・モノレール・バスの利用を控え、マイカー・タクシー・自転車・徒歩等を利用している
全体	1834	37%	37%	23%
通勤	897	46%	36%	17%
通学	75	36%	32%	11%
買い物	562	27%	40%	31%
通院	59	34%	27%	22%
習い事	31	23%	45%	19%
レジャー・娯楽	46	22%	43%	33%
その他	95	33%	38%	25%

外出目的	時差出勤・分散登校などにより、以前と外出行動の時間帯が変わっている	その他
全体	3%	6%
通勤	3%	4%
通学	24%	3%
買い物	1%	7%
通院	0%	17%
習い事	3%	13%
レジャー・娯楽	0%	11%
その他	1%	8%

問6-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。 その他記述内容

- ・最も多い内容で全体的な外出の減少について 38 件、次いで買物目的の外出はするという内容について 18 件、通勤目的の外出は以前と変化ないという内容について 14 件である。

表 1-19 新型コロナウイルスの影響による現在の外出行動の変化 その他記述内容

その他記述内容	件数	その他記述内容	件数
外出が少なくなった(控えている)	38	セニアカーを利用	1
買物目的の外出はする	18	施設利用が少なくなった(控えている)	1
通勤は以前と変わらない	14	エレベーターを利用しなくなった	1
プライベートの外出が少なくなった(控えている)	12	平日の外出が少なくなった(控えている)	1
市外(都心・23区など)への外出が少なくなった(控えている)	7	人の少ない時間帯で利用	1
遠出、帰省、旅行を控えている	7	悪天候のときに外出しない	1
買物が少なくなった(控えている)	5	子供と外で遊ぶことが増えた	1
通院目的の外出はする	5	デパートに行くのをやめた	1
休日の外出が少なくなった(控えている)	5	友人と会わなくなった	1
公共交通の利用が少なくなった(控えている)	4	コロナ発生箇所には行かない	1
在宅勤務	4		
通勤目的の外出はする	4		
元々外出しない	3		
徒歩行動が多くなった	3		
仕事を減らした(減少した)	3		
車利用が多くなった	2		
外出増加	2		
自転車を利用	2		
短時間で外出	2		

問6-2 通勤・通学や日常生活において、どのくらい外出が減少しましたか。

- ・「2割未満」は通勤・通学で19%と最も高い割合を占める。
- ・「10割」は日常生活で1%と最も低い割合を占める。
- ・通勤では平均3.1割、通学では平均7.9割、日常生活では平均5割、趣味等では平均6.6割の値を示す。

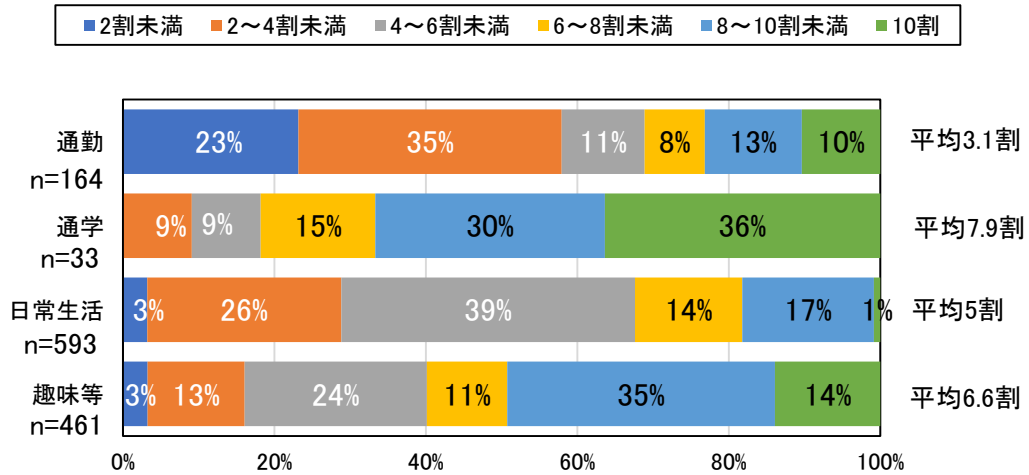


図 1-37 各種目的における外出回数減少割合構成比

## 2. 市内循環バス(MM シャトル)利用者意向調査

○配布・回収状況

配布数

	平日	休日	計
上北台ルート	253 票	112 票	365 票
玉川上水ルート	314 票	101 票	415 票
武蔵砂川ルート	34 票	24 票	58 票
西ルート	66 票	23 票	89 票
計	667 票	260 票	927 票

回収数

	平日	休日	計
上北台ルート	98 票	38 票	136 票
玉川上水ルート	132 票	29 票	161 票
武蔵砂川ルート	14 票	8 票	22 票
西ルート	25 票	8 票	33 票
不明	7 票	3 票	10 票
計	276 票	86 票	362 票

回収率

	平日	休日	計
上北台ルート	38.7%	33.9%	37.3%
玉川上水ルート	42.0%	28.7%	38.8%
武蔵砂川ルート	41.2%	33.3%	37.9%
西ルート	37.9%	34.8%	37.1%
計 (ルート不明の 回収数を除く)	40.3%	31.9%	38.0%



## 問1 個人属性

### ・職業

・全体で「会社員・公務員・団体職員」の割合が最も高く、回答者の 33%を占める。通勤時間帯運行路線の「上北台ルート 通勤」「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」でも割合が最も高く、それぞれ 70%、60%、64%を占める。

・全体で「会社員・公務員・団体職員」「自営業・農業」「パート・アルバイト」を合わせて回答者の 54%、学生は 3%、「専業主婦・夫・家事手伝い」「無職」「その他」を合わせて 43%を占める。

・「専業主婦・夫・家事手伝い」「無職」「その他」の合計割合は日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」で高く、それぞれ 54%、74%、88%を占める。

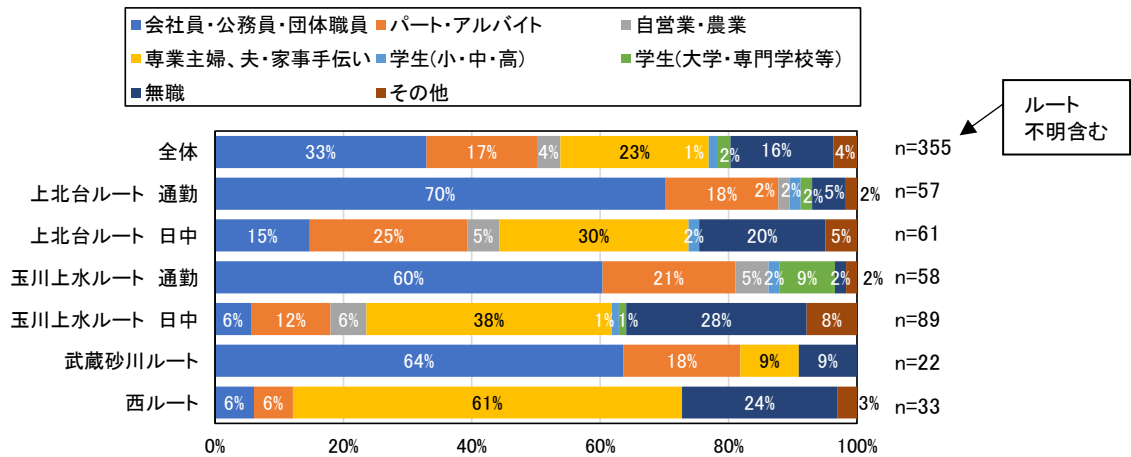


図 2-1 路線別、職業構成比

### ・年齢

・全体で平日休日どちらも 70 代の割合が最も高く、どちらも回答者の 30%を占める。

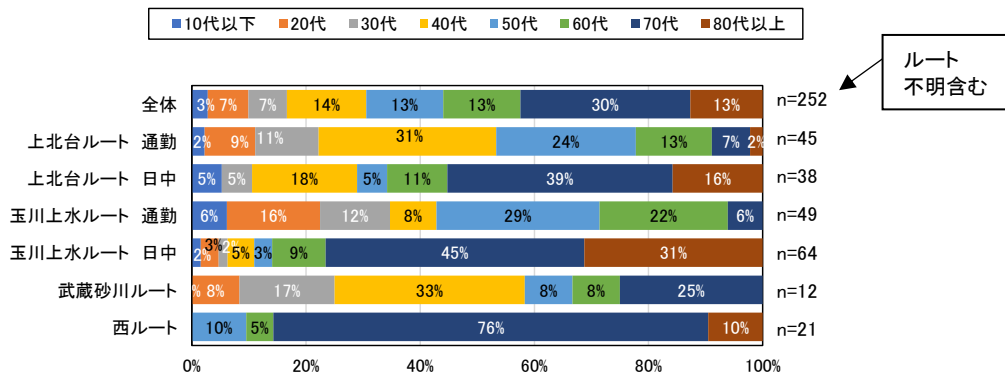


図 2-2 路線別、平日年齢構成比(上図)、休日年齢構成比(下図)

## 居住地

・回答者の 79.6%が武蔵村山市内居住者であり、市内の居住地をみると、市内南東部の大南地区で 64 人と最も多く、神明地区 40 人、緑が丘地区 25 人である。

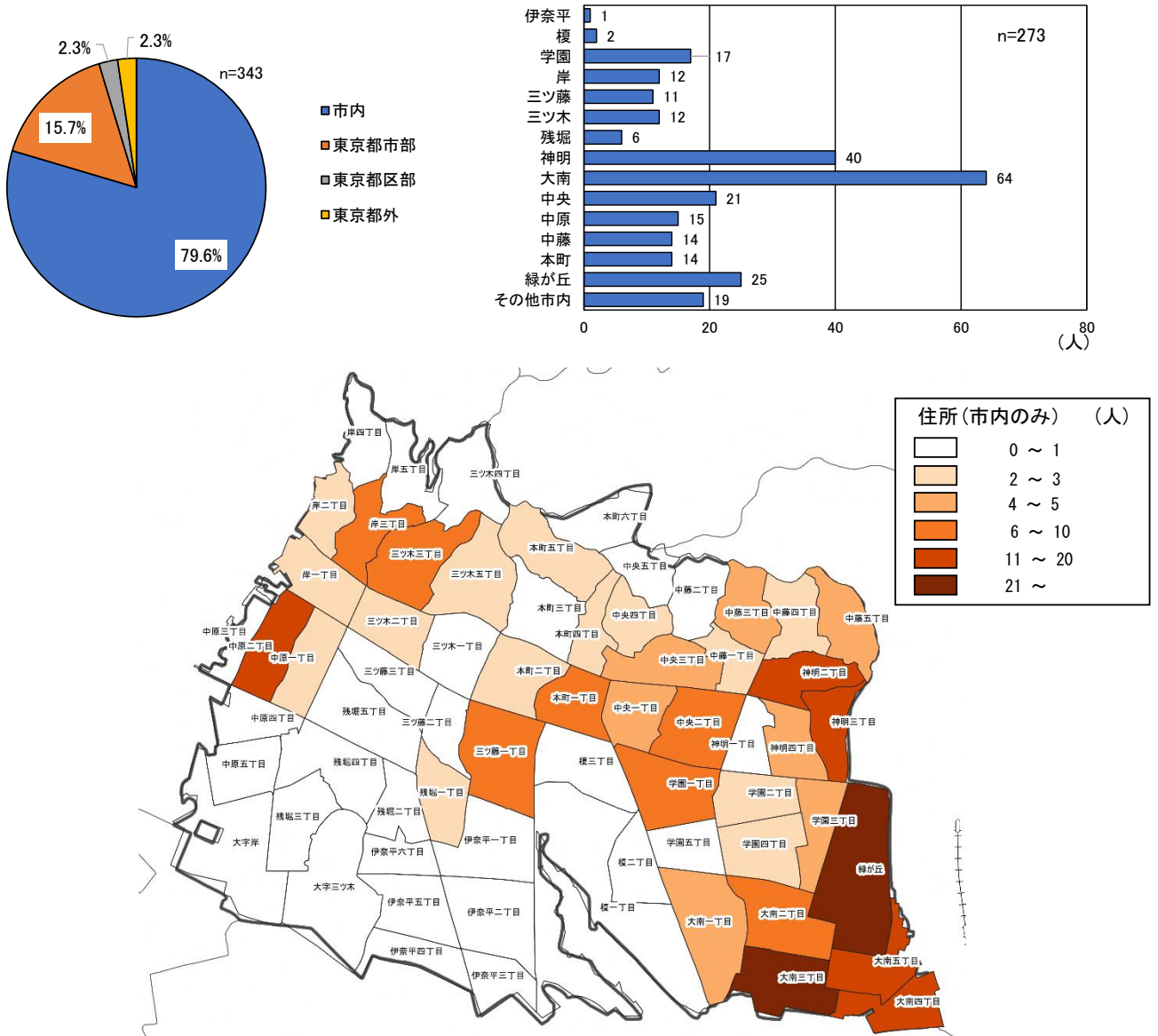


図 2-3 居住地構成比と居住地分布図

・運転免許保有状況(複数回答可能)、自動車等保有状況(複数回答可能)

・運転免許保有状況に関して、「運転免許を自主返納」「持っていない」の合計割合は 47.2%であり全体の半数近くが運転免許を保有していない。  
 ・自動車等保有状況に関して、自分用に自由に使えることを前提として、自動車の保有割合は 28.5%、自転車  
 の保有割合は 39.8%であり、自動車・自動二輪・自転車を保有しない割合は 40.1%である。

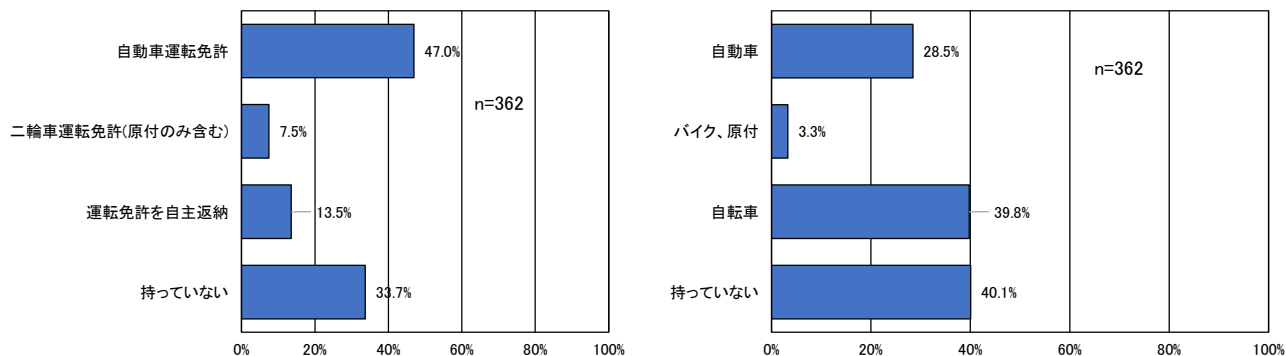


図 2-4 運転免許保有状況(左図)、自動車等保有状況(右図)

・運転免許保有状況に関して、「運転免許を自主返納」「持っていない」の合計割合は 80 代以上で 91%と最も高く、次いで 70 代で 73%を占める。  
 ・自動車等保有状況に関して、自分用に自由に使えることを前提として、自動車・自動二輪・自転車を保有しない割合は 80 代以上で 67%と最も高く、次いで 20 代で 52%を占める。

年代不明含む

表 2-1 年代別、運転免許保有状況

年代	回答者数	自動車運転免許	二輪車運転免許(原付のみ含む)	運転免許を自主返納	持っていない	不明
全体	362	47%	7%	14%	34%	5%
10代以下	10	30%	0%	0%	70%	0%
20代	27	74%	4%	0%	26%	0%
30代	20	80%	30%	0%	15%	0%
40代	42	79%	10%	0%	21%	0%
50代	43	77%	23%	0%	23%	0%
60代	46	65%	9%	2%	22%	7%
70代	99	19%	1%	29%	43%	8%
80代以上	46	4%	0%	35%	57%	4%

年代不明含む

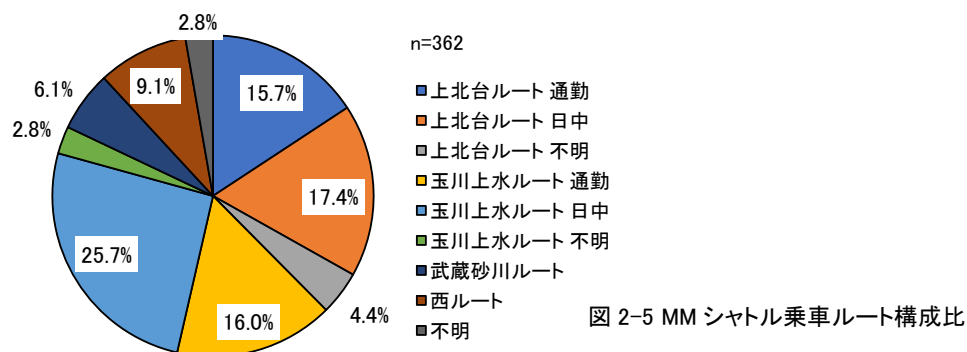
表 2-2 年代別、自動車等保有状況

年代	回答者数	自動車	バイク、原付	自転車	持っていない	不明
全体	362	28%	3%	40%	40%	6%
10代以下	10	20%	0%	70%	20%	10%
20代	27	7%	0%	44%	52%	0%
30代	20	40%	5%	70%	15%	0%
40代	42	45%	10%	38%	31%	2%
50代	43	58%	12%	44%	26%	2%
60代	46	46%	2%	33%	35%	7%
70代	99	15%	1%	41%	42%	8%
80代以上	46	4%	0%	24%	67%	7%

## 問2 MMシャトルについて

### 問2-1 ア 乗車した路線

・「玉川上水ルート」の割合が44.5%と最も高く、次いで「上北台ルート」で37.6%を占める。



### 問2-1 イ 乗降したバス停

・上北台駅で乗降件数が108件と最も多く、次いで玉川上水駅87件、イオンモールで46件である。

表 2-3 MM シャトル乗降バス停

MMシャトルバス停	乗車件数	降車件数	乗降件数
上北台駅	44	64	108
玉川上水駅	42	45	87
イオンモール	16	30	46
武蔵村山市役所前	22	20	42
湖南衛生組合前	17	10	27
神明三丁目	16	10	26
公園西	18	5	23
学南通り	8	11	19
武蔵砂川駅	10	9	19
村山医療センター	7	11	18
学園	7	10	17
原山	7	8	15
神明二丁目	9	6	15
大南三丁目	10	4	14
薬師堂前	9	3	12
総合体育館入口	9	3	12
総合体育館	3	8	11
武蔵村山高校南	7	3	10
大南二丁目	5	5	10
村山温泉かたくりの湯	1	9	10

\*バス停乗降件数10件以上を抽出

問2-1 エ MM シャトル乗車時間帯

・平日では「早朝～8 時台」の割合が 40.6%と最も高いが、休日では「9～11 時台」の割合が最も高く、34.9%である。  
 ・さらに、平日と比べて休日の 15 時台以降の割合が高いこともあり、平日より休日の方が遅い時間帯に利用する傾向にある。

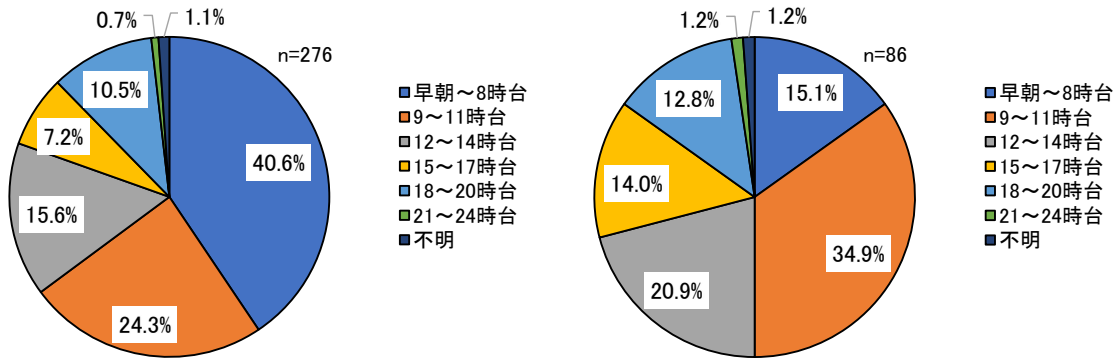


図 2-6 MM シャトル乗車時間帯構成比 平日(左図)、休日(右図)

問2-2 MM シャトル利用頻度

・全体で「週に 4 日以上」の割合が最も高く、全体の 36.5%を占める。通勤時間帯運行路線の「上北台ルート通勤」「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」でも割合が最も高く、それぞれ 75%、62%、55%を占める。  
 ・「月に数回」「年に数回」の合計割合は日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」で高く、それぞれ 33%、30%、27%を占める。

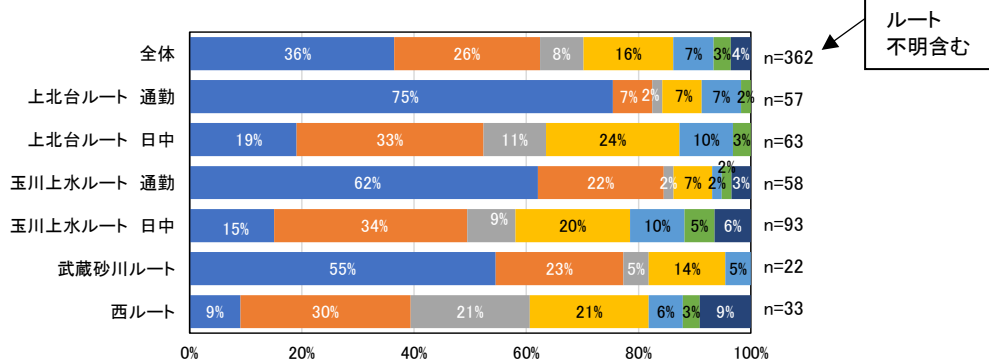
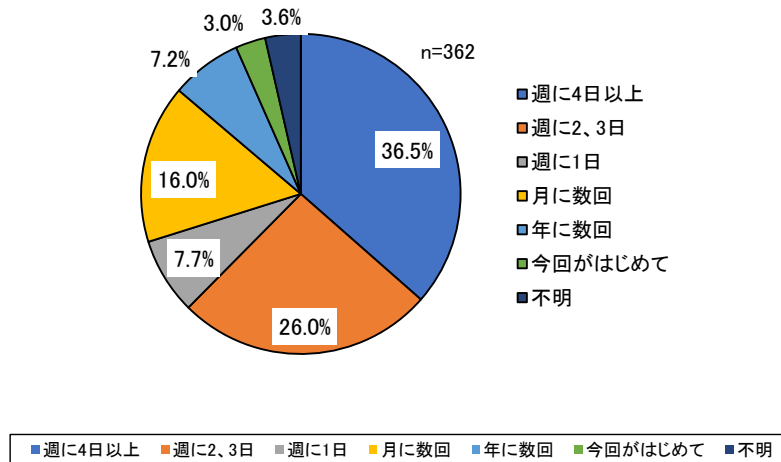


図 2-7 MM シャトル利用頻度構成比(上図)、路線別 MM シャトル利用頻度構成比(下図)

### 問2-3 最寄りバス停までの所要時間

・全体で「5～9分」の割合が最も高く、全体の26.0%を占める。次いで「3～4分」で23.8%を占める。  
 ・「5～9分」の割合は「西ルート」で45%と最も高く、次いで「上北台ルート 日中」で29%を占める。  
 ・「市外からの利用」の割合は「武蔵砂川ルート」で50%と最も高く、次いで「玉川上水ルート 通勤」で24%を占める。

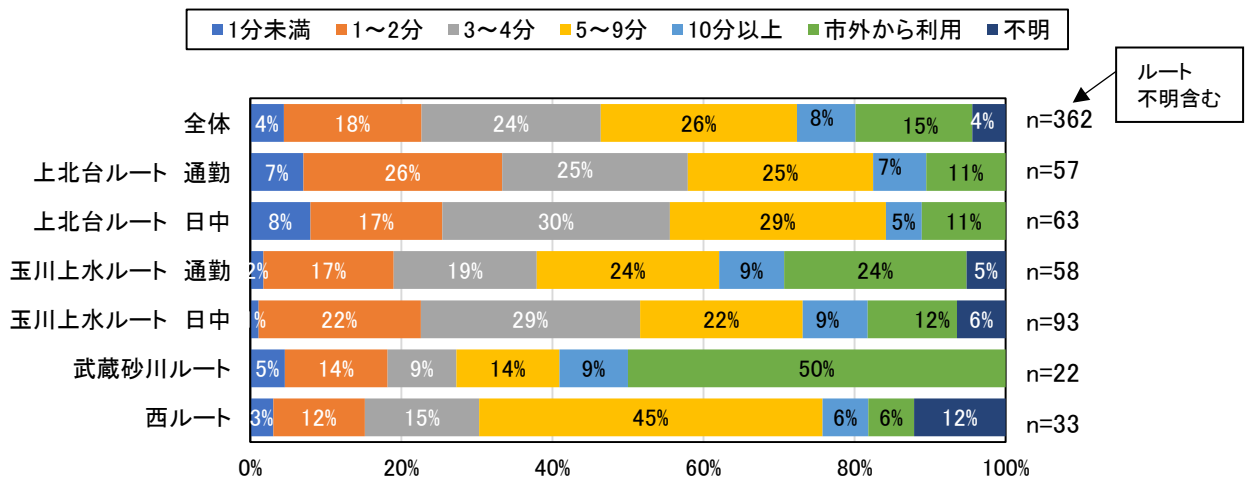
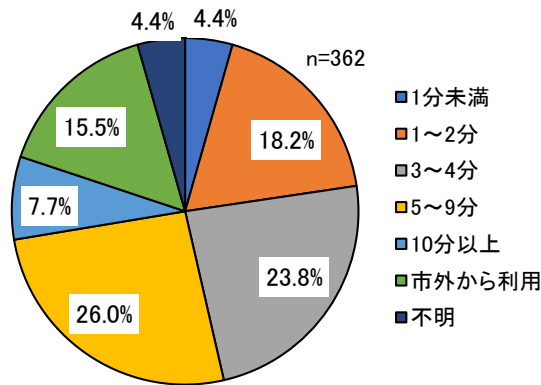


図 2-8 最寄りバス停までの所要時間構成比(上図)、路線別最寄りバス停までの所要時間構成比(下図)

### 問2-4 乗車目的

- ・全体で「通勤」の割合が最も高く、全体の 39.8%を占める。通勤時間帯運行路線の「上北台ルート 通勤」「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」でも割合が最も高く、それぞれ 86%、76%、77%を占める。
- ・「買い物」は日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」で高く、それぞれ 25%、40%、39%を占める。「通院」も同様で、それぞれ 11%、19%、15%を占める。
- ・「レジャー・娯楽」は「上北台ルート 日中」で 29%と最も割合が高く、他の項目と比べて突出している。

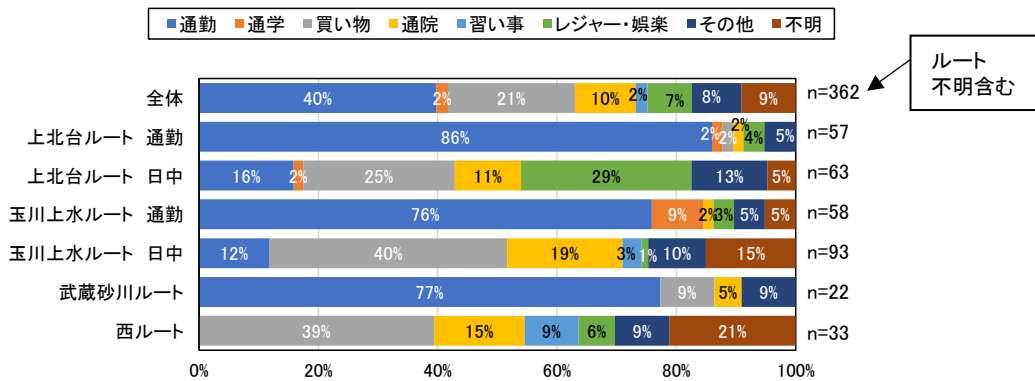
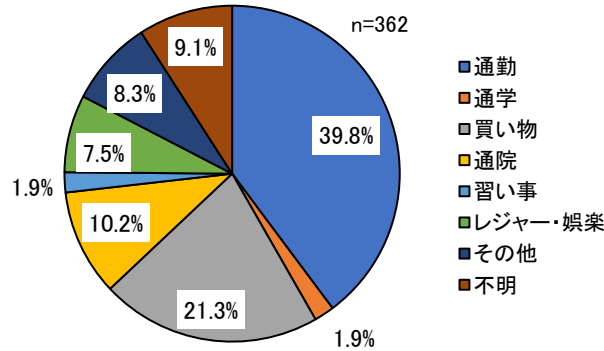


図 2-9 MM シャトル乗車目的構成比(上図)、路線別 MM シャトル乗車目的構成比(下図)

### 問2-5 最終目的地の場所や施設名

- ・上北台駅で 18 件と最も多く、次いでコープ上北台 9 件、立川市 8 件である。
- ・市外では東大和市内、立川市内の目的地が多い。

表 2-4 上北台ルート利用者 最終目的地の場所、施設(左表)、主な市外目的地(右表)

目的地	件数
上北台駅	18
コープ上北台店	9
立川市	8
武蔵村山市役所	7
会社・職場	6
村山温泉かたくりの湯	6
総合体育館	5
自宅(市内)	4
立川駅	3
市民総合センター	2
武蔵村山郵便局	2
小林農園	2
おさか内科・整形外科	2
イオンモール	2
ウェルパーク	2
いなげや	2
カラオケBanBan	2
武蔵村山市民会館	2

目的地	件数
東大和市内	32
上北台駅	18
コープ上北台店	9
その他	5
立川市内	17
立川市	8
立川駅	3
その他	6

\*2 件以上を抽出

- ・イオンモールで 28 件と最も多く、次いで村山医療センター17 件、自宅(市内)12 件である。
- ・市外では東大和市内、立川市内の目的地が多い。

表 2-5 玉川上水ルート利用者 最終目的地の場所、施設(左表)、主な市外目的地(右表)

目的地	件数	目的地	件数
イオンモール	28	東大和市内	5
村山医療センター	17	立川市内	6
自宅(市内)	12	*玉川上水駅の件数を除く	
会社・職場	11		
玉川上水駅	10		
いなげや	8		
武蔵村山病院	7		
武蔵村山市役所	6		
村山温泉かたくりの湯	4		
病院	4		
自宅(東大和市)	2		
拝島	2		
立川市	2		

\*2 件以上を抽出

- ・武蔵砂川ルートにおいて、武蔵砂川駅、イオンモールそれぞれ 5 件で最も多い。
- ・西ルートにおいて、イオンモールで 13 件と最も多く、次いで村山医療センター7 件、武蔵村山病院 4 件である。

表 2-6 武蔵砂川ルート利用者 最終目的地の場所、施設(左表)、西ルート利用者 最終目的地の場所、施設(右表)

目的地	件数	目的地	件数
武蔵砂川駅	5	イオンモール	13
イオンモール	5	村山医療センター	7
会社	4	武蔵村山病院	4
中野区	1	ジョイフル本田	2
文明堂武蔵村山工場	1	シルバー人材センター	1
ジョイフル本田	1	自宅(市内)	1
		伊奈平南クリニック	1
		生協	1
		総合体育館	1
		市民総合センター	1
		いなげや	1
		ふれあいセンター	1

### 問2-6 利用券種

- ・全体で「ICカード(パスモ、スイカ)」の割合が最も高く、全体の 60.1%を占める。通勤時間帯運行路線の「上北台ルート 通勤」「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」でも割合が平日休日ともに最も高く、全て過半数を超える。
- ・「シルバーパス」は日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」で平日休日ともに高く、全て過半数を超える。
- ・年代別にみると、70 代以上でシルバーパスの利用者が大半を占める。

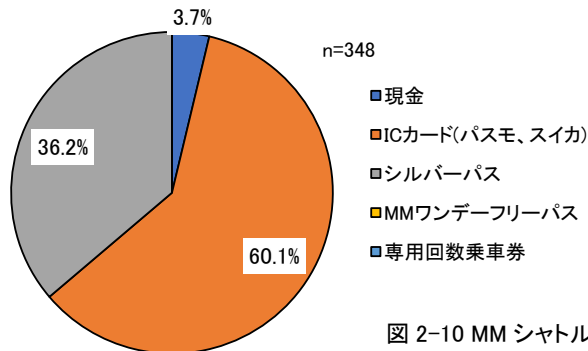


図 2-10 MM シャトル利用券種構成比



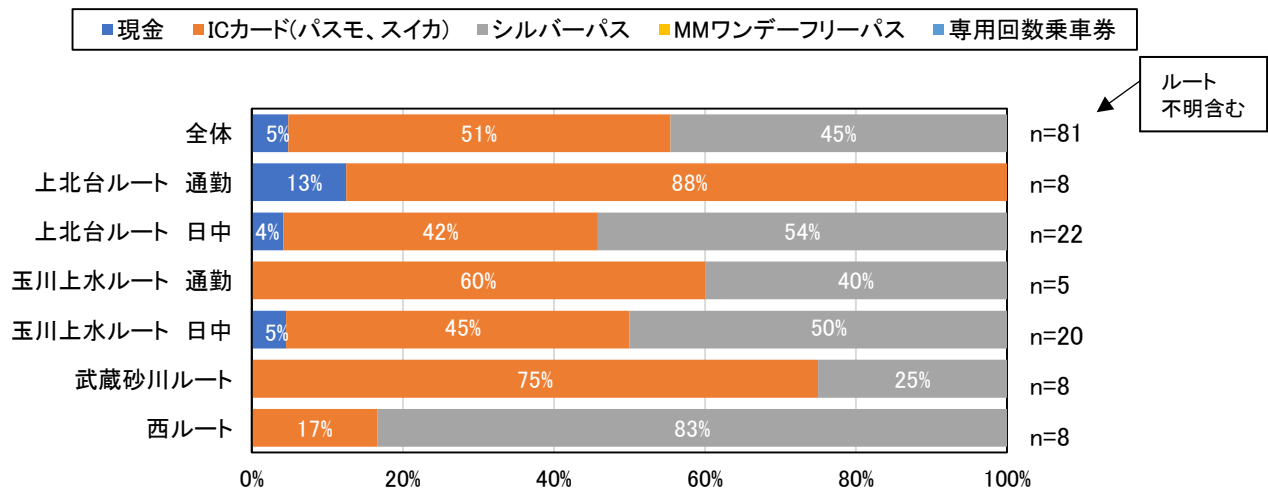
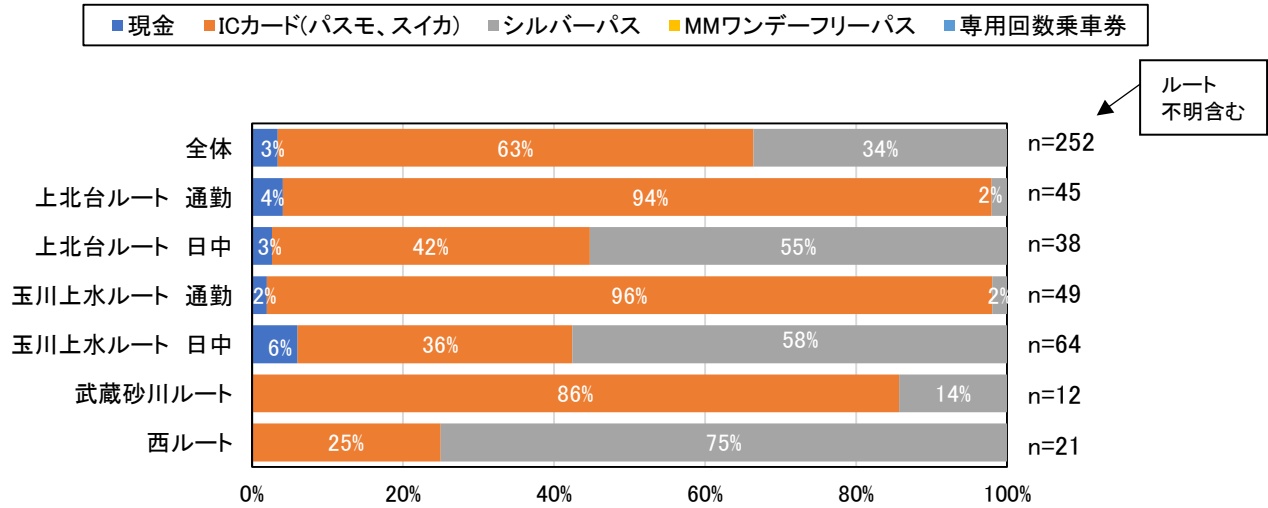


図 2-11 MM シャトル利用券種構成比 平日(上図)、休日(下図)

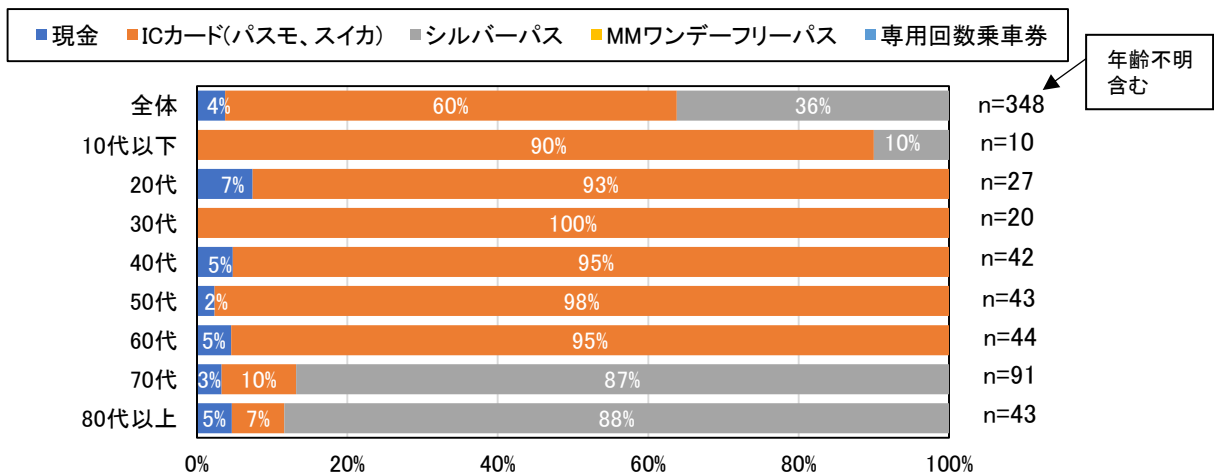


図 2-12 MM シャトル利用券種構成比

問2-7 MM シャトルを利用する理由(最大2つ回答可能)

・全体で「ほかに移動手段がないから」の割合が最も高く、全体の 53.0%を占める。「玉川上水ルート 通勤」では2番目に高い割合だが、それ以外の路線では最も高い割合を占める。  
 ・「ほかの移動手段よりも便利だから」は「玉川上水ルート 通勤」で 51.7%と最も高く、その他の路線では2番目に高い割合を占める。

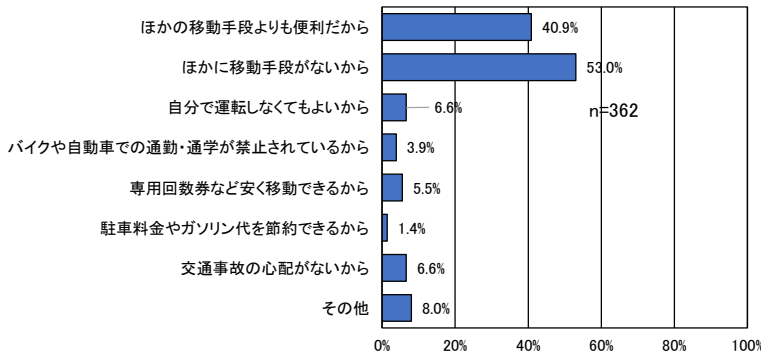


図 2-13 MM シャトルを利用する理由

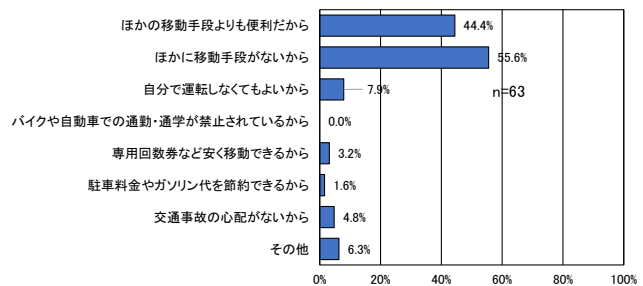
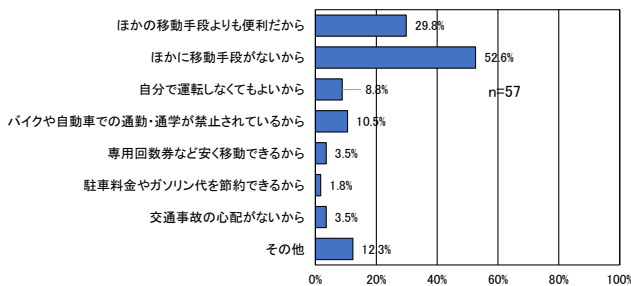


図 2-14 MM シャトルを利用する理由 上北台ルート 通勤(左図)、日中(右図)

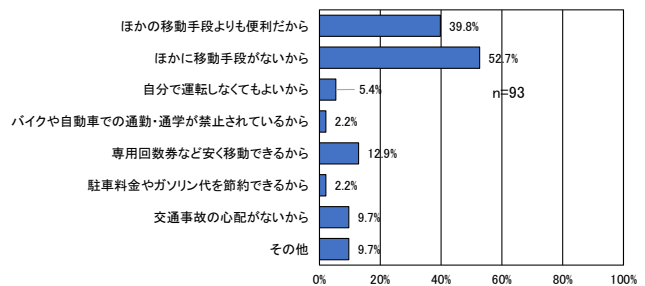
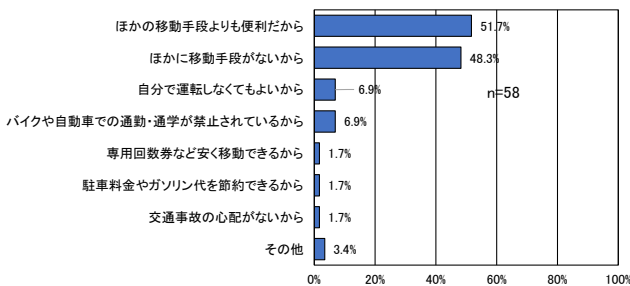


図 2-15 MM シャトルを利用する理由 玉川上水ルート 通勤(左図)、日中(右図)

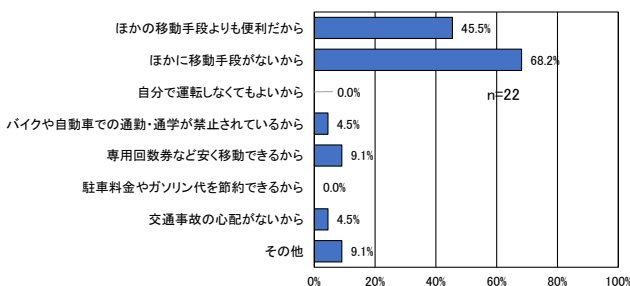


図 2-16 MM シャトルを利用する理由 武蔵砂川ルート

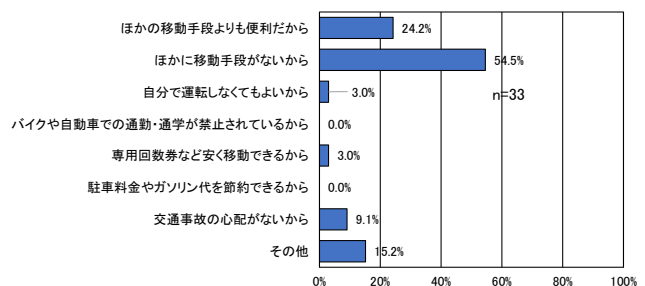


図 2-17 MM シャトルを利用する理由 西ルート

問2-7 MM シャトルを利用する理由 その他記述内容

・シルバーパスを理由とする意見で5件と最も多く、次いで雨天3件、足が悪いという内容で2件である。

表 2-7 MM シャトルを利用する理由 その他記述内容

MMシャトルを利用するその他の理由	件数
シルバーパス	5
雨天	3
足が悪い	2
障がい者割引	1
天候に左右されない	1
荷物が多かった	1
会社で指定された	1
行事の下見	1
仕事の都合	1
たまたま見つけた	1
旅行に来て友人の家が近い	1
通院	1
駅まで遠い	1
混雑が少ない	1
駐車場が無い	1
車が無く自転車だと面倒	1
車で出勤しないときに利用	1
バス停が近い	1
車の運転ができない	1
他のバス停が遠い	1

問2-8 MM シャトル利用満足度

・次の4項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。  
 「平日の運行本数が少ない」で75%、「休日の運行本数が少ない」で65%、「終発が早い」で56%、  
 「迂回が多く所要時間がかかる」で53%の割合を占める。  
 ・「総合的にみたMMシャトルの満足度」では「不満」「やや不満」を合わせて回答者の33%の割合を占める。

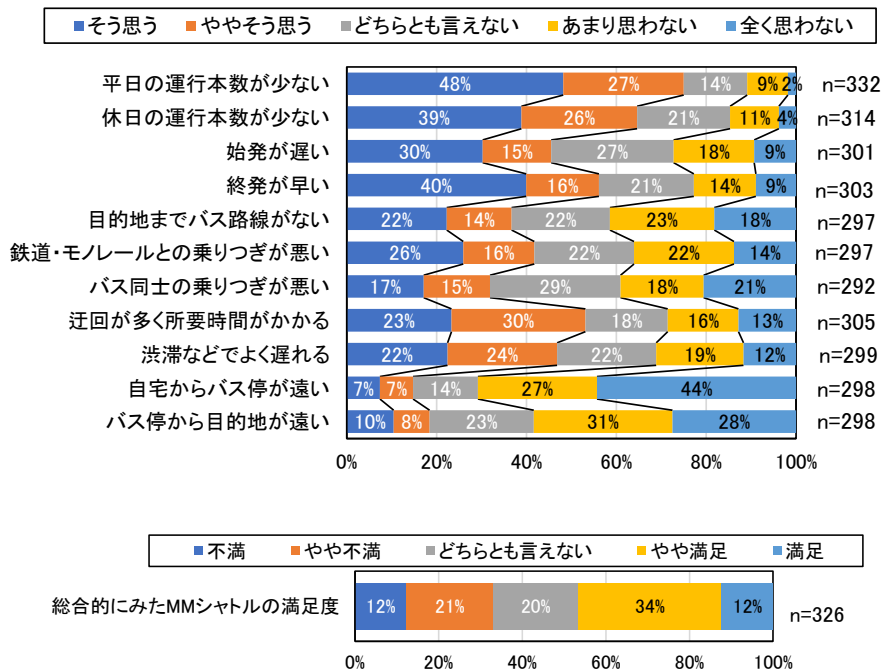


図 2-18 MM シャトル利用満足度構成比

問2-8 MM シャトル利用満足度(上北台ルート)

(通勤)

・次の5項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。

「平日の運行本数が少ない」で69%、「休日の運行本数が少ない」で54%、「始発が遅い」で51%、「終発が早い」で78%、「鉄道・モノレールとの乗りつぎが悪い」で50%の割合を占める。

(日中)

・次の2項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。

「平日の運行本数が少ない」で60%、「休日の運行本数が少ない」で54%の割合を占める。

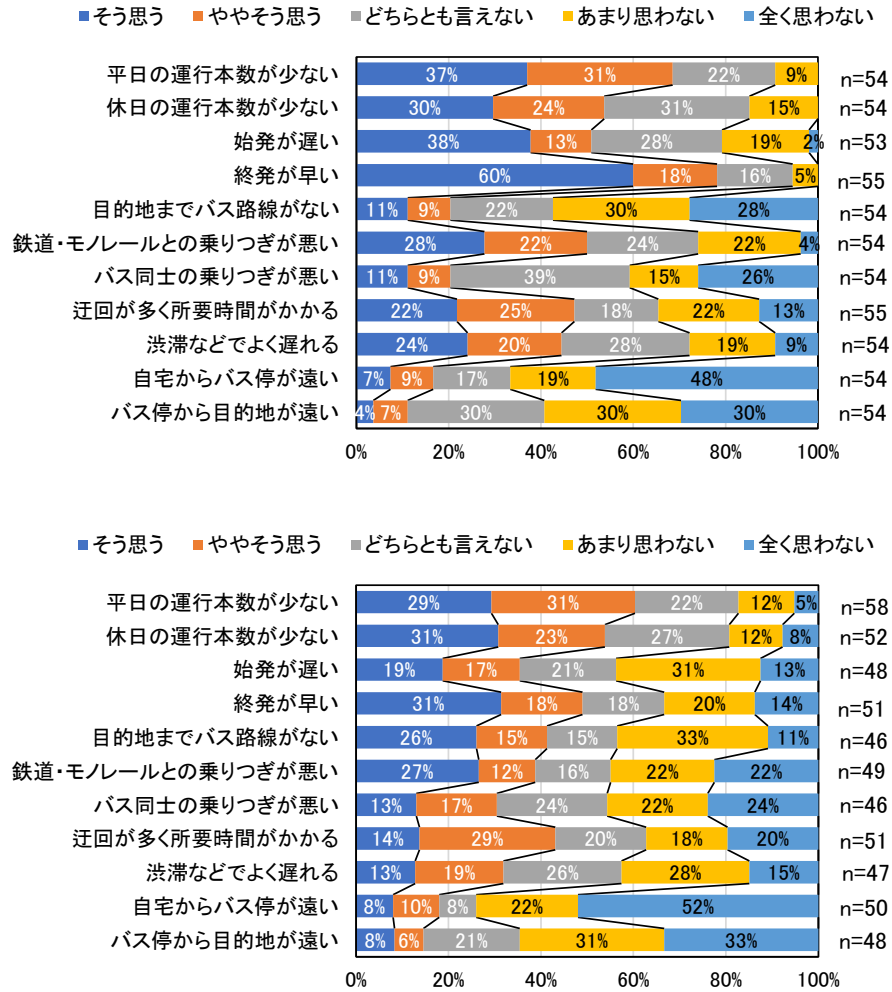


図 2-19 MM シャトル利用満足度構成比 上北台ルート 通勤(上図)、日中(下図)

問2-8 MM シャトル利用満足度(玉川上水ルート)

(通勤)

・次の5項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。

「平日の運行本数が少ない」で80%、「休日の運行本数が少ない」で72%、「始発が遅い」で51%、「終発が早い」で56%、「迂回が多く所要時間がかかる」で50%の割合を占める。

(日中)

・次の5項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。

「平日の運行本数が少ない」で83%、「休日の運行本数が少ない」で78%、「終発が早い」で50%、「迂回が多く所要時間がかかる」で61%、「渋滞などでよく遅れる」で60%の割合を占める。

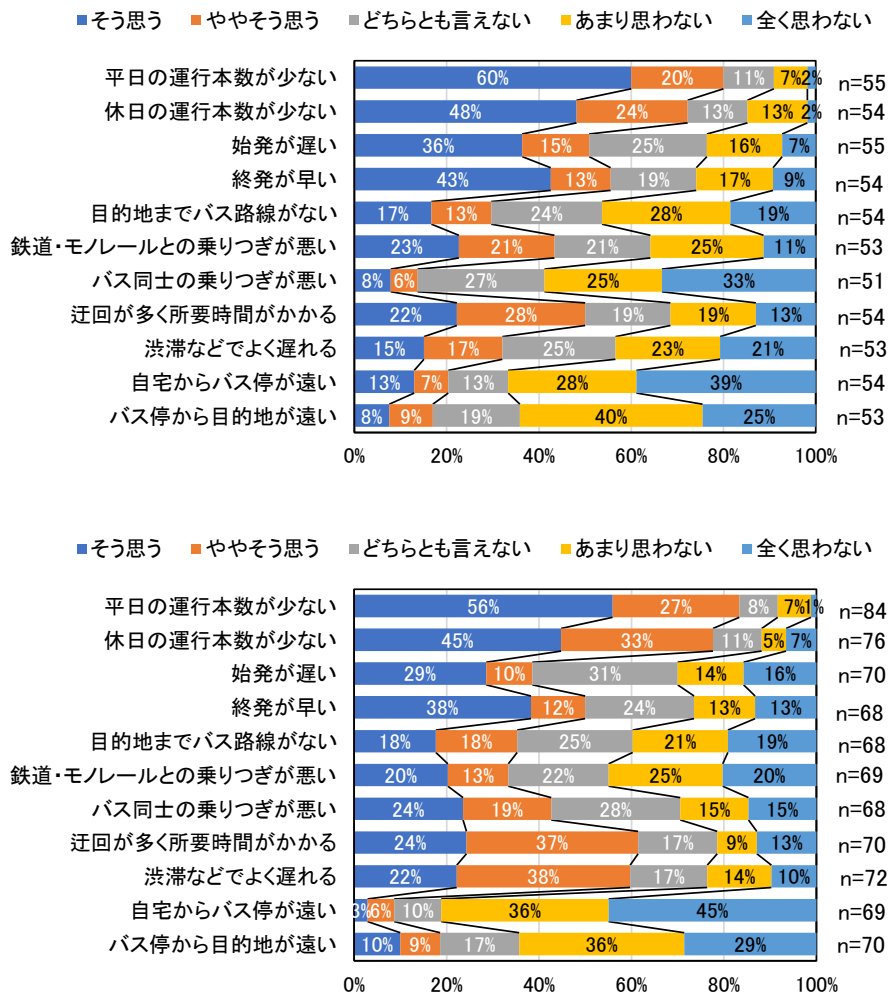


図 2-20 MM シャトル利用満足度構成比 玉川上水ルート 通勤(上図)、日中(下図)

### 問2-8 MM シャトル利用満足度(武蔵砂川ルート)

・次の6項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。  
 「平日の運行本数が少ない」で91%、「休日の運行本数が少ない」で64%、「目的地までバス路線がない」で52%、「鉄道・モノレールとの乗りつぎが悪い」で50%、「迂回が多く所要時間がかかる」で55%、「渋滞などでよく遅れる」で75%の割合を占める。

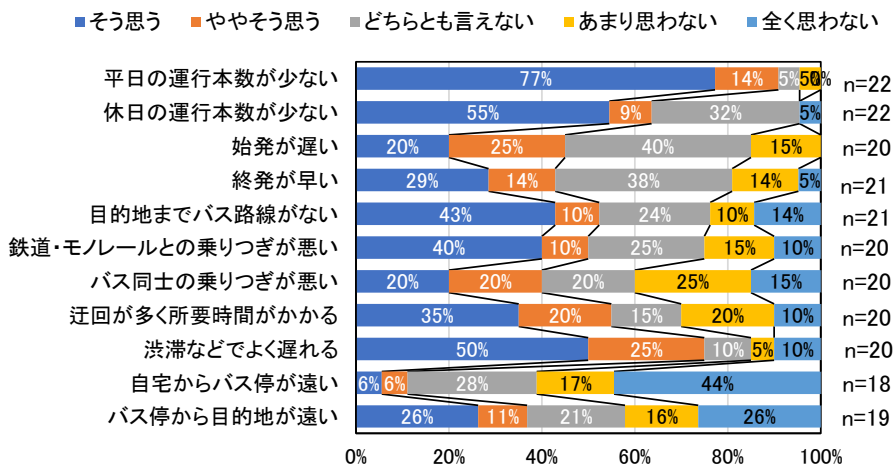


図 2-21 MM シャトル利用満足度構成比 武蔵砂川ルート

### 問2-8 MM シャトル利用満足度(西ルート)

・次の8項目において「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合が50%以上を占める。  
 「平日の運行本数が少ない」で75%、「休日の運行本数が少ない」で54%、「始発が遅い」で57%、「終発が早い」で54%、「目的地までバス路線がない」で66%、「鉄道・モノレールとの乗りつぎが悪い」で58%、「バス同士の乗りつぎが悪い」で67%、「迂回が多く所要時間がかかる」で64%の割合を占める。

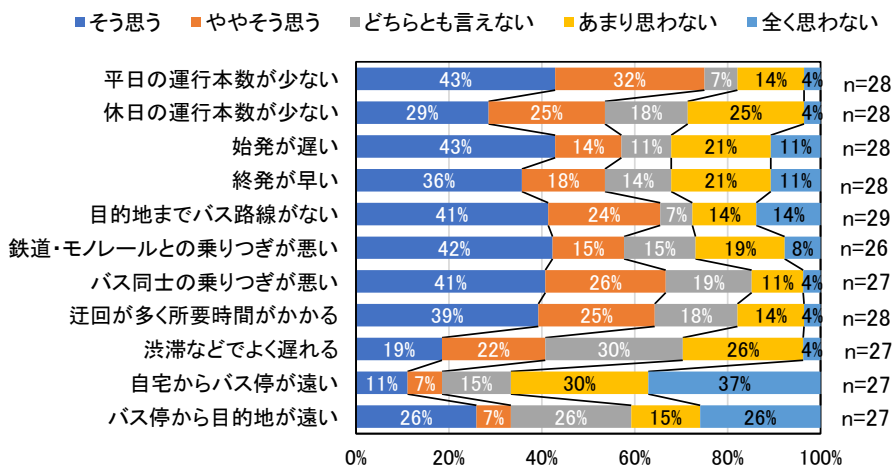


図 2-22 MM シャトル利用満足度構成比 西ルート

### 問2-8 総合的な MM シャトル利用満足度

・「不満」「やや不満」の合計割合が最も高い路線は「武蔵砂川ルート」で回答者の 50%を占める。  
 ・「やや満足」「満足」の合計割合が高い路線は「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」で回答者の 45%を占める。

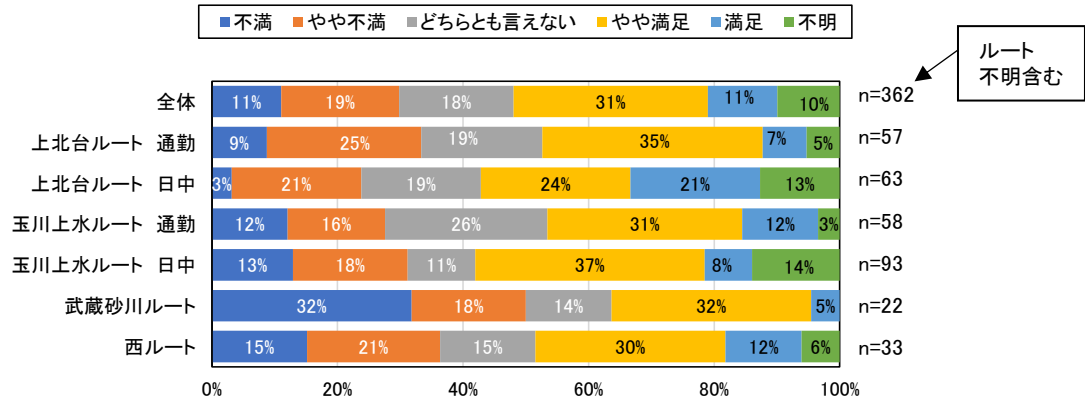


図 2-23 路線別、MM シャトルの総合的な利用満足度構成比

# MM シャトル重要度満足度分析

## ・上北台ルート

- ・通勤路線において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は平日では平日の運行本数の少なさの「運行本数(平日)」、休日では鉄道、モノレール駅への乗りつぎの不便さの「乗りつぎ(鉄道、モノレール)」である。
- ・日中路線において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は平日では「目的地までバス路線がない」、休日では始発の遅さの「始発時刻」である。

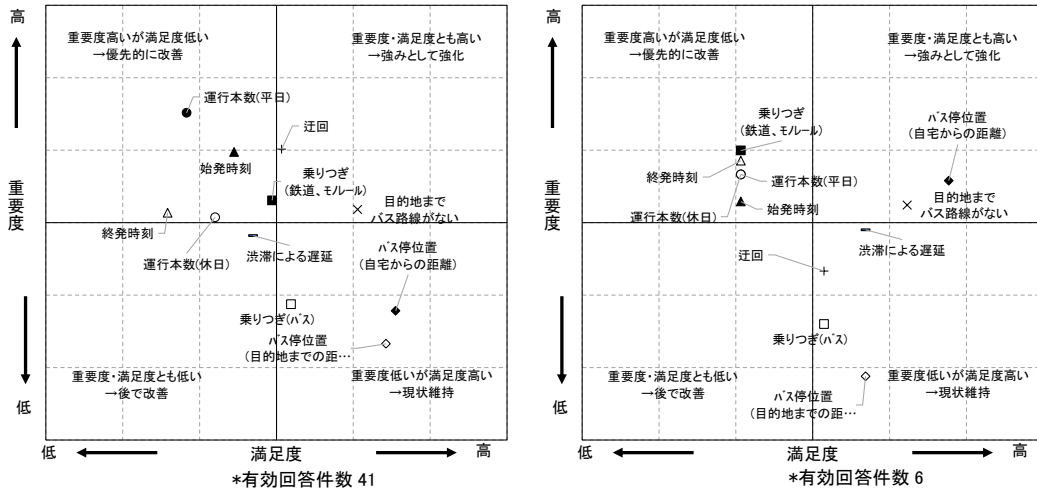


図 2-24 重要度満足度 上北台ルート 通勤 平日(左図)、休日(右図)

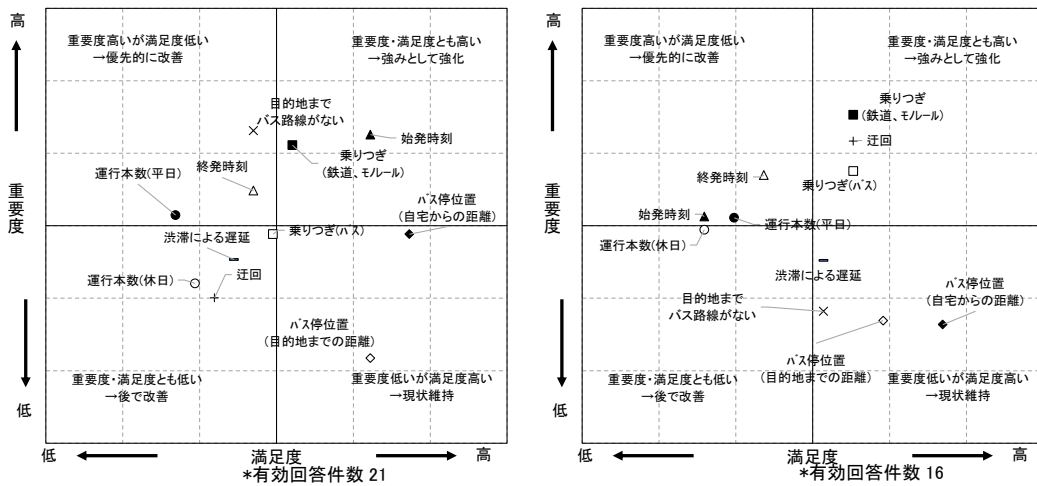


図 2-25 重要度満足度 上北台ルート 日中 平日(左図)、休日(右図)



・玉川上水ルート

・通勤路線において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は平日では平日の運行本数の少なさの「運行本数(平日)」、休日では休日の運行本数の少なさの「運行本数(休日)」である。

・日中路線において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は平日では始発の遅さの「始発時刻」、休日では休日の運行本数の少なさの「運行本数(休日)」である。

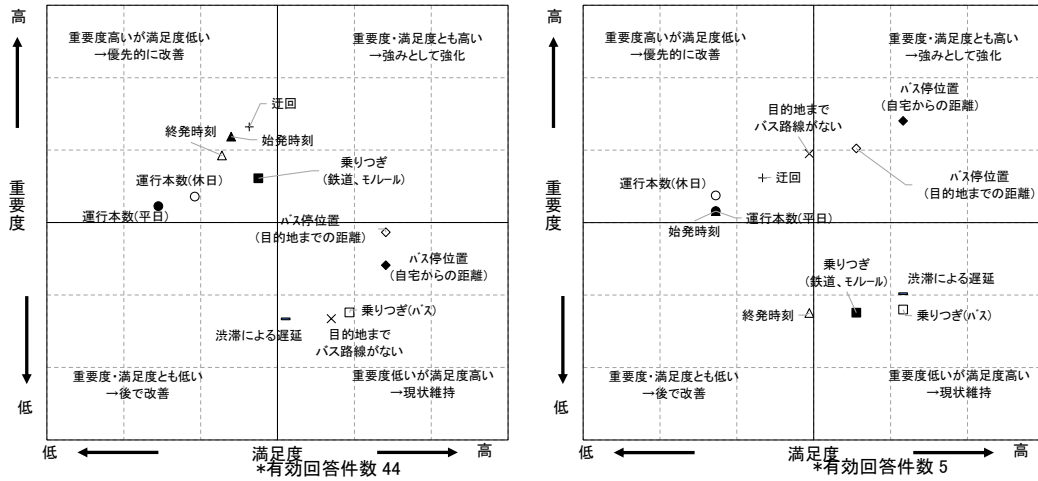


図 2-26 重要度満足度 玉川上水ルート 通勤 平日(左図)、休日(右図)

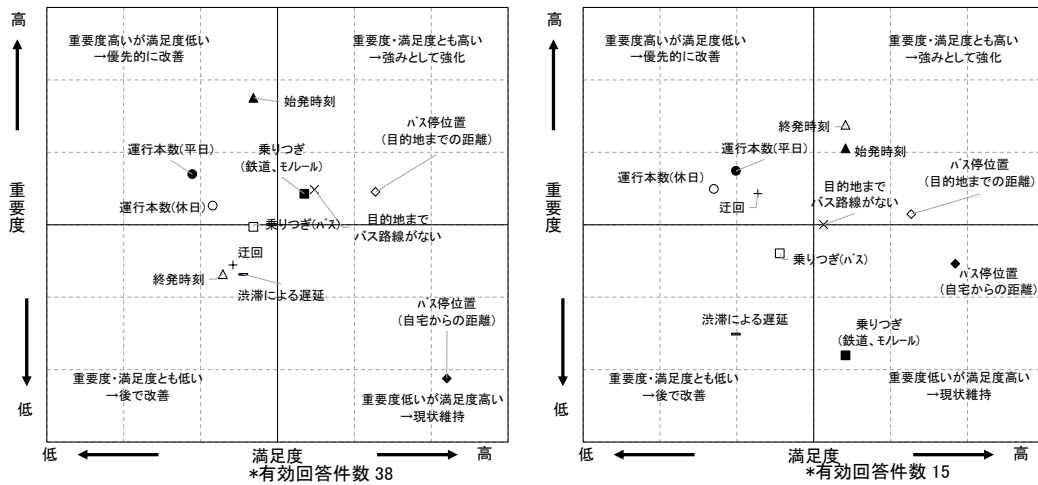


図 2-27 重要度満足度 玉川上水ルート 日中 平日(左図)、休日(右図)

・武蔵砂川ルート

・平日において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は目的地までバス路線がない不便さの「目的地までバス路線がない」である。

・休日において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は休日の運行本数の少なさの「運行本数(休日)」である。

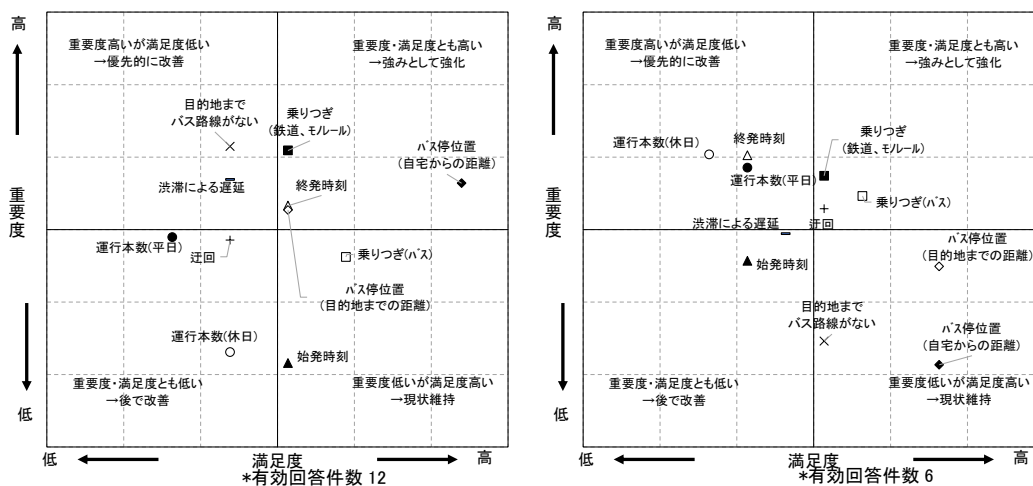


図 2-28 重要性満足度 武蔵砂川ルート 平日(左図)、休日(右図)

・西ルート

・平日において、最も「優先的に改善」の位置にある項目は鉄道、モノレール駅への乗りつぎの不便さの「乗りつき(鉄道、モノレール)」である。

・休日において、最も「優先的に改善」の位置にある項目はバス停への乗りつぎの不便さの「乗りつき(バス)」である。

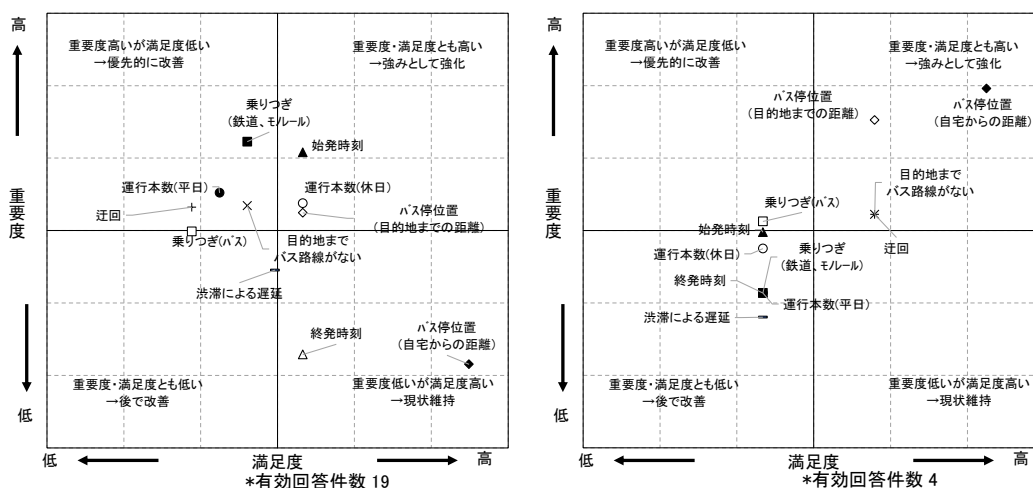


図 2-29 重要性満足度 西ルート 平日(左図)、休日(右図)

**問2-9 アイ 平日希望運行間隔と休日希望運行間隔**

・平日では「11～20分」の割合が回答者の43.2%と最も高く、次いで「21～30分」の割合が回答者の36.4%を占める。  
 ・休日では「21～30分」の割合が回答者の46.1%と最も高く、次いで「11～20分」の割合が回答者の37.1%を占める。  
 ・回答者の平均希望運行間隔は平日で21.9分、休日で24分であり、平日の方が短い。

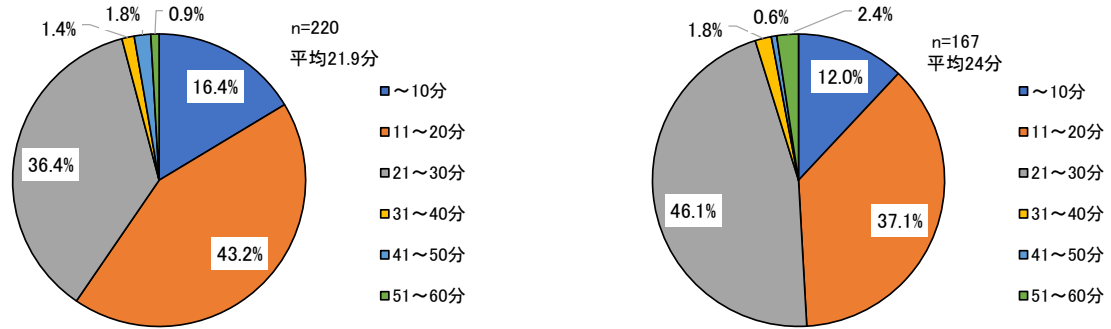


図 2-30 MM シャトル希望運行間隔構成比 平日(左図)、休日(右図)

**問2-9 ウエ 希望始発時間と希望終発時間**

・始発時間では「～5時台」の割合が回答者の37.9%と最も高く、次いで「6時台」の割合が回答者の35.0%を占める。  
 ・終発時間では「22時台」の割合が回答者の41.8%と最も高く、次いで「23時台～」の割合が回答者の30.6%を占める。

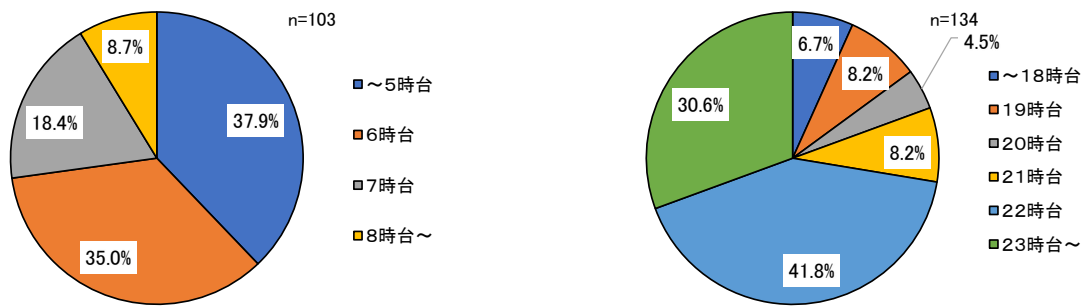


図 2-31 MM シャトル希望始発時間構成比(左図)、希望終発時間構成比(右図)

問2-9 オ MM シャトルで行きたい場所、施設

・現行のMM シャトルの路線では行くことのできない場所では、箱根ヶ崎駅で3件が最も多く、次いでジョイフル本田、ダイエー、西武線の駅、東大和警察署、いなげや、それぞれ2件である。

表 2-8 MM シャトルで行きたい場所、施設

目的地	件数	目的地	件数
武蔵砂川駅	6	玉川上水駅	1
武蔵村山市役所	4	イオンモール	1
市民総合センター	3	立川市の病院	1
箱根ヶ崎駅	3	福祉会館	1
病院	2	文明堂武蔵村山工場	1
ジョイフル本田	2	オザム	1
ダイエー	2	お伊勢の森	1
西武線の駅	2	三本榎	1
東大和警察署	2	緑が丘出張所	1
いなげや	2	上北台駅	1
		立川	1
		立川駅	1
		下田病院	1
		残堀～学園	1
		村山医療センター	1
		村山温泉かたくりの湯	1
		TAIRAYA	1
		三ツ藤	1
		総合体育館	1
		イトーヨーカドー東大和	1
		武蔵村山病院	1
		西武立川駅	1
		東京小児療育病院	1
		ケーヨーD2	1
		玉川上水	1
		ヤオコー	1
		トレジャーファクトリー	1

### 問3 MM シャトルの必要性や運営について

#### 問3-1 MM シャトルの必要性について、ご自身の考えに最も近いもの

・全体で「現在でも必要不可欠で重要な移動手段」と回答した割合が 82%と最も高く、どの路線でも同様に高く70%を超える。

・「現在も将来も特に必要性を感じない」との回答は路線別、年代別でみてもほとんどない。

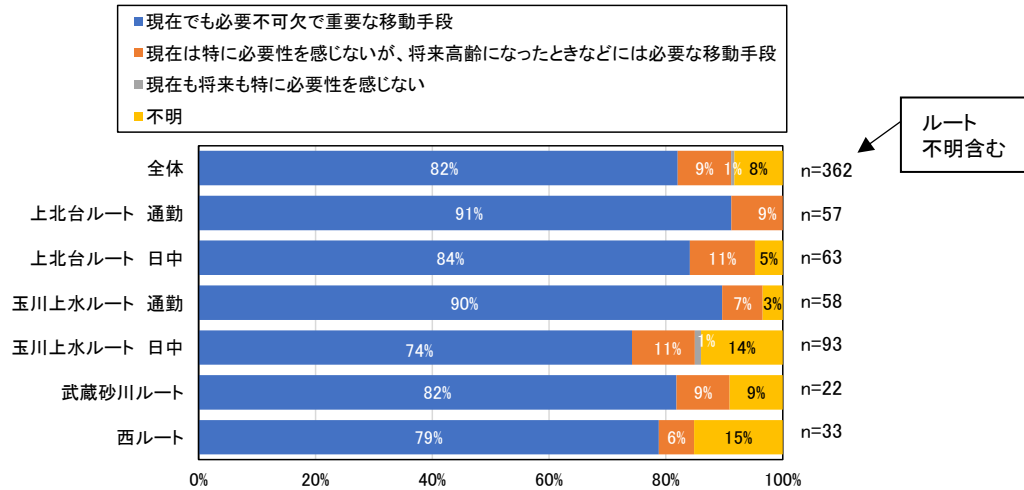


図 2-32 路線別、MM シャトルの必要性についての考え方の構成比

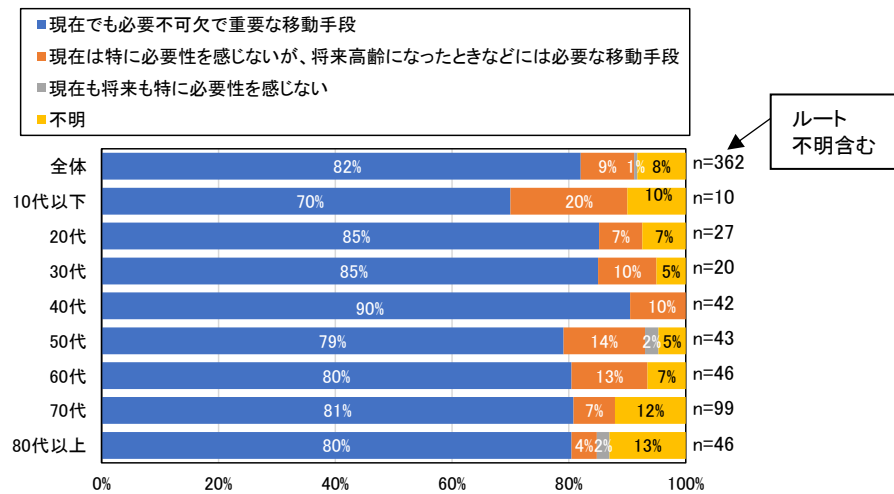


図 2-33 年代別、MM シャトルの必要性についての考え方の構成比

### 問3-2 MM シャトルの運営について、ご自身の考えに最も近いもの

・全体で「利用者や市の負担はあるにしても、利用しない人も含めた全体で MM シャトルのサービスを維持していくようにすべき」と回答した割合が 77%と最も高く、どの路線でも同様に高く 70%を超える。年代別に見ても同様にどの年代でも高い割合を占め、80代を除いたすべての年代で 70%を超える。

・「運営は MM シャトル利用者の運賃収入によって行われるべきであり、利用者が減少すれば、その分バス交通サービスが縮小・廃止されるのはやむを得ない」と回答した割合は日中時間帯運行路線より通勤時間帯運行路線で高い傾向にある。

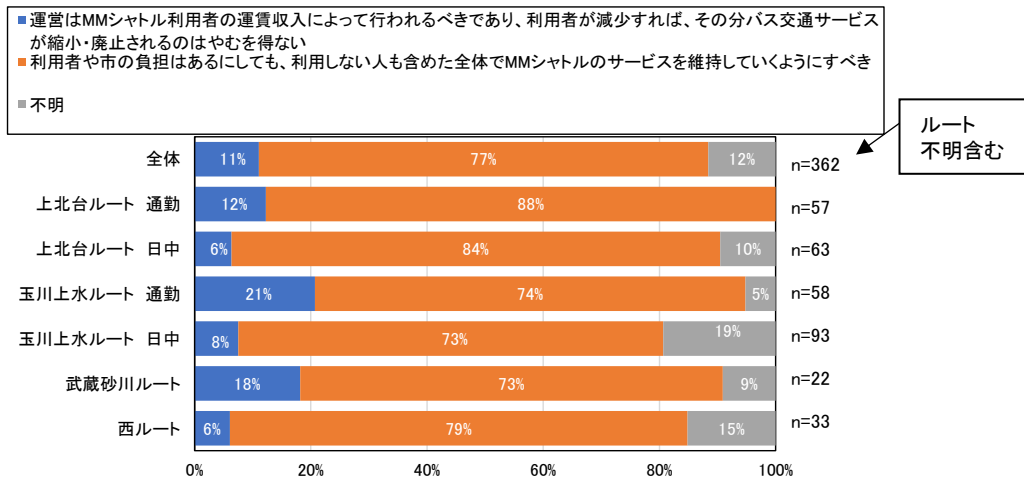


図 2-34 路線別、MM シャトルの運営についての考え方の構成比

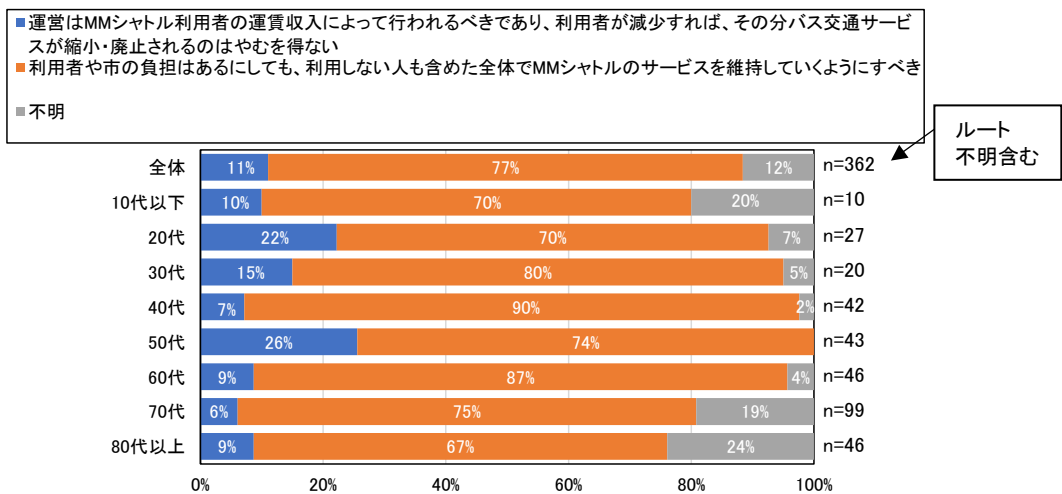


図 2-35 路線別、MM シャトルの運営についての考え方の構成比

問3-3 運営が厳しい場合の MM シャトルのサービスの維持のあり方として、ご自身の考えに最も近いもの

・全体で「運賃の値上げなど利用者の負担増はなるべく小幅としつつ、市(税金など)で費用負担して維持していく」と回答した割合が 54%と最も高く、どの路線でも同様に高く 45%を超える。年代別にみると、10 代以下、80 代以上を除いた全ての年代で最も高い割合を占める。

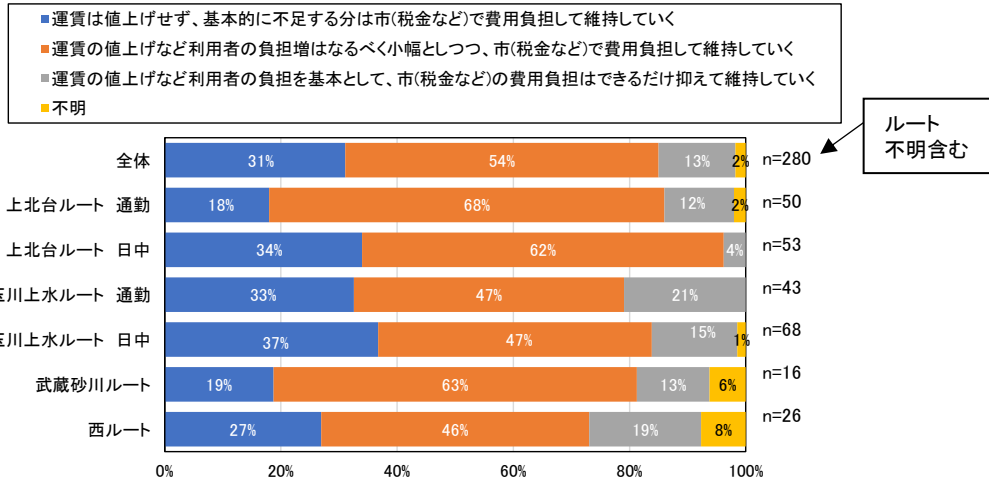


図 2-36 路線別、運営の厳しい場合の MM シャトルの維持のあり方についての考え方の構成比

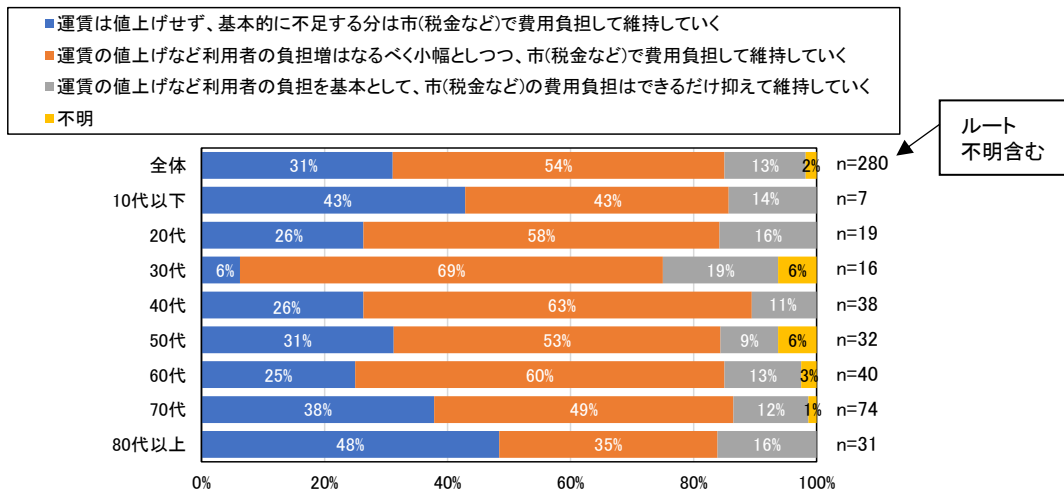


図 2-37 年代別、運営の厳しい場合の MM シャトルの維持のあり方についての考え方の構成比

## 問4 むらタクについて

### 問4-1 むらタクをご存じですか。

・「名前だけ知っている」「運行内容も知っている」を合わせた割合が全体で 55.0%であり、過半数を超えてむらタクの存在が知られている。

・「名前だけ知っている」「運行内容も知っている」を合わせた割合が最も高い路線は「西ルート」であり、回答者の 76%を占める。

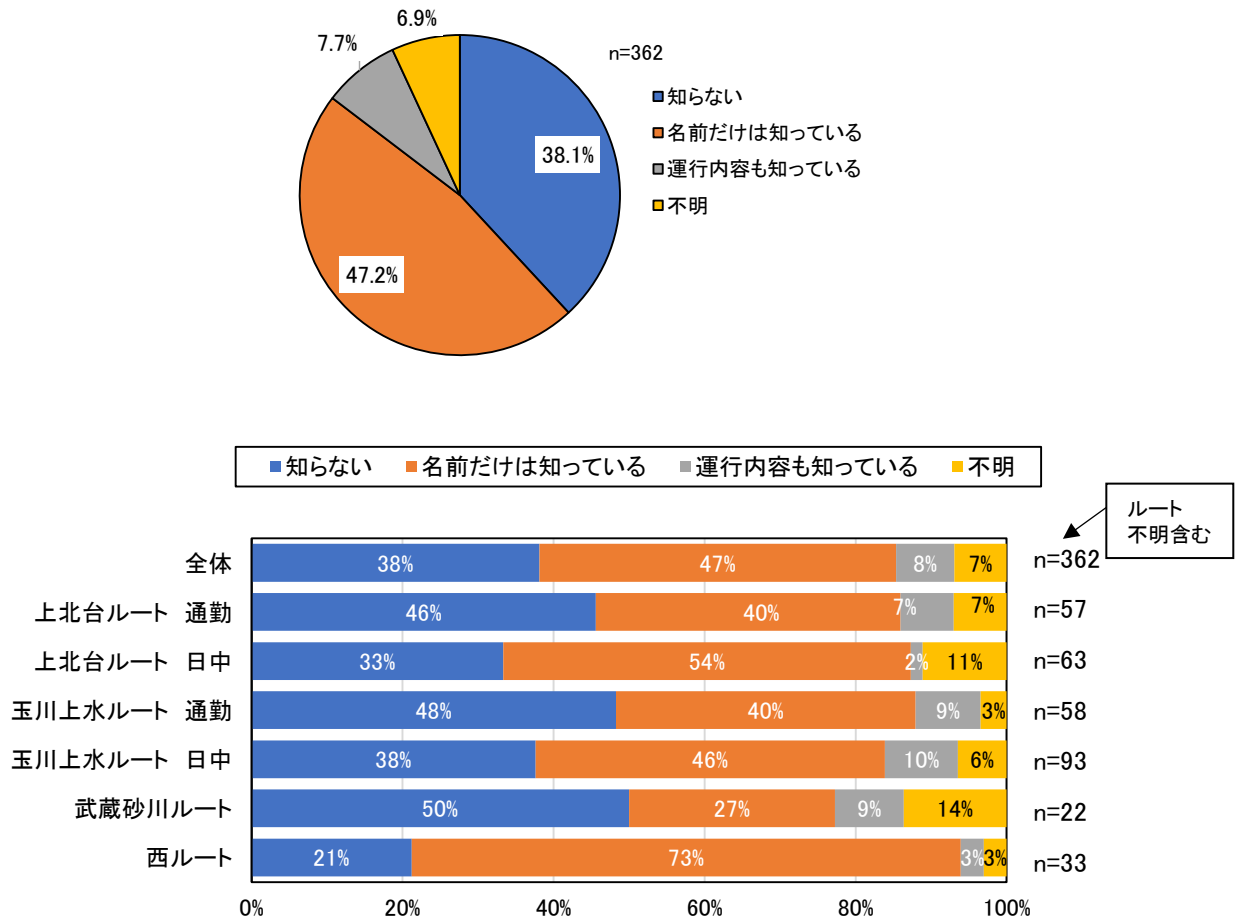


図 2-38 むらタクの認知度構成比(上図)、路線別むらタクの認知度構成比(下図)



・回答者数1件の伊奈平を除くと、残堀、中原、緑が丘はむらタクの認知度が80%以上の地区である。

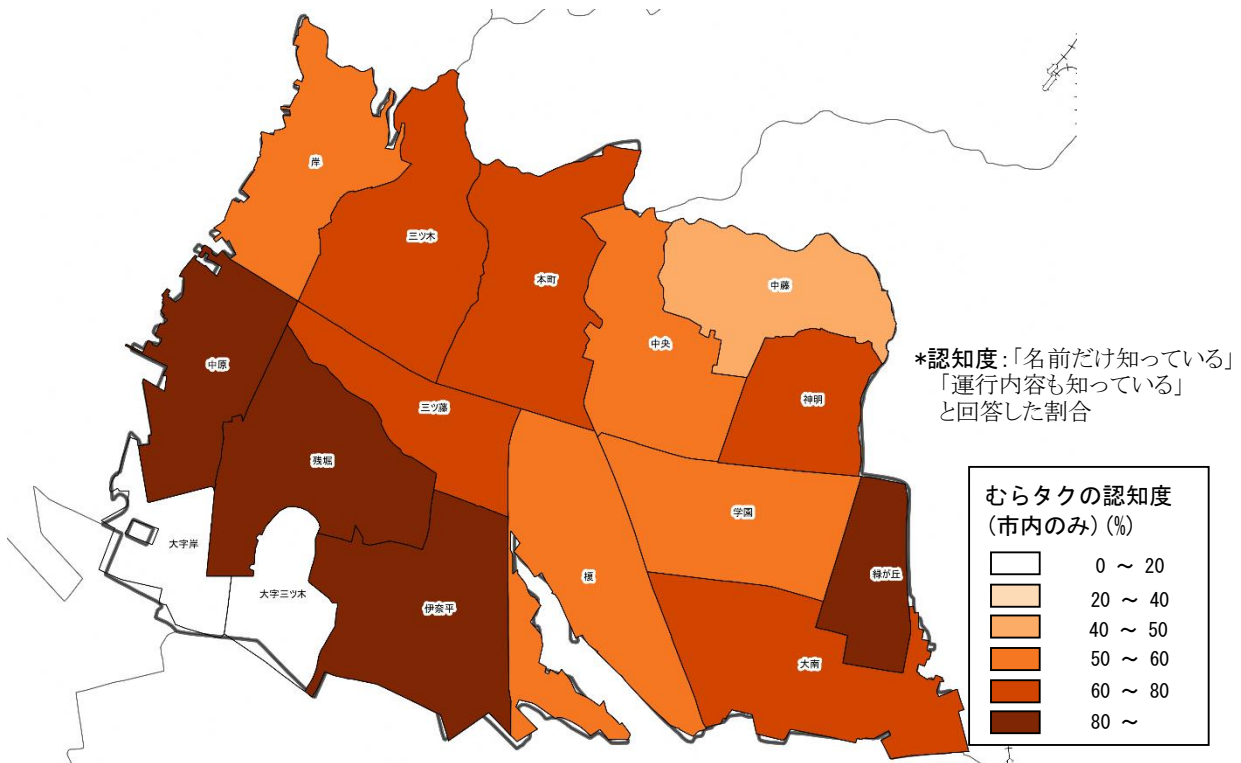
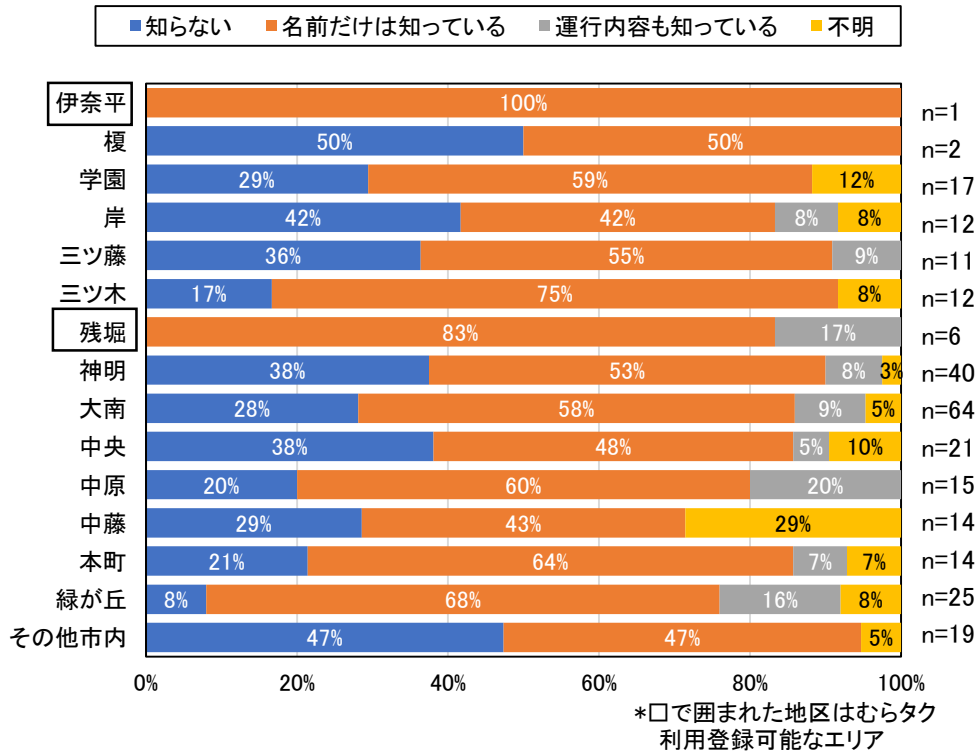


図 2-39 居住地別むらタクの認知度の構成比(上図)、地区別むらタクの認知度分布図(下図)

問4-2 あなたのお住まいの地域にむらたくを導入した場合、利用したいですか。

・「わからない」の回答割合が全体で 34.8%と最も高く、次いで「利用しないと思う」で 32.6%を占める。  
 ・「利用すると思う」「すでに利用している」を合わせた割合が最も高い路線は「西ルート」であり、回答者の 36%を占める。次いで、「玉川上水ルート 日中」で 35%を占める。  
 ・「利用すると思う」「すでに利用している」を合わせた割合が高い地区は順に伊奈平、岸、三ツ藤、大南である。

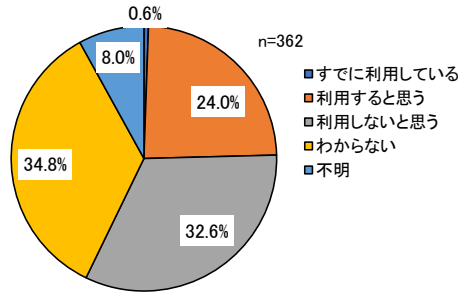


図 2-40 むらたくの利用意向構成比

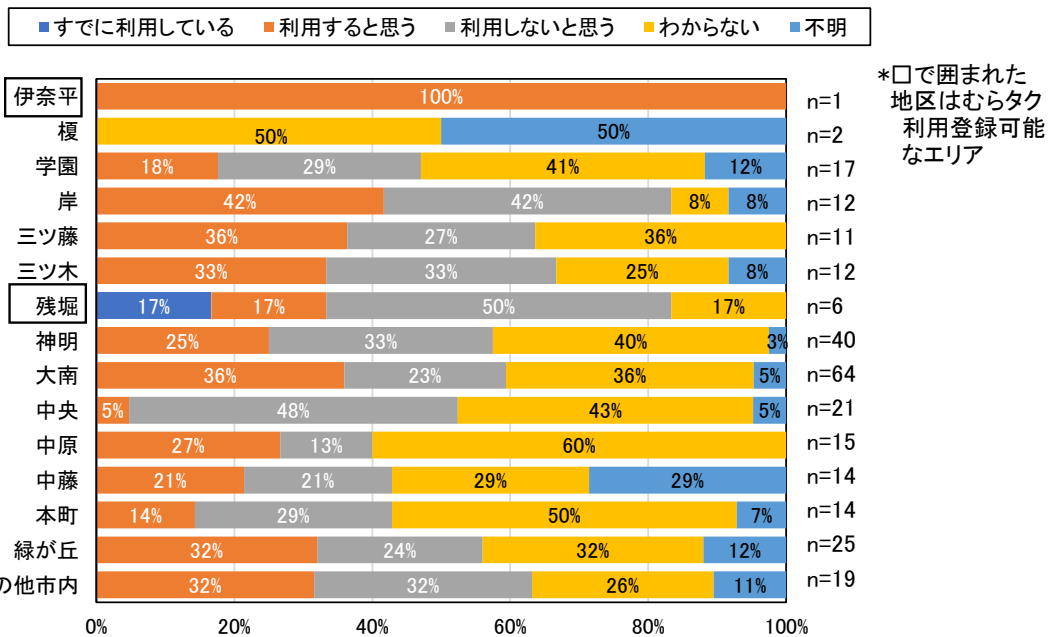
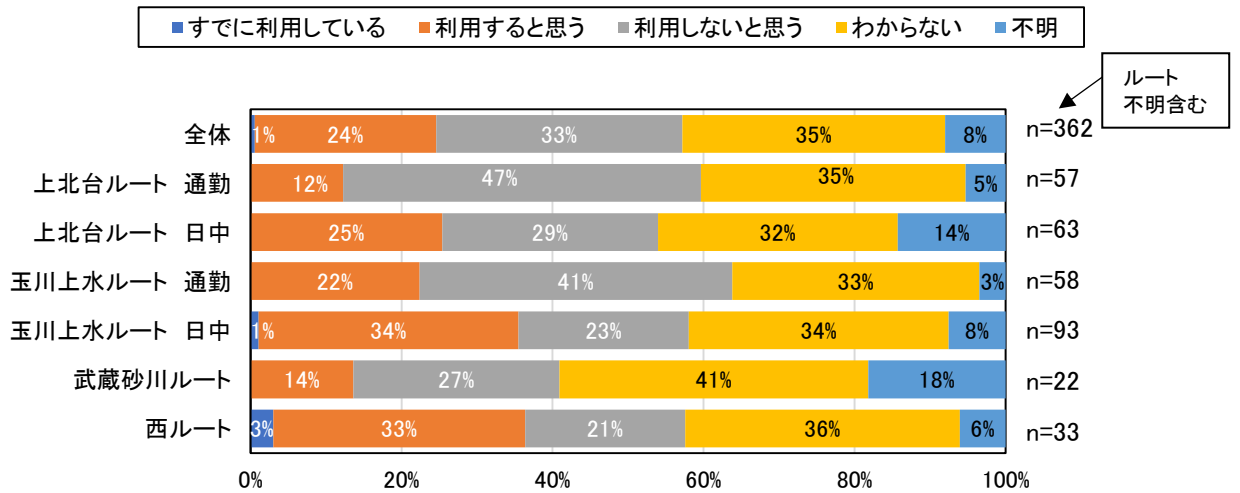


図 2-41 路線別むらたくの利用意向構成比(上図)、居住地別むらたくの利用意向構成比(下図)

問4-3 むらタクを利用する場合、行きたい施設はどこですか。(複数回答可能)

・「武蔵村山病院」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「武蔵村山市役所」で 54.0%、「村山医療センター」で 35.6%を占める。

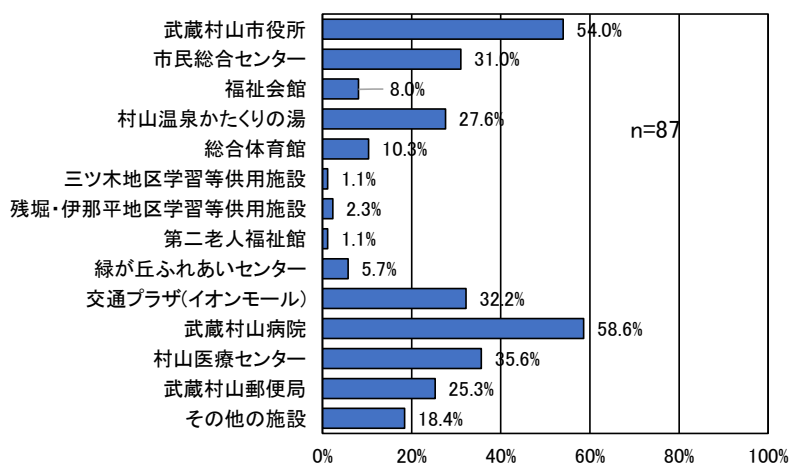


図 2-42 むらタク利用時に行きたい施設

問4-3 むらタクを利用する場合、行きたい施設はどこですか。 その他の施設記述内容

・最も多い記述内容は、シルバー人材センター、ダイエーでそれぞれ 2 件である。

表 2-9 むらタク利用時に行きたい施設 その他の施設記述内容

その他の施設	件数
シルバー人材センター	2
ダイエー	2
武蔵村山苑	1
駅	1
上北台駅	1
イトーヨーカドー東大和店	1
ヤオコー	1
いなげや	1
オザム	1
緑が丘出張所	1
東大和警察署	1
下田病院	1
病院	1
立川市	1

問4-4 むらタクを利用する場合、どのくらいの頻度で利用すると思いますか。

・「月に数回」の回答割合が32.2%と最も高く、次いで「週に2、3日」で20.7%を占める。  
 ・利用頻度を週に1日以上とする回答割合は48.3%を占める。

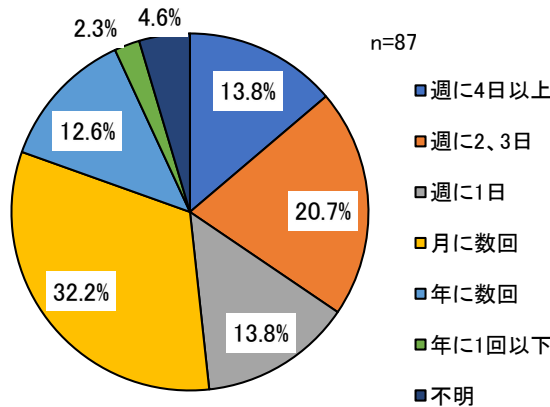
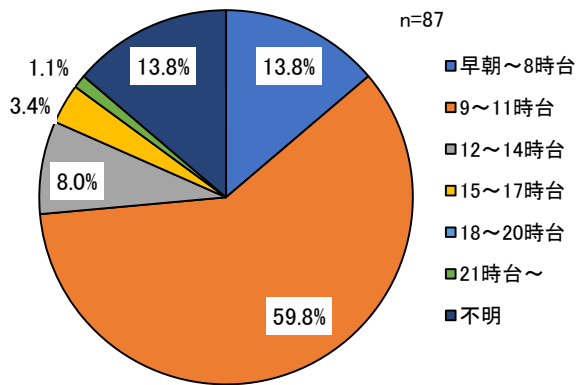


図 2-43 想定するむらタク利用頻度構成比

問4-5 むらタクを利用する場合、どの時間帯に利用しますか。

・全体で「9～11時台」の回答割合が59.8%と最も高く、次いで「早朝～8時台」で13.8%を占める。



■ 早朝～8時台 ■ 9～11時台 ■ 12～14時台 ■ 15～17時台 ■ 18～20時台 ■ 21時台～ ■ 不明

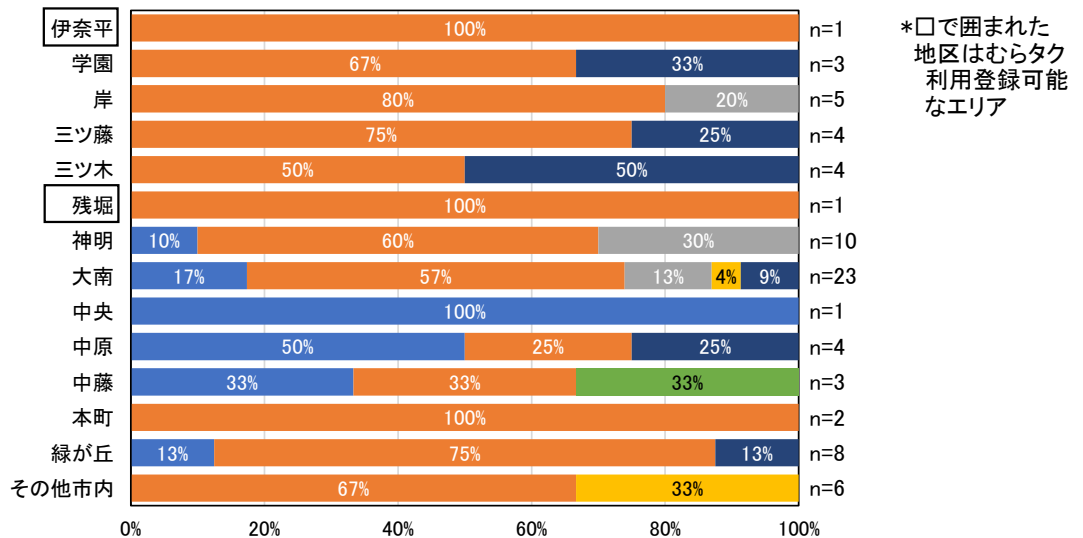


図 2-44 想定するむらタク利用時間帯構成比(上図)、居住地区別想定するむらタク利用時間帯構成比(下図)

## 問5 新型コロナウイルスによる日常の行動への影響について

### 問5-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。(複数回答可能)

・「通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した」の回答割合が 42.8%と最も高く、次いで「以前とほとんど変わらない外出行動をしている」で 34.5%を占める。

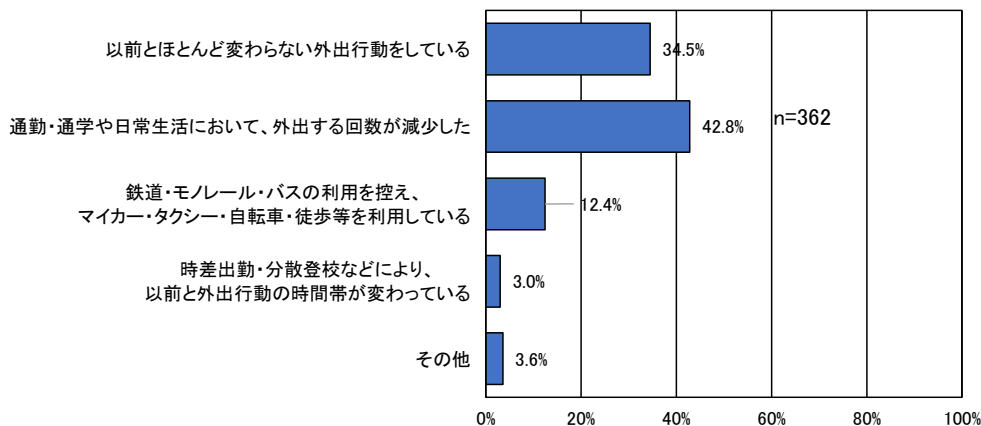


図 2-45 外出行動の変化

### 問5-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。 その他記述内容

・最も多い内容で通勤以外の外出の減少について 3 件、次いで必要なときのみ利用との内容が 2 件である。

表 2-10 新型コロナウイルスの影響による現在の外出行動の変化 その他記述内容

その他記述内容	件数
通勤以外の外出が減少した・利用しなくなった	3
必要なときのみ利用	2
日頃の買い物はシャトルを利用、遠出の買い物はほとんど控えている	1
以前から外出していない	1
病院と食品の買い物以外の外出をしていない	1
ステイホーム	1

### 問5-2 通勤・通学や日常生活において、どのくらい外出が減少しましたか。

・「2割未満」は通勤で 25%と最も高い割合を占める。  
 ・「10割」は日常生活で 2%と最も低い割合を占める。  
 ・通勤では平均 4.4割、通学では平均 7.5割、日常生活では平均 4.8割、趣味等では平均 6.5割の値を示す。

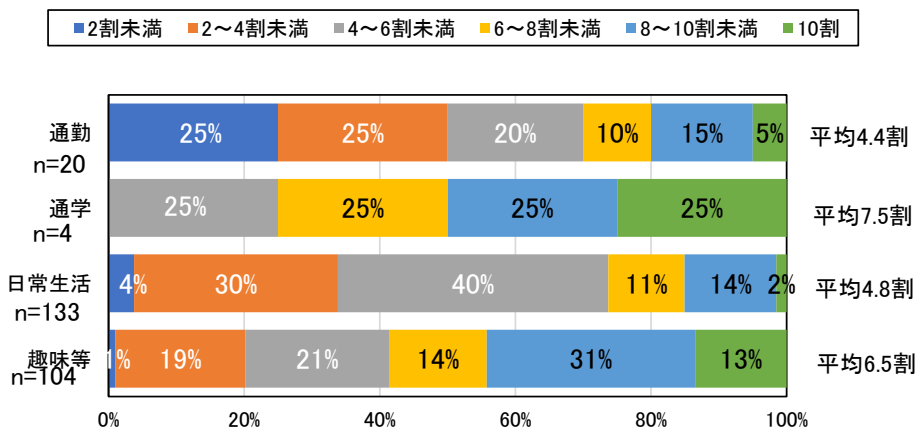


図 2-46 各種目的における外出回数減少割合構成比

### 3. 市内循環バス(MMシャトル)利用者OD調査

○調査期間

10/11(日)【天気/曇り】

10/13(火)【天気/晴れ一時曇り】に実施。

○調査方法

調査員が市内循環バスに乗車し、全路線・全便の乗車客に対して目視及びヒアリングにより実施。調査内容は以下の通り。

バス利用状況	乗車路線		
	乗車バス停・降車バス停		
個人属性	性別	男、女	
	年代	未就学児、小学生、中高生、 それ以外、高齢者	調査員の目視
	運賃支払い方法	IC カード、現金、回数券、シル バーパス、MM フリーパス、 未就学児(無料)	

○調査日における利用者数

平日(10/13(火))	1076 名
休日(10/11(日))	362 名

#### 3-1. 利用者数

- ・平日、休日ともに、「玉川上水ルート 日中」の利用者数が最も多く、次いで「上北台ルート 日中」「上北台ルート 通勤」の順に利用者数が多いが、その次に平日では「玉川上水ルート 通勤」、休日では「西ルート」の利用者数が多い。
- ・「武蔵砂川ルート」の利用者数は平日、休日ともに最も少ない。

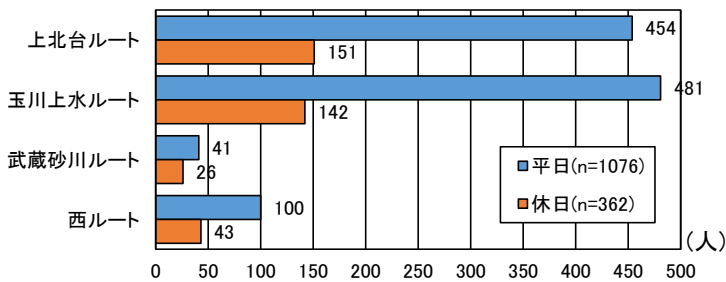


図 3-1 路線別利用者数 今回調査

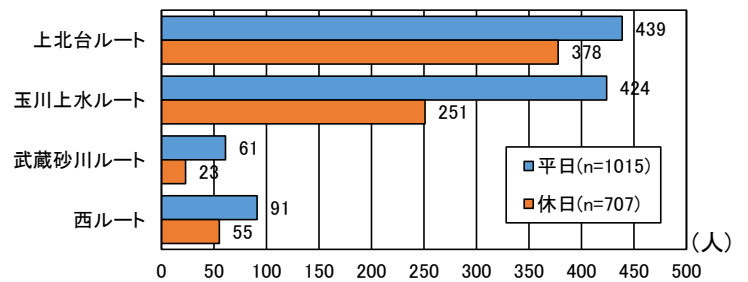


図 3-2 前回(平成 26 年度)の路線別利用者数

(1) 路線別、性別利用者数

- ・平日、休日ともに女性の方が多く利用している。特に平日において、日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」では他の通勤時間帯運行路線と比べて女性利用の割合が高い。
- ・日中時間帯運行路線の男性利用割合は平日と比べて休日の方が高い。

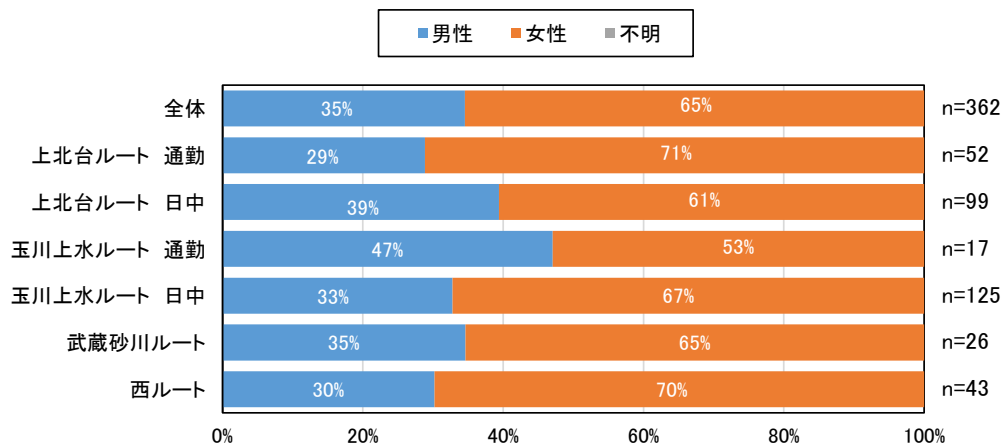
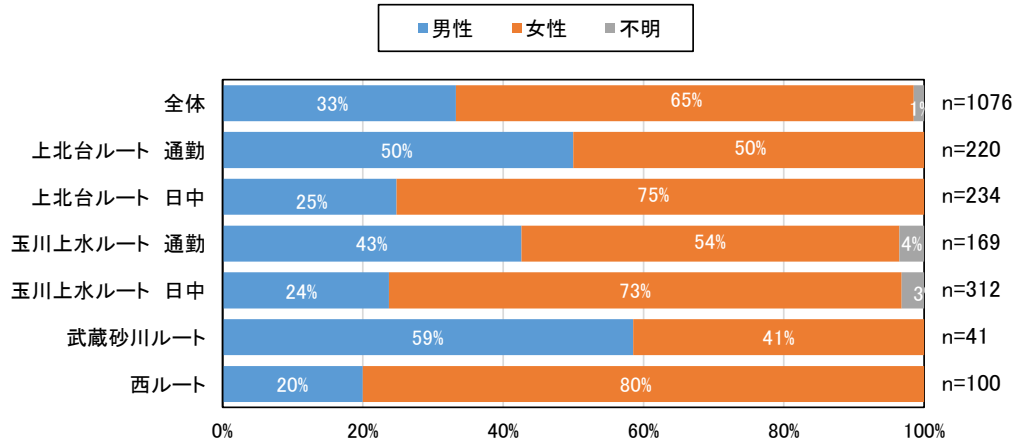


図 3-3 路線別、性別利用者数構成比 平日(上図)、休日(下図)

(2) 路線別、年代別利用者数

・「その他」を除くと、平日、休日ともに「高齢者」の利用割合は他の年代と比べて高い。特に、日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」では他の通勤時間帯運行路線と比べて「高齢者」の利用割合は高い。

・「未就学児」「小学生」「中高生」の合計割合は、「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」を除き、平日より休日の方が高い。

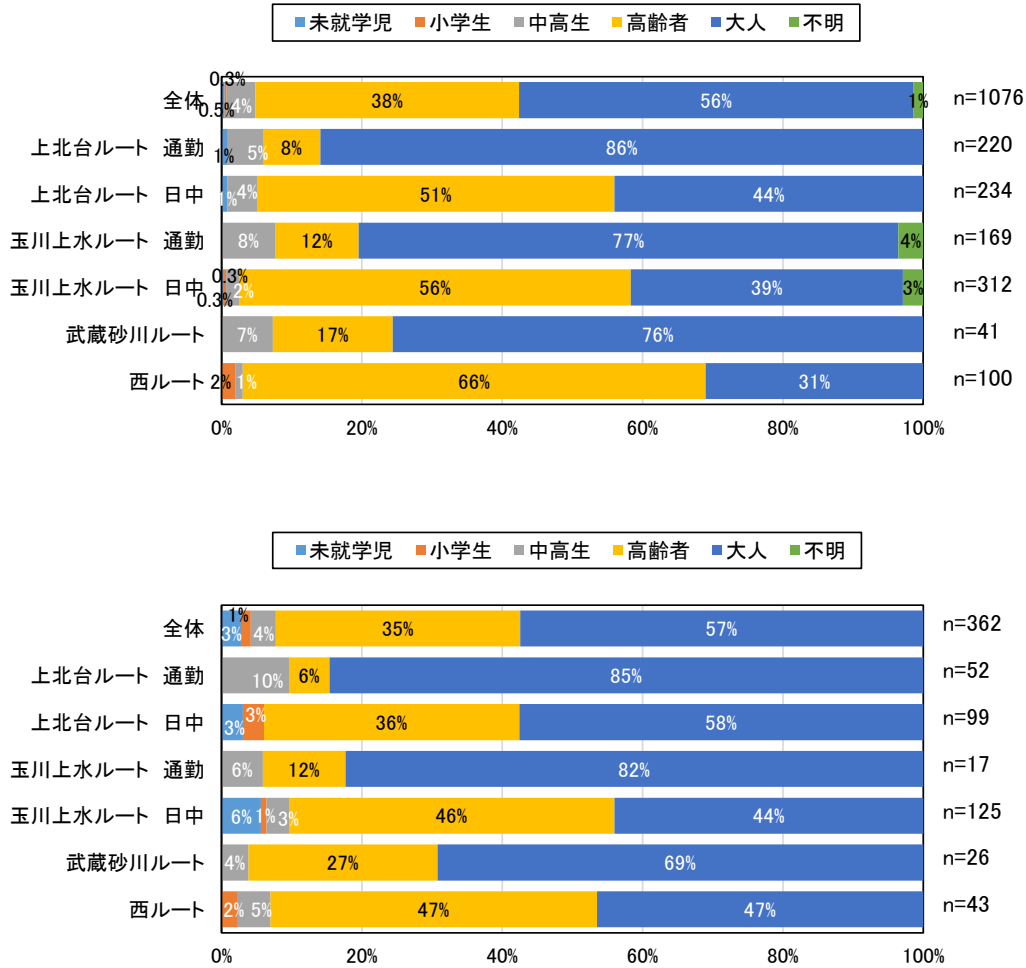


図 3-4 路線別、年代別利用者数構成比 平日(上図)、休日(下図)



・路線別、年代別利用者数(「その他」の年代内訳)

- ・休日において、「武蔵砂川ルート」では「20代」の利用割合が56%と最も高く、この割合は他の路線と比べても最も高い。
- ・平日での利用は無いが、休日での「西ルート」における「10代」の利用割合は15%であり、この割合は他の路線と比べて最も高い。
- ・平日での利用割合は1%であるが、休日での「玉川上水ルート 通勤」における「60代」の利用割合は14%であり、この割合は他の路線と比べて最も高い。

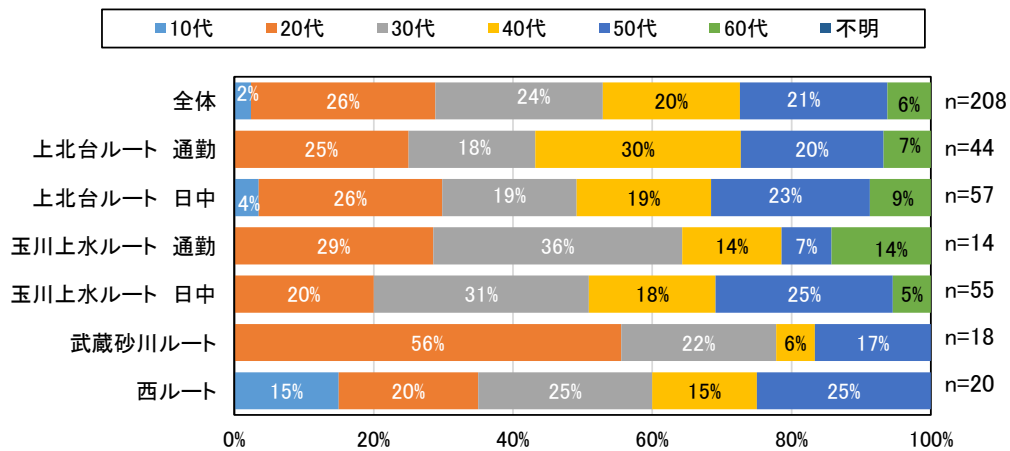
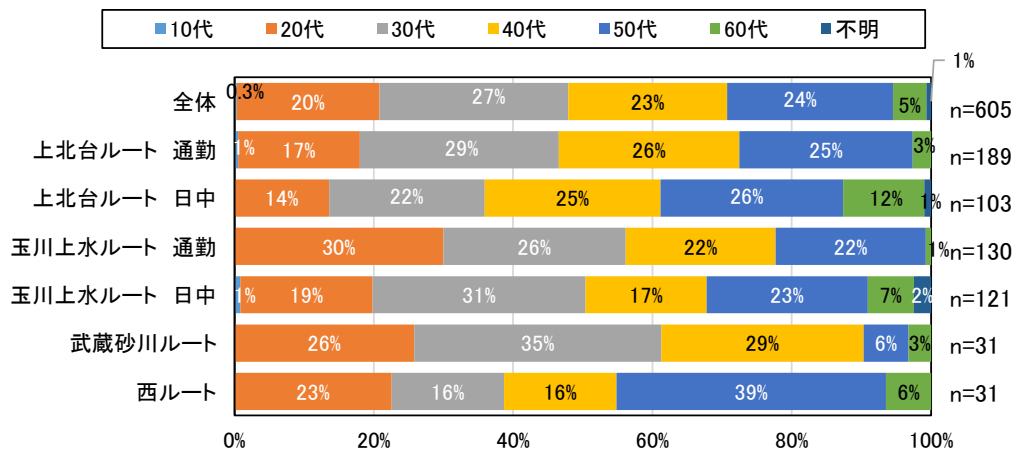


図 3-5 路線別、年代別利用者数(その他の年代内訳)構成比 平日(上図)、休日(下図)

(3) 路線別、支払方法利用者数

・平日、休日ともに通勤時間帯運行路線の「上北台ルート 通勤」「玉川上水ルート 通勤」「武蔵砂川ルート」では他の日中時間帯運行路線と比べて「ICカード」の利用割合が高い。  
 ・「ICカード」を除くと、平日、休日ともに「シルバーパス」の利用割合は他の券種と比べて高い。特に、日中時間帯運行路線の「上北台ルート 日中」「玉川上水ルート 日中」「西ルート」では他の通勤時間帯運行路線と比べて「シルバーパス」の利用割合が高い。

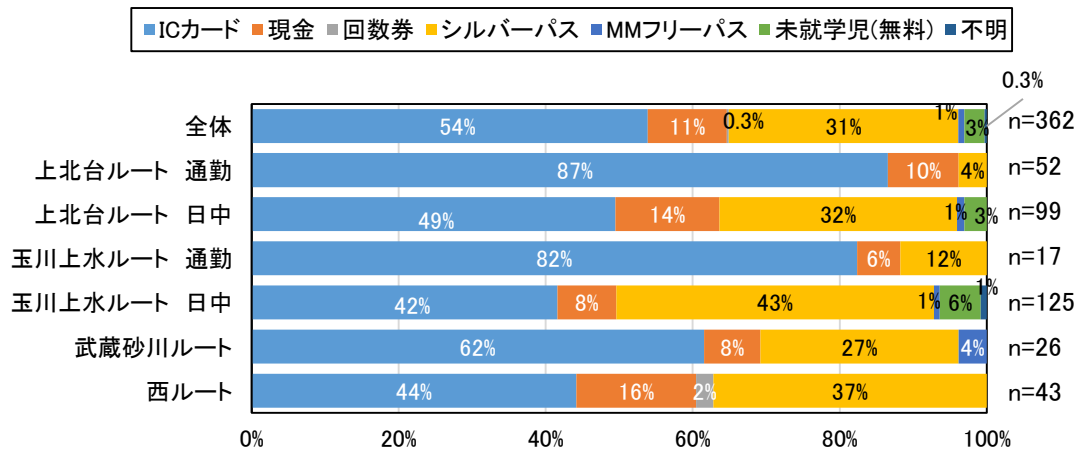
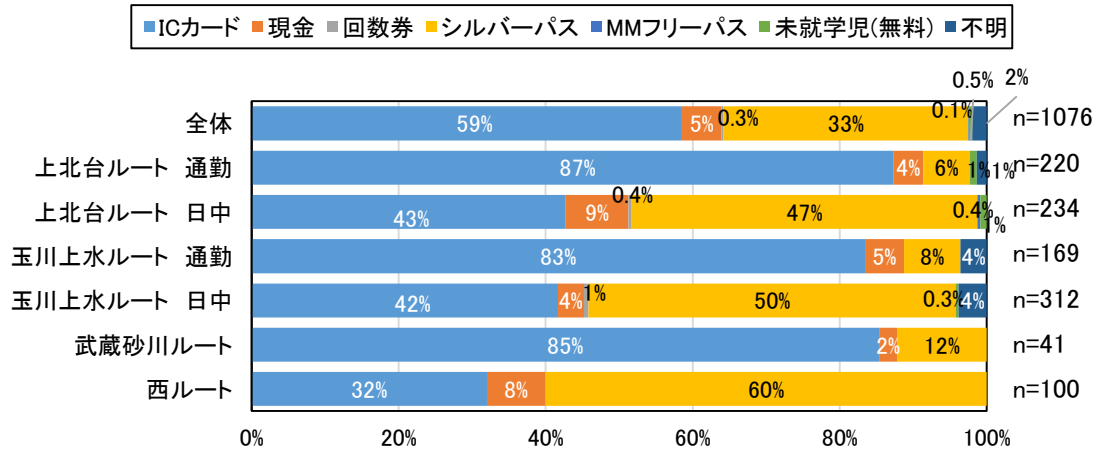


図 3-6 路線別、支払方法別利用者数構成比 平日(上図)、休日(下図)

### 3-2. 便別利用者数

#### (1) 上北台ルート

##### 【通勤時】

・平日では、朝(～10時台)は「7:55 発」(上北台駅発着循環)、夜(17時台～)は「17:12 発」(上北台駅発着循環 かたくりの湯経由)の利用者数が最も多く、それぞれ 21 人、19 人である。

・休日では、朝(～10時台)は「7:35 発」(上北台駅発着循環)、夜(17時台～)は「17:10 発」(上北台駅発着循環 かたくりの湯経由)の利用者数が最も多く、それぞれ 7 人、11 人である。

##### 【日中時】

・総合体育館方面において、平日では朝(～10時台)は「9:50 発」、日中(11～16時台)は「15:10 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 15 人、14 人である。休日では朝(～10時台)は「10:25 発」、日中(11～16時台)は「11:50 発」「13:55 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 5 人、7 人である。

・上北台駅方面において、平日では朝(～10時台)は「9:50 発」、日中(11～16時台)は「11:15 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 13 人、19 人である。休日では朝(～10時台)は「9:43 発」、日中(11～16時台)は「12:28 発」の利用者数が最も多く、どちらも 7 人である。

上北台ルート・便別の利用者数

平日（左図）

休日（右図）

【通勤時】

＜上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着・発 ⇒ 上北台駅着\*＞

□：富士見通り始発の便 ○：三ツ木地区会館着の便

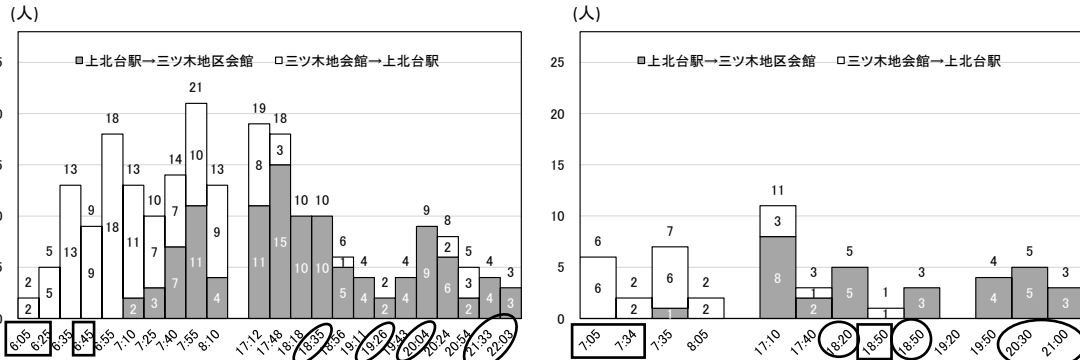


図 3-7 便別利用者数 上北台駅発⇒三ツ木地区会館着・発⇒上北台駅着\*（\*一部、富士見通り始発、三ツ木地区会館着）

【日中時】

＜上北台駅発 ⇒ 総合体育館着＞

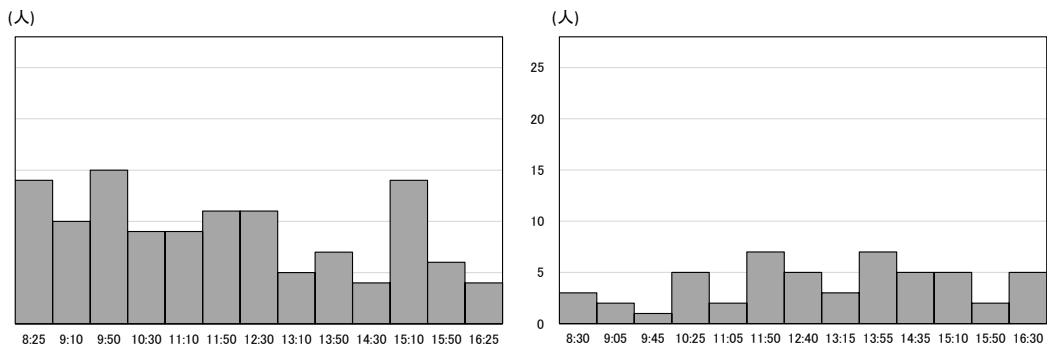


図 3-8 便別利用者数 上北台駅発⇒総合体育館着

＜総合体育館発 ⇒ 上北台駅着＞

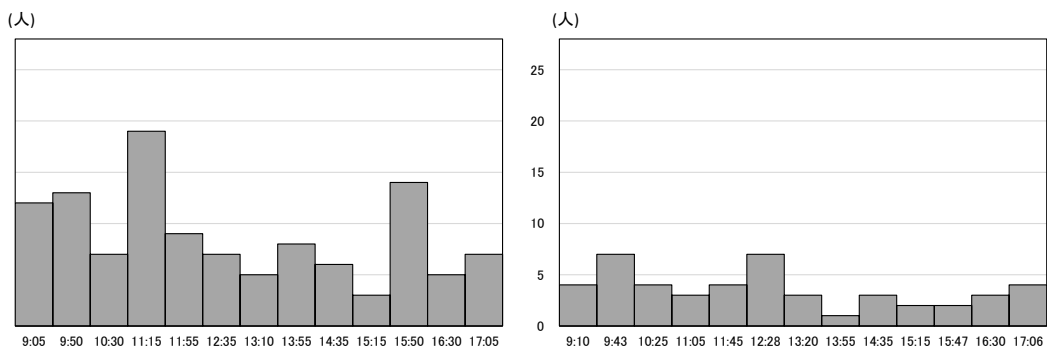


図 3-9 便別利用者数 総合体育館発⇒上北台駅着

注) 各グラフの横軸に記載した時刻は、始発バス停の出発時刻を示す。

## (2) 玉川上水ルート

### 【通勤時】

- ・武蔵村山市役所前方面において、平日では朝(～10 時台)は「7:10 発」、夜(17 時台～)は「18:20 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 15 人、10 人である。休日では「18:00 発」の利用者数が 5 人と最も多い。
- ・玉川上水駅方面において、平日では朝(～10 時台)は「7:40 発」、夜(17 時台～)は「17:45 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 12 人、9 人である。休日では朝(～10 時台)は「7:50 発」「8:50 発」ともに利用者数が 3 人、夜(17 時台～)は「18:35 発」で利用者数が 2 人、計 5 人の利用者のみである。

### 【日中時】

- ・かたくりの湯方面において、平日では朝(～10 時台)は「9:10 発」、日中(11～16 時台)は「11:55 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 18 人、21 人である。休日では朝(～10 時台)は「10:20 発」、日中(11～16 時台)は「11:05 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 13 人、9 人である。
- ・玉川上水駅方面において、平日では朝(～10 時台)は「9:10 発」、日中(11～16 時台)は「11:10 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 27 人、21 人である。休日では朝(～10 時台)は「9:15 発」「10:20 発」ともに利用者数が 5 人、日中(11～16 時台)は「15:25 発」の利用者数が最も多く、12 人である。

玉川上水ルート・便別の利用者数

平日（左図）

休日（右図）

【通勤時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 武蔵村山市役所前着＞

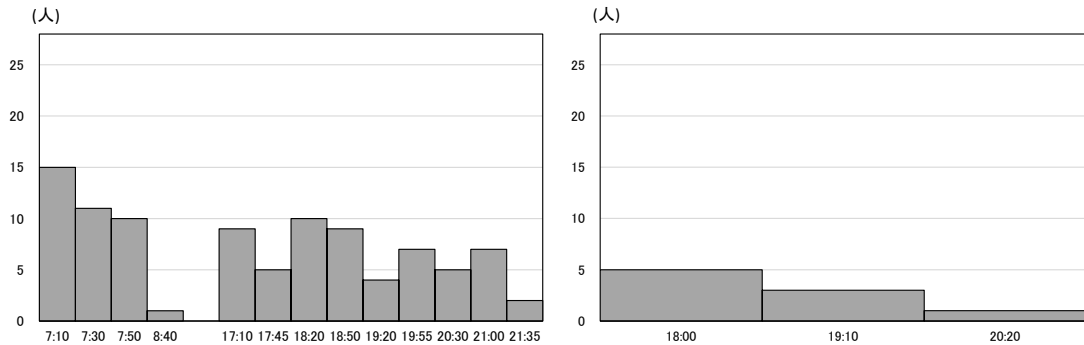


図 3-10 便別利用者数 玉川上水駅⇒武蔵村山市役所

＜武蔵村山市役所前発 ⇒ 玉川上水駅着＞

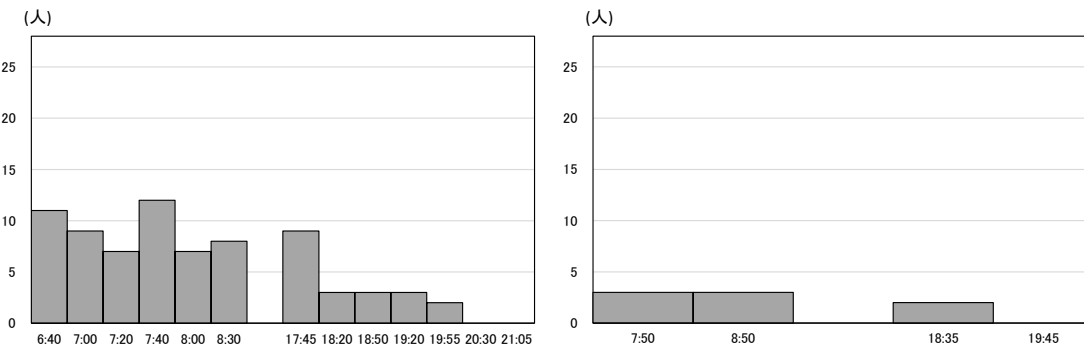


図 3-11 便別利用者数 武蔵村山市役所前⇒玉川上水駅着

【日中時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯着＞

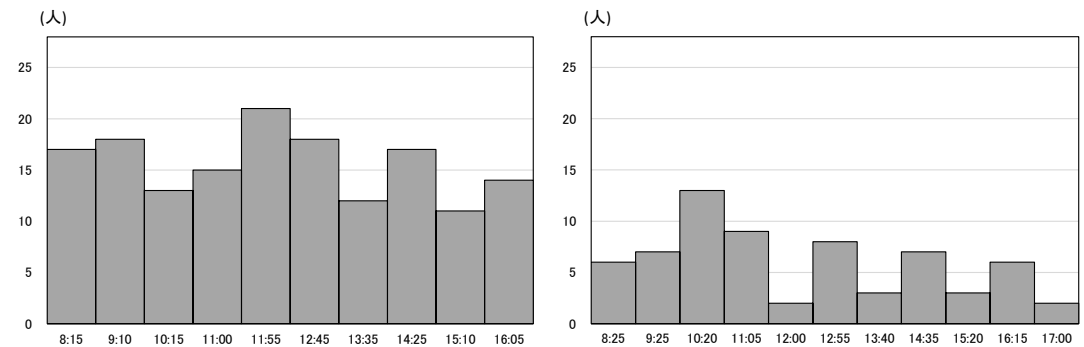


図 3-12 便別利用者数 玉川上水駅⇒村山温泉かたくりの湯着

＜村山温泉かたくりの湯発 ⇒ 玉川上水駅着＞

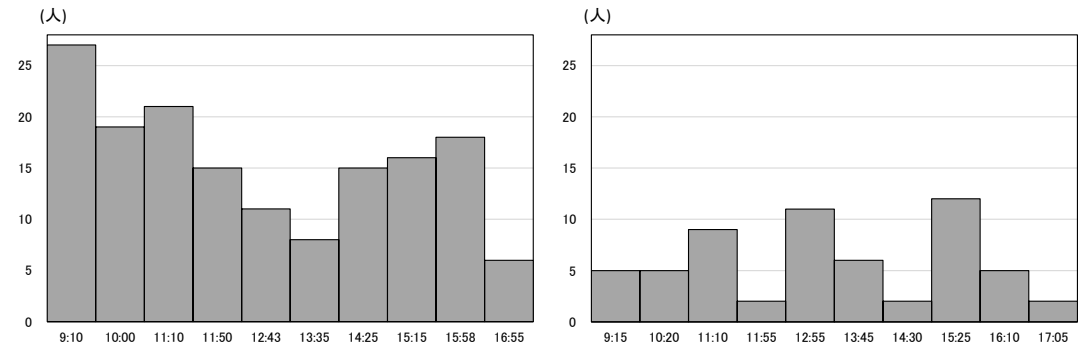


図 3-13 便別利用者数 村山温泉かたくりの湯⇒玉川上水駅着

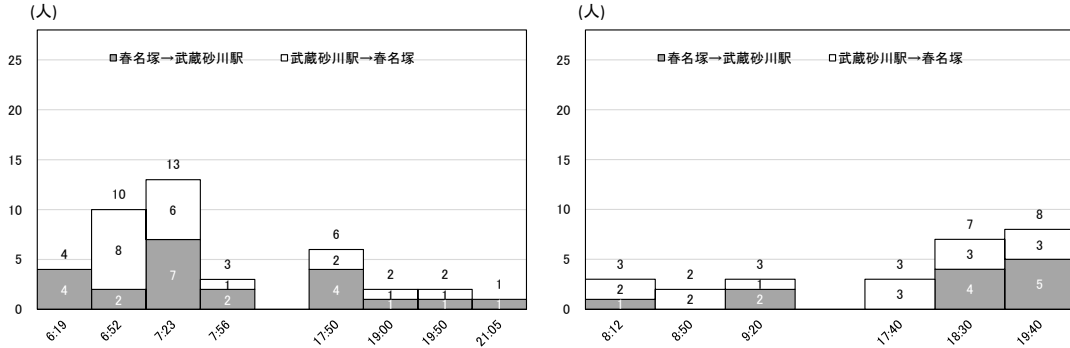
注) 各グラフの横軸に記載した時刻は、始発バス停の出発時刻を示す。

(3) 武蔵砂川ルート

・平日では朝(～10 時台)は「7:23 発」、夜(17 時台～)は「17:50 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 13 人、6 人である。休日では朝(～10 時台)は「8:12 発」「9:20 発」、夜(17 時台～)は「19:40 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 3 人、8 人である。

**平日 (左図)** **休日 (右図)**

＜春名塚発 ⇒ 武蔵砂川駅着・発 ⇒ 春名塚着＞



注) 各グラフの横軸に記載した時刻は、始発バス停の出発時刻を示す。

図 3-14 便別利用者数 春名塚発⇒武蔵砂川駅着・発⇒春名塚着

(4) 西ルート

・総合体育館方面において、平日では朝(～10 時台)は「9:10 発」「10:20 発」、日中(11～16 時台)は「15:40 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 4 人、10 人である。休日では朝(～10 時台)は「10:15 発」「10:45 発」ともに利用者数が 2 人、日中(11～16 時台)は「16:55 発」の利用者数が最も多く、4 人である。

・村山医療センター方面において、平日では朝(～10 時台)は「8:35 発」、日中(11～16 時台)は「16:15 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 10 人、5 人である。休日では朝(～10 時台)は「9:35 発」「10:55 発」、日中(11～16 時台)は「15:10 発」の利用者数が最も多く、それぞれ 4 人、5 人である。

**平日 (左図)** **休日 (右図)**

＜村山医療センター発 ⇒ 総合体育館着＞

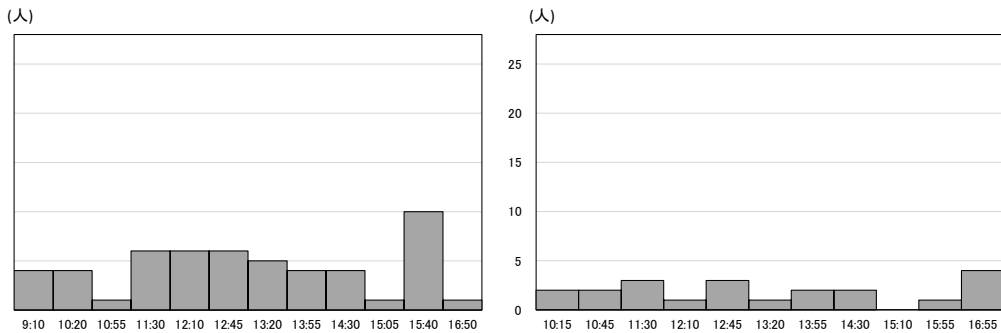
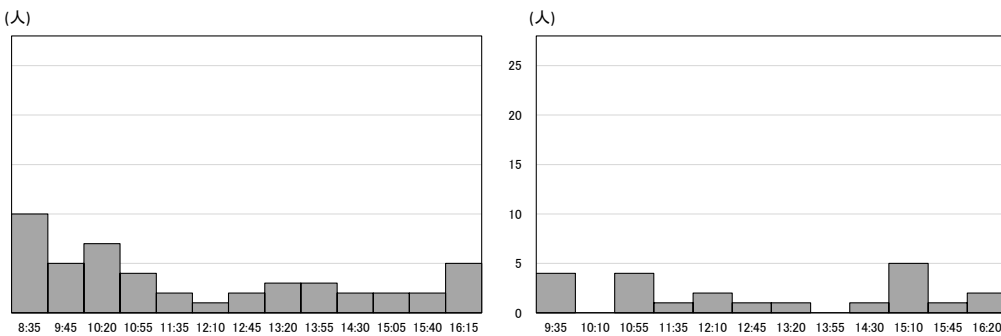


図 3-15 便別利用者数 村山医療センター発⇒総合体育館着

＜総合体育館発 ⇒ 村山医療センター着＞



注) 各グラフの横軸に記載した時刻は、始発バス停の出発時刻を示す。

図 3-16 便別利用者数 総合体育館発⇒村山医療センター着

### 3-3. バス停別乗降者数

#### (1) 上北台ルート

##### 【通勤時】

- ・平日、休日ともに乗降者数は「上北台駅」で最も多い。次いで、平日では「武蔵村山市役所前」、休日では「神明三丁目」「神明二丁目」「原山」で乗降者数が多い。
- ・平日、休日ともに「横田トンネル前」「村山温泉かたくりの湯」の乗降者数は0人である。

##### 【日中時】

- ・平日、休日ともに乗降者数は「上北台駅」で最も多い。次いで、平日では「武蔵村山市役所前」、休日では「神明三丁目」で乗降者数が多い。
- ・平日、休日ともに「横田トンネル前」の乗降者数は0人である。

#### 平日（左図）

#### 休日（右図）

##### 【通勤時】

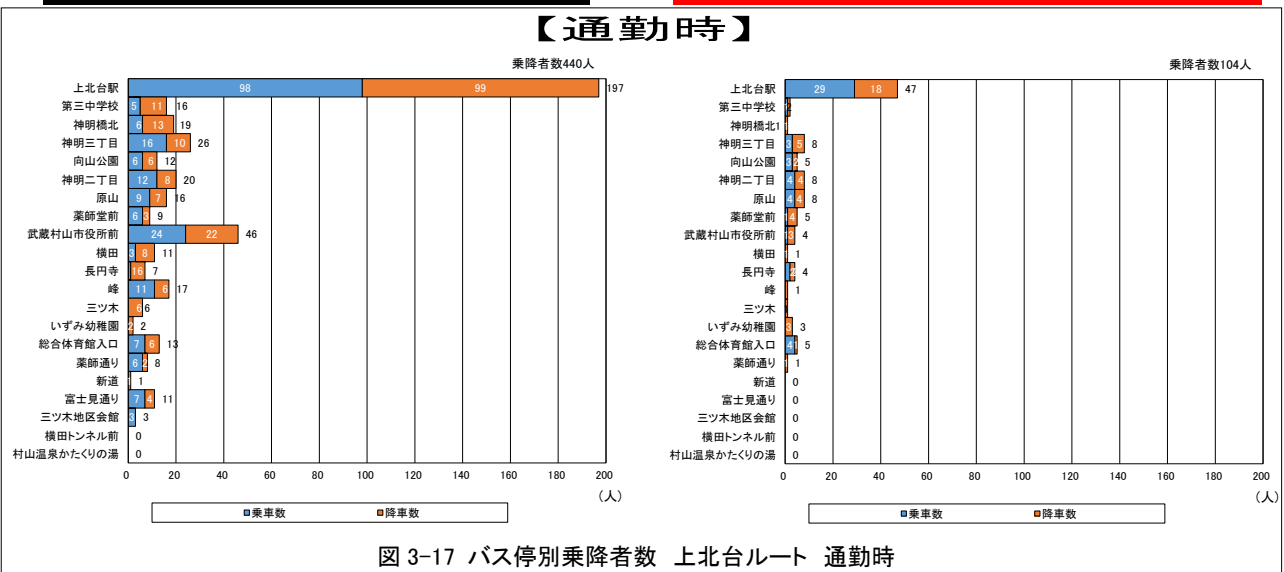


図 3-17 バス停別乗降者数 上北台ルート 通勤時

##### 【日中時】

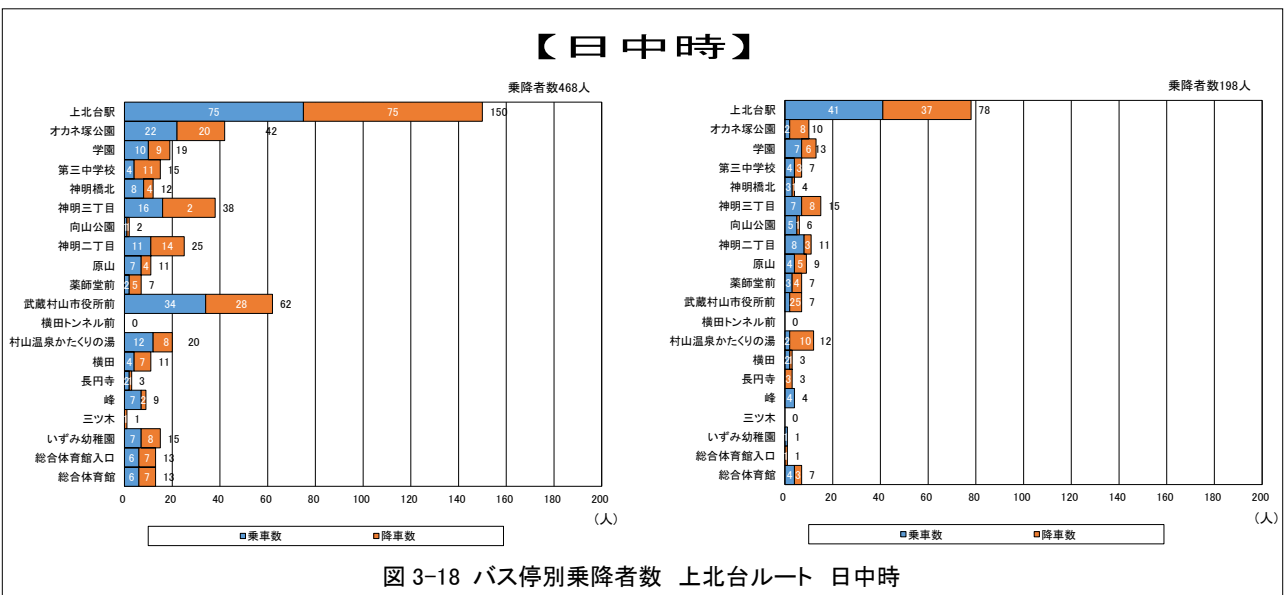


図 3-18 バス停別乗降者数 上北台ルート 日中時



(2) 玉川上水ルート

【通勤時】

・平日、休日ともに乗降者数は「玉川上水駅」で最も多い。次いで、平日では「学南通り」、休日では「湖南衛生組合前」で乗降者数が多い。

・平日、休日の乗降者数の合計値が最も小さいバス停は「玉川上水駅入口」で合計1人である。

【日中時】

・平日、休日ともに乗降者数は「玉川上水駅」で最も多く、次いで「イオンモール」が多い。

その次は、平日では「村山医療センター」、休日では「学園」で乗降者数が多い。

・平日、休日の乗降者数の合計値が最も小さいバス停は「丸山台」「横田トンネル前」で合計1人である。

平日（左図）

休日（右図）

【通勤時】

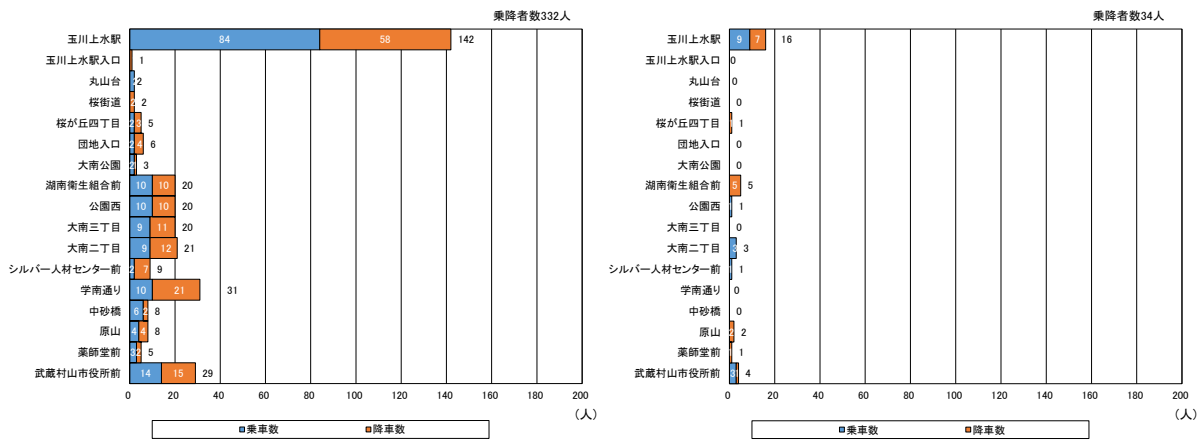


図 3-19 バス停別乗降者数 玉川上水ルート 通勤時

【日中時】

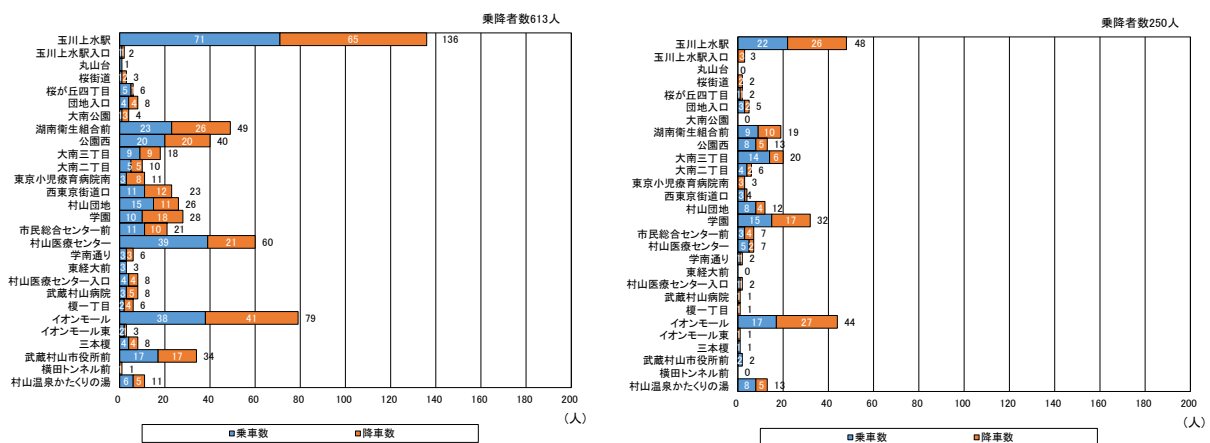


図 3-20 バス停別乗降者数 玉川上水ルート 日中時

### (3) 武蔵砂川ルート

- ・平日、休日ともに乗降者数は「武蔵砂川駅」で最も多く、次いで「イオンモール」が多い。
- その次は、平日では「伊奈平二丁目」、休日では「三ツ藤住宅」で乗降者数が多い。
- ・平日、休日ともに「経塚向」の乗降者数は0人である。

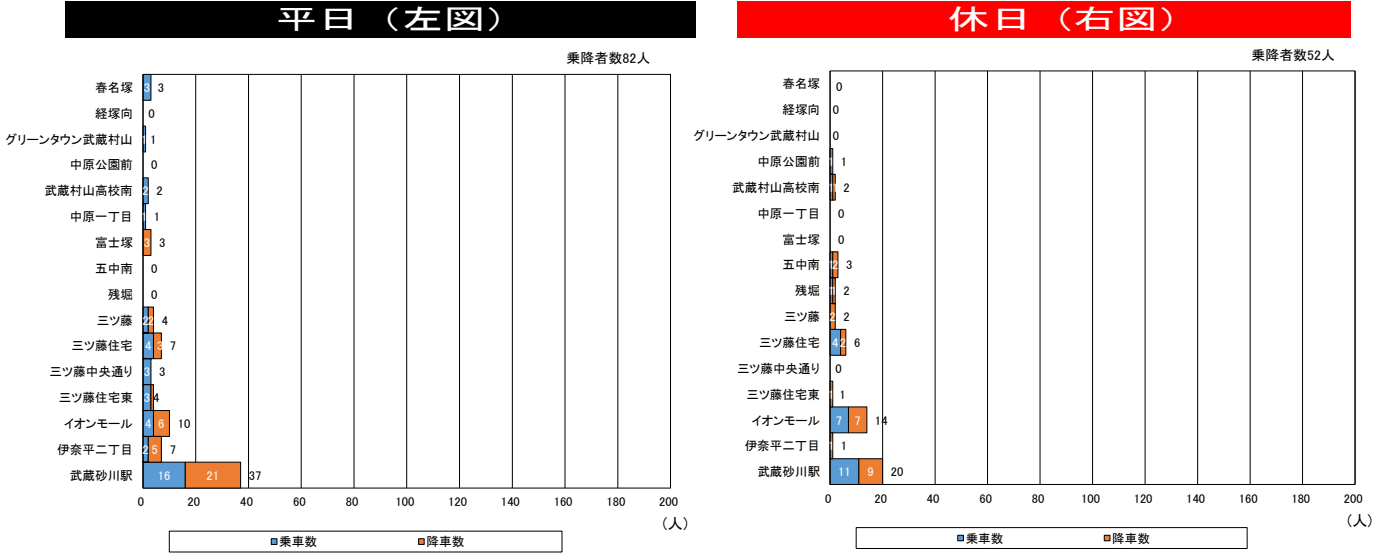


図 3-21 バス停別乗降者数 武蔵砂川ルート

### (4) 西ルート

- ・平日、休日ともに乗降者数は「イオンモール」で最も多く、次いで平日では「村山医療センター」、休日では「武蔵村山高校南」が多い。
- ・平日、休日ともに「東経大前」の乗降者数は0人である。

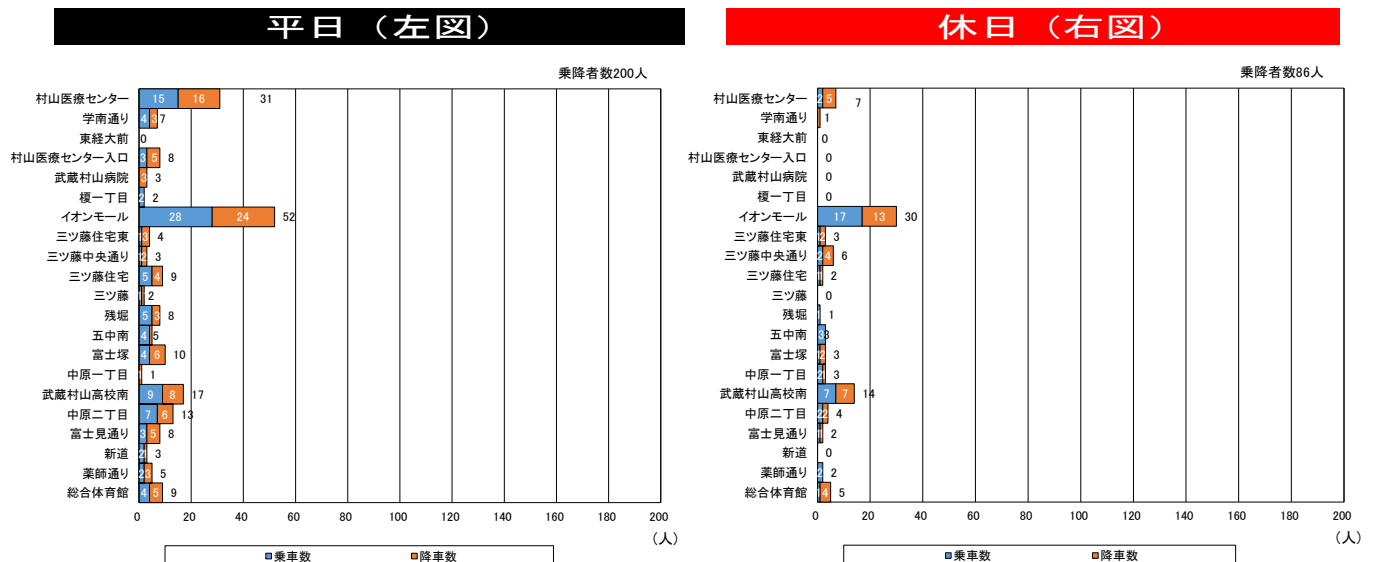


図 3-22 バス停別乗降者数 西ルート

### 3-4. バス停間OD

#### (1) 上北台ルート 通勤時

- ・平日、休日ともに利用者の多くが「上北台駅」で乗降している。
- ・平日では「上北台駅～武蔵村山市役所前」「上北台駅～神明三丁目」の利用者が特に多く、それぞれ 36 人、23 人。
- ・休日の「上北台駅～神明二丁目」「上北台駅～原山」の利用者数は 8 人である。

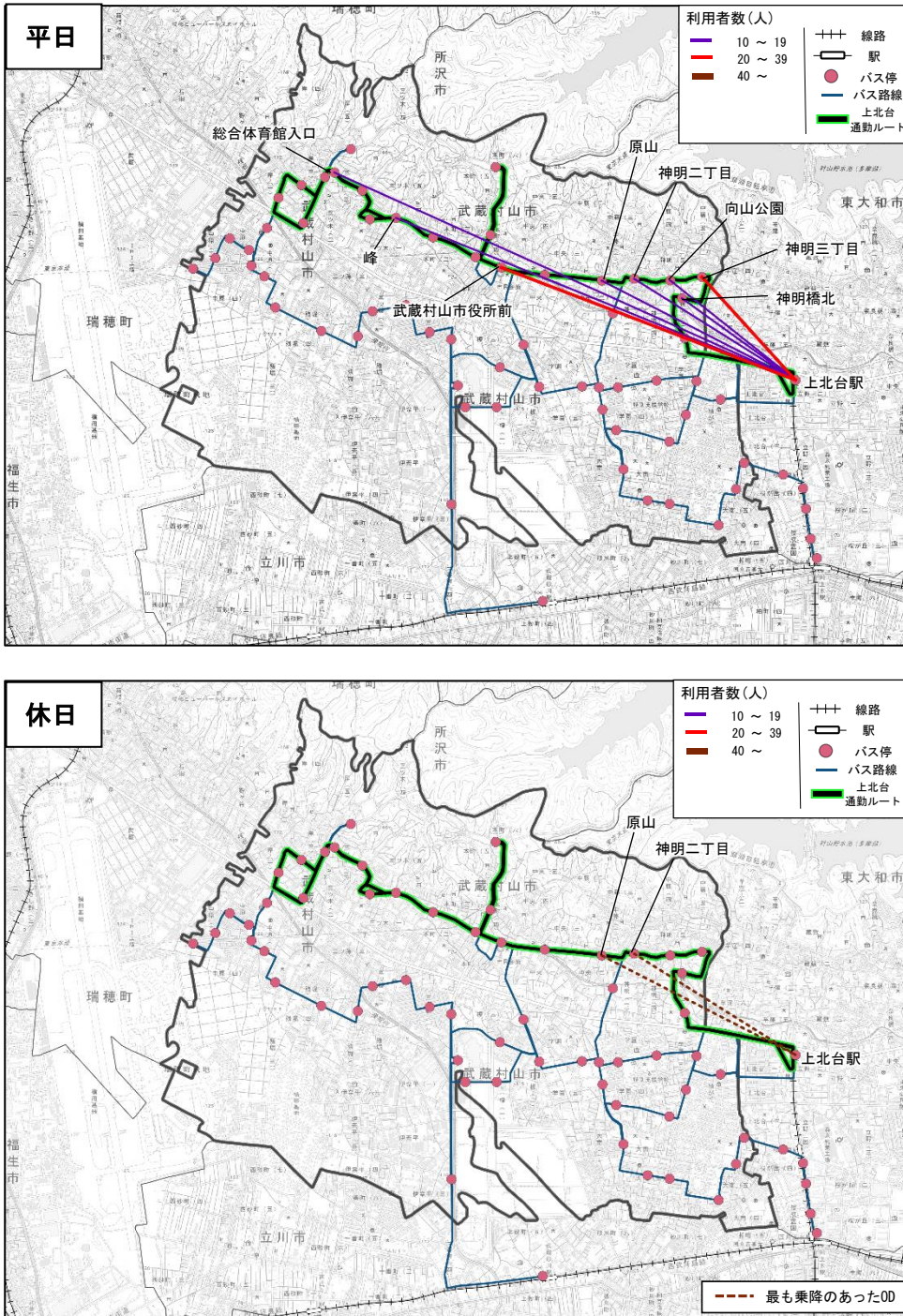
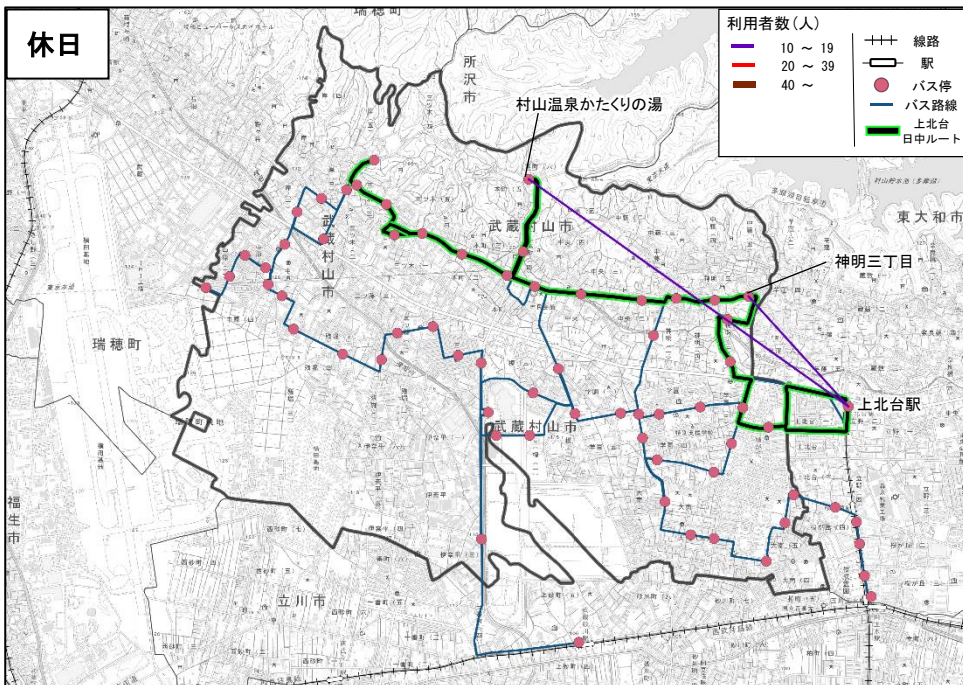
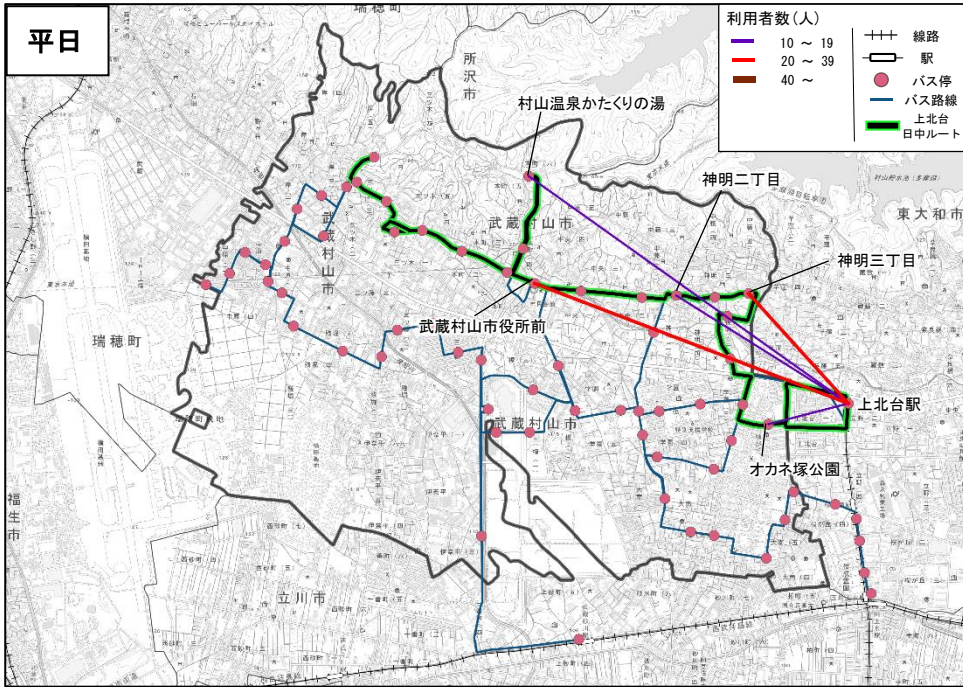


図 3-23 バス停間 OD 上北台ルート 通勤 平日(上図)、休日(下図) \*国土地理院の地図を加工して作成

## (2) 上北台ルート 日中時

- ・平日、休日ともに利用者の多くが「上北台駅」で乗降している。
- ・平日では「上北台駅～武蔵村山市役所前」「上北台駅～神明三丁目」の利用者が特に多く、それぞれ 32 人、31 人である。
- ・休日では「上北台駅～神明三丁目」「上北台駅～村山温泉かたくりの湯」の利用者が特に多く、それぞれ 15 人、10 人である。

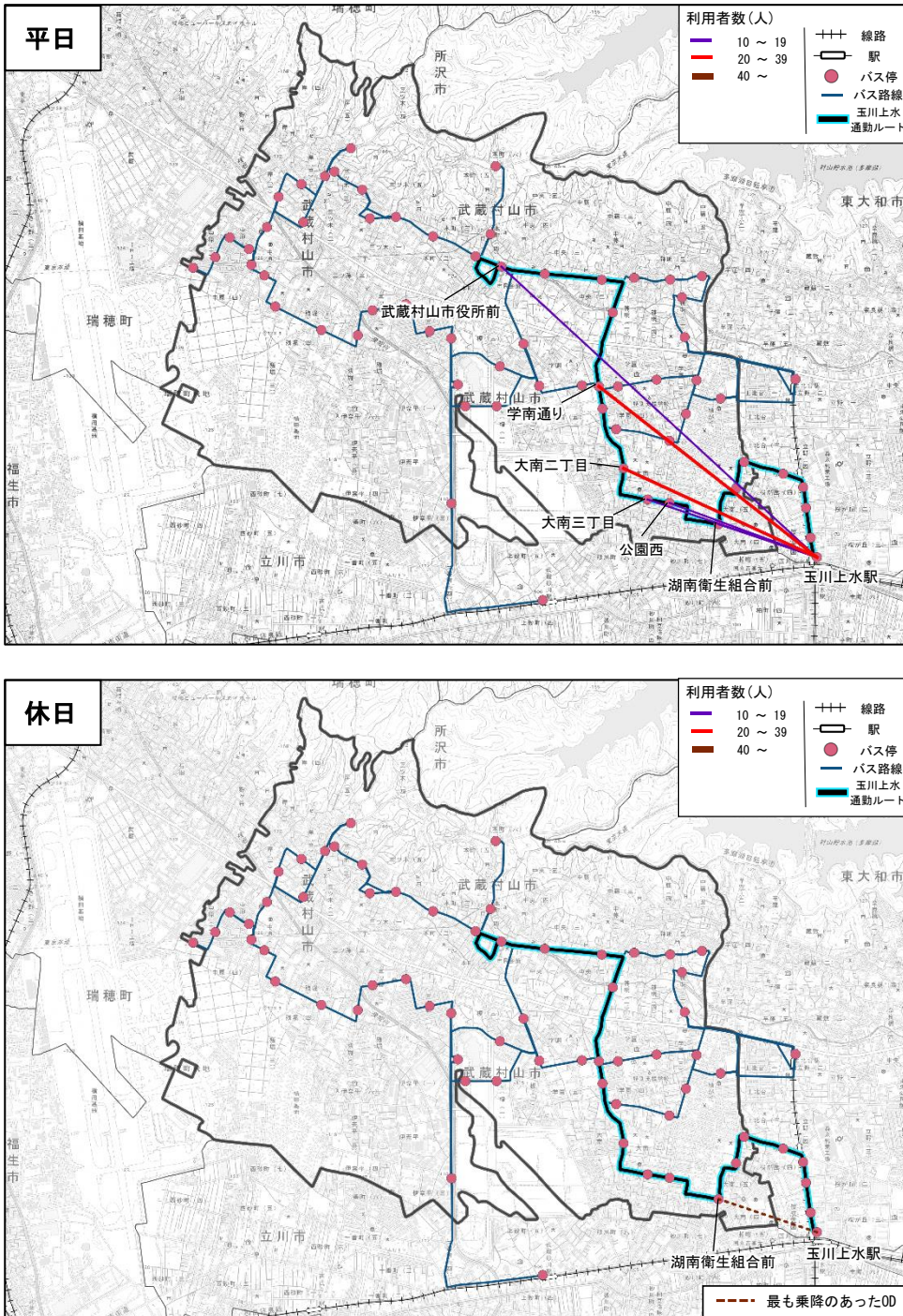


\*国土地理院の地図を加工して作成

図 3-24 バス停間 OD 上北台ルート 日中 平日(上図)、休日(下図)

### (3) 玉川上水ルート 通勤時

- ・平日、休日ともに利用者の多くが「玉川上水駅」で乗降している。
- ・平日では「玉川上水駅～学南通り」「玉川上水駅～大南二丁目」の利用者が特に多く、それぞれ 26 人、20 人である。
- ・休日の「玉川上水駅～湖南衛生組合前」の利用者数は 5 人である。

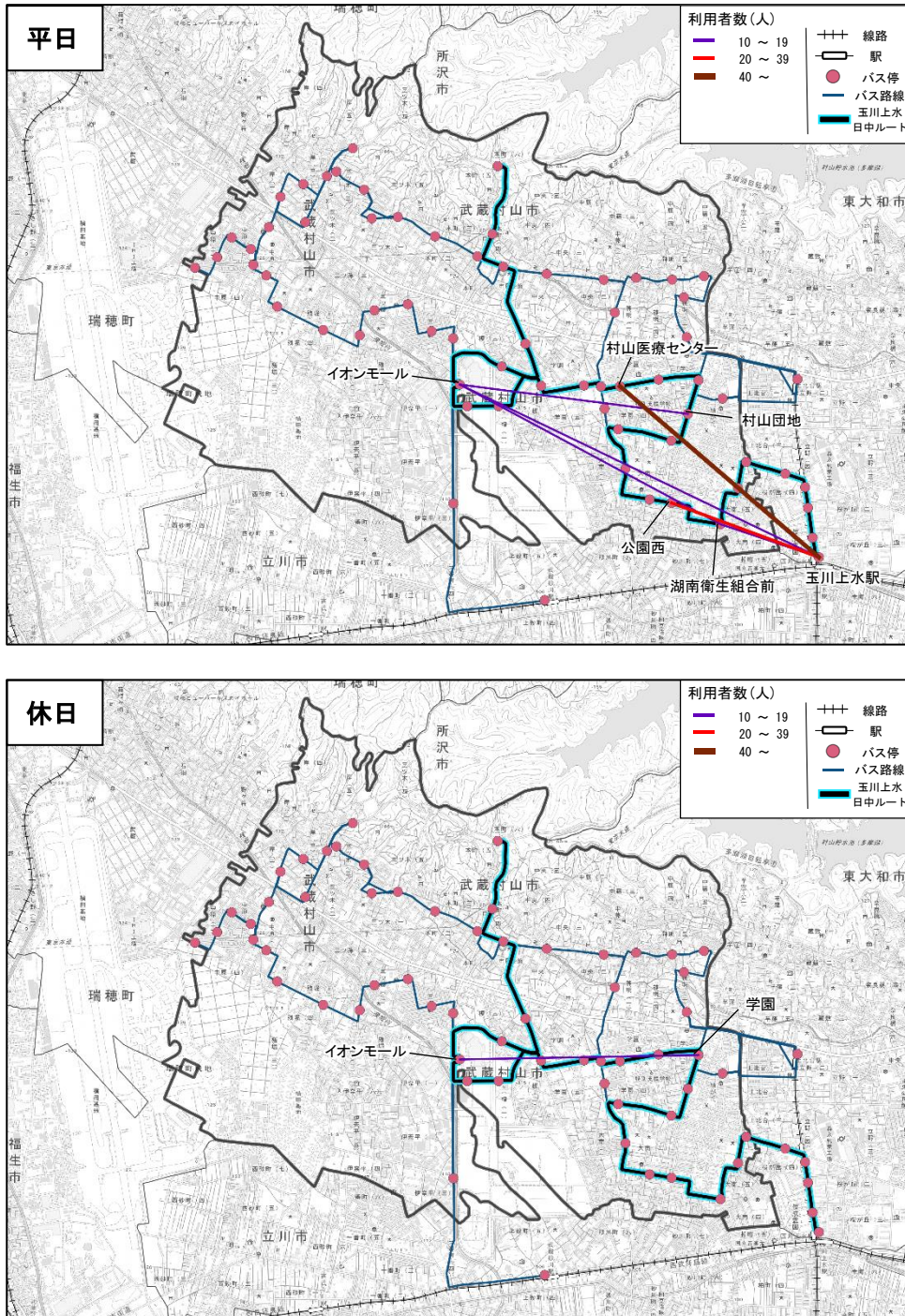


\*国土地理院の地図を加工して作成

図 3-25 バス停間 OD 玉川上水ルート 通勤 平日(上図)、休日(下図)

#### (4) 玉川上水ルート 日中時

- ・平日では「玉川上水駅」「イオンモール」、休日では「イオンモール」で利用者の多くが乗降している。
- ・平日では「玉川上水駅～村山医療センター」「玉川上水駅～公園西」の利用者が特に多く、それぞれ 45 人、22 人である。
- ・休日では「イオンモール～学園」の利用者が特に多く、11 人である。



\*国土地理院の地図を加工して作成

図 3-26 バス停間 OD 玉川上水ルート 日中 平日(上図)、休日(下図)

(5) 武蔵砂川ルート

- ・平日、休日ともに利用者の多くが「武蔵砂川駅」で乗降している。
- ・平日の「武蔵砂川駅～イオンモール」「武蔵砂川駅～伊奈平二丁目」の利用者数はともに7人である。
- ・休日の「武蔵砂川駅～イオンモール」の利用者数は9人である。

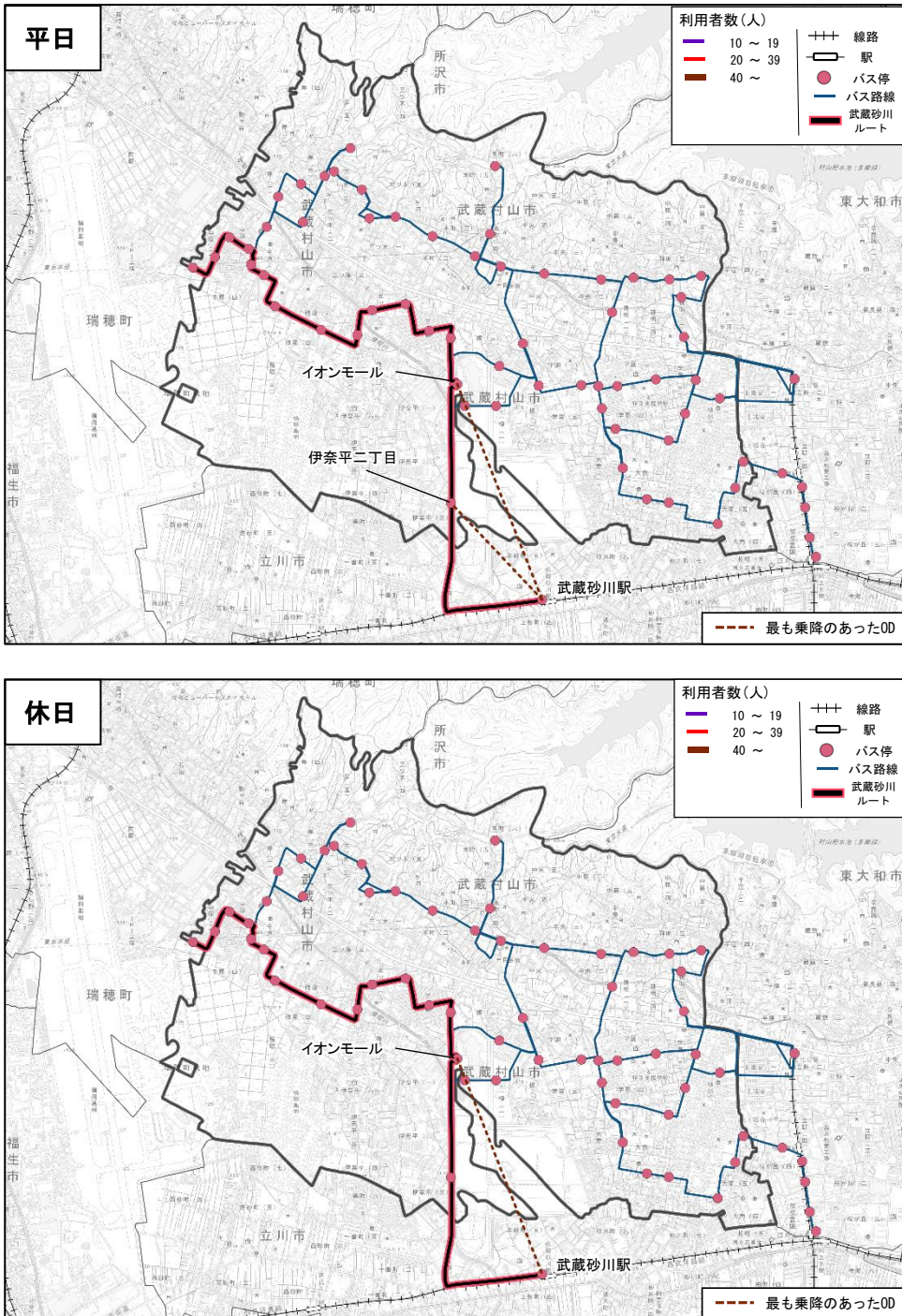


図 3-27 バス停間 OD 武蔵砂川ルート 平日(上图)、休日(下图)

\*国土地理院の地図を加工して作成

(6) 西ルート

・平日、休日ともに「イオンモール～武蔵村山高校南」の利用者が多く、どちらも12人である。

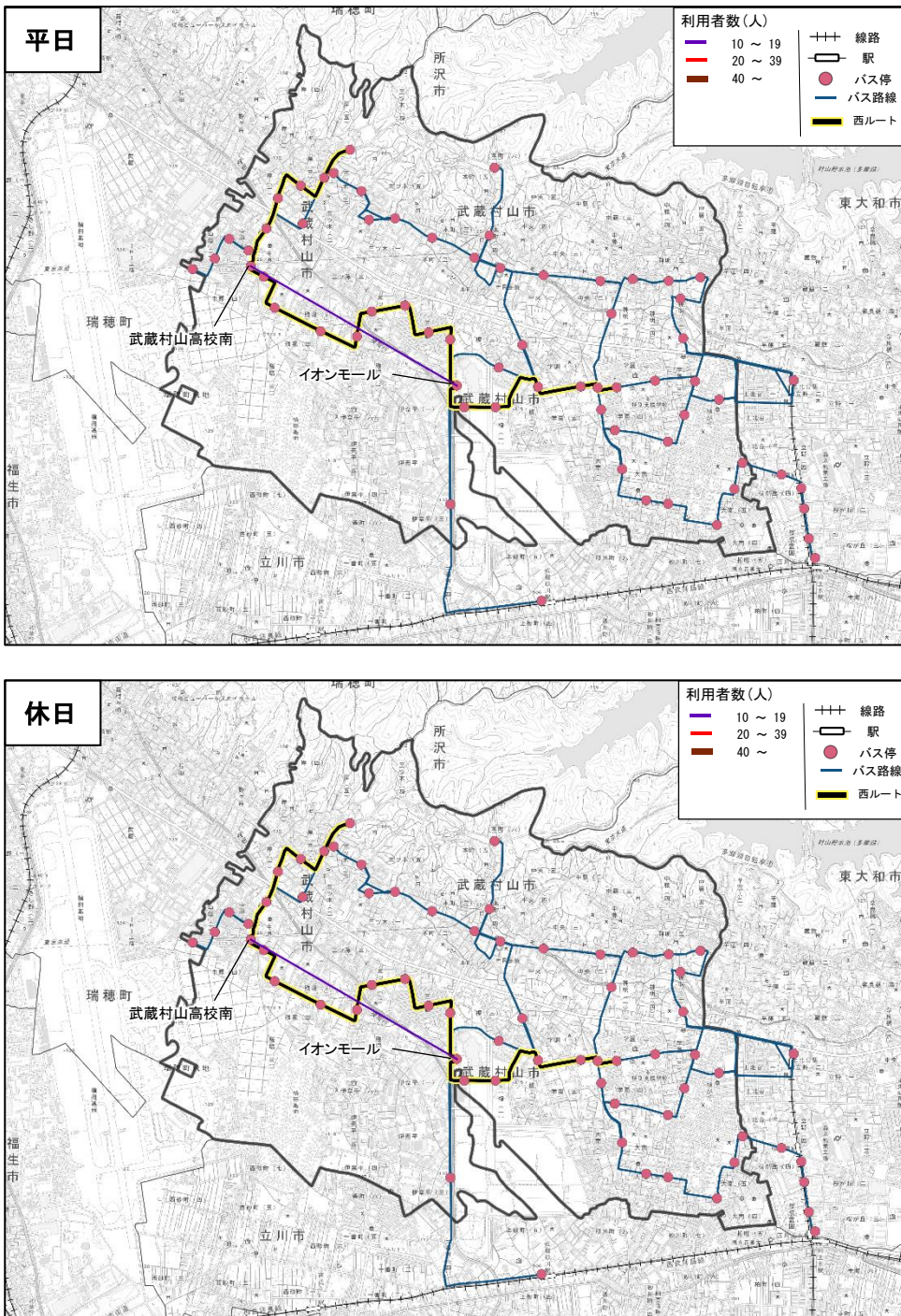


図 3-28 バス停間 OD 西ルート 平日(上图)、休日(下图)

\*国土地理院の地図を加工して作成



### 3-5. バス停間断面利用者数

#### (1) 上北台ルート

##### 1) 上北台ルート・平日

###### 【平日 通勤時】

・朝時間帯発便(～10 時台)において、「新道→富士見通り」での断面利用者数は最も少なく、0.4 人/本である。利用者の多くが始点「上北台駅」で乗車し、「武蔵村山市役所前」で降車、「富士見通り」から「第三中学校」まで断面利用者数は増加する傾向にある。

・夜時間帯発便(17 時台～)において、「薬師通り→富士見通り」での断面利用者数は最も少なく、0.2 人/本である。利用者の多くが始点「上北台駅」で乗車し、「富士見通り」まで断面利用者数は減少、折り返し後は「武蔵村山市役所前」で多く乗車し、終点「上北台駅」で降車する傾向にある。

###### 【平日 日中時】

・「総合体育館入口～総合体育館」での断面利用者数は最も少なく、0.5 人/本である。利用者の多くが「上北台駅」で乗降し、「学園～第三中学校」で断面利用者数がピーク(6.5 人/本)となる。

#### 上北台ルート・バス停間断面利用者数【平日】

##### 【通勤時】

<上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着・発 ⇒ 上北台駅着\*>

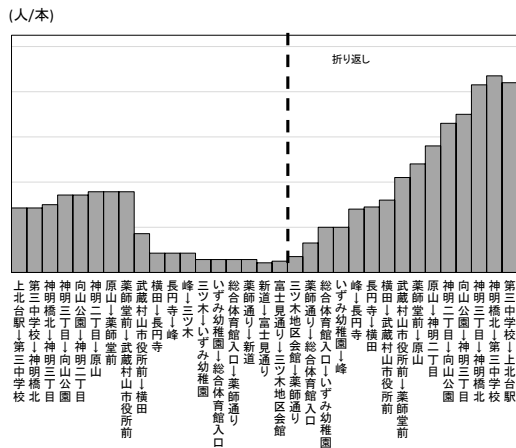


図 3-29 平均断面利用者数【朝】

区間「神明橋北→第三中学校」で最大断面利用者数 18 人

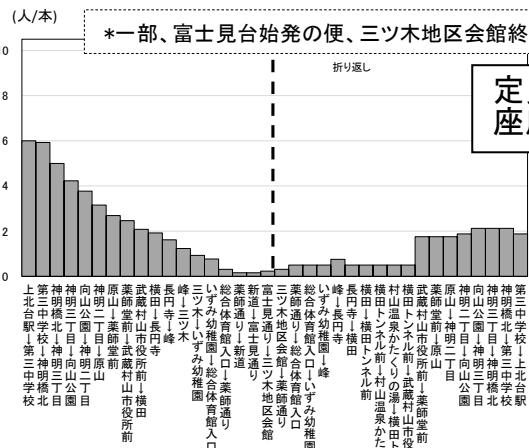


図 3-30 平均断面利用者数【夜】

区間「上北台駅→第三中学校」で最大断面利用者数 12 人

##### 【日中時】

<上北台駅 ～ 総合体育館>

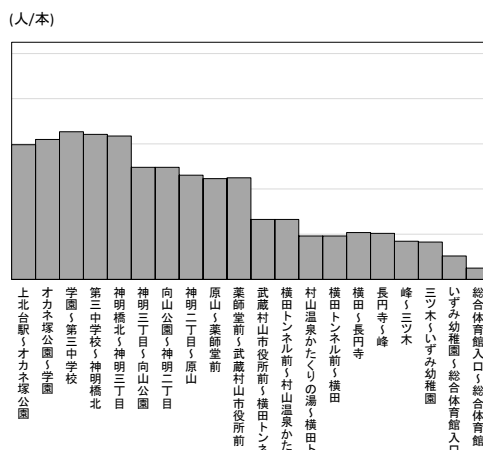


図 3-31 平均断面利用者数 上下計【日中時】

区間「第三中学校→学園」で最大断面利用者数 14 人

2) 上北台ルート・休日

【休日 通勤時】

・朝時間帯発便(～10 時台)において、「上北台駅→武蔵村山市役所前」「総合体育館入口→三ツ木地区会館→総合体育館入口」での利用者は少ない。利用者の多くが折り返し後の「原山」で乗車し、終点「上北台駅」まで断面利用者数は増加する傾向にある。

・夜時間帯発便(17 時台～)において、「新道→総合体育館入口」まで利用者は少ない。利用者の多くが始点「上北台駅」で乗車し、「新道」まで断面利用者数は減少傾向にある。

【休日 日中時】

・「総合体育館入口～総合体育館」での断面利用者数は最も少なく、0.3 人/本である。利用者の多くが「上北台駅」「オカネ塚公園」で乗降する傾向にあり、「上北台駅～オカネ塚公園」の断面利用者数は 4.8 人/本でピークとなる。

上北台ルート・バス停間断面利用者数 【休日】

【通勤時】

<上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着・発 ⇒ 上北台駅着\*>

\*一部、富士見台始発の便、三ツ木地区会館終の便あり

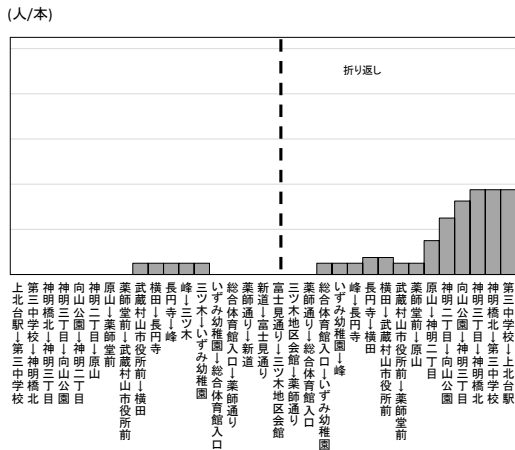


図 3-32 平均断面利用者数【朝】

区間「神明三丁目→上北台駅」で最大断面利用者数 6 人

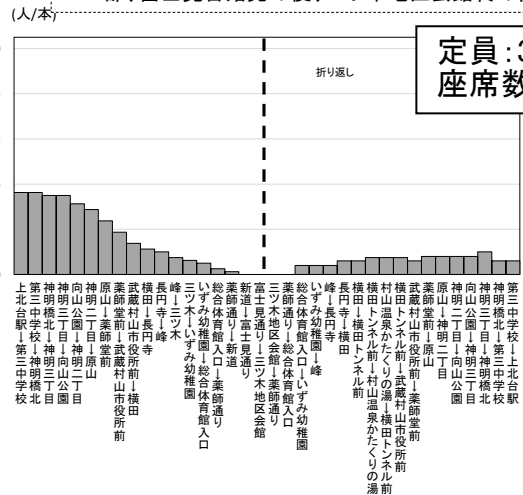


図 3-33 平均断面利用者数【夜】

区間「上北台駅→神明橋北」で最大断面利用者数 8 人

定員:35 人  
座席数:11

【日中時】

<上北台駅 ～ 総合体育館>

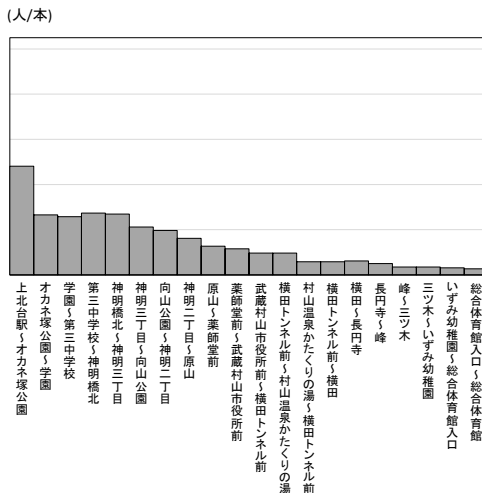


図 3-34 平均断面利用者数 上下計【日中時】

定員:35 人  
座席数:11

区間「上北台駅→オカネ塚公園」で最大断面利用者数 7 人

## (2) 玉川上水ルート

### 1) 玉川上水ルート・平日

#### 【平日 通勤時】

・朝時間帯発便(～10 時台)、夜時間帯発便(17 時台～)どちらも、「薬師堂前～武蔵村山市役所前」での断面利用者数が最も少なく、0.5 人/本である。

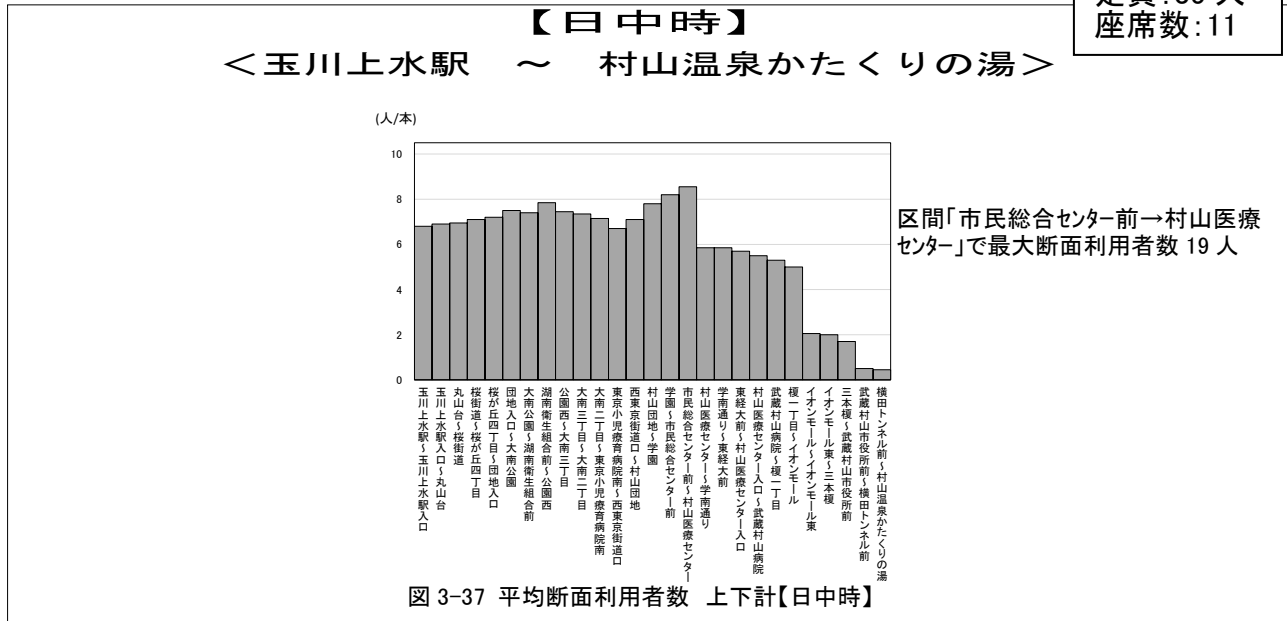
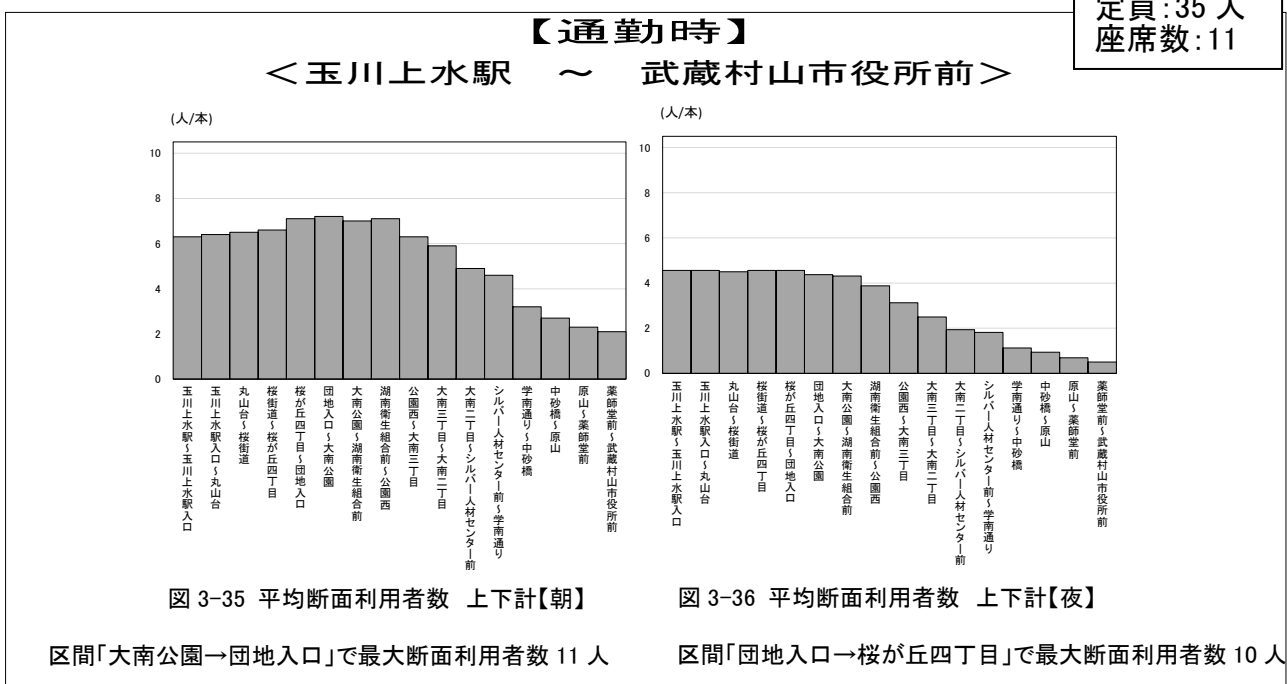
・どの時間帯も、「玉川上水駅」で多くの利用者が乗降し、駅に近いバス停であまり乗降しない傾向にある。

#### 【平日 日中時】

・「玉川上水駅」で多くの利用者が乗降し、「市民総合センター～村山医療センター」で断面利用者数はピークの 8.6 人/本となる。

・「武蔵村山市役所前～村山温泉かたくりの湯」での断面利用者数は最も少なく、0.5 人/本である。

### 玉川上水ルート・バス停間断面利用者数【平日】



2) 玉川上水ルート・休日

【休日 通勤時】

・夜時間帯発便(17時台～)において、「薬師堂前～武蔵村山市役所前」での断面利用者数は最も少なく、0.4人/本である。「玉川上水駅」で利用者の多くが乗降し、駅に近いバス停であり乗降しない傾向にある。  
 ・朝時間帯発便(~10時台)において、「武蔵村山市役所前→シルバー人材センター前」での断面利用者数は最も少なく、1.0人/本である。「玉川上水駅」で利用者の多くが降車する。

【休日 日中時】

・「玉川上水駅」で多くの利用者が乗降し、「公園西～大南三丁目」で断面利用者数はピークの3.0人/本となる。  
 ・「武蔵村山市役所前～村山温泉かたくりの湯」での断面利用者数は最も少なく、0.6人/本である。

玉川上水ルート・バス停間断面利用者数【休日】

【通勤時】

<玉川上水駅 ~ 武蔵村山市役所前>

定員:35人  
座席数:11

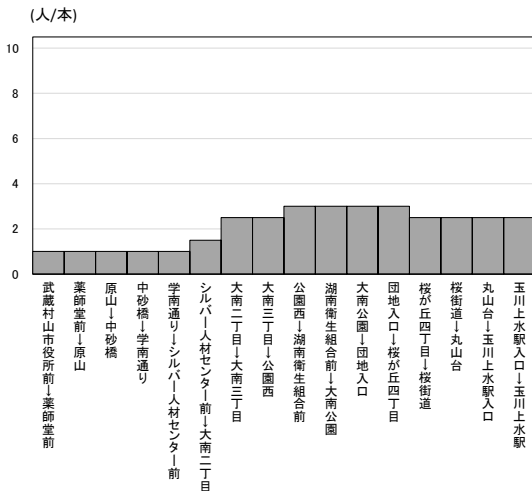


図 3-38 平均断面利用者数 武蔵村山市役所前発⇒玉川上水駅着【朝】

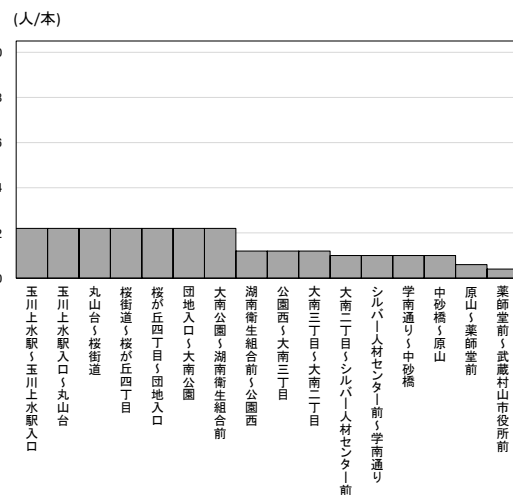
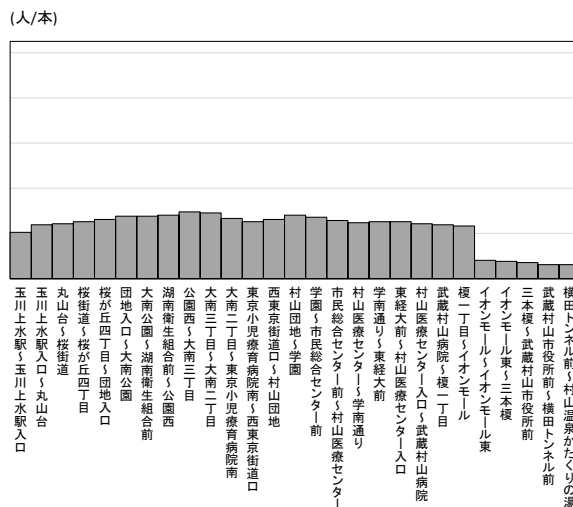


図 3-39 平均断面利用者数 上下計【夜】  
区間「玉川上水駅→湖南衛生組合前」で  
最大断面利用者数 5人

【日中時】

<玉川上水駅 ~ 村山温泉かたくりの湯>

定員:35人  
座席数:11



区間「大南三丁目→公園西」で  
最大断面利用者数 6人

図 3-40 平均断面利用者数 上下計【日中時】

### (3) 武蔵砂川ルート

#### 1) 武蔵砂川ルート・平日

- ・朝、夜どちらにおいても、「武蔵砂川駅」で多くの利用者が乗降する。
- ・朝において、「富士塚→春名塚」での利用者はいない。
- ・夜において、「春名塚→武蔵村山高校南」「富士塚→春名塚」での利用者はいない。

#### 武蔵砂川ルート・バス停間断面利用者数【平日】

＜春名塚発 ⇒ 武蔵砂川駅着・発 ⇒ 春名塚着＞

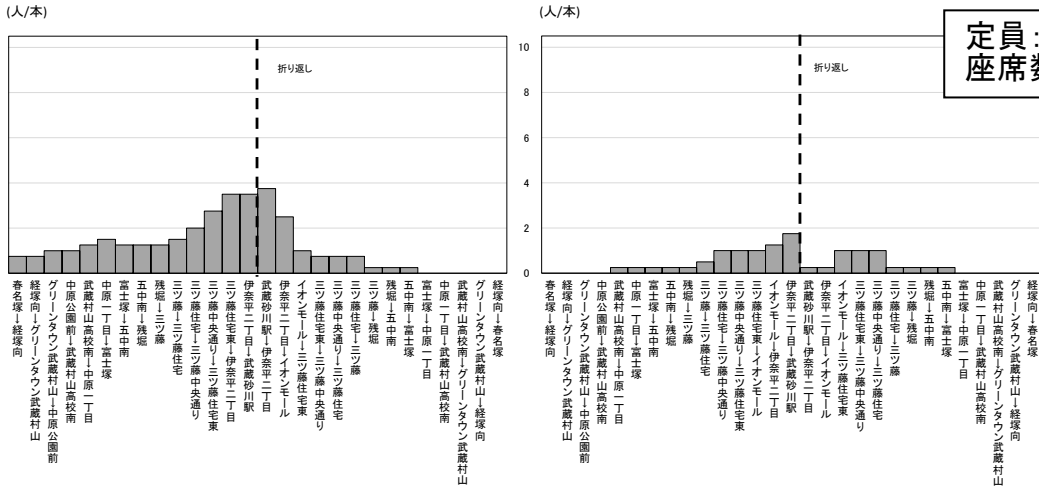


図 3-41 平均断面利用者数【朝】

図 3-42 平均断面利用者数【夜】

区間「武蔵砂川駅→伊奈平二丁目」で最大断面利用者数 8 人 区間「伊奈平二丁目→武蔵砂川駅」で最大断面利用者数 4 人

#### 2) 武蔵砂川ルート・休日

- ・朝、夜どちらにおいても、「武蔵砂川駅」で多くの利用者が乗降する。
- ・朝において、「春名塚→中原公園前」「イオンモール→春名塚」での利用者はいない。
- ・夜において、「春名塚→武蔵村山高校南」「武蔵村山高校南→春名塚」での利用者はいない。

#### 武蔵砂川ルート・バス停間断面利用者数【平日】

＜春名塚発 ⇒ 武蔵砂川駅着・発 ⇒ 春名塚着＞

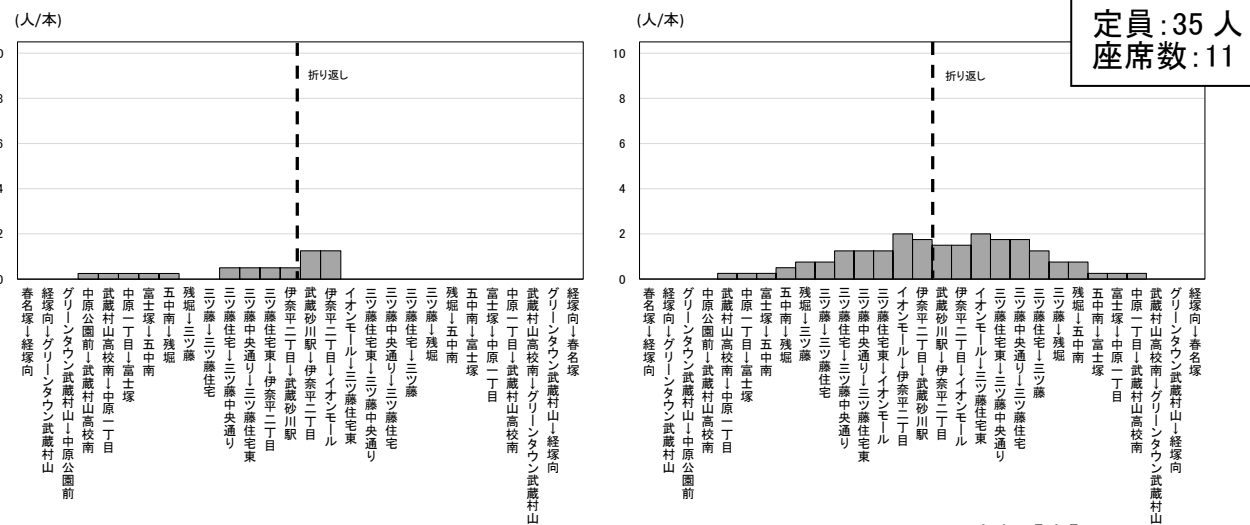


図 3-43 平均断面利用者数【朝】

図 3-44 平均断面利用者数【夜】

区間「武蔵砂川駅→イオンモール」で最大断面利用者数 2 人

区間「イオンモール→伊奈平二丁目」で最大断面利用者数 4 人

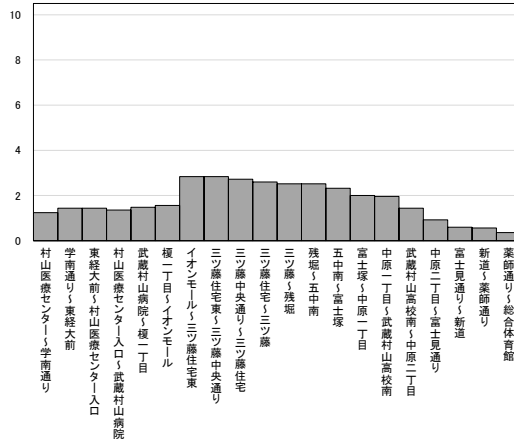
(4) 西ルート

1) 西ルート・平日

- ・断面利用者数は「イオンモール～三ツ藤中央通り」でピークの2.8人/本となる。
- ・「薬師通り～総合体育館」での断面利用者数は最も少なく、0.5人/本である。

西ルート・バス停間断面利用者数【平日】  
 <村山医療センター ～ 総合体育館>

(人/本)



定員: 35人  
 座席数: 11

図 3-45 平均断面利用者数 上下計

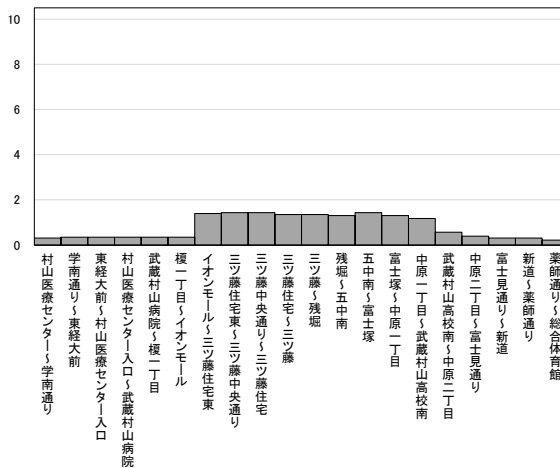
区間「三ツ藤中央通り→三ツ藤住宅東」で最大断面利用者数 9 人

2) 西ルート・休日

- ・断面利用者数は「イオンモール～三ツ藤住宅」「五中南～富士塚」でピークの1.4人/本となる。
- ・「薬師通り～総合体育館」での断面利用者数は最も少なく、0.2人/本である。

西ルート・バス停間断面利用者数【休日】  
 <村山医療センター ～ 総合体育館>

(人/本)



定員: 35人  
 座席数: 11

図 3-46 平均断面利用者数 上下計

区間「イオンモール～三ツ藤住宅」「五中南～富士塚」で最大断面利用者数 4 人

## 4. 市内循環バス（MMシャトル）所要時間調査

### ○調査実施日

平日 10/13日(火)【天気/晴れ一時曇り】

休日 10/11日(日)【天気/曇り】

### ○調査方法

調査員が市内循環バスに乗車し、全路線・全便の各バス停の通過時刻を調査シートに記録した。

### 4-1. 便別遅延時間

(遅延時間図を作成する上で留意した事項)

- ・バスの運行ダイヤは、終点の1つ手前のバス停から終点までの所要時間に余裕を持たせている。そのため、終点の1つ手前までは遅れていても、終点では遅延が発生していないように見える場合がある。そのため、ここに示した遅延時間図は、終点の1つ手前のバス停における遅延を示したものである。

#### (1) 上北台ルート

##### 【通勤時】

・平日では朝(～10時台)は「6:35 発」「7:40 発」(上北台駅循環)、夜(17時台～)は「17:12 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ7分、8分である。

・休日では朝(～10時台)は「7:34 発」(富士見通り発)、夜(17時台～)は「19:20 発」(上北台駅循環 かたくりの湯経由)で遅延時間が最も長く、それぞれ2分、4分である。

##### 【日中時】

・総合体育館方面において、平日では朝(～10時台)は「9:50 発」、日中(11～16時台)は「11:10 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ9分、8分である。休日では朝(～10時台)は「9:45 発」、日中(11～16時台)は「11:05 発」で遅延時間が最も長く、どちらも9分である。

・上北台駅方面において、平日では朝(～10時台)は「10:30 発」、日中(11～16時台)は「12:35 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ9分、11分である。休日では朝(～10時台)は「10:25 発」、日中(11～16時台)は「11:45 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ8分、11分である。

## 上北台ルート・便別の遅延時間

平日（左図）

休日（右図）

### 【通勤時】

＜上北台駅発⇒三ツ木地区会館着・発⇒上北台駅着＞

○は、上北台駅発⇒三ツ木地区会館止まり。そのため、遅延時間は、富士見通り到着時点の値である。

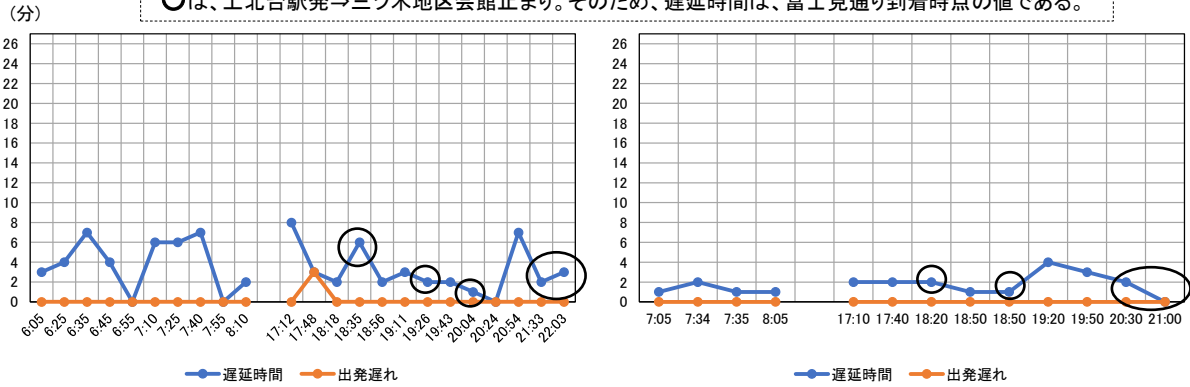


図 4-1 便別遅延時間(第三中学校到着時点 \*一部、富士見通り到着時点)

### 【日中時】

＜上北台駅発 ⇒ 総合体育館着＞

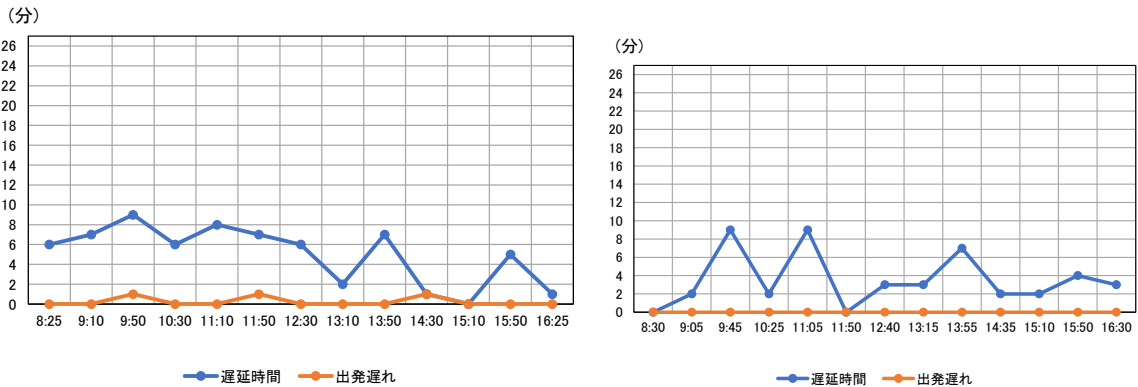


図 4-2 便別遅延時間(総合体育館入口到着時点)

＜総合体育館発 ⇒ 上北台駅着＞

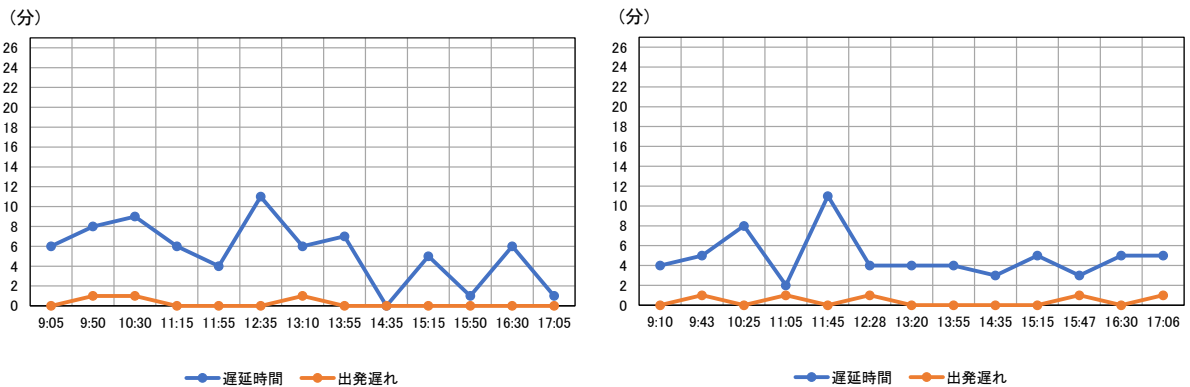


図 4-3 便別遅延時間(才力ネ塚公園到着時点)



## (2) 玉川上水ルート

### 【通勤時】

・武蔵村山市役所前方面において、平日では朝(～10 時台)は「7:30 発」「7:50 発」、夜(17 時台～)は「17:45 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 7 分、13 分である。休日では「18:00 発」で遅延時間が最も長く、6 分である。

・玉川上水駅方面において、平日では朝(～10 時台)は「8:00 発」、夜(17 時台～)は「17:45 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 11 分、8 分である。休日では朝(～10 時台)は「8:50 発」、夜(17 時台～)は「18:35 発」で遅延時間が最も長く、どちらも 4 分である。

### 【日中時】

・かたくりの湯方面において、平日では朝(～10 時台)は「8:15 発」「9:10 発」、日中(11～16 時台)は「12:45 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 6 分、11 分である。休日では朝(～10 時台)は「9:25 発」、日中(11～16 時台)は「15:20 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 7 分、13 分である。

・玉川上水駅方面において、平日では朝(～10 時台)は「9:10 発」、日中(11～16 時台)は「14:25 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 8 分、13 分である。休日では朝(～10 時台)は「10:20 発」、日中(11～16 時台)は「14:30 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ 6 分、15 分である。

玉川上水ルート・便別の遅延時間

平日（左図）

休日（右図）

【通勤時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 武蔵村山市役所前着＞

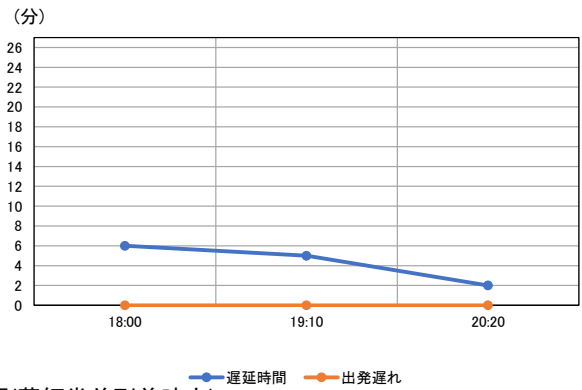
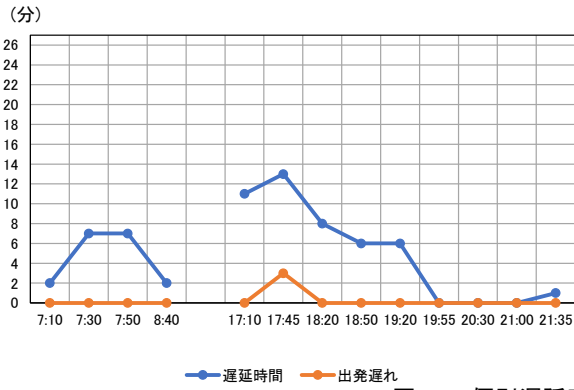


図 4-4 便別遅延時間(薬師堂前到着時点)

＜武蔵村山市役所前発 ⇒ 玉川上水駅着＞

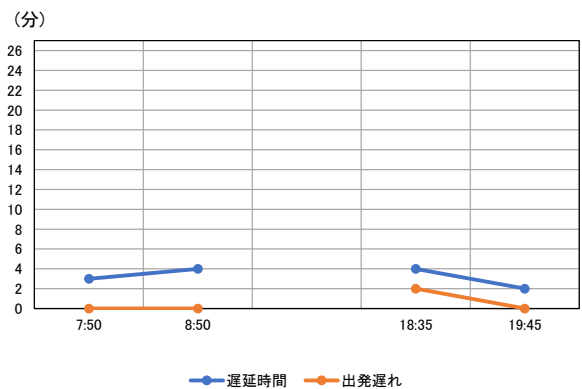
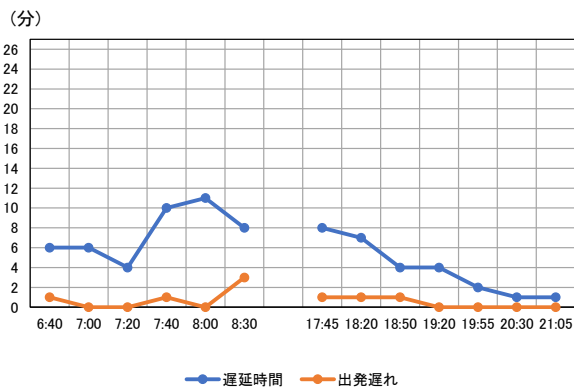


図 4-5 便別遅延時間(玉川上水駅入口到着時点)

【日中時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯着＞

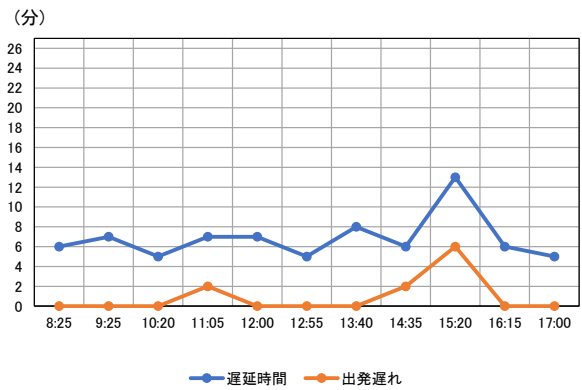
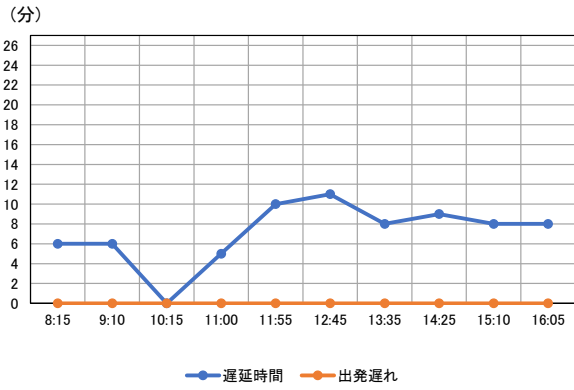


図 4-6 便別遅延時間(横田トンネル前到着時点)

＜村山温泉かたくりの湯発 ⇒ 玉川上水駅着＞

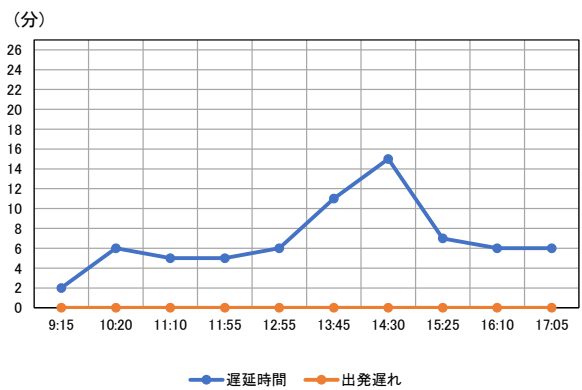
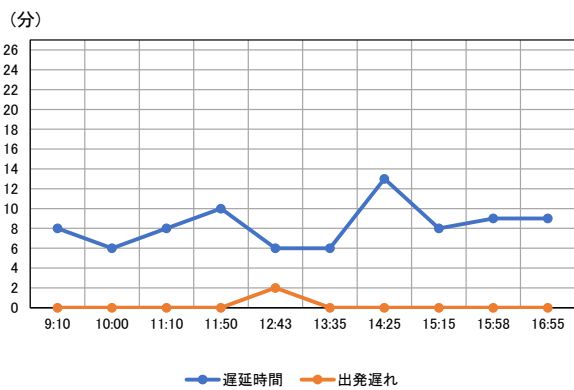


図 4-7 便別遅延時間(玉川上水駅入口到着時点)

### (3) 武蔵砂川ルート

- ・平日では朝(～10時台)は「7:56 発」、夜(17時台～)は「17:50 発」で最も遅延時間が長く、それぞれ26分、8分である。
- ・休日では朝(～10時台)は「8:12 発」、夜(17時台～)は「17:40 発」で最も遅延時間が長く、それぞれ10分、13分である。

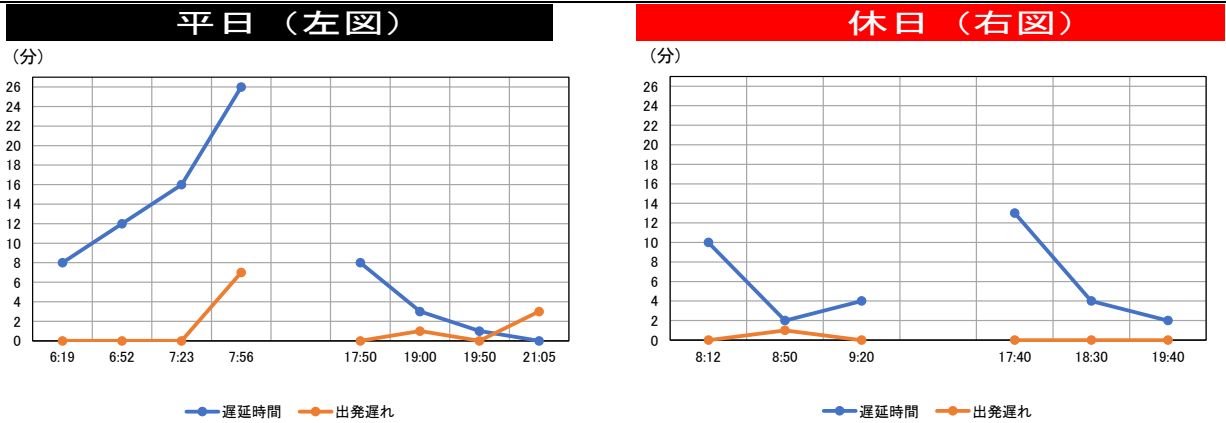


図 4-8 便別遅延時間(武蔵砂川駅到着時点)

### (4) 西ルート

- ・総合体育館方面において、平日では朝(～10時台)は「9:10 発」、日中(11～16時台)は「13:55 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ6分、9分である。休日では朝(～10時台)は「10:45 発」、日中(11～16時台)は「13:20 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ8分、10分である。
- ・村山医療センター方面において、平日では朝(～10時台)は「10:20 発」、日中(11～16時台)は「13:55 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ9分、6分である。休日では朝(～10時台)はすべての便、日中(11～16時台)は「13:20 発」「15:10 発」で遅延時間が最も長く、それぞれ5分13分である。

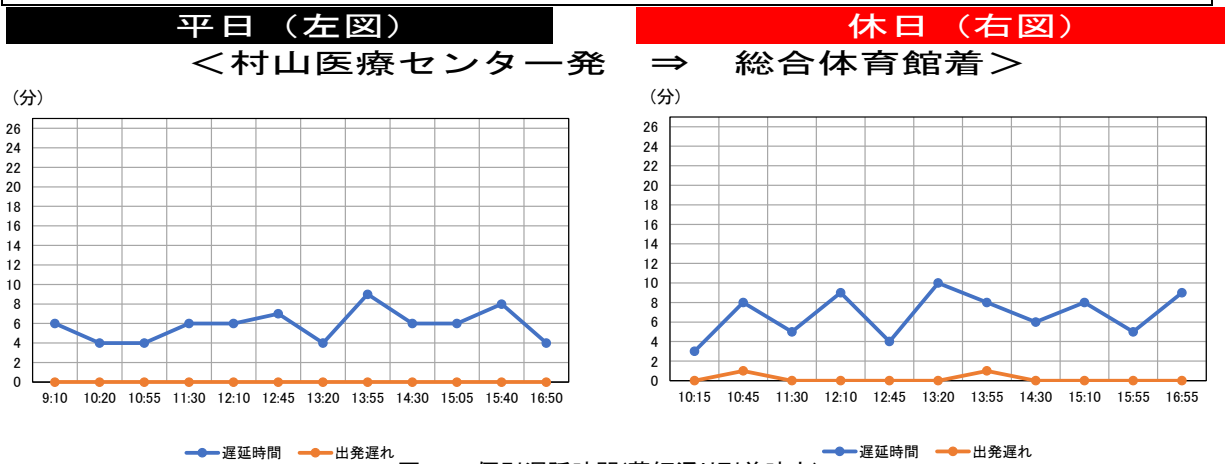


図 4-9 便別遅延時間(薬師通り到着時点)

### <総合体育館発 ⇒ 村山医療センター着>

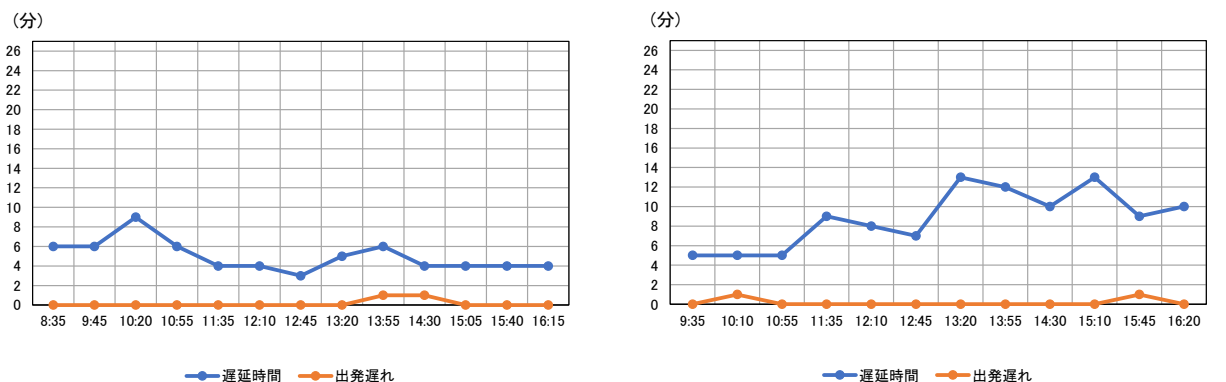


図 4-10 便別遅延時間(学南通り到着時点)

## 4-2. バス停別遅延時間

「平均遅延時間」：各バス停における時刻表到着時刻からの遅延時間。

「平均遅延時間バス停間差分」：各バス停における前のバス停との遅延時間の差。この差が大きいほど前のバス停から当該バス停に至るまでに発生する遅延時間は長い。

### (1) 上北台ルート

#### 1) 上北台ルート・平日

##### 【平日 通勤時】

- ・富士見通り発上北台駅着のコースにおいて、最も遅延時間が長い区間は「神明橋北→第三中学校」で平均 1.7 分である。
- ・上北台駅発 循環のコースにおいて、最も遅延時間が長い区間は「上北台駅→第三中学校」で平均 1.9 分である。
- ・上北台駅発 循環 かたくりの湯経由のコースにおいても、最も遅延時間が長い区間は「上北台駅→第三中学校」で平均 1.9 分である。
- ・上北台駅発三ツ木地区会館着のコースにおいても、最も遅延時間が長い区間は「上北台駅→第三中学校」で平均 2.2 分である。

##### 【平日 日中時】

- ・総合体育館方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、日中(11～16 時台)ともに「学園→第三中学校」でそれぞれ平均 3.0 分、平均 1.7 分である。
- ・上北台駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、日中(11～16 時台)ともに「第三中学校→学園」でそれぞれ平均 2.7 分、平均 1.7 分である。夜(17 時台～)では「峰→長円寺」「村山温泉かたくりの湯→横田トンネル前」「神明橋北→第三中学校」で平均 1.0 分である。

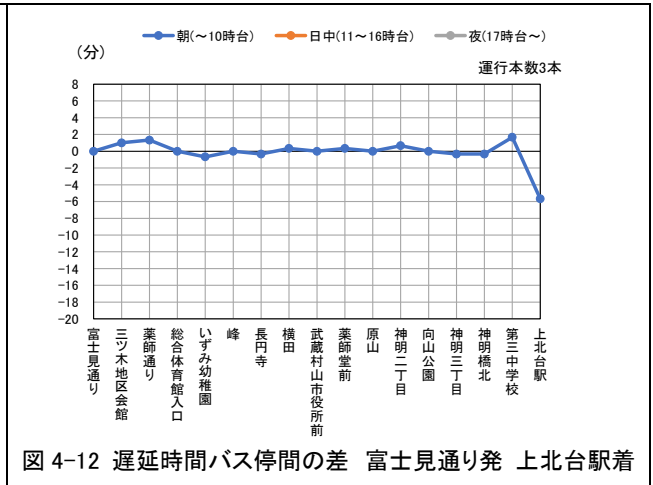
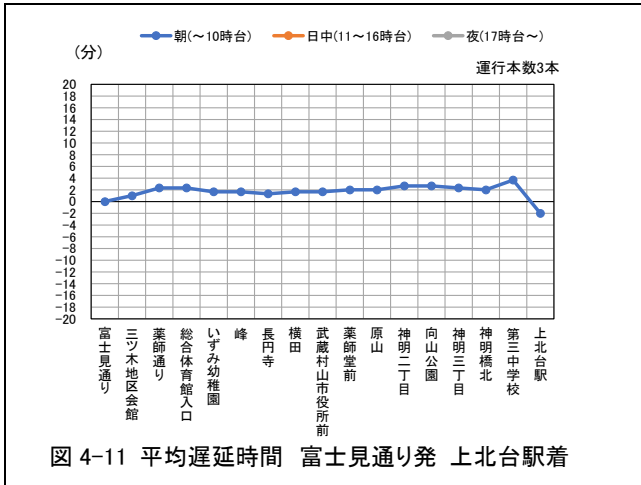
## 上北台ルート・バス停別の遅延時間【平日】

各バス停における平均遅延時間（左図）

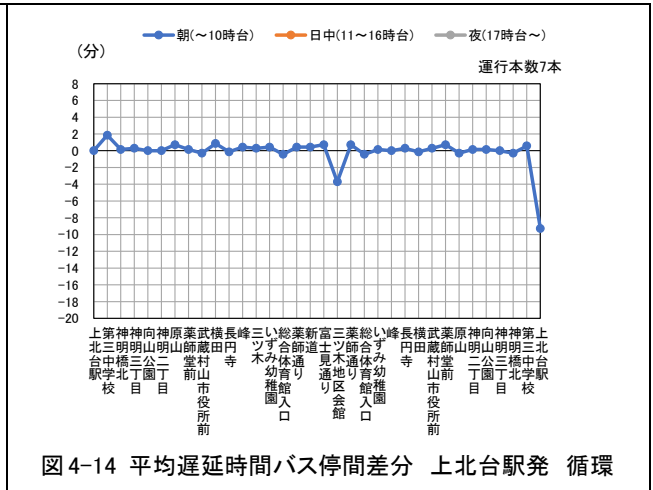
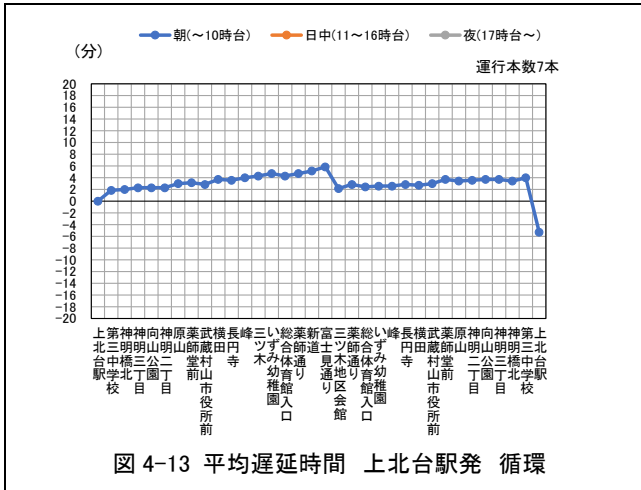
隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

### 【通勤時】

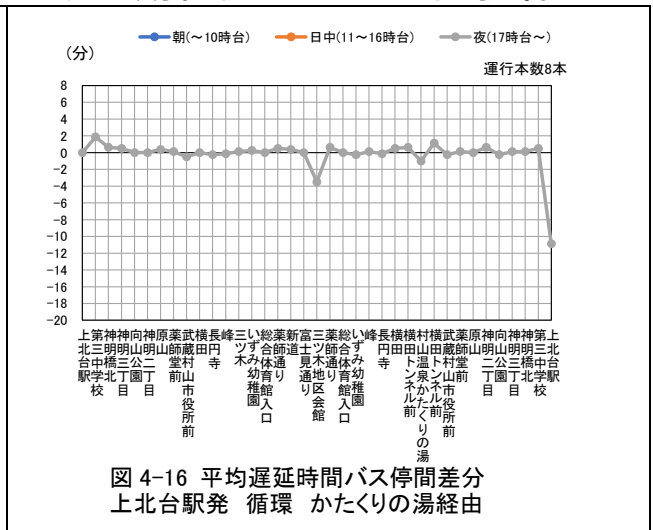
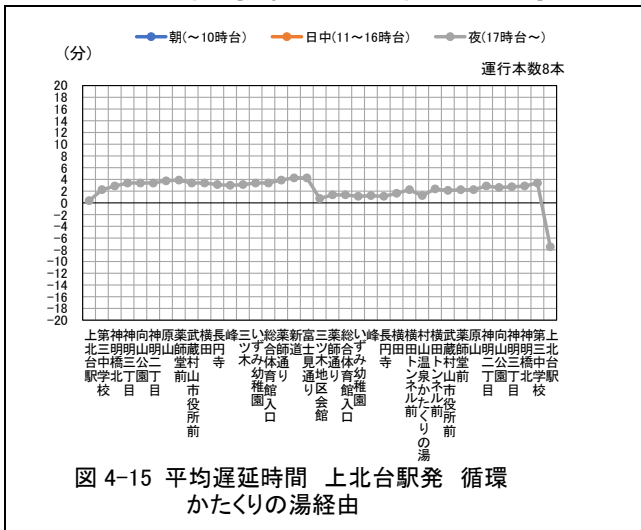
#### ＜富士見通り発 ⇒ 上北台駅着＞



#### ＜上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着・発 ⇒ 上北台駅着＞



#### ＜上北台駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯経由 ⇒ 上北台駅着＞

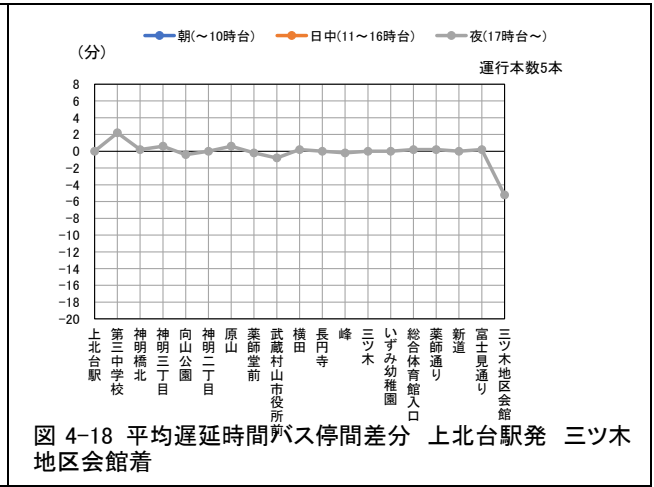
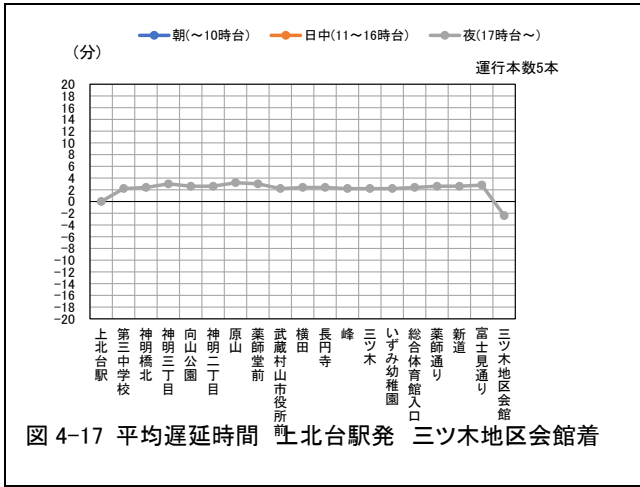


各バス停における平均遅延時間（左図）

隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

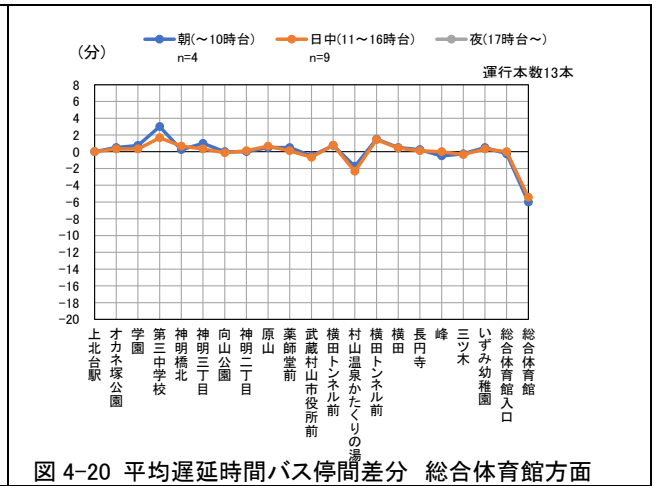
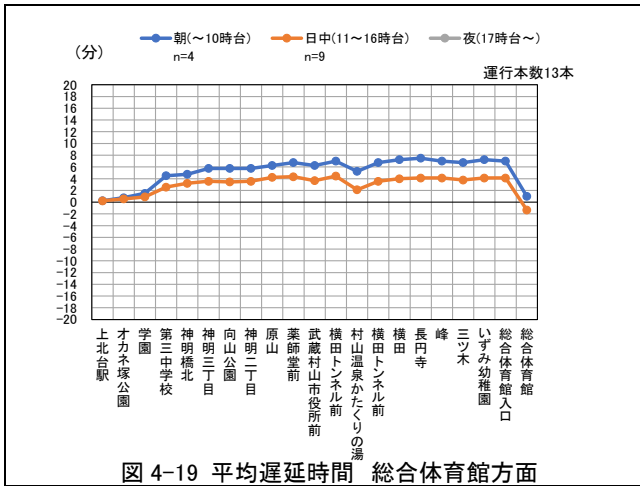
【通勤時】

＜上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着＞

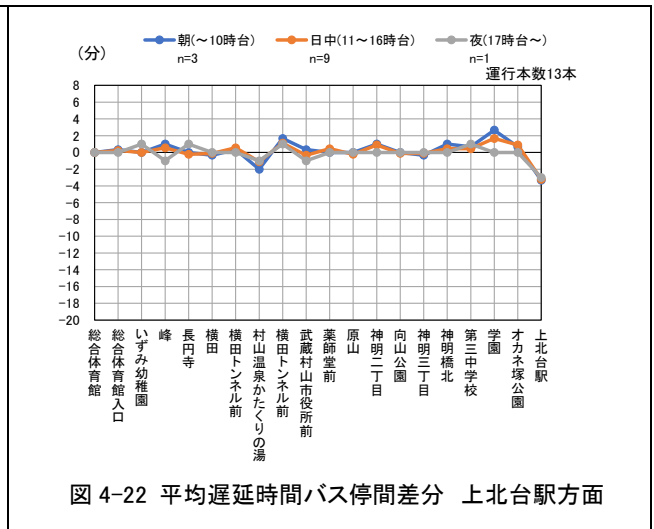
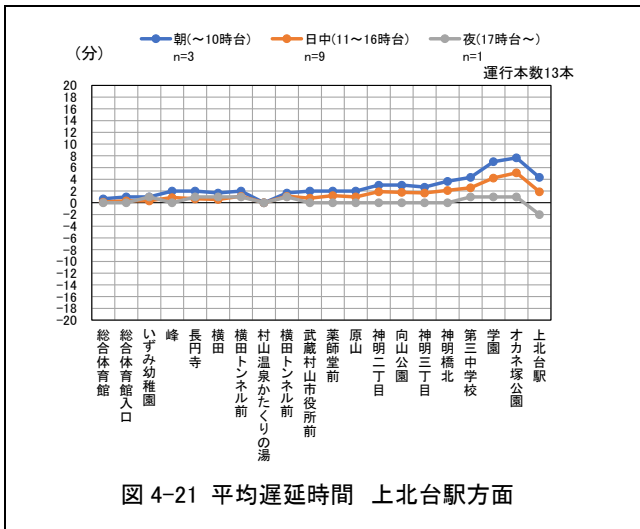


【日中時】

＜上北台駅発 ⇒ 総合体育館着＞



＜総合体育館発 ⇒ 上北台駅着＞



## 2) 上北台ルート・休日

### 【休日 通勤時】

- ・富士見通り発上北台駅着のコースにおいて最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「富士見通り→三ツ木地区会館」で平均 1.5 分、夜(17 時台～)では「三ツ木地区会館→薬師通り」「武蔵村山市役所前→薬師堂前」「神明橋北→第三中学校」で平均 1.0 分である。
- ・上北台駅発 循環のコースにおいて、最も遅延時間が長い区間は「上北台駅→第三中学校」で平均 2.5 分である。
- ・上北台駅発 循環 かたくりの湯経由のコースにおいて、最も遅延時間が長い区間は「新道→富士見通り」で平均 3.0 分である。
- ・上北台駅発三ツ木地区会館着のコースにおいて、最も遅延時間が長い区間は「上北台駅→第三中学校」で平均 1.3 分である。

### 【休日 日中時】

- ・総合体育館方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、日中(11～16 時台)ともに「学園→第三中学校」でそれぞれ平均 2.5 分、平均 2.7 分である。
- ・上北台駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「村山温泉かたくりの湯→横田トンネル前」「第三中学校→学園」で平均 1.3 分、日中(11～16 時台)、夜(17 時台～)ともに「第三中学校→学園」でそれぞれ平均 1.6 分、平均 3.0 分である。

上北台ルート・バス停別の遅延時間【休日】

各バス停における平均遅延時間（左図）

隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

【通勤時】

＜富士見通り発 ⇒ 上北台駅着＞

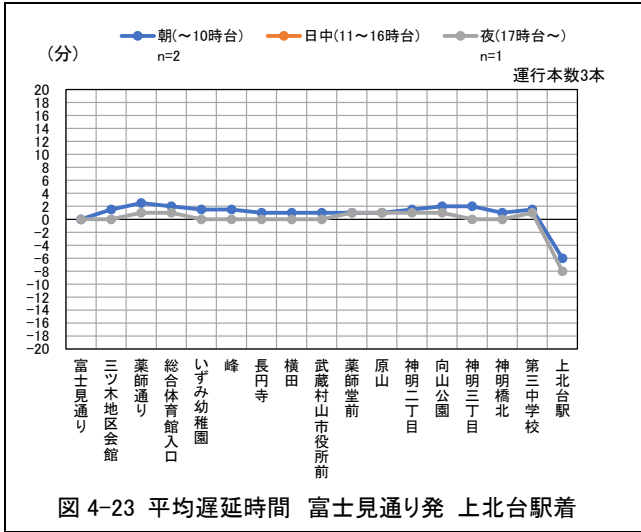


図 4-23 平均遅延時間 富士見通り発 上北台駅着

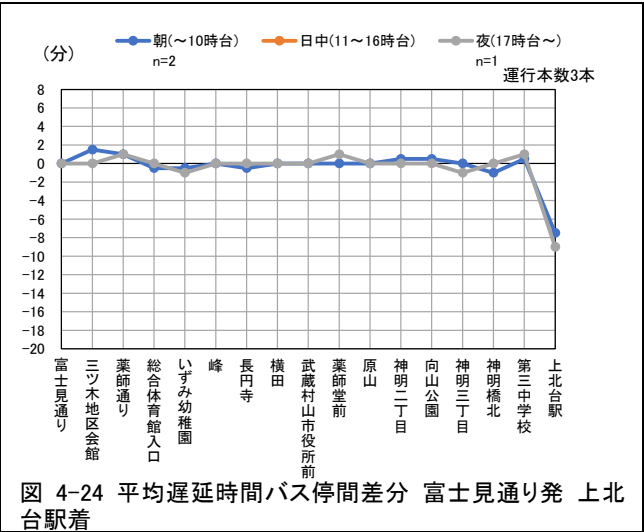


図 4-24 平均遅延時間バス停間差分 富士見通り発 上北台駅着

＜上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着・発 ⇒ 上北台駅着＞

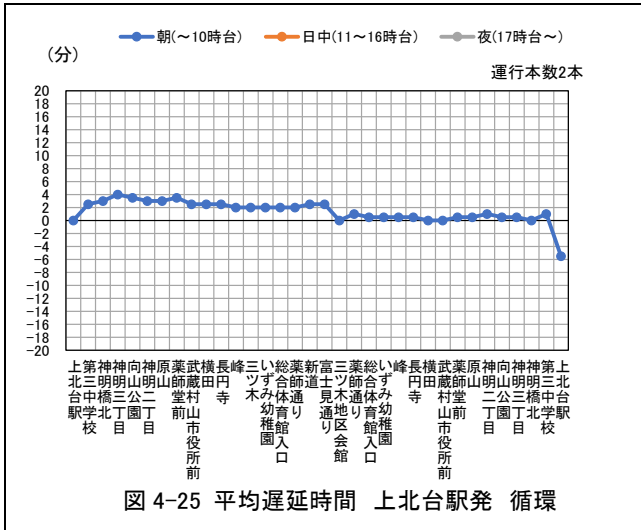


図 4-25 平均遅延時間 上北台駅発 循環

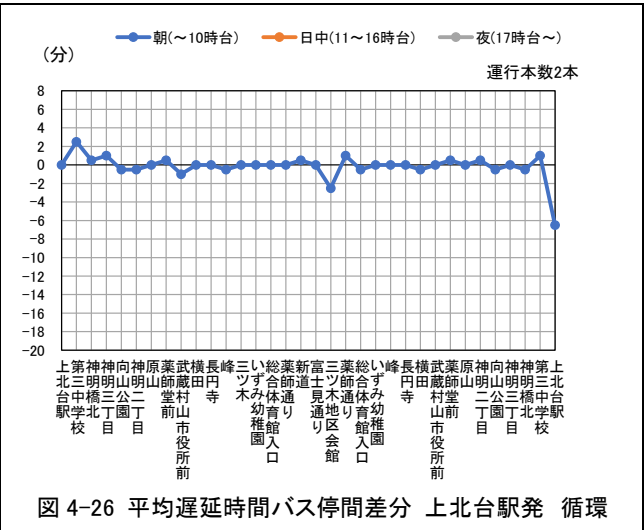


図 4-26 平均遅延時間バス停間差分 上北台駅発 循環

＜上北台駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯経由 ⇒ 上北台駅着＞

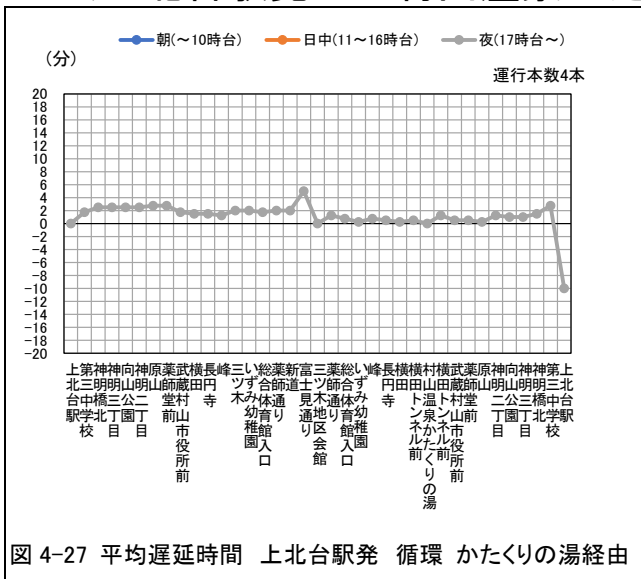


図 4-27 平均遅延時間 上北台駅発 循環 かたくりの湯経由

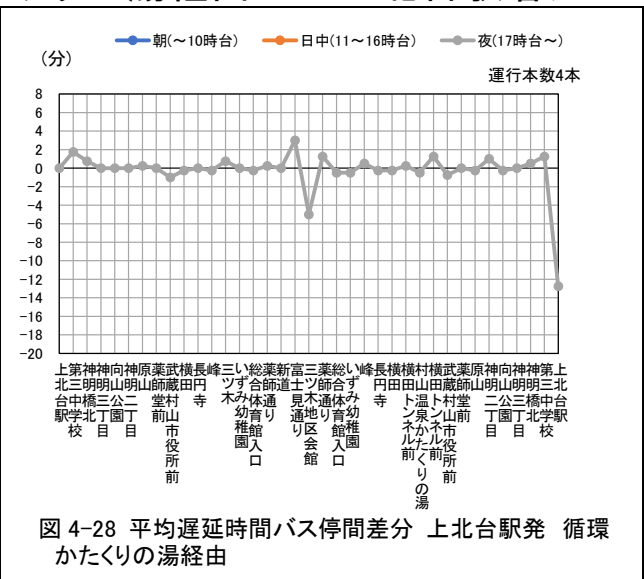
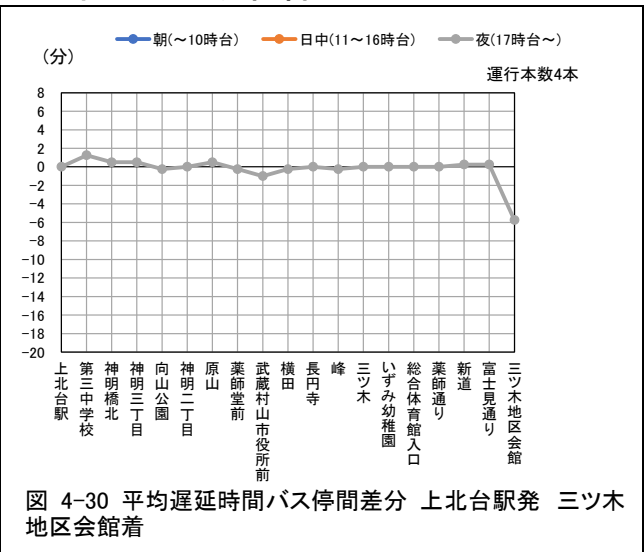
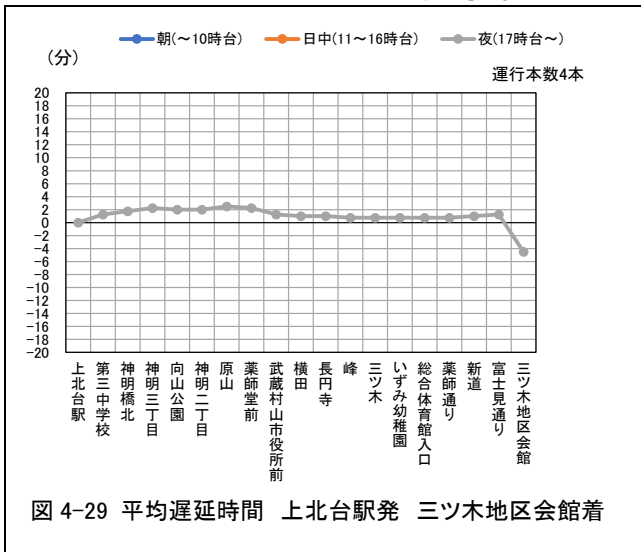


図 4-28 平均遅延時間バス停間差分 上北台駅発 循環 かたくりの湯経由



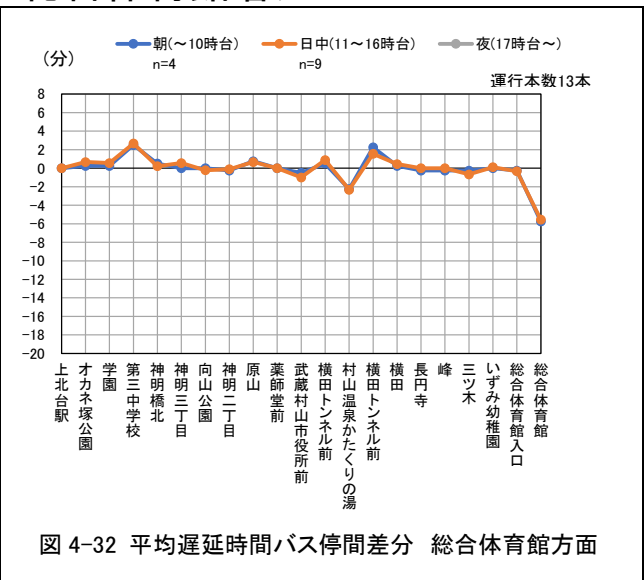
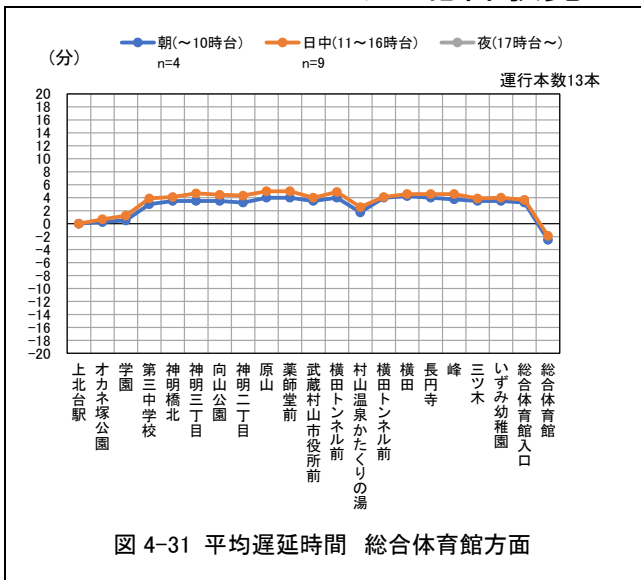
【通勤時】

＜上北台駅発 ⇒ 三ツ木地区会館着＞

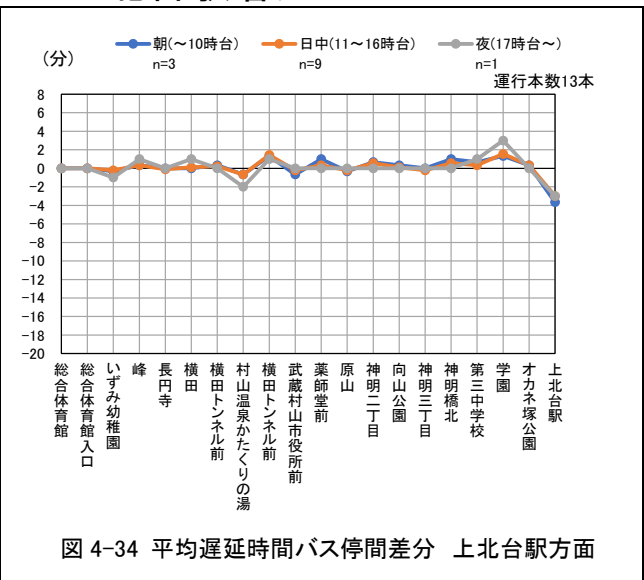
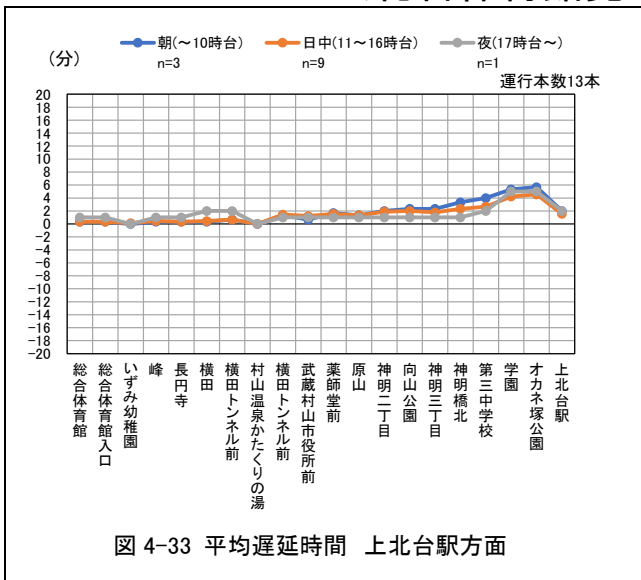


【日中時】

＜上北台駅発 ⇒ 総合体育館着＞



＜総合体育館発 ⇒ 上北台駅着＞



## (2) 玉川上水ルート

### 1) 玉川上水ルート・平日

#### 【平日 通勤時】

・武蔵村山市役所前方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、夜(17 時台～)ともに「湖南衛生組合前→公園西」でそれぞれ平均 2.0 分、平均 1.7 分である。

・玉川上水駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「大南二丁目→大南三丁目」「桜が丘四丁目→桜街道」で平均 1.5 分、夜(17 時台～)では「第三中学校→学園」でそれぞれ平均 2.7 分、平均 1.7 分である。夜(17 時台～)では「原山→中砂橋」で平均 1.1 分である。

#### 【平日 日中時】

・かたくりの湯方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、日中(11～16 時台)ともに「三本榎→武蔵村山市役所前」でそれぞれ平均 1.7 分、平均 2.3 分である。

・玉川上水駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「三本榎→イオンモール東」で平均 2.5 分、日中(11～16 時台)では「武蔵村山病院→村山医療センター入口」で平均 2.5 分である。

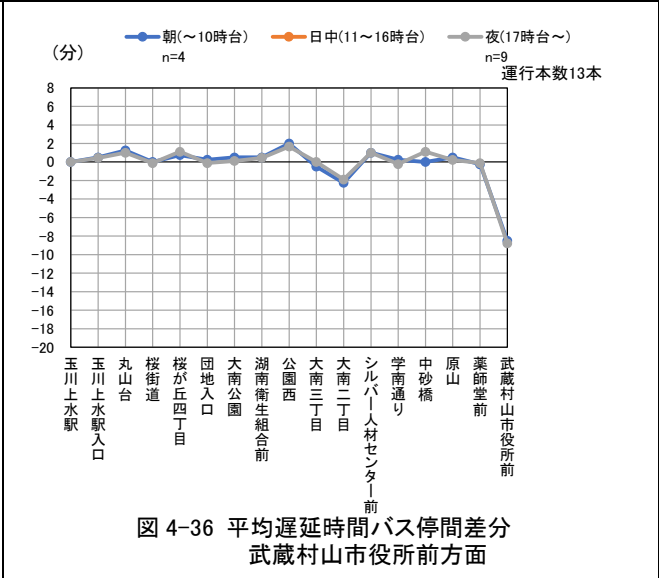
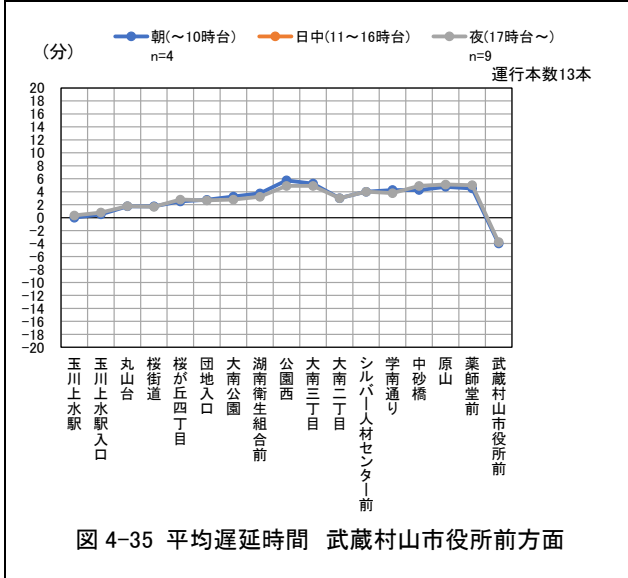
# 玉川上水ルート・バス停別の遅延時間【平日】

各バス停における平均遅延時間（左図）

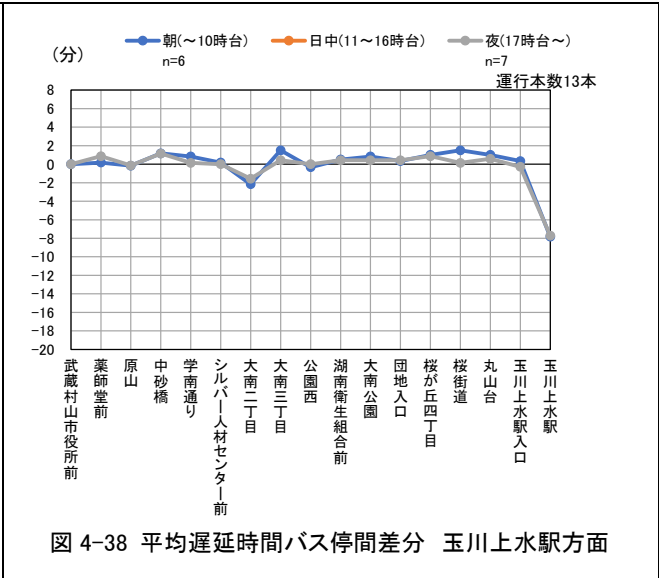
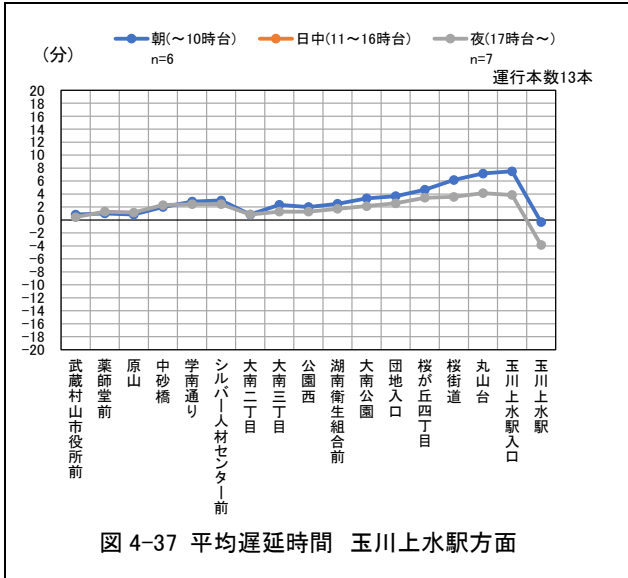
隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

## 【通勤時】

### <玉川上水駅発 ⇒ 武蔵村山市役所着>



### <武蔵村山市役所発 ⇒ 玉川上水駅着>

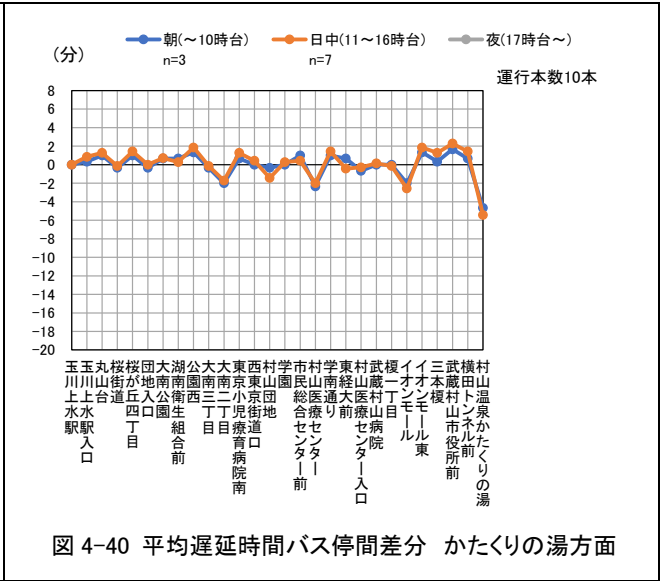
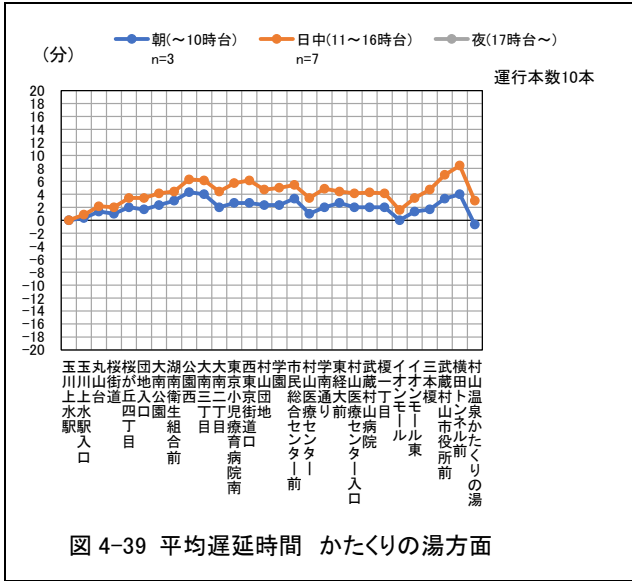


各バス停における平均遅延時間（左図）

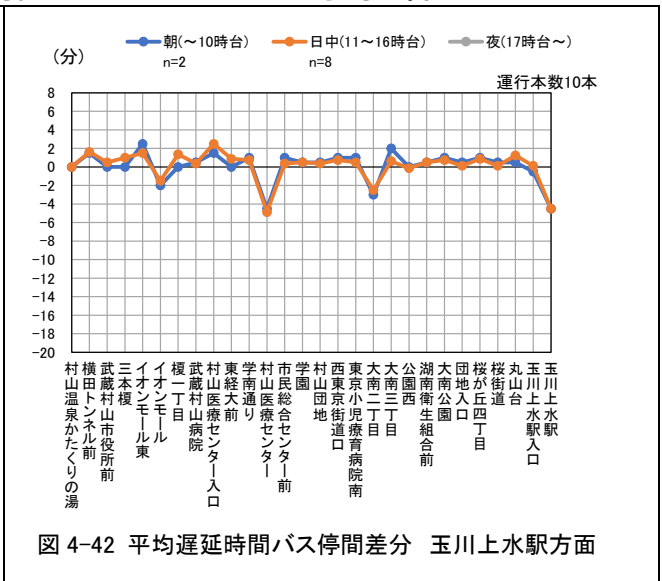
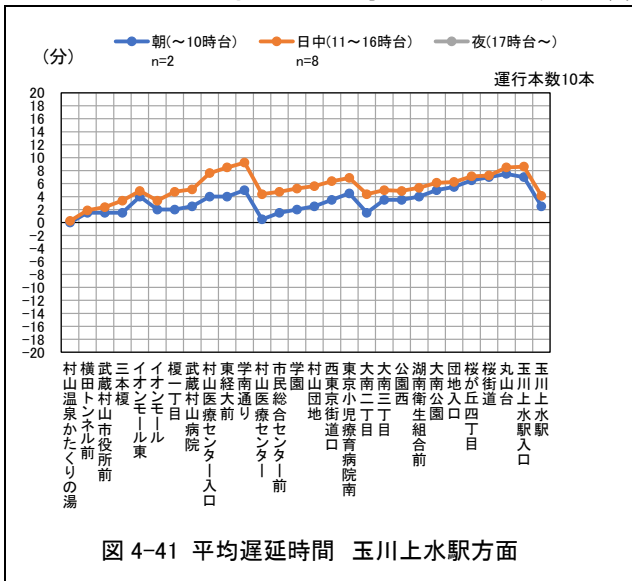
隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

【日中時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯着＞



＜村山温泉かたくりの湯発 ⇒ 玉川上水駅着＞



## 2) 玉川上水ルート・休日

### 【休日 通勤時】

- ・武蔵村山市役所前方面において、最も遅延時間が長い区間は「玉川上水駅入口→丸山台」で平均 1.7 分である。
- ・玉川上水駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「原山→中砂橋」「団地入口→桜が丘四丁目」「桜が丘四丁目→桜街道」で平均 1.0 分、夜(17 時台～)では「原山→中砂橋」「湖南衛生組合前→大南公園」「団地入口→桜が丘四丁目」で平均 1.5 分である。

### 【休日 日中時】

- ・かたくりの湯方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「桜街道→桜が丘四丁目」「イオンモール→イオンモール東」「イオンモール東→三本榎」で平均 1.7 分、日中(11～16 時台)では「三本榎→武蔵村山市役所前」で平均 2.6 分、夜(17 時台～)では「玉川上水駅入口→丸山台」「イオンモール東→三本榎」で平均 2.0 分である。
- ・玉川上水駅方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「村山温泉かたくりの湯→横田トンネル前」で平均 2.0 分、日中(11～16 時台)では「三本榎→イオンモール東」で平均 4.0 分、夜(17 時台～)では「武蔵村山病院→村山医療センター入口」で平均 3.0 分である。

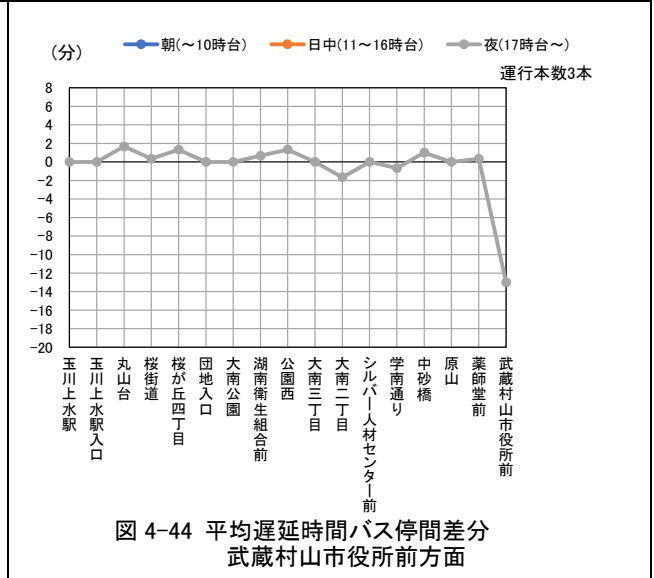
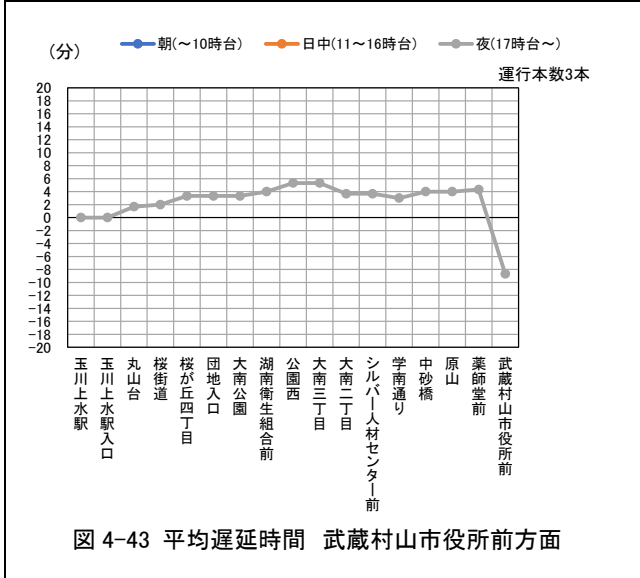
# 玉川上水ルート・バス停別の遅延時間【休日】

各バス停における平均遅延時間（左図）

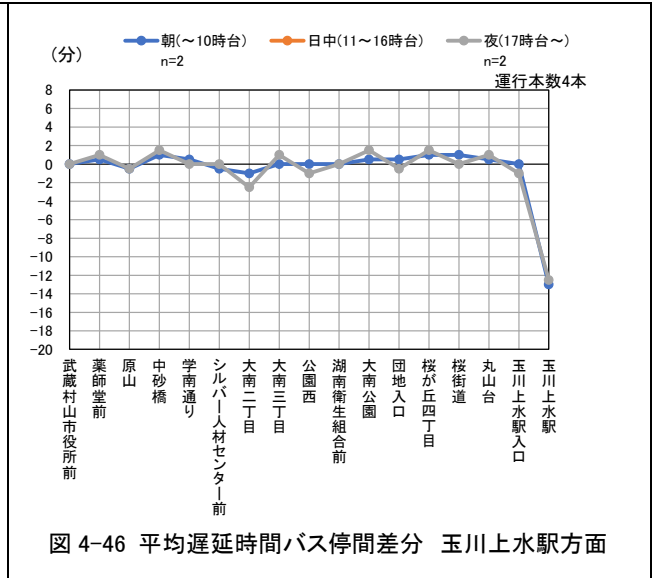
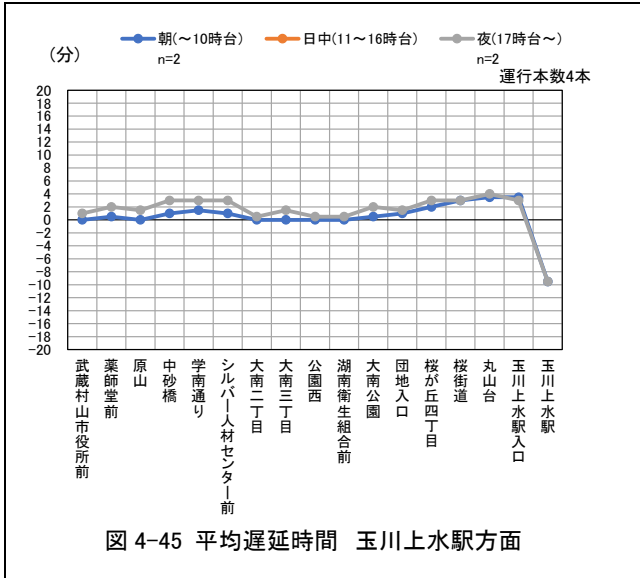
隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

## 【通勤時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 武蔵村山市役所着＞



＜武蔵村山市役所発 ⇒ 玉川上水駅着＞

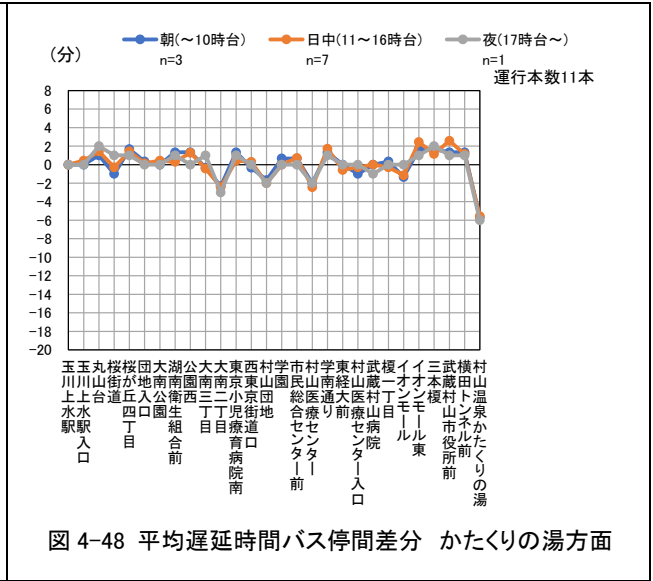
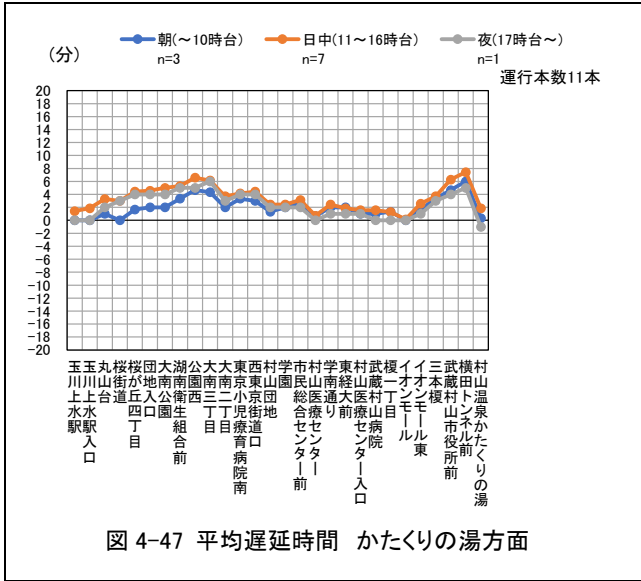


各バス停における平均遅延時間（左図）

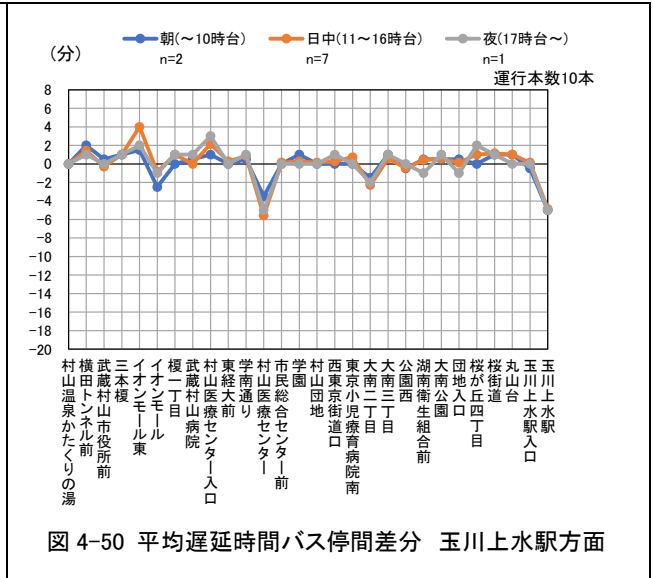
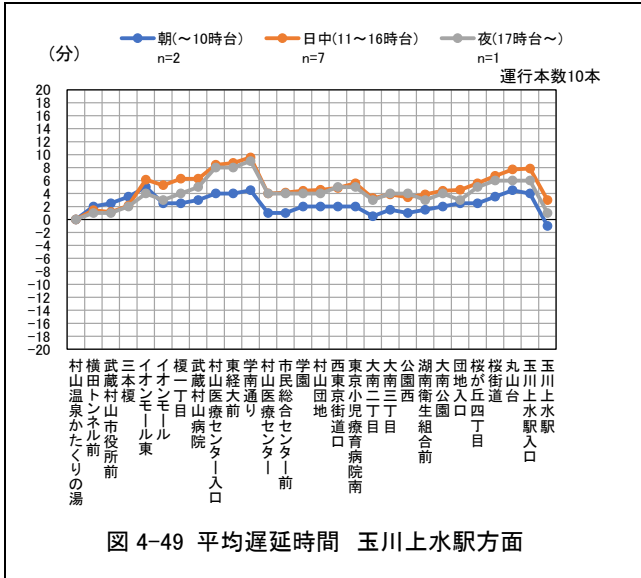
隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

【日中時】

＜玉川上水駅発 ⇒ 村山温泉かたくりの湯着＞



＜村山温泉かたくりの湯発 ⇒ 玉川上水駅着＞



### (3) 武蔵砂川ルート

#### 1) 武蔵砂川ルート・平日

##### 【平日】

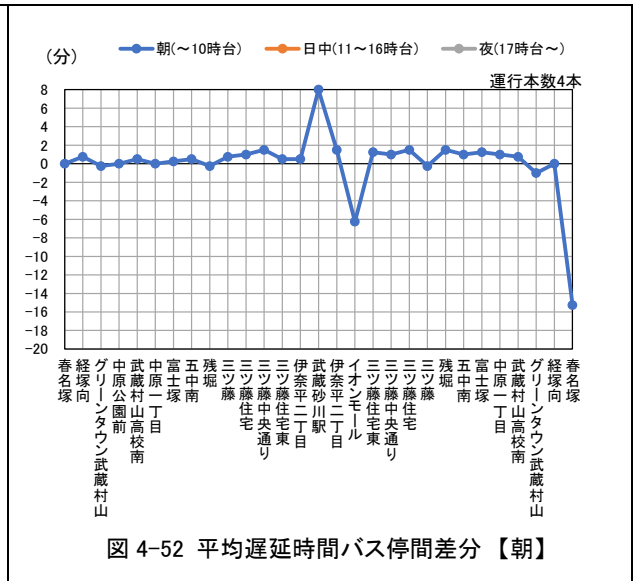
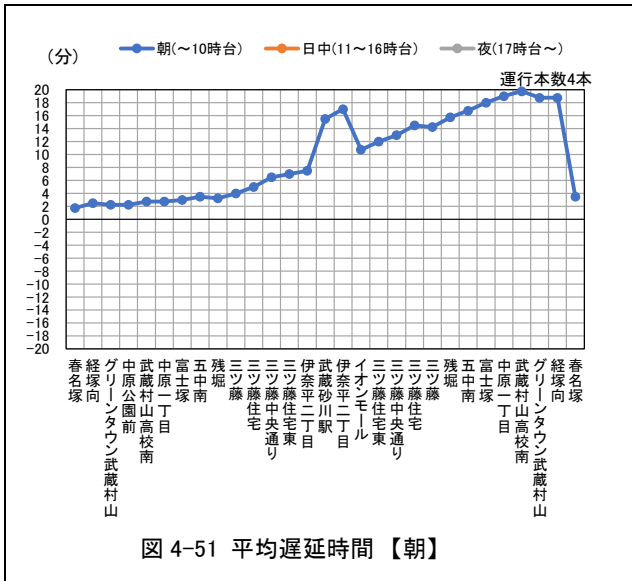
- ・朝において、最も遅延時間が長い区間は「伊奈平二丁目→武蔵砂川駅」で平均 8.0 分である。
- ・夜において、最も遅延時間が長い区間は「イオンモール→伊奈平二丁目」で平均 2.3 分である。

### 武蔵砂川ルート・バス停別の遅延時間【平日】

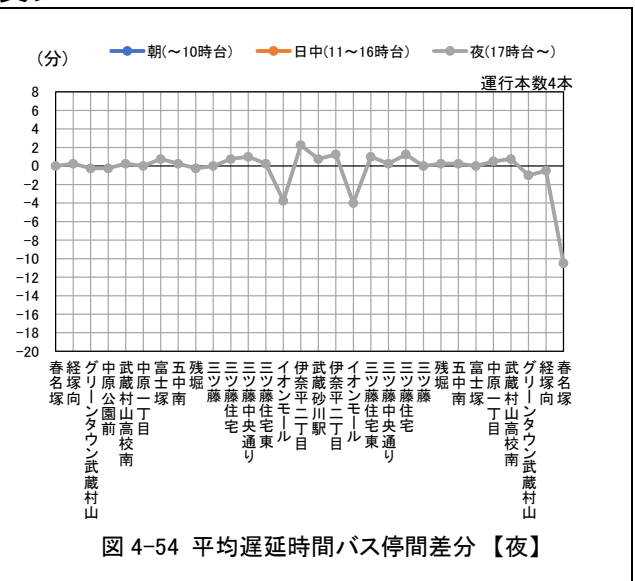
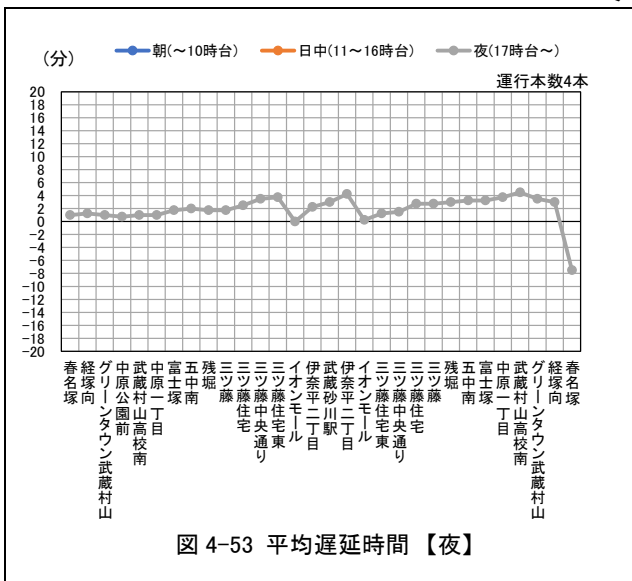
#### 各バス停における平均遅延時間（左図）

#### 隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

#### <朝>



#### <夜>





2) 武蔵砂川ルート・休日

【休日】

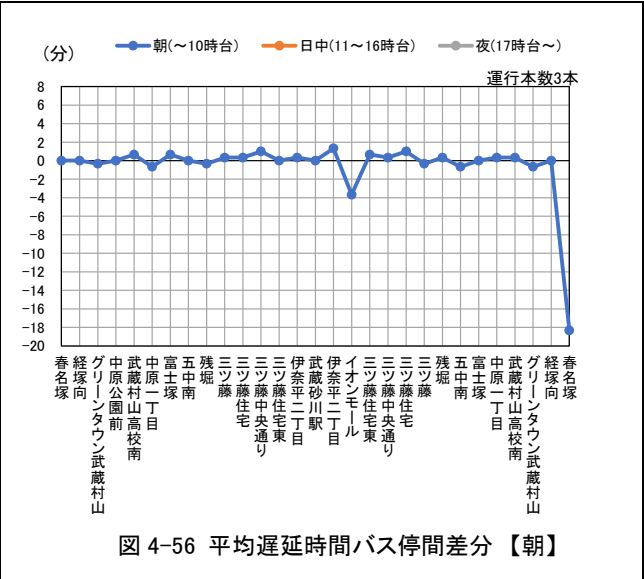
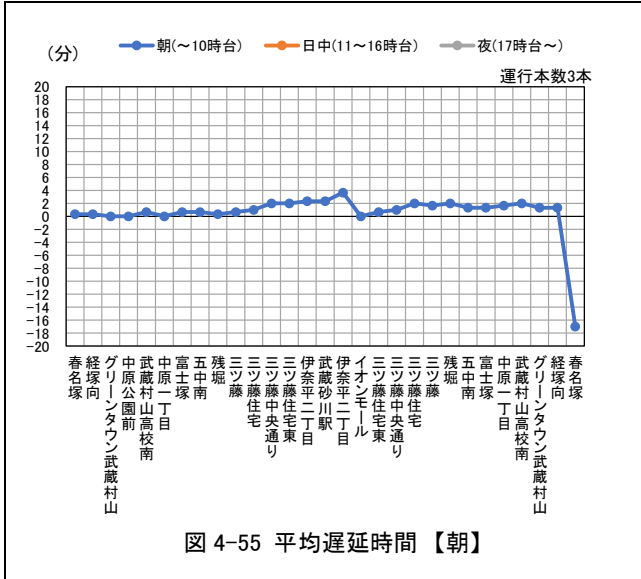
- ・朝において、最も遅延時間が長い区間は「武蔵砂川駅→伊奈平二丁目」で平均 1.3 分である。
- ・夜において、最も遅延時間が長い区間は「伊奈平二丁目→武蔵砂川駅」で平均 5.0 分である。

武蔵砂川ルート・バス停別の遅延時間【休日】

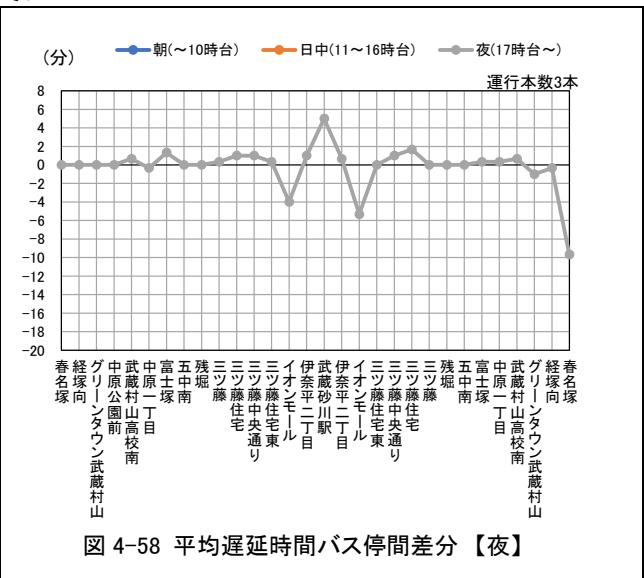
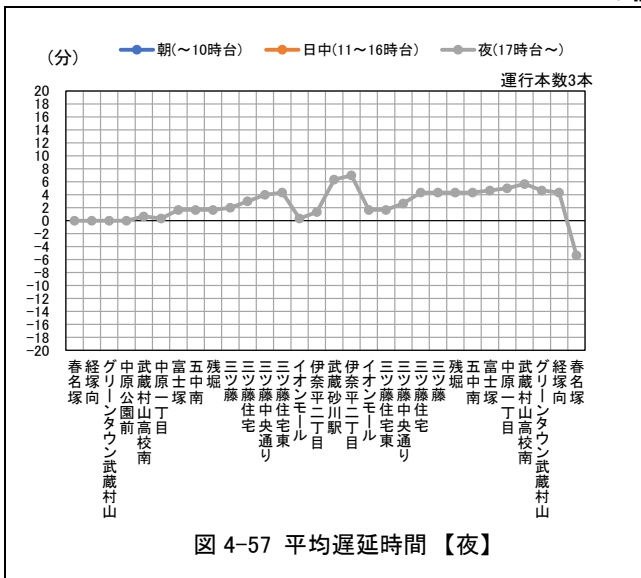
各バス停における平均遅延時間（左図）

隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

<朝>



<夜>



(4) 西ルート

1) 西ルート・平日

【平日】

・総合体育館方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(~10 時台)では「村山医療センター→学南通り」「三ツ藤中央通り→三ツ藤住宅」で平均 1.7 分、日中(11~16 時台)では「イオンモール→三ツ藤住宅東」「三ツ藤中央通り→三ツ藤住宅」で平均 1.4 分である。

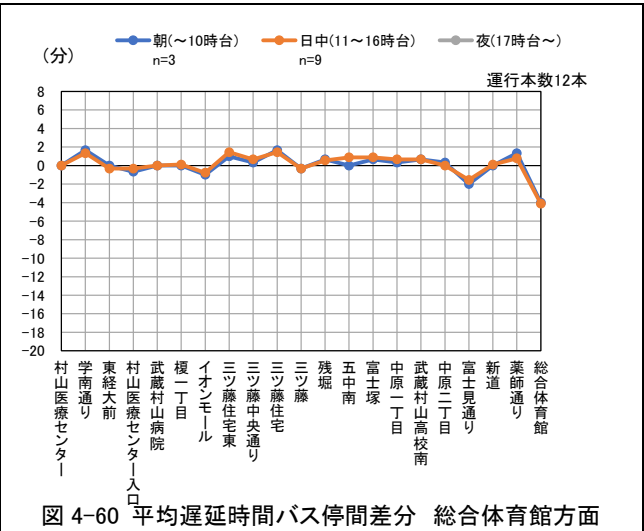
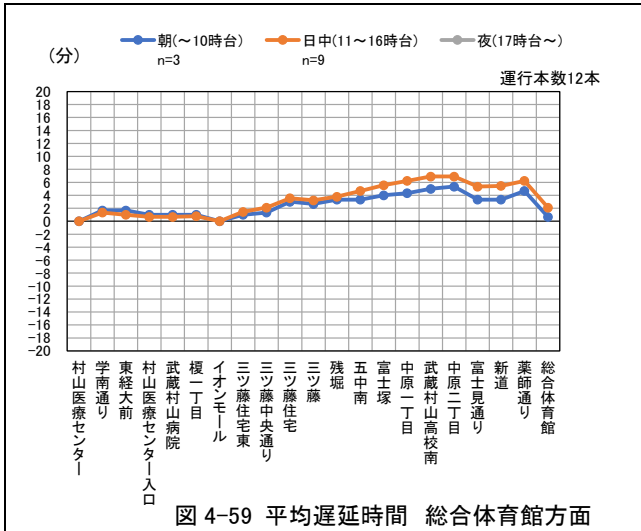
・村山医療センター方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(~10 時台)では「武蔵村山病院→村山医療センター入口」「東経大前→学南通り」で平均 1.8 分、日中(11~16 時台)では「武蔵村山病院→村山医療センター入口」で平均 1.9 分である。

西ルート・バス停別の遅延時間【平日】

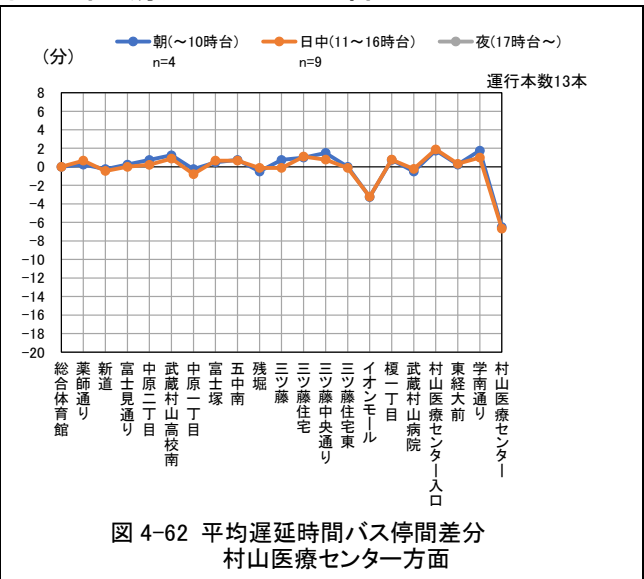
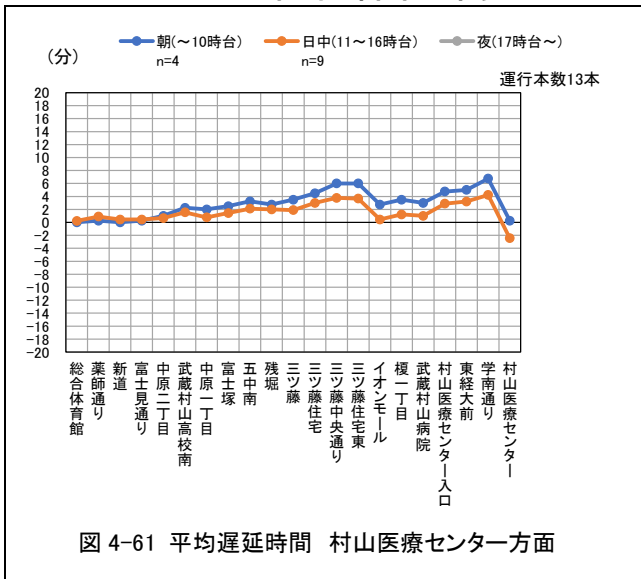
各バス停における平均遅延時間 (左図)

隣り合うバス停間での平均遅延時間 (右図)

＜村山医療センター発 ⇒ 総合体育館着＞



＜総合体育館発 ⇒ 村山医療センター着＞



## 2) 西ルート・休日

### 【休日】

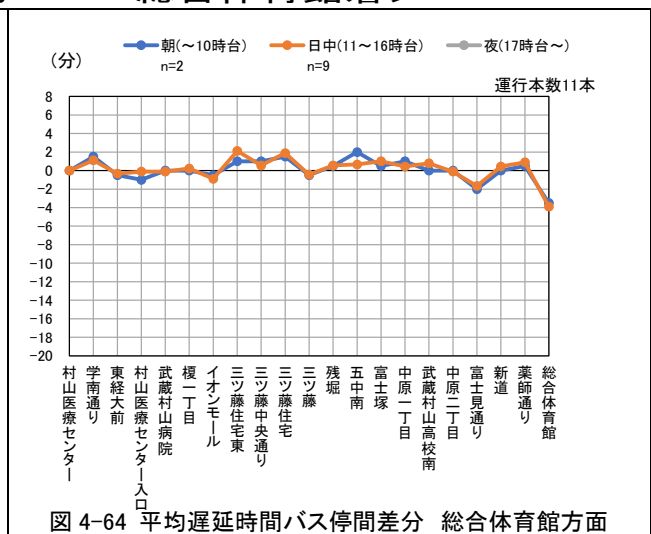
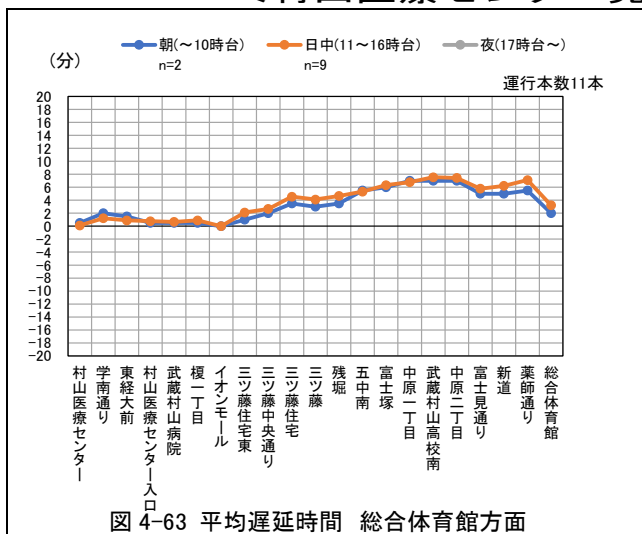
- ・総合体育館方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)では「残堀→五中南」で平均 2.0 分、日中(11～16 時台)では「イオンモール→三ツ藤住宅東」で平均 2.1 分である。
- ・村山医療センター方面において最も遅延時間が長い区間は、始発時間が朝(～10 時台)、日中(11～16 時台)ともに「武蔵村山病院→村山医療センター入口」でそれぞれ平均 2.0 分、平均 3.0 分である。

## 西ルート・バス停別の遅延時間【休日】

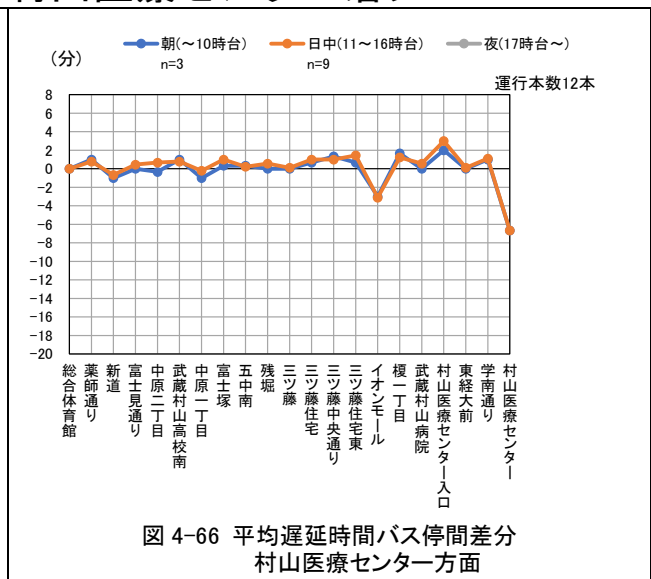
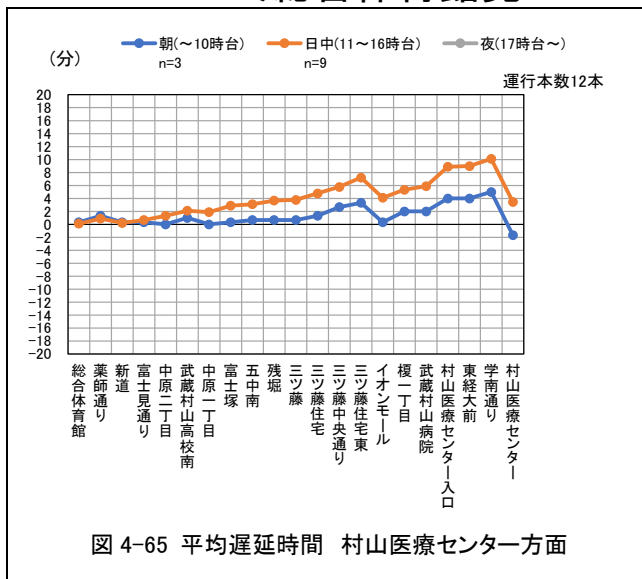
### 各バス停における平均遅延時間（左図）

### 隣り合うバス停間での平均遅延時間（右図）

### ＜村山医療センター発 ⇒ 総合体育館着＞



### ＜総合体育館発 ⇒ 村山医療センター着＞



## 5. 乗合タクシー(むらタク)の利用状況の整理

### ①月別利用者数の推移

- ・月別利用者数は、令和元年は概ね300人/月前後を推移している。
- ・緊急事態宣言が発出された令和2年4～5月は利用者が大きく落ち込んだものの、直近では回復している。

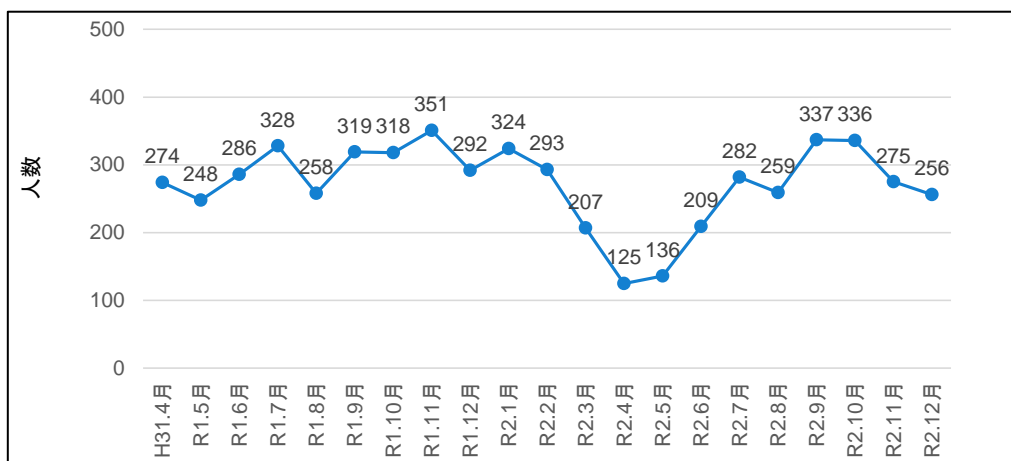


図 5-1 むらタクの利用者数の月別推移

### ②乗降場所別利用者数

- ・交通プラザと武蔵村山病院が突出して多く、次いで市役所や村山医療センター、市民総合センターが多い。

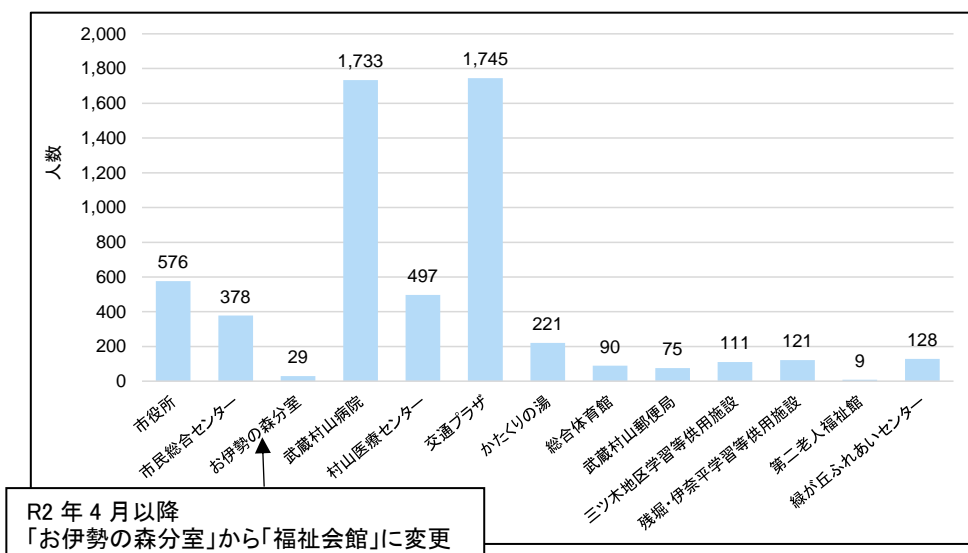


図 5-2 むらタクの場所別利用者数(H31年4月～R2年12月累計)

### ③利用率（登録者数に対する利用者数の割合）

・むらタクの利用率（登録者数に対する実利用者数）は、1割を満たさない月が多い。

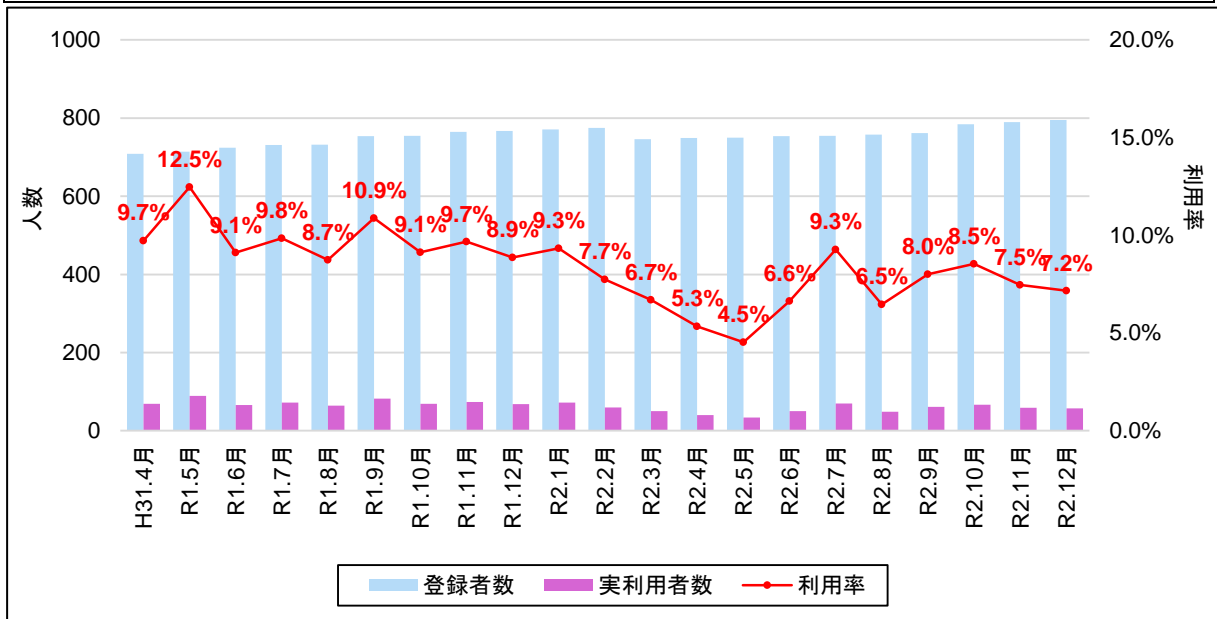


図 5-3 むらタクの利用率(登録者数に対する実利用者数)の月別推移

## 6. 乗合タクシー(むらタク)利用者意向調査

### ○調査期間

10/5(月)から1か月

### ○調査方法

村山運送の「むらタク」ドライバーが、利用者に対して無記名式のアンケートを手渡し、回答後に郵送にて回収

### ○配布・回収状況

配布数	100 票
回収数	62 票
回収率	62.0%

### 問1 個人属性

#### ・職業、年齢

・職業に関して、「専業主婦、夫・家事手伝い」の回答割合が 54.8%と最も高く、次いで「無職」で 30.6%を占める。

・年齢に関して、「80代～」の回答割合が 40.3%と最も高く、次いで「70代」で 38.7%を占める。

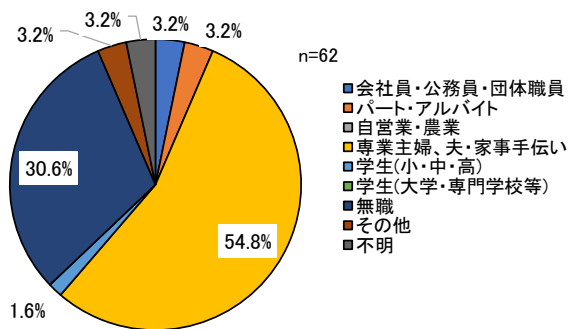


図 6-1 職業構成比

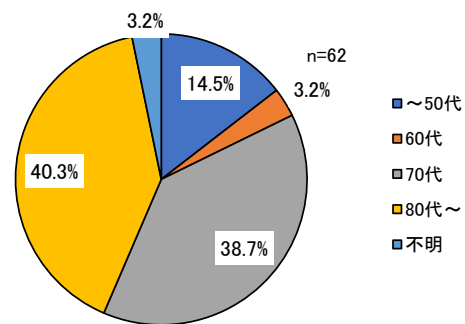


図 6-2 年齢構成比

#### ・居住地

・「伊奈平五丁目」の割合が最も高く、全体の 24.2%を占める。次いで、「伊奈平四丁目」で 22.6%を占める。

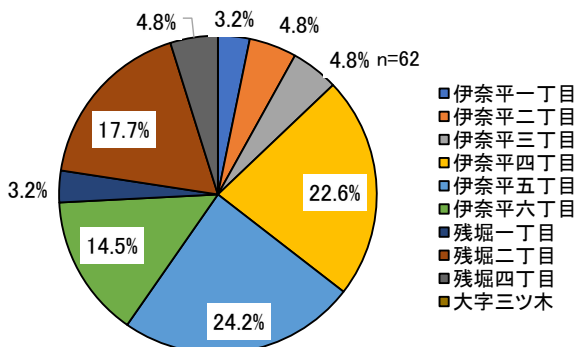


図 6-3 居住地構成比

・運転免許保有状況(複数回答可能)、自動車等保有状況(複数回答可能)

・運転免許保有状況に関して、「運転免許を自主返納」「持っていない」の合計割合は85.5%であり全体の8割以上が運転免許を保有していない。  
 ・自動車等保有状況に関して、自分用に自由に使えることを前提として、自動車の保有割合は 8.1%、自転車の保有割合は 35.5%であり、自動車・自動二輪・自転車を保有しない割合は 53.2%である。

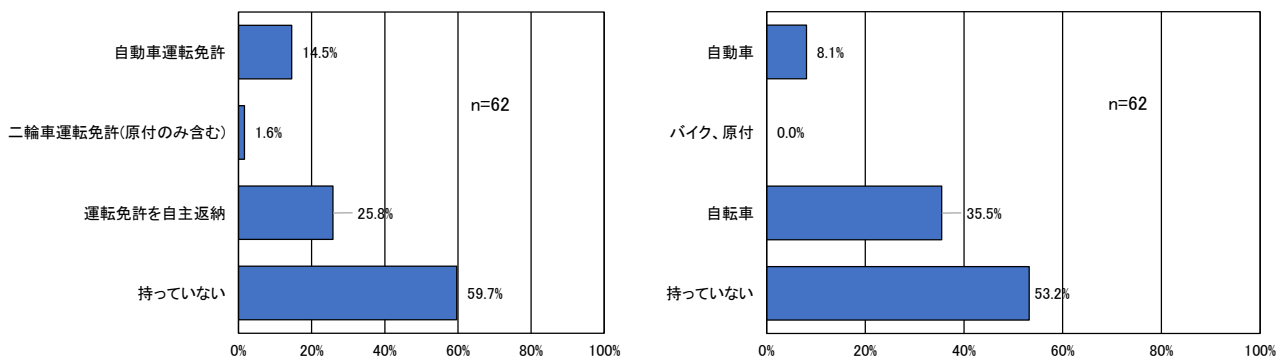


図 6-4 運転免許保有状況(左図)、自動車等保有状況(右図)

問2 むらタクのことについて

問2-1 ア 乗車日

・平日(月～金)が 60 件、休日(土)が 2 件である。金曜日の利用が最も多い。

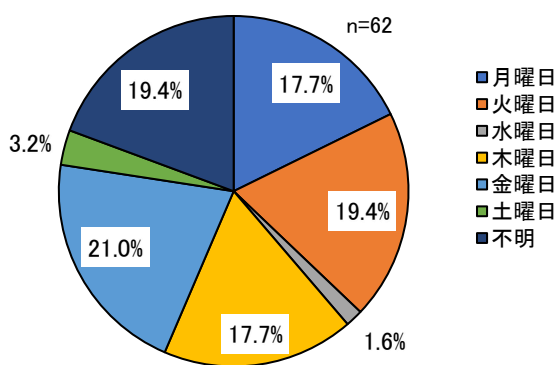


図 6-5 乗車曜日別構成比

問2-1 イ 乗車時間帯

・「9～11 時台」の割合が最も高く、全体の 56.5%を占める。次いで「12～14 時台」で 19.4%を占める。

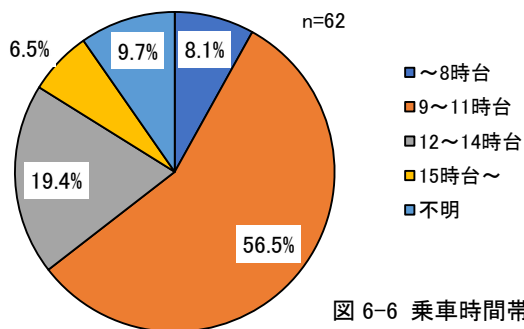
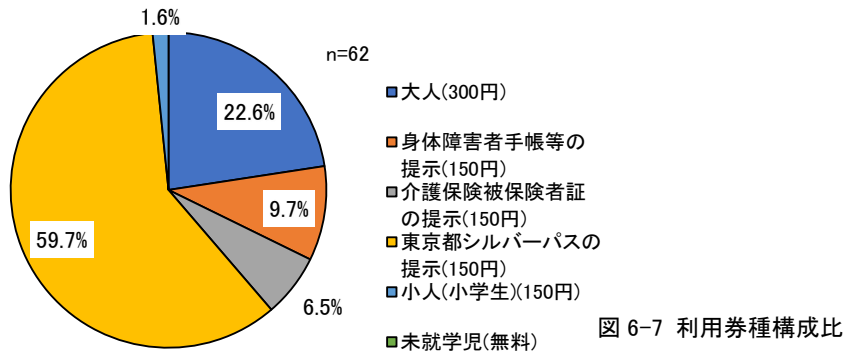


図 6-6 乗車時間帯構成比

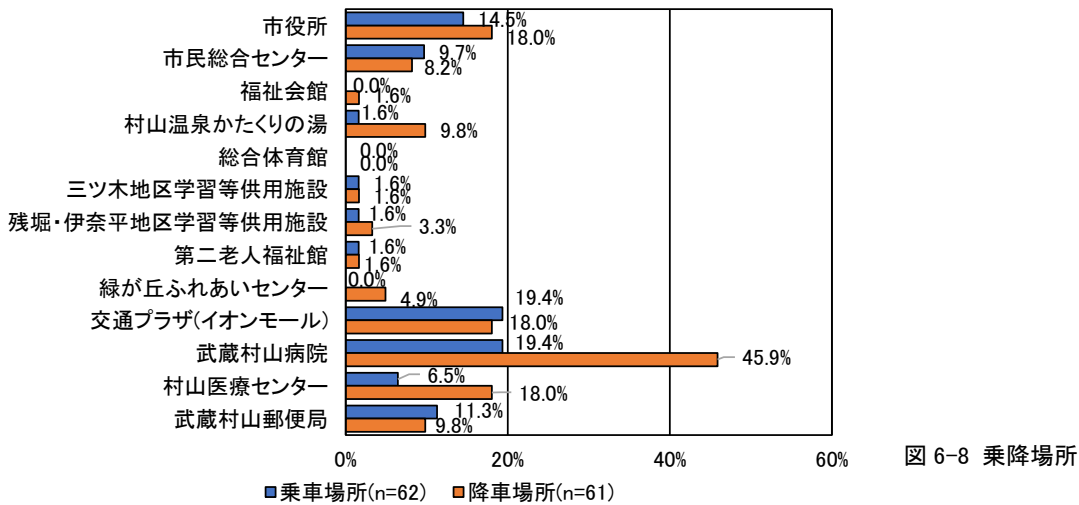
問2-1 ウ 利用券種

・「東京都シルバーパスの提示(150 円)」の割合が最も高く、全体の 59.7%を占める。次いで「大人(300 円)」で 22.6%を占める。



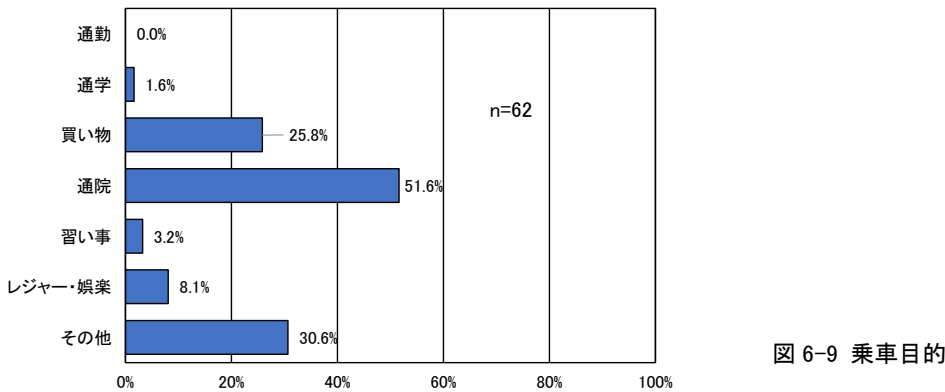
問2-1 エオ 乗車場所(複数回答可能)、降車場所(複数回答可能)

・乗車場所では、「自宅」を除くと、「交通プラザ(イオンモール)」「武蔵村山病院」の回答割合がそれぞれ 19.4%と最も高く、次いで「市役所」で 14.5%を占める。  
 ・降車場所では、「自宅」を除くと、「武蔵村山病院」の回答割合が 45.9%と最も高く、次いで「交通プラザ(イオンモール)」「市役所」でそれぞれ 18.0%を占める。



問2-1 カ 乗車目的(複数回答可能)

・「通院」の割合が最も高く、全体の 51.6%を占める。次いで「その他」で 30.6%、「買い物」で 25.8%を占める。





### 問2-1 キ ふだんの利用頻度

・「月に数回」の割合が最も高く全体の45.2%、次いで「週に1日」「月に数回」でそれぞれ16.1%を占める。

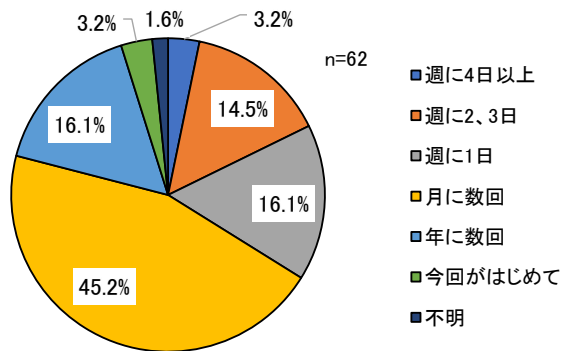


図 6-10 ふだんの利用頻度構成比

### 問2-2 むらタクを利用する理由(最大2つまで回答可能)

・「ほかに移動手段がないから」の回答割合が58.1%と最も高く、次いで「安く移動できるから」で32.3%、「ほかの移動手段よりも便利だから」で30.6%を占める。

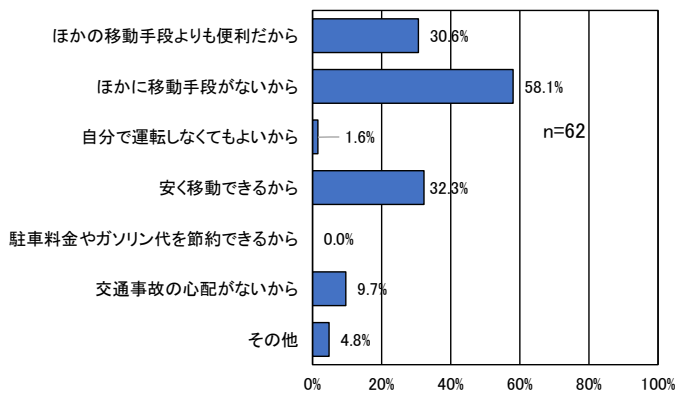


図 6-11 むらタクを利用する理由

### 問2-3 むらタク利用満足度

・「そう思う」「ややそう思う」の合計割合は「日曜・祝日も運行して欲しい」で最も高く、65%である。次いで、「乗降場所が少ない」で49%を占める。  
 ・「総合的にみた、むらタクの満足度について」では「やや満足」「満足」を合わせて回答者の90%を占める。

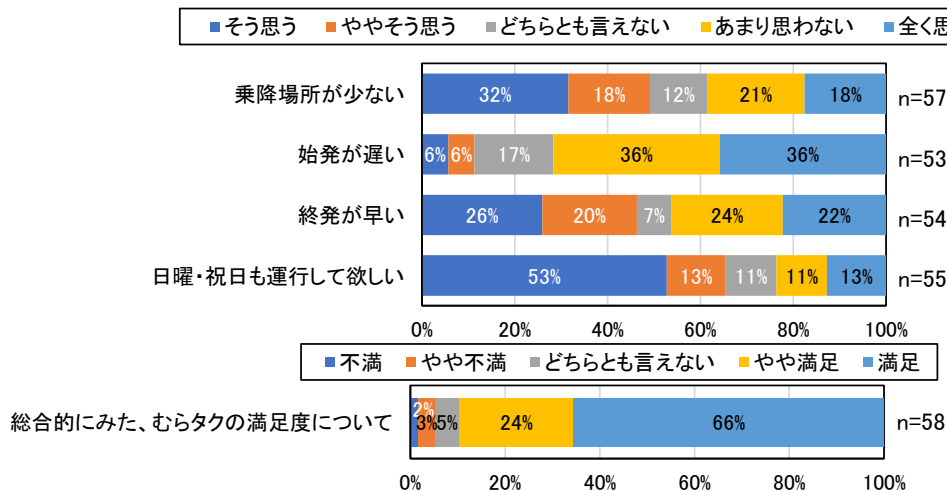


図 6-12 むらタク利用満足度構成比

#### 問2-4 ア 市内の行きたい場所、主な施設

・スーパーマーケットが7件と最も多く、次いで駅4件、医療機関3件である。

表 6-1 むらタク利用で市内の行きたい場所、主な施設

スーパーマーケット	7件	駅	4件
ダイエー	4件	立川駅	1件
コメリ残堀店	2件	昭島駅	1件
いなげや	1件	西武立川駅	1件
医療機関	3件	駅	1件
小山歯科	1件	金融機関	2件
奥野眼科	1件	銀行	1件
大南クリニック	1件	信用金庫	1件
		三ツ藤郵便局	2件
		文明堂	1件
		伊奈平地区会館	1件

#### 問2-4 イ 希望始発時間

・7時台が5件である。

#### 問2-4 ウ 希望終発時間

・「17時台」の回答割合が50.0%と最も高く、次いで「18時台」で35.0%を占める。

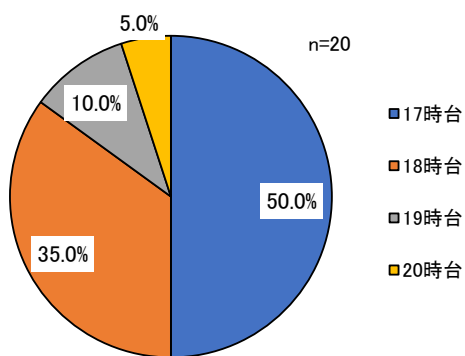


図 6-13 希望終発時間構成比

#### 問2-4 エ 日祝祭日の希望運行

・「日曜・祝日の両方とも運行してほしい」の回答割合が58.3%と最も高く、次いで「日曜も運行してほしい」で30.6%を占める。

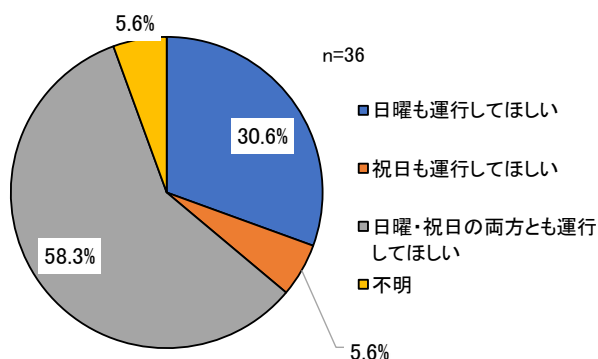


図 6-14 日祝祭日の希望運行構成比

### 問3 新型コロナウイルスの影響による日常の行動への影響について

#### 問3-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。(複数回答可能)

・「通勤・通学や日常生活において、外出する回数が減少した」の回答割合が 40.3%と最も高く、次いで「以前とほとんど変わらない外出行動をしている」で 27.4%を占める。

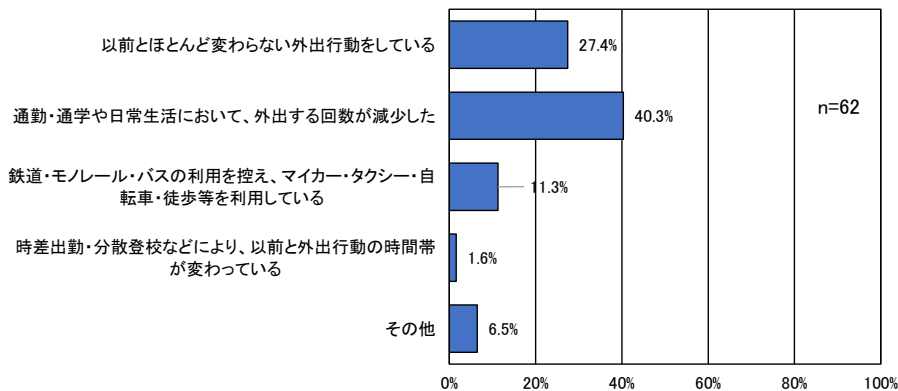


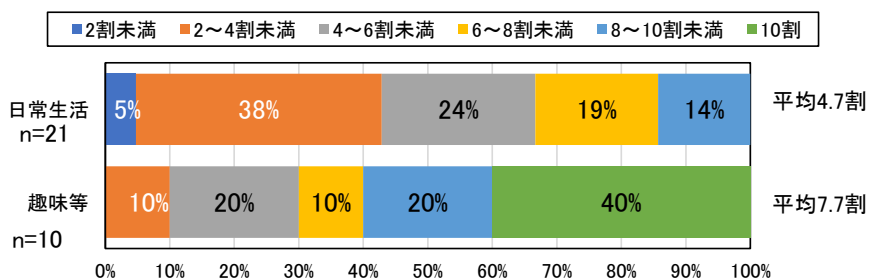
図 6-15 外出行動の変化

#### 問3-1 新型コロナウイルスの影響により、現在の外出行動は以前と変わっていますか。 その他記述内容

・4件、安全を確認し必要な時だけ、病院に月3回乗車しています、ほとんど外出していない、医院や食料品等の買物のみの外出になっている現状、という記述があった。

#### 問3-2 通勤・通学や日常生活において、どのくらい外出が減少しましたか。

・日常生活では「2～4割未満」の回答割合が 38%と最も高く、次いで「4～6割未満」で 24%を占める。  
 ・趣味等では「10割」の回答割合が 40%と最も高く、次いで「4～6割未満」「8～10割未満」でそれぞれ 20%を占める。  
 ・日常生活では平均 4.7割、趣味等では平均 7.7割の値を示し、趣味等の方で外出控えが目立つ。



\*通勤・通学は 1 件もない

図 6-16 各種目的における外出回数減少割合構成比